

VI章 上幌内4遺跡 V層の遺構・包含層の出土遺物

1. 概要

本遺跡のV層の遺構・包含層出土の遺物をまとめて記載する。包含層から土器5,001点、石器等10,169点、合計15,170点出土した。

包含層出土点数表(表33~35)

Ⅲ層出土の土器は、Ⅳ層が薄い地点でV層と誤認したものである。V層出土はⅣ群が約74%を占め、次いでⅠ群約14%、Ⅲ群約8%、Ⅱ群約1%である。各群で残存状態は良好が多く、ついで小破片が多いが、Ⅳ群は小破片と剝離が多い。剝片石器は約94%がフレイクで黒曜石が多い。器種を多い順に記すと、石鏃70点、U・Rフレイク69点、スクレイパー42点、石槍・ナイフ38点、石核22点、つまみ付きナイフ15点、原石12点、石錐4点である。礫石器・石製品・レキは約88%がレキで、多い順に台石・石皿177点、たたき石146点、砥石131点、すり石86点、磨製石斧71点、北海道式石冠13点で、石製品は10点である。これらの出土層位はⅢ層が235点、V層が4,862点で、後者が約93%を占める。

出土分布図(図49~55)

Ⅰ群土器はN-22区とR-23区、Ⅱ群土器はN-22区、Ⅲ群土器はL-21区に多い。Ⅳ群土器が多いグリッドは、J-24区、N-21区、O-20区、R-23・24・26区、S-24区で調査区の北東と南西側部分に多く、調査区中央付近が少ない。石鏃はO-22区が最多で、その北側のグリッドからも出土している。石槍・ナイフはO-21・22区、P-23・24区が多く、石錐はL-23区、P・R-26区から出土している。つまみ付きナイフは散在的で調査区南西側にやや多い。スクレイパーは全体から出土し、L-24区、M-21区、R-25区に多い。U・RフレイクはL-23区に多い。石核は調査区の東側、北側、南西側から出土している。原石は散在的な出土である。フレイクはL-24区、M-23区に特に多い。磨製石斧はL・M-22・23区に多く、たたき石は調査区全体から均一的な出土である。すり石は斜面の北側から多く出土している。北海道式石冠は散在的である。砥石は調査区北東側に多く、台石・石皿は北側に多い。

2. 土器

(1) 復原土器

遺構出土復原土器(図56~58 表36~50 図版17~19)

H-1

1はN-25区出土のものに、H-1覆土出土の破片が1点接合した。直立気味の口縁部からゆるやかにすばまる器形で、3条の貼付帯とRL原体による施文がみられ、Ⅳ群a類の余市式である。

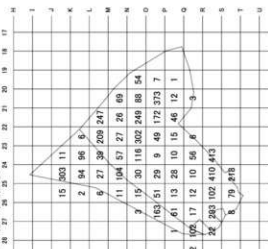
H-1・PS-5

2はH-1床面直上出土の土器とPS-5出土の破片が接合した。両遺構の直線距離は15mである。若干膨らむ胴部中位から下位へとすばまり、底部付近は直立気味である。貼付帯が2条あり、撚りの異なる原体による羽状縄文が施される。Ⅳ群a類の余市式である。

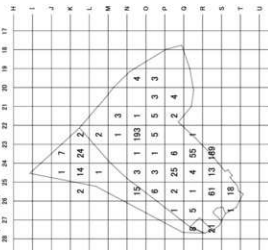
TP-21

3はわずかに開口する口縁部から胴部中位を経て、底部へと直線的にすばまる器形を呈する。口唇部直下に貼付帯があり、その下位に無文部分がある。幅広い貼付帯が4条みられ、別原体による羽状

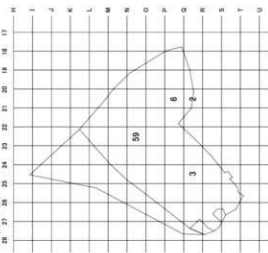
土器 総点数



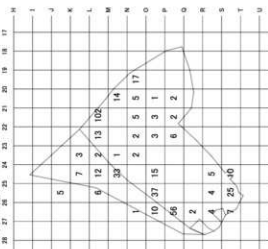
I 群土器



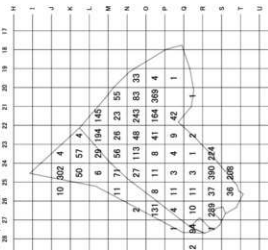
II 群土器



III 群土器



IV 群土器



土器 群不明

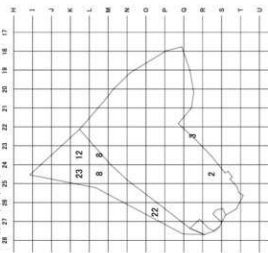


図49 上層内4遺跡 遺物出土分布図(1)

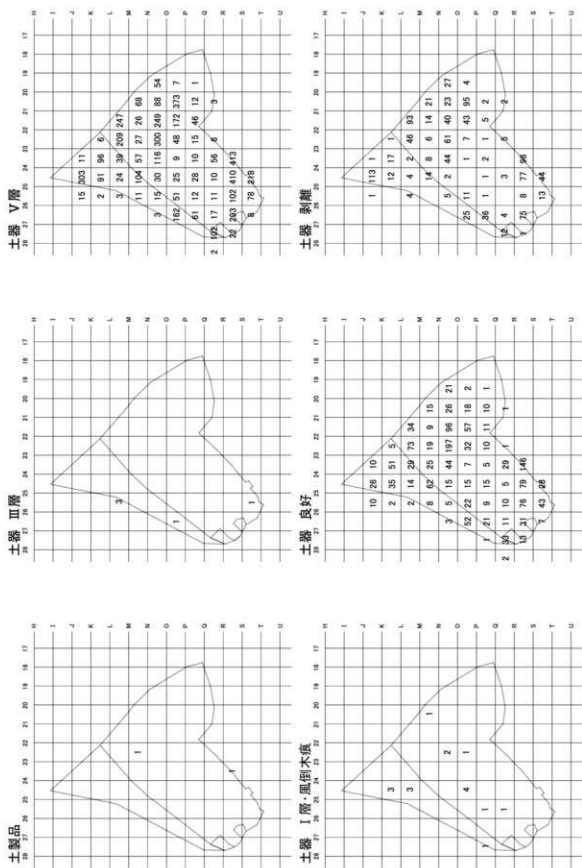
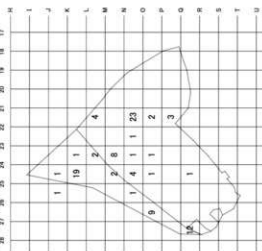
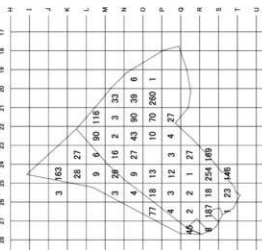


図50 上幌内4遺跡 遺物出土分布図(2)

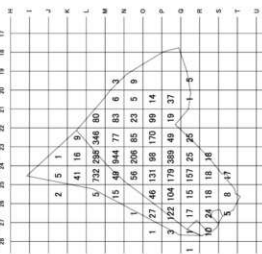
土器 磨耗



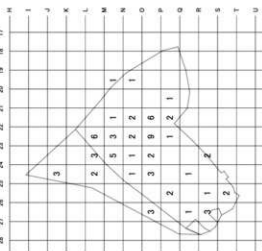
土器 小破片



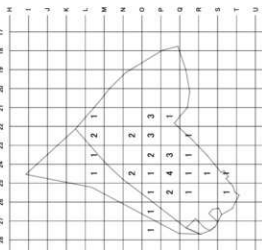
剥片石器 総点数



石器



石楯・ナイフ



石器

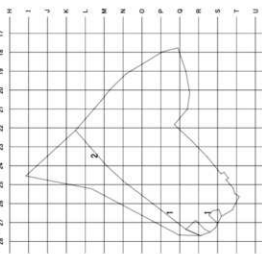


図51 上層内4遺跡 遺物出土分布図(3)

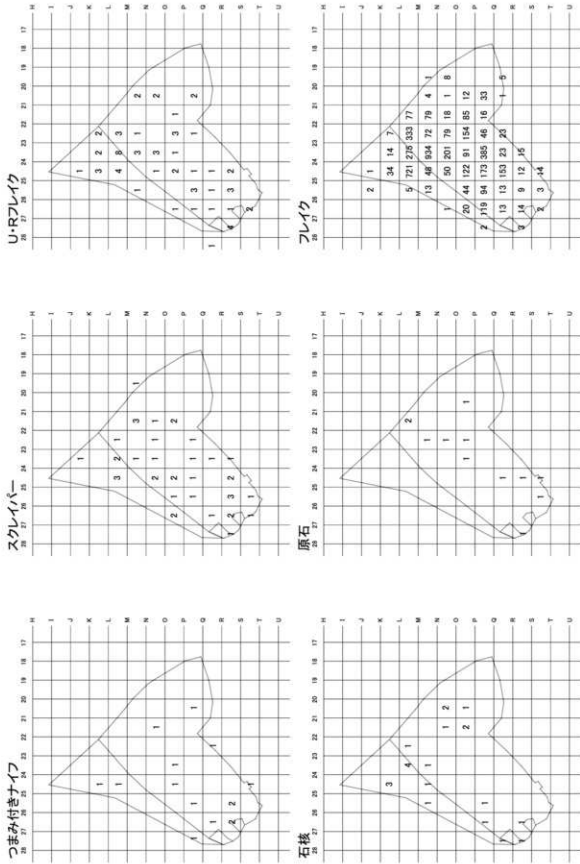
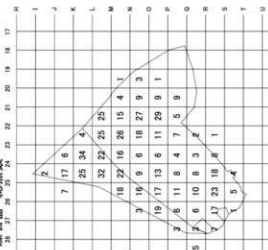
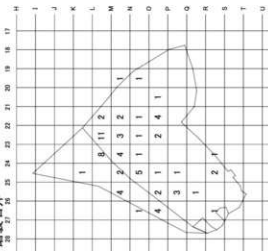


図52 上幌内4遺跡 遺物出土分布図(4)

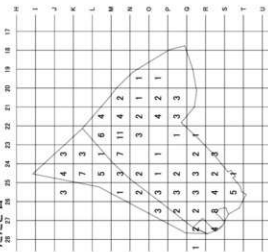
礎石器 総点数



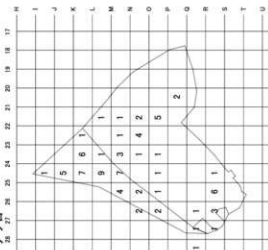
磨製石斧



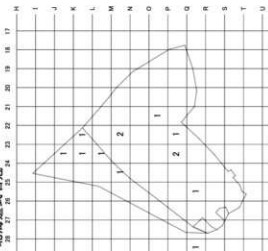
たたく石



すり石



北海道式石冠



砥石

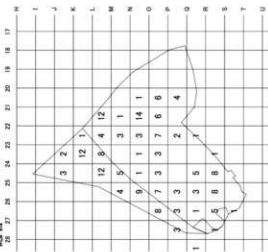


図53 上層内4遺跡 遺物出土分布図(5)

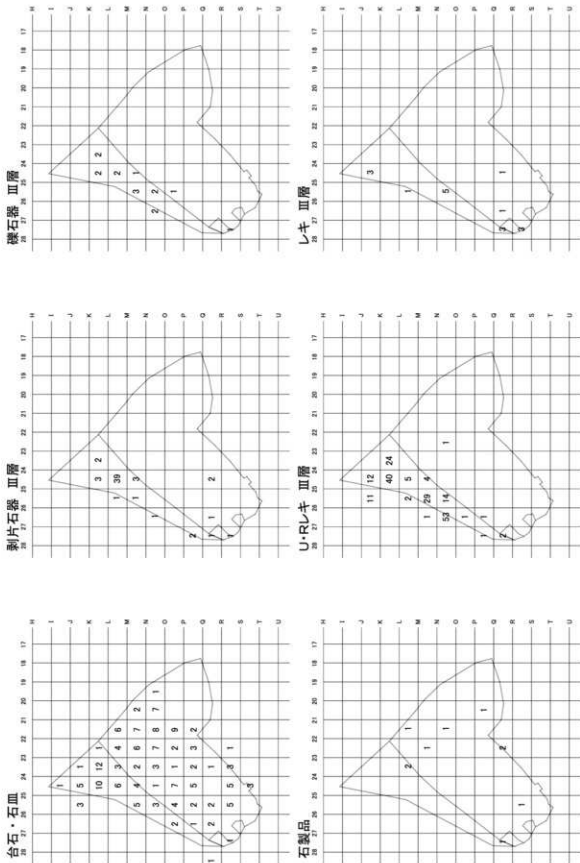
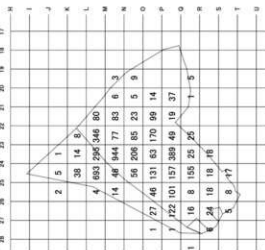
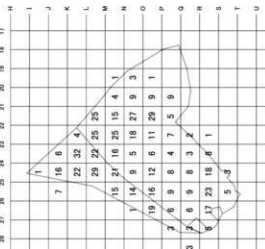


図54 上幌内4遺跡 遺物出土分布図(6)

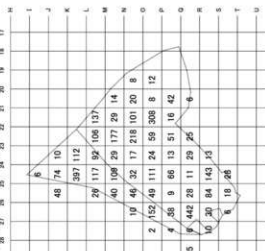
剥片石器 V層



礫石器 V層



U・Rレキ V・VI層



レキ V・VI層

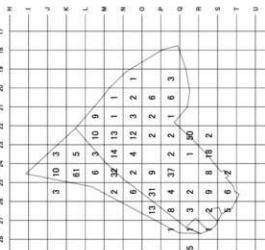


図55 上層内4遺跡 遺物出土分布図(7)

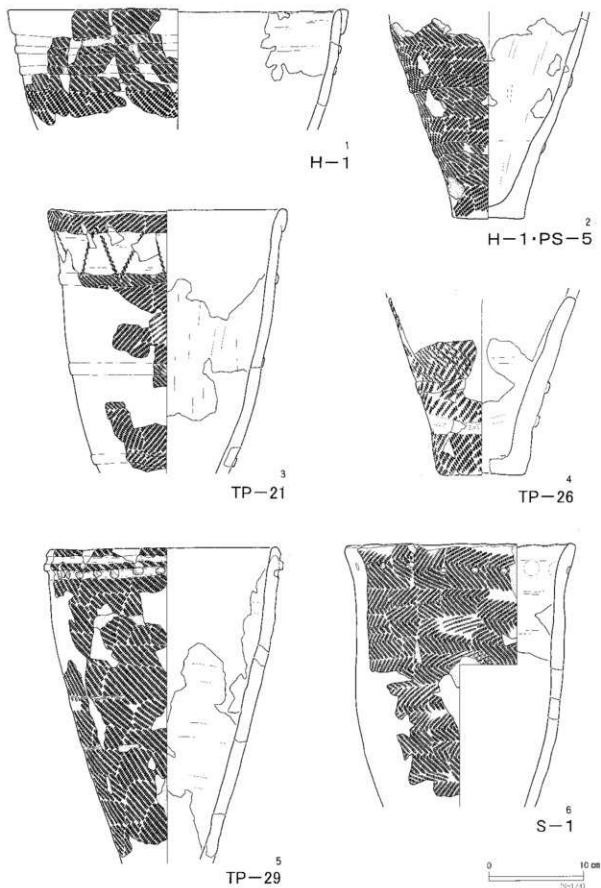


図56 上幌内4遺跡 遺構出土の復原土器(1)

縄文が施される。無文地にはR L縄線文、原体端部の回転圧痕と条が観察され、縄文を施した後、ナデ調整されたと判断される。R L縄線文は斜めに施され、端部は貼付上にみられる。IV群 a 類の糸市式である。

TP-26

4は幅広い胴部から下位へとすぼまり、底部は直立気味である。器形の変化点の外側は粘土のつなぎ目が観察され、ヨコナデである。地文は燃りの異なる原体で施され、重複する部分がみられる。IV群 a 類の糸市式である。

TP-29

5はL-22区出土のものに、TP-29出土の破片が1点接合した。口縁部から胴部上位まで直立気味で、そこから直線的にすぼまる器形を呈する。R L縄文を施した後、口唇部直下の器面には、ナデによる幅広い沈線文状の文様(凹線文)が施され、円形刺突文が横環する。凹線文の間は貼付帯様に見える。胎土には石英を多く含む。IV群 a 類のタブコブ式と考えられる。

S-1

6はわずかに開口する口縁部から頸部へと曲線的にすぼまり、さらに胴部上位が膨らみ、底部へとすぼまる器形である。LR・RL結束第1種羽状縄文と円形刺突文が施され、III群 b 類の北筒式と考えられる。

PS-1 (カラー図版3)

7はわずかに広がる口縁部から頸部ですぼまり、若干胴部の上位が膨らみ、その中位から底部へ直線的にすぼまる器形である。突起部が4か所の波状口縁である。突起部の先端は「M」字状に二股で、粘土の貼付により肥厚し、この部分に燃紐刻みが施される。器形の変化点である頸部には貼付帯が横環する。これより上位が口縁部文様帯で、突起下は粘土が菱形様に貼り付けられ、燃紐刻みや、円形や曲線的な縄線文が複数施される。これ以外では、3本1組の縄線文が水平、鋸歯状にみられる。燃紐刻みや縄線文の原体は、場所により燃りの異なるものが観察される。頸部の貼付帯より下位は結束第1種羽状縄文が整然と施され、内面は平滑でミガキ調整と判断される。III群 a 類の円筒土器上層 a 式と判断される。

PS-2 (カラー図版3)

8は注口土器である。外反する口縁は「く」の字状にくびれ、上部分は直線的、下は曲線的である。胴部の形状も曲線的で、上位に最大幅となるふくらみがあり、ゆるやかに底部へ至る。外面は全体に平滑で、ミガキ調整と考えられる。胴部には曲線的な沈線文で描かれた菱形がみられ、文様内の器面は一段低い。この沈線文の上面観は四つ葉にみえ、胴部下位には水平に横環する沈線文が施される。曲線的な注口部分は約55°の角度で立ち上がる。先端部はミガキにより明瞭な段差が作出され、付け根の下位には横長の楕円形の粘土が貼り付けられる。内面は丹念なナデ調整で、IV群 b 類の手稲式と判断される。

PS-3A

9はわずかに開く直線的な口縁部から胴部中位へすぼまり、そこから急角度で底部へ至る器形である。3本1組の直線的な条が水平に横環する部分が4か所みられ、縄線文と推測される。その間は燃糸文で、上半はRを用いた横走～斜行、下半は羽状である。内面はヨコナデと判断される。I群 b 類の東鋼路IV式である。

PS-3B

10は直立する口縁部から緩やかに平底の底部へとすぼまる器形を呈する。4か所の突起を有し、緩

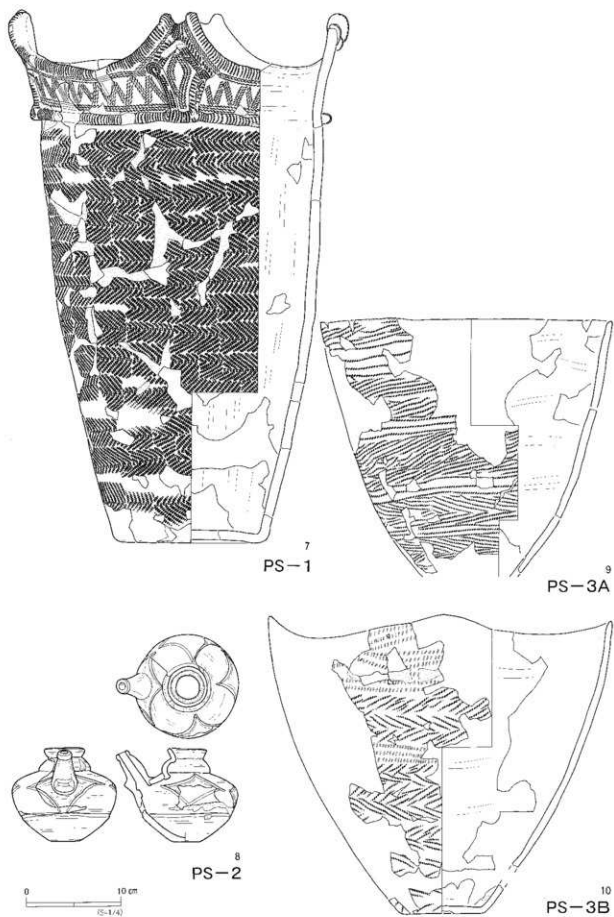


図57 上幌内4遺跡 遺構出土の復原土器(2)

やかな波状である。口縁部と胴部上位には右巻きの絡条体を用いた圧痕文が横位にみられ、その間は羽状燃糸文が施される。内面はヨコナデで、胴部下位は工具を用いた調整痕が観察される。I群b類の東銅路IV式である。

PS-5

11は外反する口縁部がすばまり、さらに胴部上位が若干曲線的に膨らみ、下位へ至る器形である。4か所の波状突起を有し、口唇部直下の器面は剥落痕が観察され、粘土が貼り付けられていたと推定される。口唇部に半截竹管状工具による施文が観察され、地文はLR縄文である。III群b類の柏木川式と考えられる。

PS-5A

12は口縁部から胴部中位まで直立気味で、そこからすばまり、底部付近はやや直立する器形である。別原体による羽状縄文を施し、原体端部の回転圧痕が残る。口縁部には貼付帯が3条みられ、1条目の下位の器面は条が不明瞭で、無文帯と考えられる。縦位方向の貼付と考えられる剥落痕がある。IV群a類の余市式である。

PS-5B

13は若干開く胴部上位から直線的に下位へすばまる器形である。貼付帯は4条みられ、別原体による羽状縄文が施される。IV群a類の余市式である。

PS-6

14は口縁部から胴部上位まで直立気味で、そこから底部へと直線的にすばまる器形である。緩やかな波状の突起を4か所有し、Lの燃紐を左右にそれぞれ巻いた絡条体による羽状燃糸文が施される。I群b類の東銅路IV式である。

PS-7

15は直立する口縁部から胴部中位に続き、そこから底部へとすばまる器形である。上面観は楕円形を呈し、底部は残存していないが実底と考えられる。地文はLR斜行縄文で、胎土には繊維を多く含み、胴部下半から底部は赤色化し、内外の器面は剥落が著しい。II群a類の静内中野式である。

包含層出土復原土器(図59 表51~53 図版19)

16・17は波状口縁で平底の鉢形土器である。16は大小の突起が合計4か所あり、地文はLR・RLの羽状縄文である。17はRの燃紐を用いた別の絡条体と考えられる不整な燃糸文が施される。これらはI群b類の東銅路IV式と考えられる。

18は直立する口縁部からそのまま底部へ至る筒形である。地文はLR斜行縄文で、口唇部、底外面、口縁部の内面にも施される。口唇部断面は切り出し形で、胎土に繊維を多く含み、外面は剥落が著しい。II群b類の植苗式と考えられる。

(2) 破片土器

遺構出土(図60 表54 図版20)

TP出土

1はTP-8出土でRL縄文が施される。2はTP-13出土で磨耗する。3はTP-16出土で、地文はRL、貼付帯上はLR縄文が施される。4・5はTP-20出土である。4はL左巻きの燃糸文が施される。5は胴部下位から底部で無文である。6はTP-21出土でLR縄文である。7はTP-22出土で、綾絡文が観察される。8はTP-24出土で、貼付帯が剥落し、地文はRLである。9はTP-25出土、10はTP-26出土、11はTP-27出土で、地文はLRである。12・13はTP-30出土で、12は絡条体による施文である。13は底部で胎土に石英が目立つ。1~3・6~9はIV群a類、4・5・

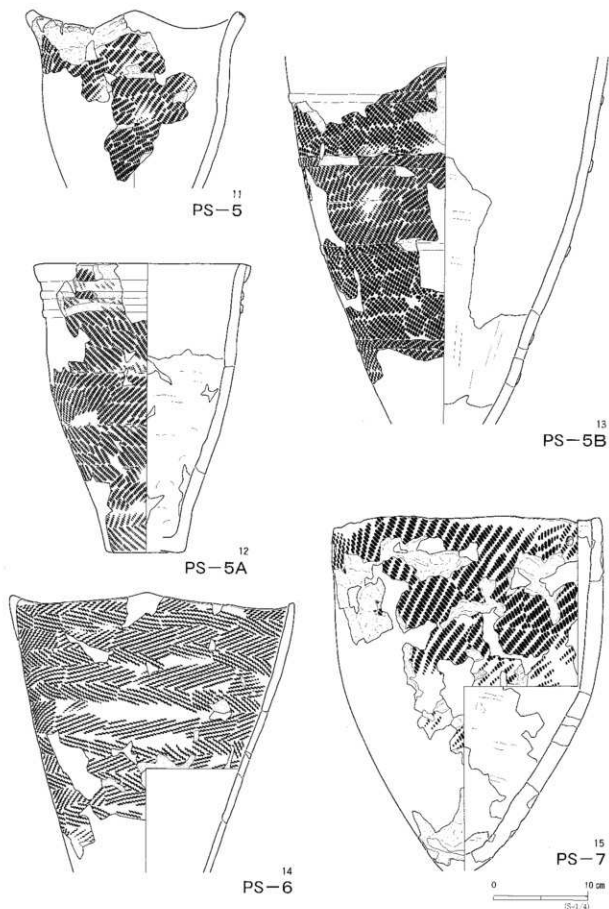


図58 上幌内4遺跡 遺構出土の復原土器(3)

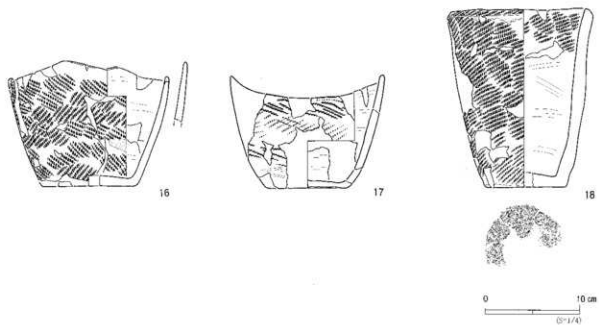


図59 上幌内4遺跡 包含層出土の復原土器

12はI群b類, 10・11はIII群b類, 13はIII群あるいはIV群と考えられる。

P S 出土

14～17はP S - 4 出土で, 14は撚りと巻き付け方向が同じ原体による羽状燃糸文が施される。15・16は同一個体で, 15は矢羽根状燃糸文, 16は羽状燃糸文がみられる。17は胴部下位から底部である。18～20はP S - 6 出土で, 18は口縁部で不整な羽状燃糸文が施される。19・20は同一個体で, 横走る条が観察される。14～20はI群b類の東銅路IV式である。

包含層出土(図61～63 表54 図版20・21)

I 群

21は口縁部に微隆起線文と絡条体圧痕文が施され, 胴部上位は自縄自巻のLR縄文, 下位は羽状燃糸文である。22は横走る燃糸文と斜めの条が観察される。23の羽状燃糸文はL左巻きとR右巻きである。24の燃糸文は整然としている。25・26は底部で外面は無文である。21～26はI群b類の東銅路IV式である。

II 群

27は条らしきものが観察される。28・29は胎土に繊維を含み, 撚りの異なる原体を用いた縄線文と地文が施され, 29の内面にも施文される。30・31は異なる原体による縄線文が施され, 地文は30が羽状縄文, 31はLRである。32は外面の施文がLR・RL原体で, 口唇部に縄線文が施される。33は口唇部断面が尖り気味で, 羽状縄文がみられる。34は磨耗するが, 羽状の条が観察される。35は縦走るLR縄文が施され, 内面はミガキである。27はIII群であるかもしれない。28～32は大麻V式と考えられ, 35は円筒土器下層式の可能性がある。

III 群

36は先端が二又の突起部で, 円形と曲線的な粘土が貼り付けられ, 頸部には水平横環する貼付帯が施される。貼付上や口唇部には燃紐刻みや縄線文がみられる。口縁部は「C」字形の刺突文と4本

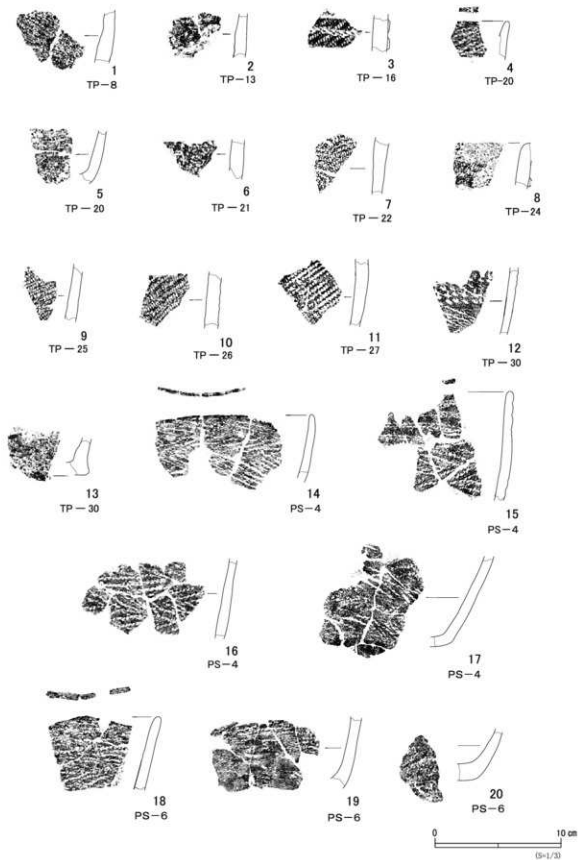


図60 上幌内4遺跡 V層出土の破片土器

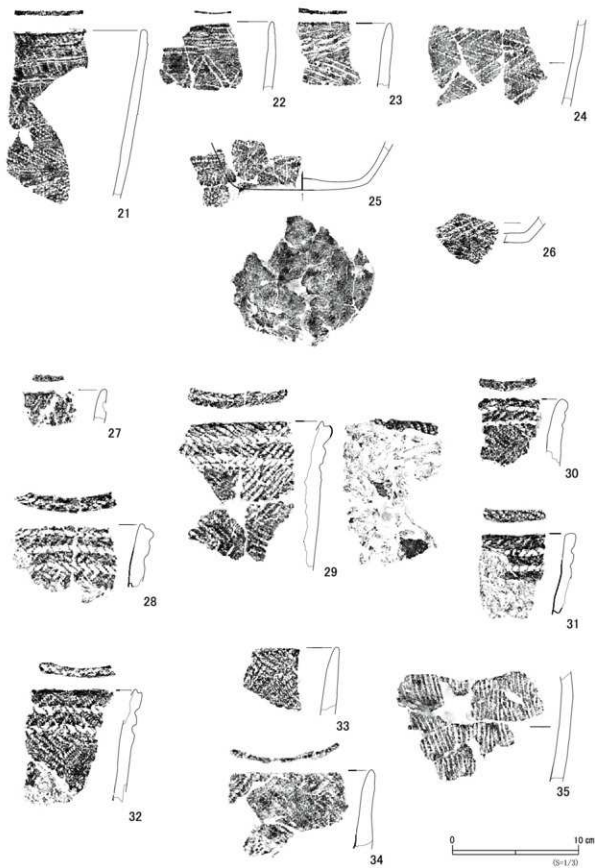


図61 上幌内4遺跡 包含層出土の破片土器(1)

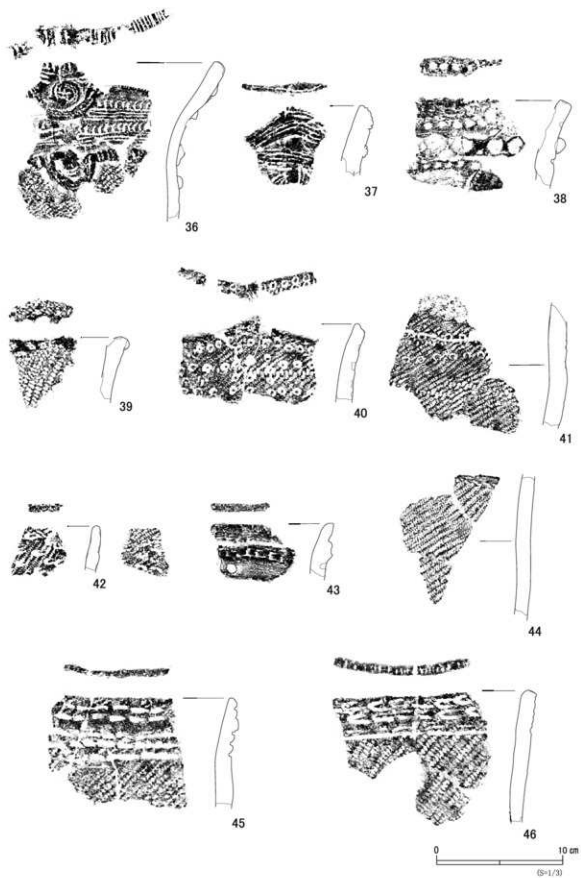


図62 上幌内4遺跡 包含層出土の破片土器(2)

並びの縄線文で、地文は結束第1種斜行縄文である。内面は丹念に調整され平滑である。37は突起部で貼付と半截竹管状工具による平行沈線文が施される。38は口唇部と器面に刺突文が施され、貼付上は指頭による施文である。39は口唇部直下の器面に貼付があり、刺突文が施される。40・41は同一個体と考えられ、地文はLR結束第1種斜行縄文で、円形を呈する刺突文が施される。この刺突文の施文工具は半截竹管状工具で、円形を呈する様に組み合わせて施したと観察される。42は内外面にLR縄文と刺突文が施され、内面には綾絡文らしきものがみられる。43・44は同一個体と考えられ、口縁部はナデ調整の無文地に貼付帯があり、その上に刺突文、器面には円形刺突文が施される。44は無文地と縄文地の境にLR縄線文がみられる。45は口唇部直下の器面に粘土が貼り付けられ、刺突文が施される。46は半截竹管状工具による施文で、最下段の押し文は深く施され、沈線文のようである。36はa類の円筒土器上層c式、37はb類の萩ヶ岡式、38～42・45・46は柏木川式、43・44は北筒式である。

IV群

47は器面にRL原体による施文の後、貼付帯が施される。48の地文はLRで、貼付帯上は然りの異なる原体で施文される。49は器面が羽状縄文で、貼付帯上はLRである。50はLR縄文と縄線文が施される。51は磨耗のため地文が不明で、RL縄線文が2条観察される。52はLR縄文で、内外面が黒色化する。53～55は底部でいずれも直立気味に胴部へと立ち上がる。54はLR、55はRL縄文が施される。47～49は余市式、50・51はタブコブ式である。

3. 石器等

(1) 遺構出土の石器(図64～70 表55 図版22～25)

剥片石器

H出土

1・2はH-1出土である。1は石槍・ナイフで基部は破損し、背面中央付近の剥離の稜が一部磨滅する。2は両面加工の大型のつまみ付きナイフで、つまみ部付近には背腹両面に原礫面が残る。

TP出土

3はTP-4出土の石鏃で先端部を破損し、形状は柳葉形と考えられる。4・5・6はTP-16出土である。4は左右非対称の石鏃である。5は両面加工のつまみ付きナイフ、つまみ部上端は折れ面で、右側縁に急角度の刃部を有する。6はスクレイパーで、背面を主として二次加工される。両側縁はやや鋸歯状で、下端部には急角度の刃部がある。7・8はTP-25出土である。7はつまみ付きナイフで両面加工である。右側縁の刃部は急角度で、下端部の左側縁には槇状剥離がみられる。8はスクレイパーで、縦長剥片の両側縁と下端部に刃部がある。

FC出土

9・10はFC-1出土である。9は両面加工のスクレイパーで上部を破損し、10は石核である。背面には上下端部からの縦長の剥離がみられ、原礫面が残る。腹面は右側縁からの剥離がある。

礫石器

H出土

11～17はH-1出土で、13～15・17は黒色化する。11は磨製石斧で刃部を破損する。下端の割れ面や両側面にたたき痕があり、転用品と考える。12・14はすり石である。12は片岩製で表裏両面に平滑なすり面がある。14は床面直上出土で、表裏両面と下部部にすり痕を有する。下部部は剥離調整後に使用されている。13はたたき石で覆土B層と床面直上出土のものが接合した。割れ口付近の側縁は完全に一致しないので、割れた後も個々で使用された可能性がある。15・16は砥石である。15は床面出

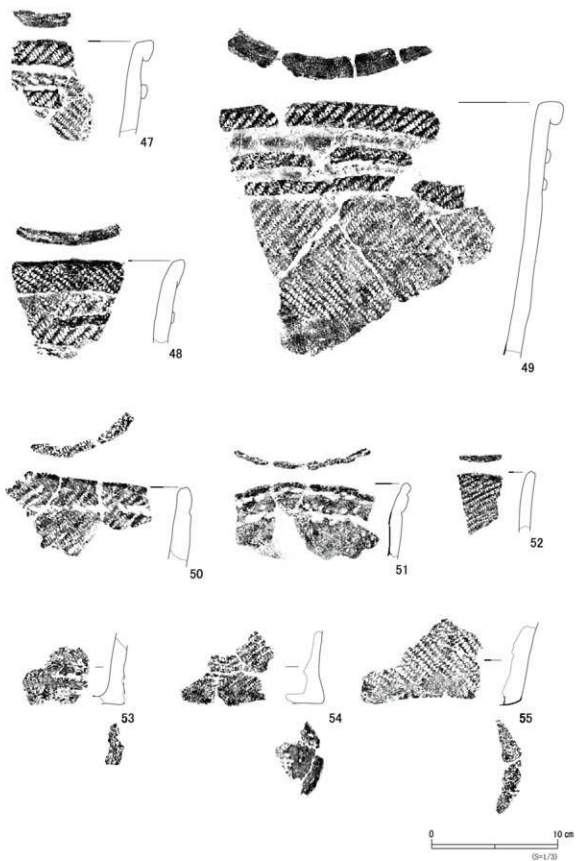


図63 上幌内4遺跡 包含層出土の破片土器(3)

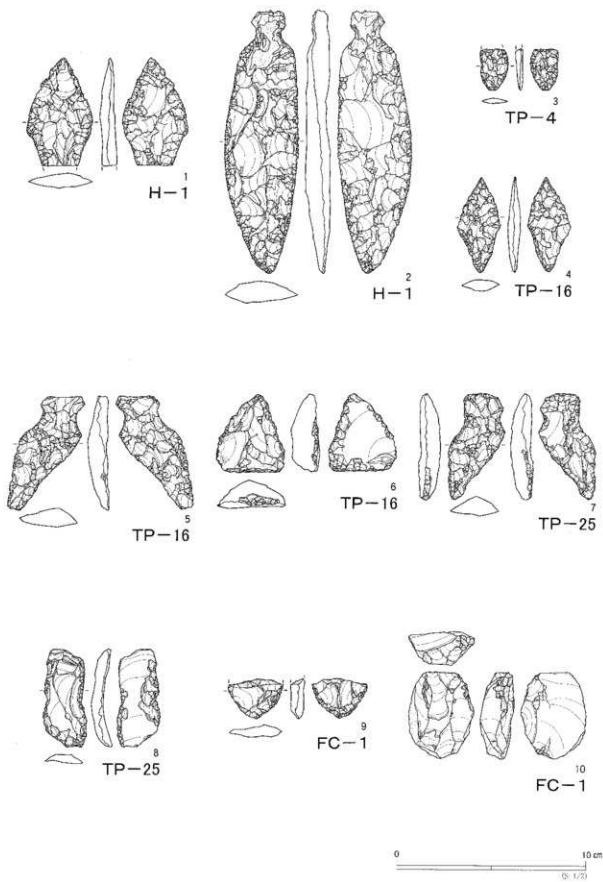


図64 上幌内4遺跡 遺構出土の剥片石器

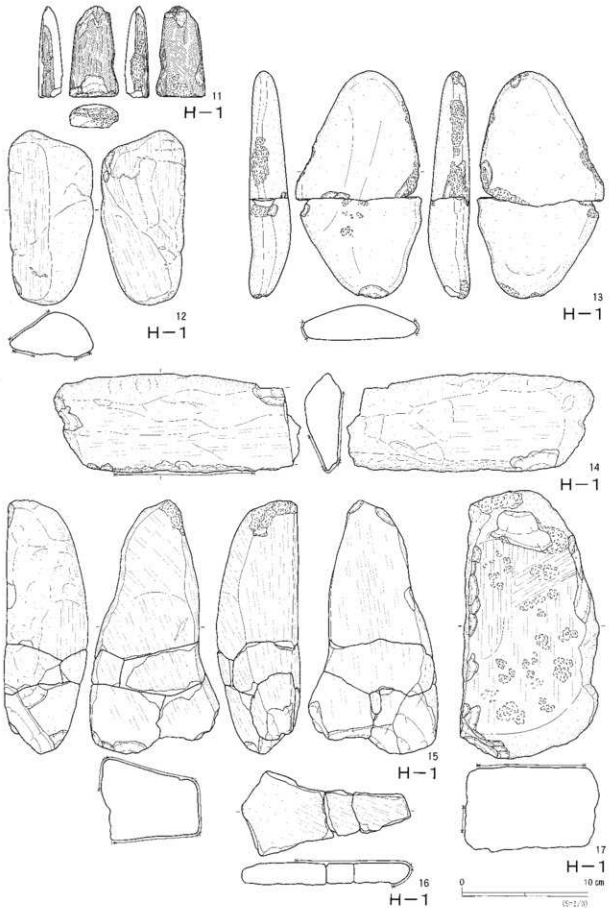


図65 上幌内4遺跡 遺構出土の礫石器(1)

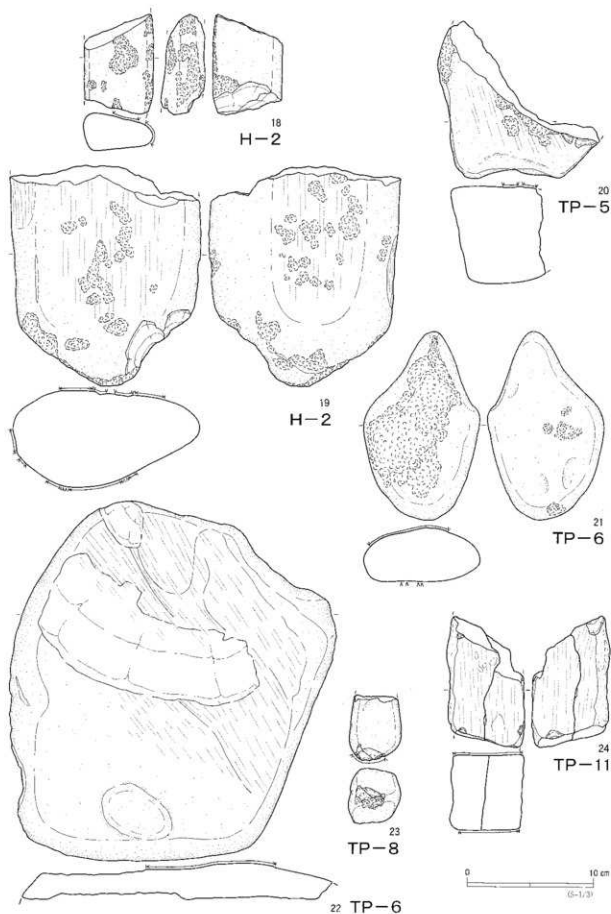


図66 上幌内4遺跡 遺構出土の礫石器(2)

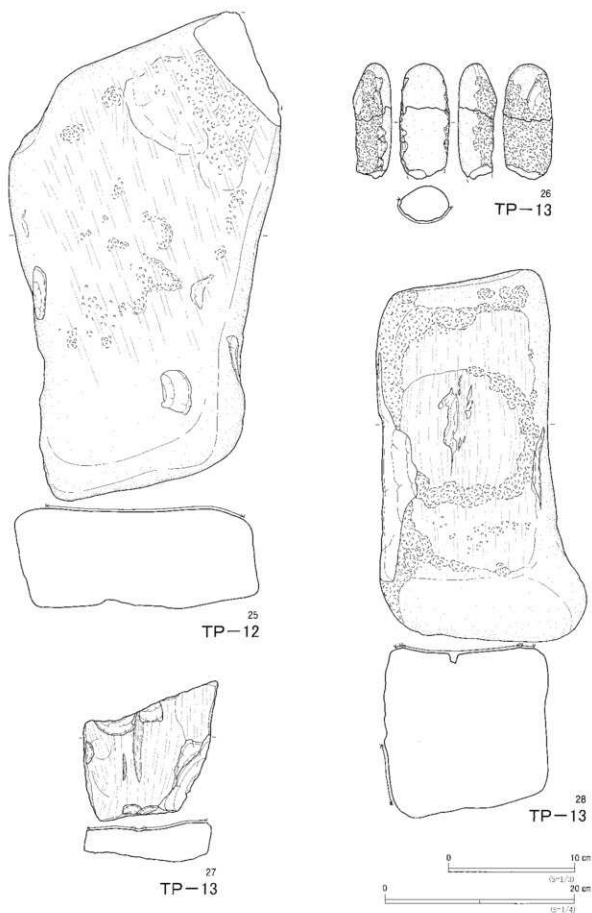


図67 上幌内4遺跡 遺構出土の礫石器(3)

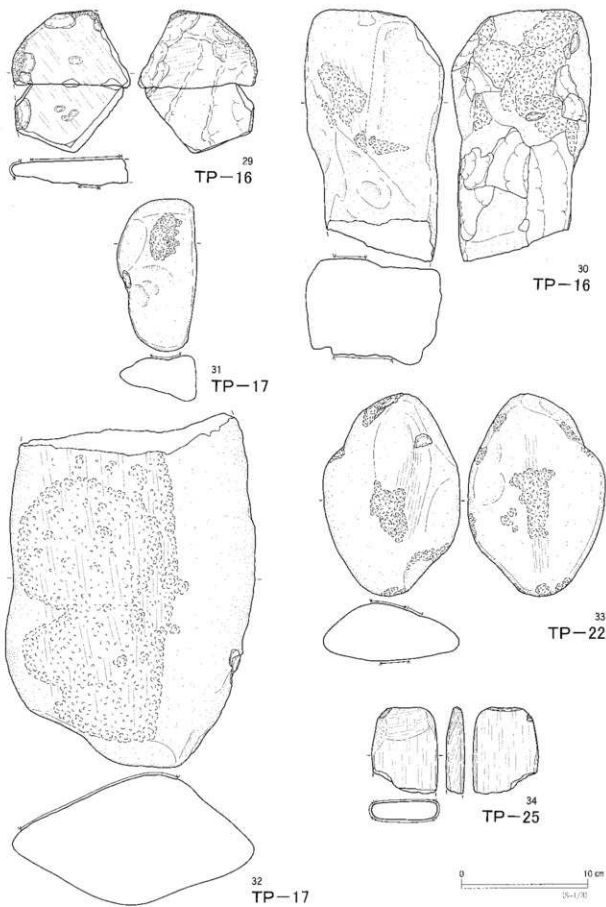


図68 上幌内4遺跡 遺構出土の礫石器(4)

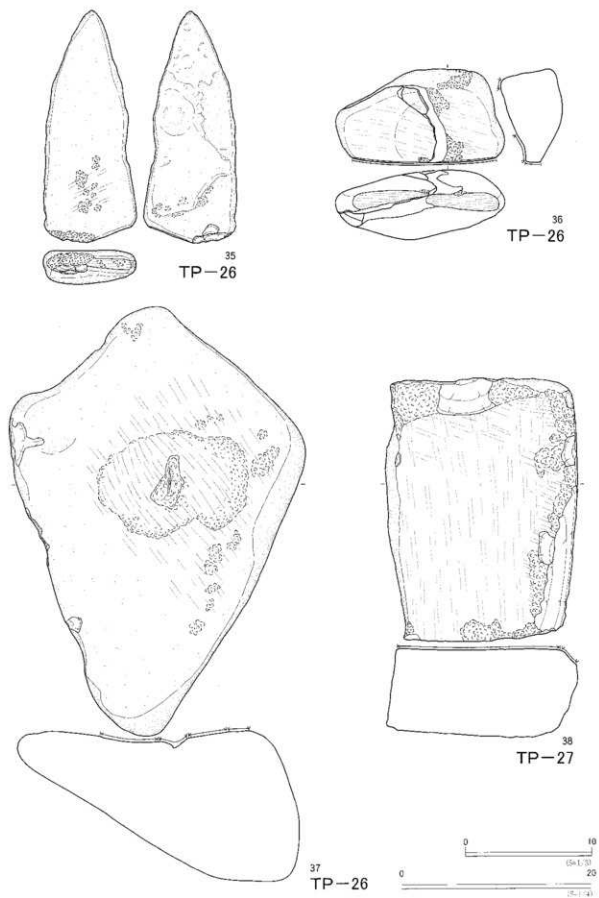


図69 上幌内4遺跡 遺構出土の礫石器(5)

土で、表裏両面と右側面に明瞭な砥面がみられる。左側面の一部にもすり痕があり、いわゆる四面砥石である。16は板状の砂岩製で、表面と右側縁面に使用痕がある。17は台石・石皿で表面に平坦なすり面が残る。左側面の割れ面にも使用痕がみられる。

18・19はH-2出土である。18はたたき石で上下両端を破損する。たたき痕は、表裏両面のもは若干くぼみ、側面は細かいものが密集する。19は台石・石皿である。表裏両面にすり痕、たたき痕がみられ、表面のたたき痕は深く、凹状にくぼむ。

T P 出土

20はT P-5出土の台石・石皿で上部が破損する。表面に平坦なすり面とたたき痕がある。一部に黒色化と赤色化がみられる。21・22はT P-6出土である。21はたたき石で、表面にたたき痕が広範囲にみられる。22は台石・石皿で裏面が破損する。表面上部の大きな剥離の周辺にすり面があり、剥離面は黒色化する。23はT P-8出土のたたき石で、上部が破損する。尖った形状の下端部に剥落痕、たたき痕がみられる。24はT P-11出土の砥石である。表裏両面に平坦な砥面がある。25はT P-12出土の台石・石皿である。剥離痕や微細なたたき痕、すり面がみられる。26~28はT P-13出土である。26はたたき石で下端部を破損する。側面から裏面にかけてたたき痕があり、表面は黒色化する。27は砥石で、表面にくぼみ状の砥面があり、一部溝状の使用痕がみられる。28は台石・石皿で、表面と右側面に使用痕がある。表面の中央部分には曲線的にくぼむすり面と溝状の使用痕が数か所みられる。29・30はT P-16出土である。29は砥石で、表裏両面に平坦な使用痕がある。30は台石・石皿で、表裏両面に微細なたたき痕があり、表面にはすり痕もみられる。31・32はT P-17出土である。31はたたき石で、表面に凹状のたたき痕が1か所みられる。32は台石・石皿で、表面にすり痕と細かなたたき痕がある。33はT P-22出土のたたき石で、表裏両面の中央や側縁にたたき痕がみられる。34はT P-25出土のすり石で下側部分を破損する。全体にすり面がある。35~37はT P-27出土である。35はたたき石で、表裏両面に使用痕が部分的にみられ、下端部にはたたき痕とすり痕がみられる。36は断面が三角形のすり石で、表面と下端部にすり面がある。37は台石・石皿である。表面の中央は敲打後に、使用されたと考えられ、曲線的にくぼむすり面がある。38はT P-27出土の砥石で、表面の全部と裏面上部の一部に平坦な砥面がある。39・40はT P-31出土の台石・石皿である。39は全体の約3分の1が残存し、平坦面に使用痕が確認できる。割れ面以外は赤色化、黒色化する。40は3点が接合し、およそ半分が残存する。表面は部分的にたたき痕、全体的にすり痕がみられる。

F 出土

41はF-1出土のたたき石で下端部が破損する。表裏両面に剥離痕とたたき痕があり、表面にはすり痕がある。

S 出土

42~46はS-1出土で、いずれも全体が赤色化し一部黒色化もみられる。42・43はすり石で、平坦面にすり痕があり、43には下端部にも使用痕がみられる。44~46は台石・石皿で、44は表裏両面にすり面、表面はたたき痕が部分的にみられる。45は4点が接合し、表面全体にすり痕がある。46は表面にたたき痕とすり痕がある。

(2) 包含層出土の石器

剥片石器(図71・72 表56 図版26)

1~15は石鏃である。1・2は三角形で、基部形状は1が直線的、2はやや内湾する。3~11は菱形である。3は小型で腹面に主要剥離面を広く残す。4は左側縁の先端部が破損する。5は左右非対称で、背面に原礫面を残し、全体に厚みがある。6は側縁部がやや鋸歯状である。7は先端部左側の

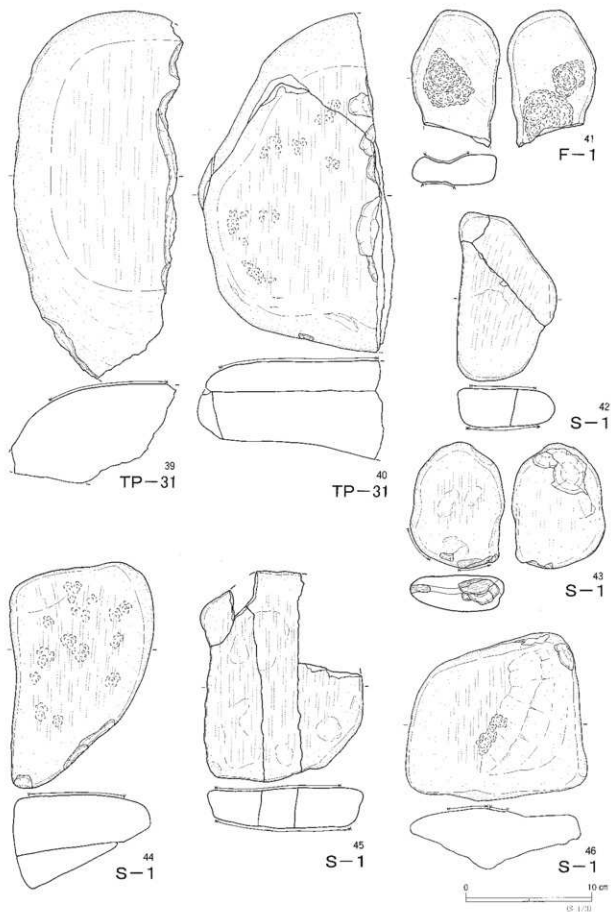


図70 上幌内4遺跡 遺構出土の礫石器(6)

折れ面を再加工し、形状を整えている。8は厚みがあり、左右非対称である。9は両面に丹念な加工がみられる。10は粗い二次加工が施され、側縁部が鋸歯状である。腹面は基部や周縁のみが加工される。11は細身で薄い。12～15は有茎である。12は先端部の右側縁がやや内湾する。13は刃部の左側縁が直線的、右側縁が曲線的である。14は両側縁が曲線的である。15は茎部が幅広で、左右非対称である。

16～21は石槍・ナイフである。16は頁岩製で長いものである。背面の下半部分は急角度の刃部で、中央部分は厚みが残る。17・18・19は側縁が鋸歯状である。18・19は厚みがあり、18は棒状に近い形状、19は比して粗い二次調整である。20は基部が直線的で、21は有茎で曲線的な刃部をもつ。

22～24は石錐である。22は棒状で、背面に原礫面を残す。腹面は広い剥離面があり、上下端部に二次加工が施される。23・24はつまみ付きナイフを転用したもので、背腹両面に広い剥離面が残る。23はつまみ部や下端部などの周縁に二次加工がみられる。被熱によるためか光沢がない。24は赤褐色を呈する黒曜石製である。側縁は急角度で、機能部は細い加工である。

25～29はつまみ付きナイフである。いずれも右側縁部に二次調整がみられ、下端部は尖る。25は上端部に原礫面を残す。26・27・28の右側縁の刃部は急角度である。26は背面と腹面右側縁に加工がみられ、27は刃部がやや内湾する。28は両面加工で、背面の右側縁の刃部は急角度で、腹面は平坦な剥離が施される。29は、ねじれのある剥片を素材とする。

30～39はスクレイパーである。30～34は縦長剥片の側縁に刃部をもつものである。30は背面に原礫面が広く残る。両側縁に刃部を有し、左側縁は鋸歯状である。31は右側縁が背面、左側縁は腹面に微細な剥離痕がある。32は左側縁にある刃部がやや内湾する。33は両側縁と下縁に刃部があり、後者は急角度である。34は背面の右側縁から下縁に原礫面が残り、左側縁に内湾する刃部がみられる。35は背面上部の両側縁と下縁に刃部がみられる。36は背腹両面に原礫面が残り、左側縁に外湾する刃部がある。37・38の刃部は外湾するものである。37は両側縁と下縁の一部に刃部があり、被熱によるためか光沢がない。38は円形で、上縁部を除く部分に曲線的な刃部がある。39は縦長の剥片の両側縁に挟まれる部分があり、背面に微細な剥離痕がある。

40～44は石核で、40・41が黒曜石、42～44がチャートである。40は主に表面に剥離面があり、裏面と下端部は原礫面である。41は上部の原礫面を打面とする複数の剥離面がある。42は上面の打面からの剥離が多いが、一部下面からの剥離もみられる。43は裏面下半と下端部に原礫面があり、打面を変えて複数の剥離がなされる。44は上面からの複数の剥離痕が表面にみられ、裏面は原礫面である。

礫石器(図73～77 表56 図版27～30)

45～47は磨製石斧である。45は裏面中央に溝状のすり面が斜めにみられ、その部分が黒色化する。46は細長い形状で両側面も研磨される。47は刃部に多くの剥離痕がみられる。

48～54はたたき石である。48は緑色泥岩製で全周縁に細かなたたき痕がみられる。49～51は広く平坦な面に複数の凹状のたたき痕がみられる。49は表面の中央付近に凹状のたたき痕が2か所あり、裏面にはすり痕と浅いたたき痕がある。50・51は表裏両面に2か所ずつ凹状のたたき痕がある。50は左側縁にすり痕とたたき痕がある。52は断面三角形の稜部に部分的なたたき痕があり、一部黒色化する。53は下端部と側縁部にたたき痕があり、表裏の平坦面にすり痕と部分的に浅いたたき痕がみられる。54は両側縁の上部にたたき痕がみられる。

55～60はすり石である。55はほぼ全面にすり痕がある。右側面には線状の深い使用痕がみられ、表面には凹状のたたき痕がある。56～58は扁平な礫の表裏両面にすり痕がある。56は上端部にたたき痕があり、57・58は全面に平滑な面がみられる。59は断面三角形の素材を用い、一つの稜に平坦なすり面、上端部に剥離痕とたたき痕がみられる。60は扁平な礫の下端部に平坦なすり面がある。上部は剥

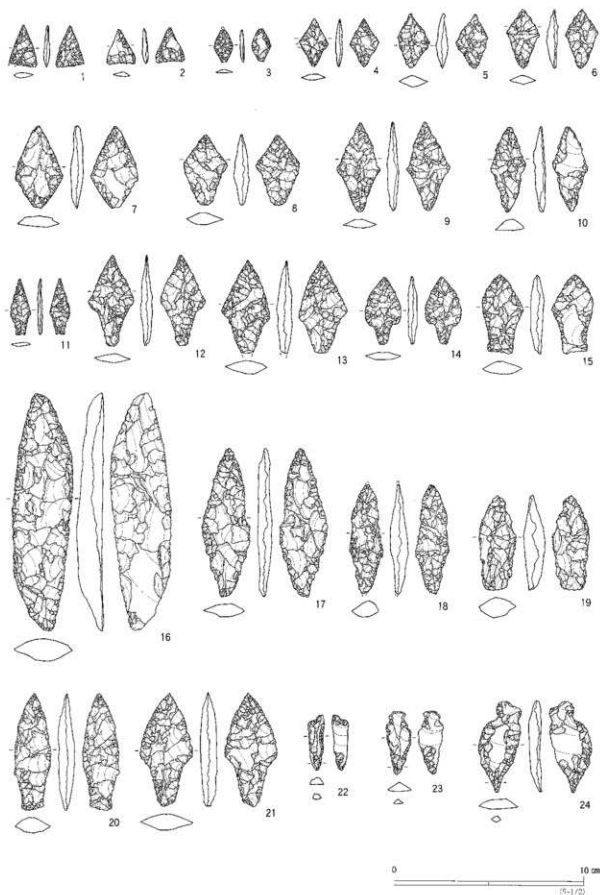


図71 上幌内4遺跡 包含層出土の剥片石器(1)

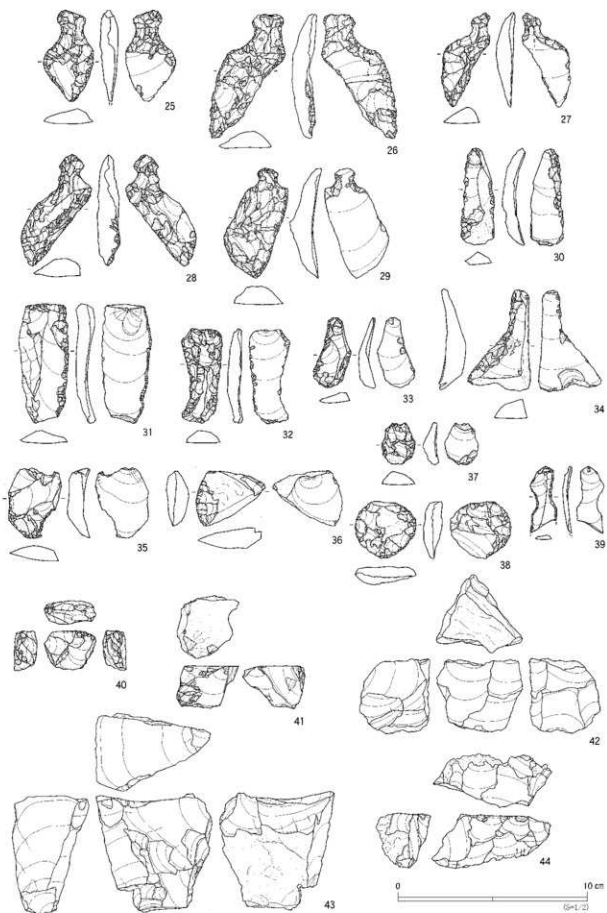


図72 上幌内4遺跡 包含層出土の剥片石器(2)

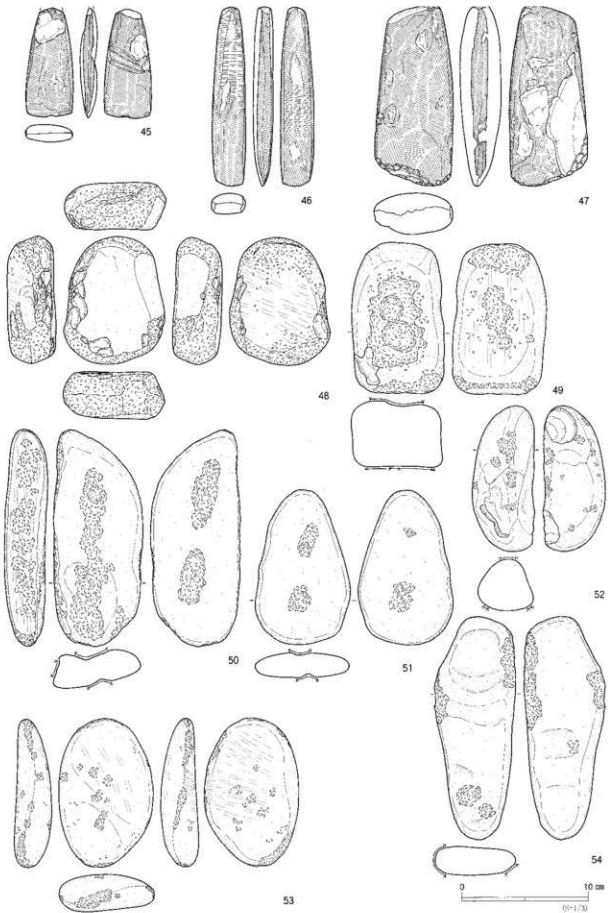


図73 上幌内4遺跡 包含層出土の礫石器(1)

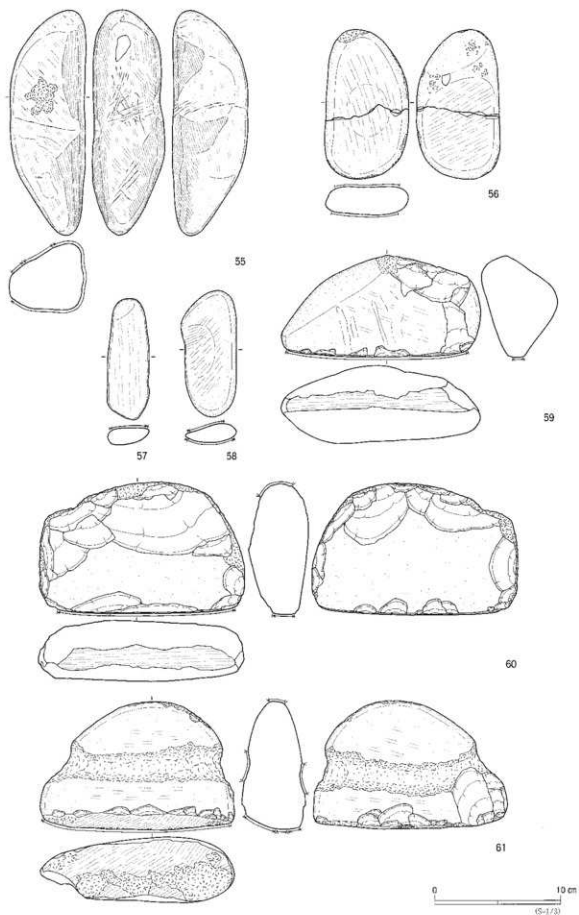


図74 上幌内4遺跡 包含層出土の礫石器(2)

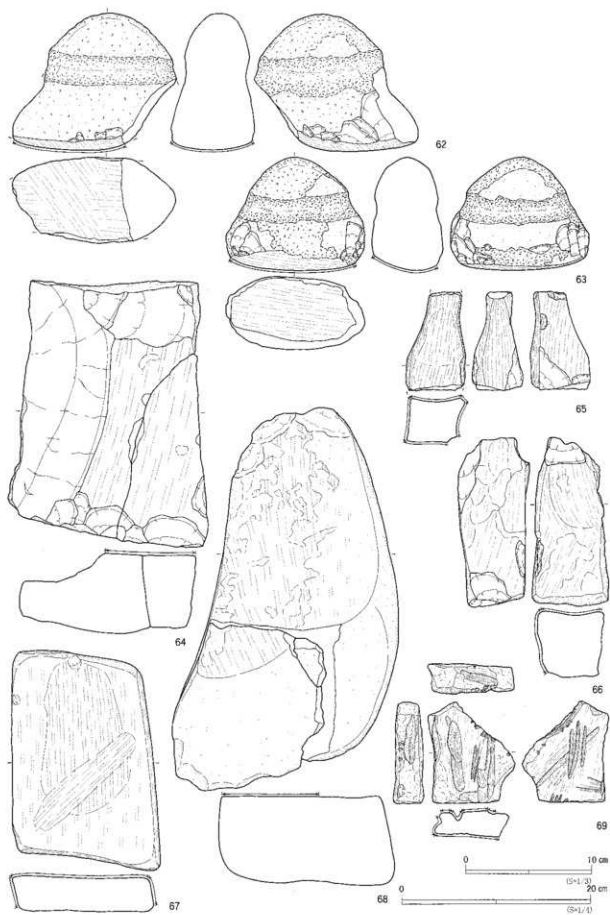


図75 上幌内4遺跡 包含層出土の礫石器(3)

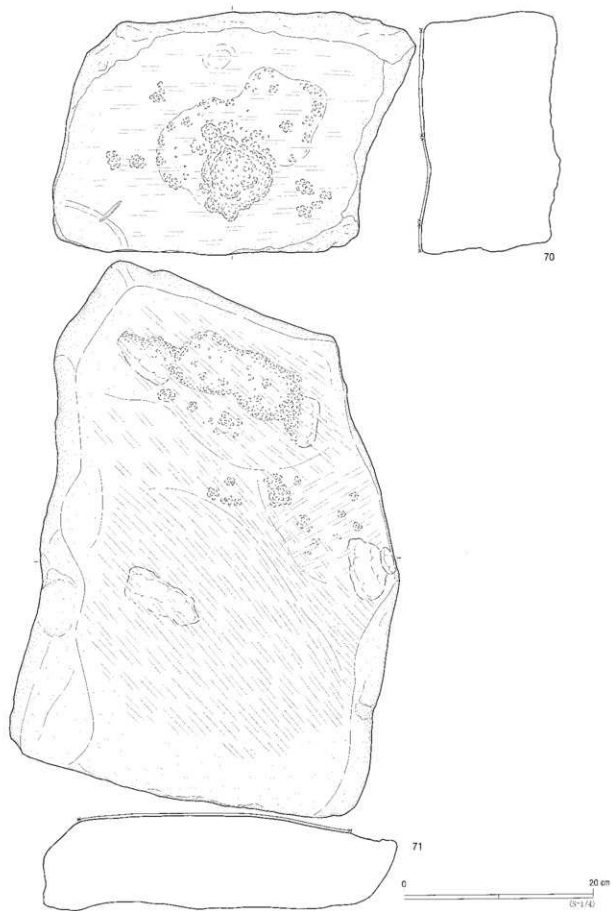


図76 上幌内4遺跡 包含層出土の礫石器(4)

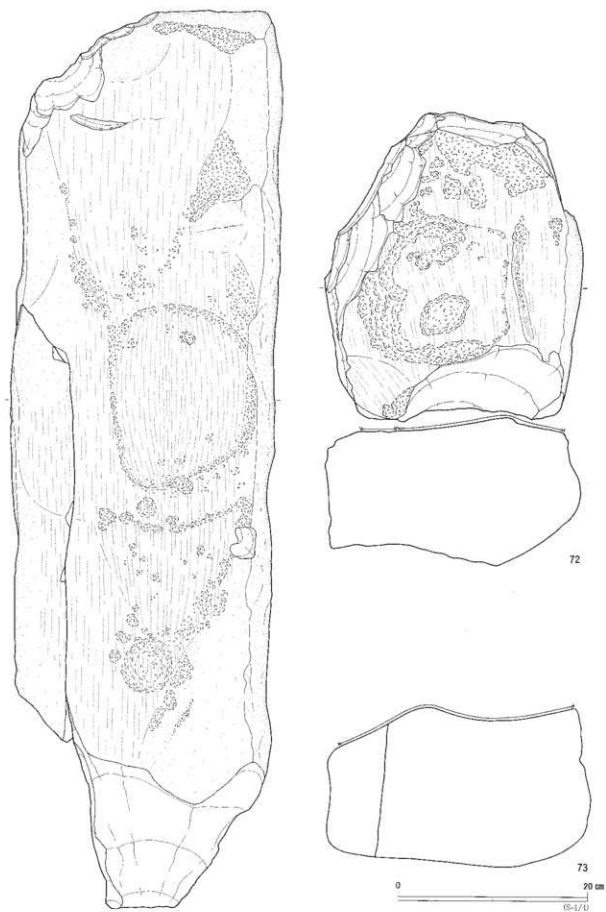


図77 上幌内4遺跡 包含層出土の礫石器(5)

離痕と敲打痕が残り、全体が赤色化する。

61～63は北海道式石冠である。扁平な礫を素材とし、下縁の形状は曲線的、下端面に幅広なすり面を有する。また、敲打による全周する溝状の加工がみられ、持ち手部分を作り出している。61は上端部とすり面にたたき痕がみられる。62は左右の側縁部が破損する。63は表裏両面の左右の下方に剥離痕がみられる。また、62・63の持ち手部分の敲打痕は磨滅し不明瞭である。

64～69は砥石である。64は板状の素材で表面に平坦な砥面と大きな剥離痕がある。65は表裏と側面に湾曲する砥面がみられる。66は角柱状の素材で表面と左側面に使用痕がある。67は扁平な礫を素材とし、表面に砥面、側面に使用痕がある。68は平たい礫の割れ面に使用痕がみられる。69は右側面以外に、平坦もしくは溝状の使用痕がある。

70～72は台石・石皿である。70はたたき痕が多いが、すり痕も確認できる。71はQ-26区のV層上面でみつきり、図化した面を上にした状態で出土した大型のものである(図版30)。表面に広くすり面がみられ、剥離痕やたたき痕もみられる。72は表面にすり面があり、中央付近は皿状にくぼむ。剥離痕やたたき痕も観察される。73はQ-25区のV層上面でみつかった大型の角柱状のもので、図化した面を上にした状態で出土した(図版30)。表面にはすり面とたたき痕があり、中央付近に明瞭なくぼみの使用面がある。上下端には剥離痕がみられ、下端部は尖る形状である。

石製品(図78 表56 図版30)

74は深緑色を呈する橄欖岩製の玉で、円形かつ扁平である。上部に位置する孔は表裏両面から穿たれて、下端一部が破損する。75は砂岩製で、表裏両面の周縁に多数の線刻がみられる。全体が黒色化する。76は砂岩製で全面に研磨痕がみられ、上端部が尖り、下端部が丸い形状で、意図して作出したものか、使用の結果なのか判断できない。表裏両面の中央付近はややくぼみ、その周囲には溝状のすり痕がみられる。77・78は小型の北海道式石冠で、敲打による溝状の加工が全周し丹念に作られている。上端部にも敲打痕がみられ、下端面は、77はすり痕、78は割れ面である。

(末光)

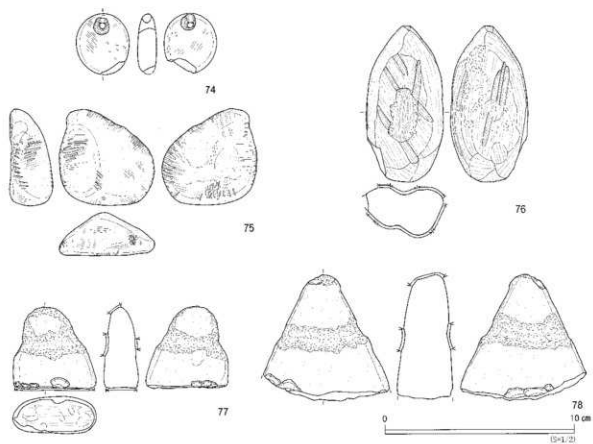


図78 上幌内4遺跡 包含層出土の石製品

表30 上幌内4遺跡 遺構出土土器点数表

遺構位置・層位	遺構	土器	P1-1												P1-2												P1-3												P1-4												P1-5												P1-6												P1-7												P1-8												P1-9												P1-10												P1-11												P1-12												P1-13												P1-14												P1-15												P1-16												P1-17												P1-18												P1-19												P1-20												P1-21												P1-22												P1-23												P1-24												P1-25												P1-26												P1-27												P1-28												P1-29												P1-30												P1-31												P1-32												P1-33												P1-34												P1-35												P1-36												P1-37												P1-38												P1-39												P1-40												P1-41												P1-42												P1-43												P1-44												P1-45												P1-46												P1-47												P1-48												P1-49												P1-50												P1-51												P1-52												P1-53												P1-54												P1-55												P1-56												P1-57												P1-58												P1-59												P1-60												P1-61												P1-62												P1-63												P1-64												P1-65												P1-66												P1-67												P1-68												P1-69												P1-70												P1-71												P1-72												P1-73												P1-74												P1-75												P1-76												P1-77												P1-78												P1-79												P1-80												P1-81												P1-82												P1-83												P1-84												P1-85												P1-86												P1-87												P1-88												P1-89												P1-90												P1-91												P1-92												P1-93												P1-94												P1-95												P1-96												P1-97												P1-98												P1-99												P1-100												P1-101												P1-102												P1-103												P1-104												P1-105												P1-106												P1-107												P1-108												P1-109												P1-110												P1-111												P1-112												P1-113												P1-114												P1-115												P1-116												P1-117												P1-118												P1-119												P1-120												P1-121												P1-122												P1-123												P1-124												P1-125												P1-126												P1-127												P1-128												P1-129												P1-130												P1-131												P1-132												P1-133												P1-134												P1-135												P1-136												P1-137												P1-138												P1-139												P1-140												P1-141												P1-142												P1-143												P1-144												P1-145												P1-146												P1-147												P1-148												P1-149												P1-150												P1-151												P1-152												P1-153												P1-154												P1-155												P1-156												P1-157												P1-158												P1-159												P1-160												P1-161												P1-162												P1-163												P1-164												P1-165												P1-166												P1-167												P1-168												P1-169												P1-170												P1-171												P1-172												P1-173												P1-174												P1-175												P1-176												P1-177												P1-178												P1-179												P1-180												P1-181												P1-182												P1-183												P1-184												P1-185												P1-186												P1-187												P1-188												P1-189												P1-190												P1-191												P1-192												P1-193												P1-194												P1-195												P1-196												P1-197												P1-198												P1-199												P1-200											
			遺構位置	層位	土器	...																																																																																																																								合計	...																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
口縁部																																																																																																																								合計	...																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
腹部																																																																																																																								合計	...																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
底部																																																																																																																								合計	...																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
不明																																																																																																																								合計	...																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
合計																																																																																																																								合計	...																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

遺構位置・層位	遺構	土器	P1-1												P1-2												P1-3												P1-4												P1-5												P1-6												P1-7												P1-8												P1-9												P1-10												P1-11												P1-12												P1-13												P1-14												P1-15												P1-16												P1-17												P1-18												P1-19												P1-20												P1-21												P1-22												P1-23												P1-24												P1-25												P1-26												P1-27												P1-28												P1-29												P1-30												P1-31												P1-32												P1-33												P1-34												P1-35												P1-36												P1-37												P1-38												P1-39												P1-40												P1-41												P1-42												P1-43												P1-44												P1-45												P1-46												P1-47												P1-48												P1-49												P1-50												P1-51												P1-52												P1-53												P1-54												P1-55												P1-56												P1-57												P1-58												P1-59												P1-60												P1-61												P1-62												P1-63												P1-64												P1-65												P1-66												P1-67												P1-68												P1-69												P1-70												P1-71												P1-72												P1-73												P1-74												P1-75												P1-76												P1-77												P1-78												P1-79												P1-80												P1-81												P1-82												P1-83												P1-84												P1-85												P1-86												P1-87												P1-88												P1-89												P1-90												P1-91												P1-92												P1-93												P1-94												P1-95												P1-96												P1-97												P1-98												P1-99												P1-100												P1-101												P1-102												P1-103												P1-104												P1-105												P1-106												P1-107												P1-108												P1-109												P1-110												P1-111												P1-112												P1-113												P1-114												P1-115												P1-116												P1-117												P1-118												P1-119												P1-120												P1-121												P1-122												P1-123												P1-124												P1-125												P1-126												P1-127												P1-128												P1-129												P1-130												P1-131												P1-132												P1-133												P1-134												P1-135												P1-136												P1-137												P1-138												P1-139												P1-140												P1-141												P1-142												P1-143												P1-144												P1-145												P1-146												P1-147												P1-148												P1-149												P1-150												P1-151												P1-152												P1-153												P1-154												P1-155												P1-156												P1-157												P1-158												P1-159												P1-160												P1-161												P1-162												P1-163												P1-164												P1-165												P1-166												P1-167												P1-168												P1-169												P1-170												P1-171												P1-172												P1-173												P1-174												P1-175												P1-176												P1-177												P1-178												P1-179												P1-180												P1-181												P1-182												P1-183												P1-184												P1-185												P1-186												P1-187												P1-188												P1-189												P1-190												P1-191												P1-192												P1-193												P1-194												P1-195												P1-196												P1-197												P1-198												P1-199												P1-200											
			遺構位置	層位	土器	...																																																																																																																								合計	...																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
口縁部																																																																																																																								合計	...																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
腹部																																																																																																																								合計	...																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
底部																																																																																																																								合計	...																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
不明																																																																																																																								合計	...																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
合計																																																																																																																								合計	...																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

表31 上幌内4遺跡 遺構出土副片石器点数表

遺物名	US-2		H-1		H-2		TP-2	TP-4	TP-7	TP-9	TP-10	TP-11	TP-12	TP-13	TP-14	合計
	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	
石核	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
片	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アタラ	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
つばみ付石アタラ	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スローバール	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
U-3アタラ	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	0	13	1	8	1	0	1	2	1	2	1	2	1	6	52
フレタ	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	7	13	7	1	0	1	2	1	2	1	2	1	6	6	53
跡石	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	7	30	7	20	1	1	1	2	2	2	1	2	2	3	3	66

遺物名	TP-15		TP-16	TP-17	TP-19	TP-20	TP-24	TP-25	TP-26	TP-28	TP-29	TP-30	TP-31	TP-32	TP-33	TP-34	合計
	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	数量	
石核	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
片	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
アタラ	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
つばみ付石アタラ	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
スローバール	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
U-3アタラ	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	5	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	11	
フレタ	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	5	9	1	5	13	2	0	2	1	1	2	1	2	4	2	47
跡石	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	5	14	1	5	14	2	1	2	2	1	2	2	2	1	2	2	65

遺物名	P5-1		P5-7		FC-1		FC-2		合計
	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	数量	遺物名・単位	数量	
石核	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0
片	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0
アタラ	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0
つばみ付石アタラ	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0
スローバール	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0
U-3アタラ	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0
フレタ	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0
跡石	遺物名	—	—	—	—	—	—	—	—
	単位	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表32 上幌内4遺跡 遺構出土礫石器・レキ点数表

遺跡	遺構	層位	種類	T1-10		T1-20		T1-30		T1-40		T1-50		T1-60		T1-70		T1-80		T1-90		合計			
				小砂	中砂	大砂	小砂	中砂	大砂	小砂	中砂	大砂	小砂	中砂	大砂	小砂	中砂	大砂	小砂	中砂	大砂	小砂	中砂	大砂	小砂
遺跡C	埋藏	埋	遺物																						
			土																						
			陶器																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
遺跡D	埋藏	埋	遺物																						
			土																						
			陶器																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
遺跡E	埋藏	埋	遺物																						
			土																						
			陶器																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
遺跡F	埋藏	埋	遺物																						
			土																						
			陶器																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
遺跡G	埋藏	埋	遺物																						
			土																						
			陶器																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
遺跡H	埋藏	埋	遺物																						
			土																						
			陶器																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
遺跡I	埋藏	埋	遺物																						
			土																						
			陶器																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
遺跡J	埋藏	埋	遺物																						
			土																						
			陶器																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
			土																						
合計			7	3	9	14	4	8	5	2	12	7	4	2	10	4	10	4	17	1		16	100		

表33 上幌内4遺跡 包含層出土土器点数表

遺物種別 / 層位		Ⅲ層		V層		その他 (I層・F層)		合計	
時期	部位	残存状態							
I群	複数部位								0
	口縁部	良好		63	65		0	63	65
		剥離	0	1		1			
		磨耗		1		1			
		小破片		1		1			
	底部	良好		18	19		0	18	19
		剥離	0			0			
		磨耗				0			
		小破片		1		1			
	胴部	良好		377	631	3	3	380	634
		剥離	0	88		88			
		磨耗		1		1			
		小破片		165		165			
	小計		0	715		3		718	
	複数部位								0
II群	口縁部	良好					0	0	
		剥離	0		0	0	0		
		磨耗				0	0		
		小破片				0	0		
	底部	良好			0		0	0	0
		剥離	0			0			
		磨耗				0			
		小破片				0			
	胴部	良好		63	70		0	63	70
		剥離	0	7		7			
		磨耗				0			
		小破片				0			
小計		0	70		0		70		
複数部位								0	
III群	口縁部	良好	1	21	27		0	22	28
		剥離		3		3			
		磨耗	1	1		1			
		小破片		2		2			
	底部	良好		15	21	3	3	18	24
		剥離	0	3		3			
		磨耗				0			
		小破片		3		3			
	胴部	良好	1	159	365	2	2	162	370
		剥離	2	97		99			
		磨耗		6		6			
		小破片		103		103			
	小計		4	413		5		422	
	複数部位								0
	IV群	口縁部	良好		106	135	2	2	108
剥離			0	21	21				
磨耗					0				
小破片				8	8				
底部		良好		43	55		0	43	55
		剥離	0	9		9			
		磨耗				0			
		小破片		3		3			
胴部		良好	1	743	3,512	3	8	747	3,521
		剥離		897		899			
		磨耗		80		81			
		小破片		1,792		1,794			
小計			1	3,702		10		3,713	
複数部位								0	
不明		口縁部	良好		1	1		0	1
	剥離		0		0				
	磨耗				0				
	小破片				0				
	底部	良好		1	1		0	1	1
		剥離	0			0			
		磨耗				0			
		小破片				0			
	胴部	良好		15	76		0	15	76
		剥離	0	5		5			
		磨耗		8		8			
		小破片		48		48			
小計		0	78		0		78		
合計		5	4,978		18		5,001		

表34 上幌内4遺跡 包含層出土剥片石器点数表

器種名・分類 / 層位				Ⅲ層	Ⅴ層		その他 (Ⅰ層・Ⅱ層)		合計	
器種	残存状態	岩石	被熱等							
石鏃	完形	黒曜石	—	1	46				47	47
	準完形	黒曜石	—		8	69		0	8	8
	半形	黒曜石	—		3				3	3
	片	黒曜石	—		12				12	12
石槍・ナイフ	完形	黒曜石	—		10				10	11
		頁岩	—		1			1	1	
	準完形	黒曜石	—		3		1		4	4
	半形	黒曜石	—	0	9	36	1	2	10	11
			被熱		1				1	1
	片	黒曜石	—		10				10	
			被熱		1				1	12
		頁岩	—		1				1	
石錐	完形	黒曜石	—	0	3	4		0	3	4
	片	黒曜石	—		1				1	
つまみ付きナイフ	完形	黒曜石	—		8				8	11
		頁岩	—		3			3		
	準完形	黒曜石	—	0	1	15		0	1	2
		頁岩	—		1				1	1
	半形	黒曜石	—		1				1	1
	片	黒曜石	—		1				1	1
スクレイパー	完形	黒曜石	—		26		1		27	28
			被熱		1				1	
	半形	黒曜石	—	0	3	40		2	3	4
			被熱		1				1	
片	黒曜石	—		9		1		10	10	
U・Rフレイク	黒曜石	—	1	1	59		4		64	68
		被熱			4	63		5	4	
	チャート	—					1		1	1
石核	黒曜石	—		2	8	20		0	8	8
	チャート	—	2		12				14	14
		被熱								
フレイク	黒曜石	—	52	52	3,319		77		3,448	4,661
		被熱			1,213				1,213	
	凝灰岩	—			1	4,562		77	1	1
	頁岩	—			1				1	1
	チャート	—			27				27	27
	蛇紋岩	—			1				1	1
原石	完形	チャート	—	1	3		1		5	
		蛇紋岩	—		2				2	8
		花崗岩	—		1	10		1	1	
	半形	花崗岩	—		1				1	1
	片	チャート	—		3				3	3
合計				57	4,819		87		4,963	

表35 上幌内4遺跡 包含層出土礫石器・石製品・レキ点数表

遺跡名・層別 / 層位	遺物名	種別	数量	V層	VI層	VII層	VIII層	その他 (I層~IV層)	合計
藤原石井	実期	緑色頁岩	1	2					2
		緑色頁岩	1	1					1
	実期	緑色頁岩	1	1					1
	実期	緑色頁岩	1	1					1
	実期	緑色頁岩	1	1					1
	実期	緑色頁岩	1	1					1
	実期	緑色頁岩	1	1					1
	実期	緑色頁岩	1	1					1
	実期	緑色頁岩	1	1					1
	実期	緑色頁岩	1	1					1
たのま石	実期	砂岩	1	47				1	49
		砂岩	1	2					2
	実期	砂岩	1	15					15
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
すり石	実期	緑色頁岩	1	3					3
		緑色頁岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	4					4
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
北海道式石斧	実期	砂岩	1	2					2
		砂岩	1	2					2
	実期	砂岩	1	2					2
	実期	砂岩	1	2					2
	実期	砂岩	1	2					2
	実期	砂岩	1	2					2
	実期	砂岩	1	2					2
	実期	砂岩	1	2					2
	実期	砂岩	1	2					2
	実期	砂岩	1	2					2
石製品	実期	砂岩	1	1					1
		砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
L・Rレキ	実期	砂岩	1	20					20
		砂岩	1	2					2
	実期	砂岩	1	4					4
	実期	砂岩	1	55					55
	実期	砂岩	1	55					55
	実期	砂岩	1	2					2
	実期	砂岩	1	2					2
	実期	砂岩	1	2					2
	実期	砂岩	1	2					2
	実期	砂岩	1	2					2
レキ	実期	砂岩	1	5					5
		砂岩	1	27					27
	実期	砂岩	1	11					11
	実期	砂岩	1	55					55
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
	実期	砂岩	1	1					1
合計			318	4,263	3			85	4,312
合計			328	4,401	3			105	4,506

表36 上幌内4遺跡 H-1 出土復原土器観察表

図	番号	図名	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)	
							器高	口径	底径					
56	1	17	H-1	層上 土層	—	1	(12.0)	36.9	—	1,300	口縁～ 胴部上位	浮鉢 a類 余布式		
接合破片 総点数		63		接合・同一個体破片 出土地点・層位・遺物番号(点数)			N-21区・V層・(38)、P-21区・V層・(1)							
粘土 (原料材)		種類	無	粒度	細～中粒		種類	岩石・鉱物 ともにあり		量	中～多量		備考	—
外 観	文様・調整		色調	使用の痕跡	その他		部 位 (残存率)		文様・調整		色調	使用の痕跡	その他	
	ナデ		灰黄褐色 (10YR7/2)	—	—		口 唇 部 (25%)		—		—	—	—	
	貼付帯 R.L.刷文		灰黄褐色 (10YR7/2)	黒色化	—		口 唇 部 (25%)		ナデ		にぶい黄褐色 (10YR7/3)	—	—	
	貼付帯 R.L.刷文		灰黄褐色 (10YR7/2)	黒色化	—		胴部上半 (30%)		ナデ		にぶい黄褐色 (10YR7/3)	—	—	

表37 上幌内4遺跡 H-1・P.S-5 出土復原土器観察表

図	番号	図名	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)	
							器高	口径	底径					
56	2	17	H-1	灰黄 層上	8	6	(21.3)	—	7.6	1,910	胴部中位 ～底部	浮鉢 a類 余布式		
接合破片 総点数		36		接合・同一個体破片 出土地点・層位・遺物番号(点数)			H-1・灰黄層上・(2)(4)、P.S-5・V層・(1)(3)、M-21区・V層・(1)、M-21区・V層・(2)							
粘土 (原料材)		種類	少量	粒度	中～中粒		種類	岩石主体		量	多量		備考	—
外 観	文様・調整		色調	使用の痕跡	その他		部 位 (残存率)		文様・調整		色調	使用の痕跡	その他	
	貼付帯 R.L・L.R羽状刷文		にぶい黄褐色 (10YR7/3)	黒色化 炭化物付着	縁部直 1小片		胴部上半 (40%)		ナデ		(黒褐色)	黒色化	—	
	貼付帯 R.L・L.R羽状刷文		にぶい黄褐色 (10YR7/3)	炭化物付着	—		胴部下半 ～底部 (40%)		—		(黒褐色)	黒色化	—	
	—		にぶい黄褐色 (10YR7/3)	—	—		底 面 (80%)		—		にぶい黄褐色 (10YR7/3)	—	—	

表38 上幌内4遺跡 T.P-21 出土復原土器観察表

図	番号	図名	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)	
							器高	口径	底径					
56	3	17	T.P-21	層上 土層	—	22	(21.8)	33.4	—	2,200	口縁～ 胴部下位	浮鉢 a類 余布式		
接合破片 総点数		65		接合・同一個体破片 出土地点・層位・遺物番号(点数)			N-21区・V層・(80)							
粘土 (原料材)		種類	無	粒度	細～中粒		種類	岩石主体		量	多量		備考	—
外 観	文様・調整		色調	使用の痕跡	その他		部 位 (残存率)		文様・調整		色調	使用の痕跡	その他	
	ナデ		にぶい黄褐色 (10YR7/2)	黒色化	—		口 唇 部 (40%)		—		—	—	—	
	貼付帯 L.R・R.L羽状刷文 ナデ・刷文帯 R.L.刷文帯		にぶい黄褐色 (10YR7/3)	黒色化 炭化物付着	原体端部の 隅角に同 刷文帯に二面 帯が残る		口 唇 部 (40%)		ナデ (沈着文状の 調整帯)		にぶい黄褐色 (10YR7/3)	—	—	
	貼付帯 L.R・R.L羽状刷文		にぶい黄褐色 (10YR7/3)	赤色化? 褐色 (7.5YR7/6)	—		胴部上半 (30%)		ナデ (沈着文状の 調整帯)		(黒褐色)	黒色化	—	
	貼付帯 R.L・L.R羽状刷文		にぶい黄褐色 (10YR7/3)	—	—		胴部下半 (40%)		ナデ		(黒褐色)	黒色化	—	

表39 上幌内4遺跡 T P-26出土復原土器観察表

図	番号	図層	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)	
							器高	口径	底径					
56	4	27	TP-26	層土直壁	—	8	(18.9)	—	9.8	1,430	胴部中位～底底	段鉢	Ⅱ群a類 余市式	
接合破片数点数				21	接合・同一個体破片出土地点・層位・遺物番号(点数)		M-220c・V層・(1), N-200c・V層・(1), N-210c・V層・(3), N-220c・V層・(3)							
粘土(原料)		織理	無	粒徑	細～中粒		種類	灰物主体		量	中～多量		備考	—
外 観	文様・調整		色調	使用の痕跡	その他	部位(残存率)	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	内 観			
	L.R・R.L羽状調文		灰赤褐色(10YR5/1)	—	—	胴部上半 (70%)	ナデ?	にぶい黄褐色(10YR7/1)	—	磨耗				
	貼付土L.R調文 ココナデ		明黄褐色(10YR7/6)	—	粘土のつなぎ目	胴部下半～底底 (70%)	ナデ?	にぶい黄褐色(10YR7/1)	黒色化 炭化物付着	磨耗				
	ナデ		明黄褐色(10YR7/6)	—	—	底底 (70%)	ナデ?	—	—	—				

表40 上幌内4遺跡 T P-29出土復原土器観察表

図	番号	図層	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)	
							器高	口径	底径					
56	5	27	TP-29	層土直壁	—	1	(32.6)	21.3	—	3,290	口縁～胴部下位	段鉢	Ⅱ群a類 タコフ式	
接合破片数点数				90	接合・同一個体破片出土地点・層位・遺物番号(点数)		L-220c・V層・(3), M-220c・V層・(3), N-210c・V層・(1), O-220c・V層・(1)							
粘土(原料)		織理	無	粒徑	中～粗粒		種類	灰物主体		量	多量		備考	石英
外 観	文様・調整		色調	使用の痕跡	その他	部位(残存率)	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	内 観			
	ナデ		明赤褐色(5YR5/6)	黒色化	—	口縁部 (50%)								
	貼付調整の文様 調整の文様 R.L調文		黒褐色(7.5YR3/1)	黒色化	胴体端部の 回転痕	口縁部 (50%)	ナデ 指屈圧痕	明赤褐色(5YR5/6)	—	—				
	R.L調文		にぶい褐色(7.5YR3/6)	黒色化	胴体端部の 回転痕	胴部上半 (60%)	ナデ 指屈圧痕	明赤褐色(5YR5/6)	—	—				
R.L調文		にぶい褐色(7.5YR3/6)	赤褐色? にぶい褐色(2.5YR6/1)	—	胴部下半 (70%)	ナデ	(黒褐色)	黒色化	—					

表41 上幌内4遺跡 S-1出土復原土器観察表

図	番号	図層	出土地点	層位	遺物番号	破片点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)	
							器高	口径	底径					
56	6	27	S-1	V層	9	9	(26.7)	21.4	—	1,980	口縁～胴部下位	段鉢	Ⅱ群b類 北筒式	
接合破片数点数				35	接合・同一個体破片出土地点・層位・遺物番号(点数)		J-240c・V層・(1), J-240c・V層・(3), J-250c・V層・(7), K-240c・V層・(6)							
粘土(原料)		織理	無	粒徑	中～粗粒		種類	岩石・灰物と ともにあり		量	多量		備考	石英・白色岩片
外 観	文様・調整		色調	使用の痕跡	その他	部位(残存率)	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	内 観			
	ナデ		(黒褐色)	黒色化	—	口縁部 (50%)								
	円形刺状文 L.R・R.L結束第1種 羽状調文		(黒褐色)	黒色化	縁孔 1か所	口縁部 (50%)	ナデ	黒褐色(10YR3/1)	黒色化	—				
	L.R・R.L結束第1種 羽状調文		にぶい黄褐色(10YR6/1)	—	—	胴部上半 (30%)	ナデ	黒褐色(10YR3/1)	黒色化	—				
L.R・R.L結束第1種 羽状調文		にぶい黄褐色(10YR6/1)	—	—	胴部下半 (30%)	—	黒褐色(10YR3/1)	黒色化	—					

表42 上幌内4遺跡 P S-1 出土復原土器観察表

図 番号	図 名	出土地点	層位	遺物番号	観片点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)
						器高	口径	底径				
57	7	PS-1	V層	—	186	28.4	26.1	10.6	6,300	1口部~底面	澄鉢	器身断面 門限土層上層a式
観片観片 観片数		187	観片・同一観片群片 出土地点・層位・遺物番号 (点数)		S-2区・V層・(3)							
胎土 (原料材)		種類	黒	粒径	中~粗粒	種類	岩石主体	量	少量	備考	器内縁状の窪み (白色 チャート)	
外 観	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部 位 (保存率)	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他			
	胎付帯 L・R 器底比類文	にぶい・黄褐色 (1036/1)	—	—	実 証 部 (75%)	—	—	—	—			
	胎付帯 L・R 器底比類文	にぶい・黄褐色 (1036/1)	—	—	口 唇 部 (80%)	—	—	—	—			
	胎付帯 L・R 器底比類文	にぶい・黄褐色 (1037/1)	—	—	口 唇 部 (80%)	3コゴ	ミナギ	褐色 (7,538/1)	黒色化	—		
	胎付帯 L・R 器底比類文	にぶい・黄褐色 (1037/1)	—	—	胴 部 (80%)	ミナギ	褐色 (7,538/1)	黒色化	—			
	L・R・R1 器末第1種 羽状調文	にぶい・褐色 (7,538/1)	黒色化	—	胴縁上半 (80%)	夕子	ミナギ	褐色 (7,538/1)	—	—		
	L・R・R1 器末第1種 羽状調文	褐色 (7,538/1)	赤色化 白色 (1037/1)	—	胴縁下半~底縁 (70%)	夕子	ミナギ	褐色 (7,538/1)	黒色化	—		
ナズ	褐色 (7,538/1)	—	ややおび底	底 縁 (80%)	ミナギ	褐色 (7,538/1)	—	—				

表43 上幌内4遺跡 P S-2 出土復原土器観察表

図 番号	図 名	出土地点	層位	遺物番号	観片点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)
						器高	口径	底径				
57	8	PS-2	V層	—	19	10.0	4.4	3.1	250	1口部~底面	口上蓋	器身断面 子福式
観片観片 観片数		20	観片・同一観片群片 出土地点・層位・遺物番号 (点数)		R-2区・V層・(1)							
胎土 (原料材)		種類	黒	粒径	細粒	種類	鉱物主体	量	少量	備考	石英	
外 観	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部 位 (保存率)	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他			
	ミナギ	にぶい・褐色 (7,538/1)	—	—	口 唇 部 (100%)	—	—	—	—			
	ミナギ	にぶい・褐色 (7,538/1)	—	—	口 唇 部 (80%)	ミナギ	褐色 (7,538/1)	—	—			
	ミナギ	にぶい・赤褐色 (5185/1)	—	—	胴 部 (70%)	ナズ	にぶい・褐色 (7,538/1)	—	—			
	粘土胎付 ミナギ	にぶい・赤褐色 (5185/1)	—	—	縁口部 (100%)	—	—	—	—			
	花嫁文 ミナギ	にぶい・赤褐色 (5185/1)	—	—	胴縁上半 (70%)	ナズ	にぶい・褐色 (7,538/1)	—	—			
	花嫁文 ミナギ	にぶい・黄褐色 (1036/1)	—	—	胴縁下半~底縁 (70%)	ナズ	にぶい・褐色 (7,538/1)	—	—			
ナズ	にぶい・黄褐色 (1036/1)	—	—	底 縁 (100%)	ナズ	にぶい・褐色 (7,538/1)	—	—				

表44 上幌内4遺跡 P S-3 A 出土復原土器観察表

図 番号	図 名	出土地点	層位	遺物番号	観片点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)
						器高	口径	底径				
57	9	PS-3 A	V層	—	111	(26.5)	30.5	—	1,678	1口部~胴縁下位	鉢	1口部類 赤銅器片式
観片観片 観片数		127	観片・同一観片群片 出土地点・層位・遺物番号 (点数)		PS-3 B・V層・(1)、Q-20C・V層・(11)、Q-20C・V層・(1)							
胎土 (原料材)		種類	黒	粒径	細粒	種類	鉱物主体	量	中量	備考	有色鉱物	
外 観	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部 位 (保存率)	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他			
	ナズ	にぶい・黄褐色 (1037/1)	黒色化	—	口 唇 部 (10%)	—	—	—	—			
	横正気味の 瓦器調文 土器調文?	(黒褐色)	黒色化 炭化物付着	—	口 唇 部 (10%)	3コゴナズ 指環状底	褐色褐色 (1037/1)	黒色化	—			
	横正気味の R・L 器末文 土器調文?	(黒褐色)	黒色化 炭化物付着	—	胴縁上半 (10%)	3コゴナズ 指環状底	にぶい・黄褐色 (1037/1)	—	—			
	L・R 器末文・R1 器末文 羽状調文?	灰白色 (1037/1)	炭化物付着	—	胴縁下半 (70%)	3コゴナズ 指環状底	にぶい・黄褐色 (1037/1)	黒色化	—			

表45 上幌内4遺跡 P S - 3 B出土復原土器観察表

図 番 号	図 録	出土地点	層位	遺物 番号	観片 点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)
						器高	口径	底径				
57	10	38	P S - 3 B	V層	54	31.7	26.3	9.8	1,918	1口部~底部	鉢	1口部型 垂刻銘式
観片点数			59	総合・同一個体観片 出土地点・層位・遺物番号(点数) P-23IX・V層・(2)、Q-23IX・V層・(2)、R-23IX・V層・(1)								
粘土 (原料材)			繊維	少量	粒径	細粒	種類	珪石・灰物 ともにあり	量	少量	備考	—
外 観	文様・調整		色調	使用の痕跡	その他	部 位 (検存率)		文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	
	ナゾ		にぶい黄褐色 (10YR7/2)	—	突起部 4小周	口 縁 部 (8%)						
	R右巻き 鉛条体瓦文		にぶい黄褐色 (10YR7/2)	黒色化	—	口 縁 部 (18%)		3口 ナゾ	(黒褐色)	黒色化	—	
	L右巻き・R左巻き 羽状溝文 羽状溝文 鉛条体瓦文		にぶい黄褐色 (10YR7/2)	—	—	胴部上半 (18%)		3口 ナゾ	(黒褐色)	黒色化 炭化物付着	—	
	L右巻き・R左巻き 羽状溝文		(褐色) (7.5YR7/6)	赤褐色? 褐色 (7.5YR7/6)	—	胴部下 半~底部 (8%)		3口ナゾ (工具のフタ?)	(黒褐色)	黒色化	—	
ナゾ		黒褐色 (10YR3/2)	炭化物付着	平底	底 面 (78%)		ナゾ	にぶい黄褐色 (10YR7/2)	黒色化	—		

表46 上幌内4遺跡 P S - 5出土復原土器観察表

図 番 号	図 録	出土地点	層位	遺物 番号	観片 点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)
						器高	口径	底径				
58	11	38	P S - 5	V層	32	17.6	33.2	—	900	1口部~ 胴部中位	段鉢	耳取型 粗木口式
観片点数			47	総合・同一個体観片 出土地点・層位・遺物番号(点数) P S - 5・V層・1口(1)・1口(1)・1口(1)、L-24IX・V層・(3)、M-24IX・V層・(8)								
粘土 (原料材)			繊維	中量	粒径	中~粗粒	種類	珪石主体	量	少量	備考	—
外 観	文様・調整		色調	使用の痕跡	その他	部 位 (検存率)		文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	
	平織り管状工具 押引文字 押引文字		にぶい褐色 (7.5YR7/0)	—	突起部 4小周	口 縁 部 (58%)						
	貼付(陶彫) L.R.刺文		にぶい褐色 (7.5YR7/0)	黒色化 炭化物付着	—	口 縁 部 (58%)		ナゾ	にぶい褐色 (7.5YR7/0)	—	—	
	L.R.刺文		にぶい褐色 (7.5YR7/0)	—	—	胴部上半 (35%)		ナゾ	にぶい褐色 (7.5YR7/0)	—	—	
	L.R.刺文		にぶい褐色 (7.5YR7/0)	—	—	胴部下 半 (18%)		3口ナゾ (工具のフタ?)	灰黄褐色 (10YR7/2)	—	—	

表47 上幌内4遺跡 P S - 5 A出土復原土器観察表

図 番 号	図 録	出土地点	層位	遺物 番号	観片 点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)
						器高	口径	底径				
58	12	39	P S - 5 A	V層	3	56	30.5	55.8	1,700	1口部~底部	段鉢	耳取型 糸巾式
観片点数			68	総合・同一個体観片 出土地点・層位・遺物番号(点数) P S - 5 A・V層・(2)、M-24IX・V層・(1)、N-29IX・V層・(5)、N-30IX・V層・(1)、P-24IX・V層・(1)								
粘土 (原料材)			繊維	無	粒径	中粒	種類	珪石・灰物 ともにあり	量	中量	備考	—
外 観	文様・調整		色調	使用の痕跡	その他	部 位 (検存率)		文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	
	ナゾ		浅黄褐色 (10YR8/1)	黒色化	—	口 縁 部 (5%)						
	貼付帯 刺文帯 L.R・R.L.刺文		褐色 (10YR7/1)	黒色化 炭化物付着	縦方向 回転方向	口 縁 部 (5%)		ナゾ	にぶい黄褐色 (10YR7/1)	—	磨耗	
	L.R・R.L. 羽状溝文		にぶい褐色 (7.5YR7/1)	—	溝端の 回転方向	胴部上半 (78%)		—	にぶい黄褐色 (10YR7/1)	—	磨耗	
	L.R・R.L. 羽状溝文		(にぶい褐色) にぶい褐色 (7.5YR7/1)	赤褐色? にぶい褐色 (7.5YR7/2)	溝端の 回転方向	胴部下 半 (88%)		—	にぶい黄褐色 (10YR7/2)	黒色化?	磨耗	
	ナゾ		にぶい褐色 (7.5YR7/1)	—	—	底 面 (18%)		—	にぶい黄褐色 (10YR7/2)	—	—	

表48 上幌内4遺跡 P S - 5 B 出土復原土器観察表

図	番号	図説	出土地点	層位	遺物番号	観片点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)
							器高	口径	底径				
58	13	19	PS-5B	V層	1	10	(28.1)	—	—	2.920	胴部 上部~下部	段鉢	百静a類 余市式
接合観片 観片数		41	接合・同一個体観片 出土地点・層位・遺物番号(点数)		PS-5B・V層・2(40)、PS-5B・V層・(10)、M-23K・V層・(41)、M-21H・V層・(8)、M-22K・V層・(11)、N-21K・V層・(1)								
粘土 (原料)		種類	黒	粒徑	中粒	種類	岩石主体		量	多量	備考	(断面縁位の岩屑)	
外 観	文様・調整		色調	使用の痕跡	その他	部 位 (残存率)	文様・調整		色調	使用の痕跡	その他	内 観	
	貼付部 L.R・R.L.刷状標文		黒褐色 (10R7/2)	黒色化 炭化物付着	刷径孔 1か所	胴部上半 (80%)	ナデ		黒褐色 (10R7/2)	—	—		
	貼付部 L.R・R.L.刷状標文		にぶい黄褐色 (10R7/4)	—	—	胴部下半 (40%)	ナデ		(黒褐色)	黒色化	—		

表49 上幌内4遺跡 P S - 6 出土復原土器観察表

図	番号	図説	出土地点	層位	遺物番号	観片点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)
							器高	口径	底径				
58	34	19	PS-6	V層	5	46	(27.3)	20.1	—	2.330	胴部 上部~下部	段鉢	I類b類 兼刺路片式
接合観片 観片数		101	接合・同一個体観片 出土地点・層位・遺物番号(点数)		PS-6・V層・1(2)・2(5)・3(3)・4(2)、PS-6・V層・G09、J-22K・V層・(2)、K-23K・V層・(6)								
粘土 (原料)		種類	黒	粒徑	細粒	種類	岩石主体		量	中量	備考	石英・白色岩屑	
外 観	文様・調整		色調	使用の痕跡	その他	部 位 (残存率)	文様・調整		色調	使用の痕跡	その他	内 観	
	ナデ		(黒褐色)	黒色化 炭化物付着	炭化部 4か所	口 唇 部 (80%)							
	L.左.右.赤き 刷状標文		(黒褐色)	黒色化 炭化物付着	—	口 唇 部 (80%)	溝コ ナデ		(黒褐色)	黒色化 炭化物付着	—		
	L.左.右.赤き 刷状標文		にぶい黄褐色 (10R7/4)	炭化物付着	—	胴部上半 (80%)	ナデ		(黒褐色)	黒色化 炭化物付着	—		
	L.左.右.赤き 刷状標文		にぶい黄褐色 (10R7/4)	赤色化 褐色 (2.23R7/3)	—	胴部下半 (70%)	ナデ		(黒褐色)	黒色化 炭化物付着	—		

表50 上幌内4遺跡 P S - 7 出土復原土器観察表

図	番号	図説	出土地点	層位	遺物番号	観片点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)
							器高	口径	底径				
58	15	19	PS-7	V層	1~3	700	(22.6)	25.2	—	3.730	胴部 底部	段鉢	百静a類 胴内中野式
接合観片 観片数		102	接合・同一個体観片 出土地点・層位・遺物番号(点数)		J-22K・V層・(2) *現場での一次分析はすべて百静								
粘土 (原料)		種類	極多量	粒徑	中粒	種類	岩石主体		量	少量	備考	白色黒岩	
外 観	文様・調整		色調	使用の痕跡	その他	部 位 (残存率)	文様・調整		色調	使用の痕跡	その他	内 観	
	ナデ		にぶい黄褐色 (10R7/4)	黒色化	溝状	口 唇 部 (80%)							
	L.R.標文		にぶい黄褐色 (10R7/2)	黒色化	刷径孔 貫通：2か所 向心部 溝貫通：1か所	口 唇 部 (80%)	ナデ		(黒褐色)	黒色化	—		
	L.R.標文		にぶい黄褐色 (10R7/2)	—	—	胴部上半 (75%)	ナデ		(黒褐色)	黒色化	—		
	L.R.標文		にぶい黄褐色 (10R7/4)	赤色化 褐色 (2.23R7/3)	剥離	胴部下半 ~底縁 (30%)	ナデ		にぶい黄褐色 (10R7/2)	—	—		
		尖底	—	—	底 面 (80%)	—		—	—	剥離			

表51 上幌内4遺跡 R-25区出土復原土器観察表

図 番 号	図 番 号	出土地点	層位	遺物 番号	観片 点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)	
						器高	口径	底径					
59	19	R-25区	V層	—	54	13.3	17.9	10.9	221	1口縁~底面	鉢	1口縁型 兼胴筋付式	
観片断片 観片数			55	観片・同一観片断片 出土地点・層位・遺物番号 (点数)		R-21区・V層・(1)							
胎土 (原料材)		繊維	無	粒径	細粒	種類	風物主体		量	中~多量		備考	石英
外 観	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部 位 (保存率)			文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	内 観	
	ナゾ	(黒褐色)	黒色化	突起部: 2か所 小突起: 2か所	口 縁 部 (80%)								
	L.R・R.L 羽状溝文	比2.0~褐色 (7.33K/D)	黒色化	—	口 縁 部 (80%)			ナゾ	(黒褐色)	黒色化 成化物付着	—		
	L.R・R.L 羽状溝文	比2.0~褐色 (7.33K/D)	—	—	胴部上半 (70%)			ナゾ	(黒褐色)	黒色化 成化物付着	—		
	L.R・R.L 羽状溝文	比2.0~褐色 (7.33K/D)	—	—	胴部下半 ~底面 (80%)			ナゾ	(黒褐色)	黒色化	—		
ナゾ	比2.0~濃褐色 (10K/D)	—	平底	底 面 (40%)			ナゾ	比2.0~濃褐色 (10K/D)	黒色化	—			

表52 上幌内4遺跡 K-23区出土復原土器観察表

図 番 号	図 番 号	出土地点	層位	遺物 番号	観片 点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)	
						器高	口径	底径					
58	17	R-23区	V層	—	15	11.1	16.4	8.4	110	1口縁~底面	鉢	1口縁型 兼胴筋付式	
観片断片 観片数			19	観片・同一観片断片 出土地点・層位・遺物番号 (点数)		J-23区・V層・(1)							
胎土 (原料材)		繊維	少量	粒径	細粒	種類	風物主体		量	中量		備考	—
外 観	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部 位 (保存率)			文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	内 観	
	ナゾ	褐色 (7.33K/D)	成化物付着	突起部: 2か所	口 縁 部 (30%)								
	Rの左右部 不整な 羽状溝文	褐色 (7.33K/D)	黒色化?	—	口 縁 部 (30%)			ヨコ ナゾ	(黒褐色)	黒色化	—		
	Rの左右部 不整な 羽状溝文	褐色 (7.33K/D)	黒色化?	傾斜孔: 1か所	胴部上半 (20%)			タテ ナゾ	(黒褐色)	黒色化	—		
	—	褐色 (7.33K/D)	黒色化?	—	胴部下半 ~底面 (20%)			タテ ナゾ	(黒褐色)	黒色化	—		
ナゾ	比2.0~褐色 (7.33K/D)	—	中~小口径	底 面 (40%)			ナゾ	浅黄褐色 (10K/D)	—	—			

表53 上幌内4遺跡 R-24区出土復原土器観察表

図 番 号	図 番 号	出土地点	層位	遺物 番号	観片 点数	計測値 (cm)			重量 (g)	部位	器種	備考 (分類・型式)	
						器高	口径	底径					
58	18	R-24区	V層	—	44	15.5	13.5	8.7	836	1口縁~底面	浅鉢 小型	2口縁型 胴筋付式	
観片断片 観片数			11	観片・同一観片断片 出土地点・層位・遺物番号 (点数)		—							
胎土 (原料材)		繊維	多量	粒径	細粒	種類	岩石主体		量	多量		備考	白色岩片
外 観	文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	部 位 (保存率)			文様・調整	色調	使用の痕跡	その他	内 観	
	L.R溝文	比2.0~褐色 (7.33K/D)	黒色化 成化物付着	—	口 縁 部 (90%)								
	L.R溝文	比2.0~褐色 (7.33K/D)	—	—	口 縁 部 (80%)			L.R溝文	(黒褐色)	黒色化 成化物付着	—		
	L.R溝文	比2.0~褐色 (7.33K/D)	赤色化? 褐色 (7.33K/D)	—	胴部上半 (40%)			ヨコナゾ (工具の痕跡)	比2.0~褐色 (7.33K/D)	黒色化	—		
	L.R溝文	比2.0~褐色 (7.33K/D)	赤色化? 褐色 (7.33K/D)	—	胴部下半 ~底面 (40%)			ヨコナゾ (工具の痕跡)	灰黄褐色 (10K/D)	黒色化	—		
L.R溝文	比2.0~褐色 (7.33K/D)	—	—	底 面 (30%)			ナゾ	比2.0~褐色 (7.33K/D)	—	—			

表54 上幌内4遺跡 V層 遺構・包含層出土破片土器観察表(1)

品	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片数		破片部位	重量(g)	器種	分類	備考(土器方式)	
						小計	合計						
細土(器種別)													
文様・図象						色調			使用の痕跡				
時期	形状	種類	外周	内周	(脚付)	外周	内周	不明	不明	不明	不明	不明	
60	1	20	TP-8 K-216	磁土片層	—	1	2	胴部	21.0	深鉢	Ⅱ群A型		
なし	中～粗粒	器物上縁 (右側)	L.R.縄文	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	黒色化	
60	2	20	TP-13	磁土	—	2	胴部	9.0	深鉢	Ⅱ群A型?		黒色化	
中量	細粒	器物上縁	不明 (破片)	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	黒色化	
60	3	20	TP-16	磁土片層	—	1	胴部	23.0	深鉢	Ⅱ群A型		余市式	
なし	細～中粒	器物・器物 とりにあり	L.R.縄文	—	—	—	—	—	—	—	—	黒化物質付着	
60	4	20	TP-20	磁土片層	—	1	口縁部	5.0	深鉢	Ⅰ群B型		東瀛的V式	
中量	細～中粒	器物・器物 とりにあり	L.R.縄文 透紙文	ナデ	(口縁部) ナデ	—	—	—	—	—	—	黒化物質付着	
60	5	20	TP-20	磁土片層	—	2	胴部～底部	12.0	不明	Ⅰ群B型		東瀛的V式	
少量	細粒	器物上縁	無文? 染?	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	黒色化 炭化物質付着	
60	6	20	TP-21	磁土片層	—	1	胴部	11.0	深鉢	Ⅱ群A型			
なし	中～粗粒	器物上縁 (右側)	L.R.縄文	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	黒化物質付着	
60	7	20	TP-22	磁土片層	—	1	胴部	13.0	深鉢	Ⅱ群A型			
少量	細粒	器物・器物 とりにあり	L.R.縄文 透紙文	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	黒色化 炭化物質付着	
60	8	20	TP-24	磁土片層	—	1	口縁部	15.0	深鉢	Ⅱ群A型		余市式	
なし	中粒	器物上縁	彫付線(斜線) L.R.縄文	ナデ	(彫付線) —	—	—	—	—	—	—	炭化物質付着	
60	9	20	TP-25	磁土片層	—	1	胴部	9.0	深鉢	Ⅱ群A型			
少量	細粒	器物・器物 とりにあり	L.R.縄文	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	黒色化	
60	10	20	TP-26	磁土片層	—	1	胴部	21.0	深鉢	Ⅱ群			
中量	細粒	器物・器物 とりにあり	L.R.縄文	三つ弁	—	—	—	—	—	—	—		
60	11	20	TP-27	磁土片層	—	2	胴部	22.0	深鉢	Ⅱ群			
中量	細～中粒	器物上縁 (右側)	L.R.縄文	ナデ	(透紙文の透紙部)	—	—	—	—	—	—	黒化物質付着	
60	12	20	TP-30 M-216	磁土片層	—	1	2	胴部	12.0	深鉢	Ⅰ群B型		東瀛的V式 黒化
微量	細粒	器物上縁	L.R.透紙文 東の右巻き 筋を伴った透紙文	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	—	
60	13	20	TP-30	磁土片層	—	1	底部	17.0	深鉢	Ⅱ群? B型?			
少量	中粒	器物上縁 (右側)	ナデ	ナデ	(底外面) ナデ	—	—	—	—	—	—	黒色化 炭化物質付着	
60	14	20	P5-4	V層	—	5	口縁部	35.0	深鉢	Ⅰ群B型		東瀛的V式	
微量	中～粗粒	器物上縁	L.R.透紙文 筋を伴った透紙文	ナデ?	(口縁部) ナデ	—	—	—	—	—	—	—	
60	15	20	P5-4	V層	—	5	口縁部	46.0	深鉢	Ⅰ群B型		東瀛的V式 15.19・15.19	
微量	細～中粒	器物上縁	L.R.透紙文 筋を伴った透紙文 筋を伴った透紙文	ナデ	(口縁部) ナデ	—	—	—	—	—	—	黒化物質付着	
60	16	20	P5-4	V層	—	7	胴部	46.0	深鉢	Ⅰ群B型		東瀛的V式土器 15.19・15.19	
微量	細～中粒	器物上縁	L.R.透紙文 筋を伴った透紙文	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	黒色化	
60	17	20	P5-4	V層	—	5	胴部～底部	49.0	深鉢	Ⅰ群B型		東瀛的V式	
微量	細～中粒	器物上縁	R.右巻き 透紙文 筋を伴った透紙文	ナデ	(底外面) ナデ	—	—	—	—	—	—	黒化物質付着	
60	18	20	P5-6	V層	5	3	口縁部 (縁部)	14.0	深鉢	Ⅰ群B型		東瀛的V式	
少量	中粒	器物上縁	L.R.透紙文 筋を伴った透紙文	ナデ	(口縁部) ナデ	—	—	—	—	—	—	黒色化 炭化物質付着	
60	19	20	P5-6	V層	—	5	胴部	14.0	深鉢	Ⅰ群B型			
少量	細粒	器物上縁	L.R.透紙文	ナデ	—	—	—	—	—	—	—	黒色化 炭化物質付着	
60	20	20	P5-6	V層	—	1	胴部～底部	16.0	深鉢	Ⅰ群B型		東瀛的V式	
少量	細粒	器物上縁	ナデ?	ナデ?	—	—	—	—	—	—	—	黒化物質付着	

表54 上幌内4遺跡 V層 遺構・包含層出土破片土器観察表(2)

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	破片数		破片部位	重量(g)	口径		分類	備考(土器型式)					
						小計	合計			外周	内周			外周	内周			
出土(図版付)																		
					文様・装飾				色調		使用の痕跡							
図	番号	図版	出土地点	層位	遺物番号	文様・装飾	破片数	破片部位	重量(g)	口径	口径	分類	備考(土器型式)					
01	21	20	N-22区	V層	なし	なし	1	口縁部	63.0	深鉢	1群1型	東園路V式						
					高田北群文 R.L.赤土 赤土群赤土 赤土群白土 赤土群赤土・L.白土 赤土群赤土		ナブ		(口縁部) ナブ		(黒褐色)		(黒褐色)		黒色化 炭化物付着		黒色化 炭化物付着	
01	22	20	L-22区 N-22区	V層	なし	なし	1	口縁部	25.0	深鉢	1群1型	東園路V式						
					赤土群赤土 赤土群赤土		ナブ		—		L.白土群褐色 (101K7/2)		L.白土群褐色 (101K7/2)		—		黒色化 炭化物付着	
01	23	20	O-19区	V層	少量	なし	1	口縁部	23.0	深鉢	1群1型	東園路V式						
					L.白土群赤土 赤土群赤土		ナブ		—		L.白土群褐色 (101K6/1)		(黒褐色)		炭化物付着		黒色化 炭化物付着	
01	24	20	N-23区	V層	なし	なし	3	胴部	53.0	深鉢	1群1型	東園路V式						
					L.白土群赤土・R.L.赤土 赤土群赤土		ナブ		—		L.白土群褐色 (2.50K/2)		褐色 (101K2/1)		赤褐色 L.白土群褐色 (1.51K6/1)		黒色化 炭化物付着	
01	25	20	N-22区	V層	なし	なし	15	底部	101.0	深鉢	1群1型	東園路V式						
					L.白土群赤土・R.L.赤土 赤土群赤土		ナブ		(底内面) ナブ		L.白土群褐色 (1.51K7/1)		L.白土群褐色 (1.51K7/1)		—		黒色化 炭化物付着	
01	26	20	R-27区	V層	少量	なし	1	底部	65.0	鉢?	1群1型	東園路V式						
					L.白土群赤土・R.L.赤土 赤土群赤土		ナブ		(底内面) 赤土群赤土		赤褐色 (101K6/2)		赤褐色 (101K6/2)		—		黒色化 炭化物付着	
01	27	20	N-22区	V層	多数	なし	1	口縁部	9.0	深鉢	2群1型	—						
					L.R.中群文		ナブ		—		(黒褐色)		(黒褐色)		黒色化 炭化物付着			
01	28	20	O-26区	V層	多数	なし	2	口縁部	18.0	深鉢	2群1型	大塚V式						
					L.R.・R.L. 群赤文 付次群文		ナブ		(口縁部) L.R.・R.L. 群赤文・群文		L.白土群褐色 (101K7/2)		赤褐色 (101K5/2)		炭化物付着		—	
01	29	20	R-24区	V層	多数	なし	1	口縁部	108.0	深鉢	2群1型	大塚V式						
					L.R.・R.L. 群赤文 付次群文		赤土群赤土		(口縁部) L.R.・R.L. 群赤文・群文		灰白色 (101K3/2)		L.白土群褐色 (101K3/2)		褐色 炭化物 (1.51K7/2)		—	
01	30	20	M-22区	V層	中・多数	なし	1	口縁部	27.0	深鉢	2群1型?	—						
					L.R.・R.L. 群赤文 付次群文		ナブ		(口縁部) L.R.・R.L. 群赤文・群文		L.白土群褐色 (101K7/2)		L.白土群褐色 (1.51K7/2)		—		—	
01	31	20	L-21区	V層	多数	なし	1	口縁部	37.0	深鉢	2群1型	大塚V式						
					L.R.・R.L. 群赤文 L.赤土 群赤文		ナブ		(口縁部) L.R.・R.L. 群赤文		(黒褐色)		赤褐色 (101K6/2)		炭化物付着		黒色化 炭化物付着	
01	32	20	M-25区 S-26区	V層	多数	なし	1	口縁部	67.0	深鉢	2群1型	大塚V式						
					L.R.・R.L. 群赤文 付次群文		ナブ		(口縁部) L.R.・R.L. 群赤文		L.白土群褐色 (101K6/1)		褐色 (101K1/1)		—		黒色化 炭化物付着	
01	33	20	O-22区	V層	中量	なし	1	口縁部	26.0	深鉢	2群1型	—						
					L.R.・R.L. 群赤文		ナブ		—		灰白色 (101K3/2)		(黒褐色)		炭化物付着		黒色化 炭化物付着	
01	34	20	O-21区 O-22区	V層	中量	なし	1	口縁部	61.0	深鉢	2群1型	大塚V式						
					赤土群赤土 赤土群赤土		ナブ		—		L.白土群褐色 (101K7/2)		(黒褐色)		—		黒色化 炭化物付着	
01	35	20	L-22区	V層	少量	なし	1	胴部	81.0	深鉢	2群1型?	—						
					L.R.群文 (褐色)		ナブ・2群赤		—		褐色 (1.51K1/0)		(黒褐色)		褐色化 L.白土群褐色 (1.51K5/1)		黒色化 炭化物付着	
02	36	21	R-24区 S-24区	V層	中・多数	なし	1	口縁部 (灰棕色)	113.0	深鉢	2群1型	内野土器土器V式						
					L.R.赤土群赤土 群赤文 付次群文 群付 L.・R.群赤文 赤土群赤土群赤文		L.赤土		(口縁部) 群赤文 群赤文付次群文 群付 L.・R. 群赤文の付次群文		褐色 (1.51K1/0)		(黒褐色)		—		黒色化	
02	37	21	L-21区	V層	中量	なし	1	口縁部	36.0	深鉢	2群1型	群付群2または3式						
					群付文 赤土群赤土群赤文		群付 ナブ?		(口縁部) 群付 群付		褐色 (1.51K7/0)		L.白土群褐色 (101K1/2)		—		黒色化	
02	38	21	J-24区	V層	中量	なし	1	口縁部	77.0	深鉢	2群1型	群付用式						
					群付群赤文 L.R.群赤文		群付 群付		(口縁部) 群付群赤文 群付		褐色 (1.51K7/0)		褐色 (1.51K6/0)		—		—	

表54 上幌内4遺跡 V層 遺構・包含層出土破片土器観察表(3)

品	番号	図版	出土地点	層位	遺物 番号	破片数		破片部位	重量 (g)	色調		分類	備考 (土器形式)
						小計	合計			色調			
						文種・形状				使用の痕跡			
種類	用途	種類	用途	内面	外面	内面	外面	内面	外面				
62	39	Z1	K-23区	V層	—	1	口縁部	33.0	深鉢	黒群ハ類	黒色化	船木川式	
少量	短靴	岩石主体			L.R. 縄文 胎文	ナデ		(口縁部) L.R. 縄文 (胎文) 胎文	黒褐色 (010K1/1)	赤褐色 (010K4/0)	黒色化	—	
62	40	Z1	L-54区 Q-25区 S-25区	V層	—	3	口縁部	108.0	深鉢	黒群ハ類	黒色化 炭化物付着	船木川式 口縁部一割体	
少量	中～短靴	岩石・泥物 ともにあり			L.R. 結末第1層 胎行縄文 内面の胎文	ナデ 立弁		(口縁部) L.R. 縄文 胎文	にぶい褐色 (010K6/1)	にぶい褐色 (010K5/1)	黒色化 炭化物付着	—	
62	41	Z1	N-21区 N-22区 N-26区	V層	—	3	胴部	311.0	深鉢	黒群ハ類	黒色化	船木川式土器 口縁部一割体	
少量	中～短靴	岩石・泥物 ともにあり			L.R. 結末第1層 胎行縄文 内面の胎文	ナデ 立弁		—	にぶい褐色 (010K6/1)	にぶい褐色 (010K5/1)	黒色化 炭化物付着	—	
62	42	Z1	S-25区	V層	—	1	口縁部	66.0	深鉢	黒群ハ類	黒色化	—	
中～少量	短靴	泥物主体			L.R. 縄文 半底竹管刺文	L.R. 縄文 半底竹管刺文	縁部文 ナデ	(口縁部) 縄文・ナデ	にぶい褐色 (010K6/1)	にぶい褐色 (010K5/1)	炭化物付着	—	
62	43	Z1	K-24区	V層	—	1	口縁部	33.0	深鉢	黒群ハ類	黒色化	船木川式 口縁部一割体	
少量	短～中靴	泥物主体			押引文 内面胎文	ナデ		(口縁部) ナデ	にぶい褐色 (010K6/1)	褐色 (010K6/0)	黒色化	—	
62	44	Z1	K-24区 L-24区	V層	—	3	胴部	82.0	深鉢	黒群ハ類	黒色化	—	
少量	短～中靴	泥物主体			L.R. 縄文 胎文 無文種	ナデ		—	にぶい褐色 (010K5/1)	褐色 (010K6/0)	黒色化	—	
62	45	Z1	N-29区 L-22区	V層	—	3	口縁部	156.0	深鉢	黒群ハ類	黒色化	船木川式	
中～多量	短靴	泥物主体			肥厚帯 押引文・刺文 L.R. 縄文	ナデ (L.R.のフタ)		(口縁部) ナデ	褐色 (010K6/0)	褐色 (010K6/0)	炭化物付着	—	
62	46	Z1	L-23区 L-24区	V層	—	3	口縁部	126.0	深鉢	黒群ハ類	黒色化	船木川式	
中量	短～中靴	泥物主体			L.R. 縄文 半底竹管刺文 (吹割文)	ナデ		(口縁部) ナデ 積み	にぶい褐色 (010K7/0)	にぶい褐色 (010K7/0)	黒色化	—	
63	47	Z1	N-20区 N-22区	V層	—	3	口縁部	61.0	深鉢	IV群ハ類	黒色化	余市式	
無	短～中靴	泥物主体			L.R. 縄文 胎行帯 ナデ	ナデ		(口縁部) ナデ (胎行帯) L.R. 縄文	灰黄褐色 (010K7/2)	にぶい褐色 (010K7/0)	黒色化	—	
63	48	Z1	L-21区	V層	—	3	口縁部	99.0	深鉢	IV群ハ類	黒色化	余市式	
無	中～短靴	岩石・泥物 ともにあり			L.R. 縄文 胎行帯	ナデ		(口縁部) ナデ (胎行帯) L.R.・R.L. 胎文	にぶい褐色 (010K7/0)	にぶい褐色 (010K7/0)	赤褐色 (010K7/0)	黒色化	—
63	49	Z1	Q-27区 I層 V層 Q-28区	V層	—	11	口縁部	591.0	深鉢	IV群ハ類	黒色化	余市式	
無	短～中靴	泥物主体			L.R.・R.L. 胎行縄文 胎行帯 ナデ	ナデ		(口縁部) ナデ (胎行帯) L.R. 縄文	にぶい褐色 (010K7/0)	にぶい褐色 (010K7/0)	炭化物 炭化物付着	黒色化	
63	50	Z1	S-24区	V層	—	4	口縁部	85.0	深鉢	IV群ハ類	黒色化	タゴコブ式	
無	短靴	岩石主体			L.R. 縄文 胎文	ナデ (L.R.のフタ)		(口縁部) ナデ L.R. 縄文	褐色 (010K7/0)	褐色 (010K6/0)	黒色化	—	
63	51	Z1	K-24区	V層	—	3	口縁部	38.0	深鉢	IV群ハ類	黒色化	タゴコブ式	
少量	中靴	泥物主体			(胎行) L.R. 胎文	ナデ		(口縁部) (胎行)	褐色 (010K6/0)	灰黄褐色 (010K7/2)	—	—	
63	52	Z1	L-22区	V層	—	1	口縁部	66.0	深鉢	IV群ハ類	黒色化	—	
少量	短靴	岩石・泥物 ともにあり			L.R. 縄文	ナデ		(口縁部) ナデ	にぶい褐色 (010K6/1)	(灰黄褐色)	黒色化	黒色化	
63	53	Z1	L-21区	V層	—	1	底面	36.0	深鉢	IV群ハ類	黒色化	—	
少量	中靴	泥物主体 (石)			ナデ	ナデ		(底外面) ナデ	赤褐色 (010K7/0)	(灰黄褐色)	—	黒色化	
63	54	Z1	P-26区	V層	—	5	底面	33.0	深鉢	IV群ハ類	黒色化	—	
中～中量	短靴	岩石主体			L.R. 縄文	胴縁		(底外面) ナデ	にぶい褐色 (010K7/1)	にぶい褐色 (010K5/2)	—	—	
63	55	Z1	Q-26区	V層	—	3	底面	68.0	深鉢	IV群ハ類	赤褐色 褐色	—	
少量	中靴	岩石・泥物 ともにあり			R.L. 縄文	胴縁		(底外面) ナデ	灰黄褐色 (010K7/2)	灰黄褐色 (010K5/2)	赤褐色 (010K7/0)	—	

表55 上幌内4遺跡 V層 遺構出土土器等観察表(1)

図	遺構 番号	図面	出土地点	層位	遺物 番号	器種	計測値 (cm)			重量 (g)	石材		製作 状態	特徴 観察結果	備考	
							長さ	幅	厚さ		原石名	特徴				
64	1	22	H-1	覆土層	—	石鏃・ナイフ	(5.7)	3.3	0.9	14.2	黒曜石	—	準完成	縁部 基部破損	被熱	
	2	22	H-1	床面	1	つばみ付きナイフ	13.9	4.0	1.3	39.9	黒曜石	原表面残る	完成	大型 両面加工 原表面		
	3	22	TP-4	覆土層	—	石鏃	(12.2)	1.5	0.4	1.2	黒曜石	—	半形	先端部破損		
	4	22	TP-16	覆土層	—	石鏃	5.0	2.3	0.7	4.8	黒曜石	小隼果	完成	左右非対称		
	5	22	TP-16	覆土層	—	つばみ付きナイフ	6.0	4.1	1.0	13.3	黒曜石	隼果	完成	両面加工		
	6	22	TP-16	覆土層	—	スクレイパー	4.1	3.6	1.5	16.9	黒曜石	原表面残る	完成	両側縁面状		
	7	22	TP-25	覆土層	—	つばみ付きナイフ	5.6	3.0	1.2	14.4	黒曜石	—	完成	両面加工		
	8	22	TP-25	覆土層	—	スクレイパー	3.2	2.3	1.1	8.9	黒曜石	—	完成	背面両側縁 下縁部に刃部		
	9	22	FC-1	V層	—	スクレイパー	(2.1)	2.9	0.7	3.5	黒曜石	—	半形	両面加工		
	10	22	FC-1	V層	—	石核	4.6	3.5	1.8	27.2	黒曜石	小隼果 部状	—	原表面 原表面		
65	11	22	H-1	覆土層	—	磨製石斧	7.2	3.9	1.9	80	緑色花崗	暗緑灰色 7.5/14.1	半形	原表面 下部面		
	12	22	H-1	覆土層	—	すり石	13.8	6.7	3.5	440	片岩	緑灰色 106/30.1	完成	表面にすり痕		
	13	22	H-1	床面直上 覆土層	3	たたき石	17.9	10.0	3.3	572	砂岩	灰オリーブ色 313.2	完成	両面にたたき痕	接合 被熱	
	14	22	H-1	床面直上	7	すり石	(19.4)	7.8	3.1	553	砂岩	暗緑 灰色 2.316.1	準完成	表面下半部と 下部面にすり痕	被熱	
	15	22	H-1	床面	18	砥石	20.0	10.2	6.6	1,133	砂岩	暗緑 灰色 2.317.1	片	四面に使用痕	被熱	
	16	22	H-1	床面直上	10	砥石	13.4	6.8	1.7	148.9	砂岩	暗緑 灰色 2.317.2	片	表面と右側縁に すり痕	接合	
	17	22	H-1	床面	19	台石・石鏃	21.2	10.9	7.0	2,200	砂岩	暗緑 灰色 2.313.3	片	表面と右側縁に すり痕		
66	18	22	H-2	覆土層	—	たたき石	07.30	5.5	3.5	166.2	砂岩	暗緑灰色 2.313.2	片	表面と右側縁に たたき痕 上下端部破損		
	19	22	H-2	床面	2	台石・石鏃	(17.4)	13.1	7.6	2,400	砂岩	暗緑 灰色 2.313.2	半形	表面に たたき痕とすり痕 上部破損		
	20	23	TP-5	覆土層	—	台石・石鏃	(12.4)	(12.8)	7.7	930	砂岩	中粒 灰黄色 2.316.2	片	表面に すり痕とたたき痕	被熱	
	21	23	TP-6	覆土層	—	たたき石	14.9	9.2	4.8	560	凝灰岩	粗粒 浅黄色 2.317.3	完成	表面にたたき痕		
	22	23	TP-6	覆土層	—	台石・石鏃	28.4	23.8	5.0	3,400	砂岩	粗粒 灰黄色 2.316.2	片	表面すり痕 基部破損	被熱	
	23	23	TP-8	覆土層	—	たたき石	(5.2)	4.1	4.3	83.0	凝灰岩	粗粒 灰黄色 2.317.2	片	下部面に たたき痕と剥落痕 上部破損		
	24	23	TP-11	覆土層	—	砥石	(10.3)	6.2	3.9	500	砂岩	粗粒 暗緑灰色 2.313.2	片	表面にすり痕		
67	25	23	TP-12	覆土層	—	台石・石鏃	38.6	21.5	7.9	9,770	砂岩	粗粒 暗緑灰色 2.313.2	完成	表面に すり痕とたたき痕		
	26	23	TP-13	覆土層	—	たたき石	09.1	4.0	3.1	124.8	砂岩	粗粒 にぶい褐色 2.316.3	準完成	側縁から表面に たたき痕 下部破損	被熱	
	27	23	TP-13	覆土層	—	砥石	11.0	10.6	3.1	560	砂岩	粗粒 暗緑灰色 2.313.2	片	表面に砥面		
	28	23	TP-13	覆土層	—	台石・石鏃	30.4	22.2	17.9	34,200	砂岩	中粒 暗緑灰色 2.313.2	完成	表面と右側縁に すり痕 表面に溝状のくぼみ	被熱	
68	29	24	TP-16	覆土層	—	砥石	(11.2)	08.4	2.2	202	砂岩	粗粒 暗緑灰色 2.313.2	片	表面にすり痕	被熱	
	30	24	TP-16	覆土層	—	台石・石鏃	(18.8)	11.0	10.0	2,330	砂岩	粗粒 暗緑灰色 2.313.2	片	表面にたたき痕 表面すり痕		
	31	24	TP-17	覆土	—	たたき石	12.0	6.3	3.6	300	砂岩	中粒 暗緑灰色 2.313.2	完成	表面に 凹状のたたき痕		
	32	24	TP-17	覆土層	—	台石・石鏃	(28.0)	19.7	10.3	6,330	砂岩	中粒 暗緑灰色 2.313.2	完成	表面に たたき痕とすり痕		
	33	24	TP-22	覆土層	—	たたき石	15.9	10.8	4.5	850	砂岩	粗粒 暗緑灰色 2.313.2	完成	表面面の中央と側縁部に たたき痕		
	34	24	TP-25	覆土層	—	すり石	(6.8)	3.2	1.5	69.5	砂岩	中粒 暗緑灰色 2.313.2	片	全面にすり痕 下部破損		

表55 上幌内4遺跡 V層 遺構出土石器等観察表(2)

図	遺跡 番号	図例	出土地点	層位	遺物 番号	器種	計測値 (cm)		重量 (g)	石材	製作 状態	特徴 観察事項	備考	
							長さ	幅						
69	35	24	TP-26	覆土B層	—	たたき石	18.3	7.3	2.7	450	砂岩 暗灰黄色 土315/2	定形	表裏面に下部に たたき石 下部すり面	
	36	24	TP-26	覆土B層	—	すり石	7.1	13.3	5.3	430	砂岩 灰黄色 土378/2	準定形	表面に一侧縁部に すり面	
	37	24	TP-26	覆土B層	—	台石・石皿	45.3	31.3	15.9	30,400	砂岩 暗灰黄色 土375/2	定形	表面にすり面 溝状のくぼみ	
	38	25	TP-27	覆土B層	—	砥石	20.8	15.1	7.0	3,720	砂岩 暗灰黄色 土375/2	片	両面に砥面	
70	39	25	TP-31	覆土B層	—	台石・石皿	29.0	(13.3)	7.9	3,400	砂岩 にぶい赤褐色 土375/2	片	表面にすり面	焼熟
	40	25	TP-31	覆土B層	—	台石・石皿	26.7	(13.3)	7.9	3,650	砂岩 暗灰黄色 土375/2	片	表面に すり面とたたき面	
	41	25	F-1	R層	—	たたき石	10.8	7.0	2.4	242.5	砂岩 にぶい黄褐色 土378/2	片	表裏面にたたき面 下部縁部	焼熟
	42	25	S-1	V層	5	すり石	13.3	7.8	3.4	470	砂岩 にぶい赤褐色 土375/2	定形	表裏面にすり面	焼熟 接合
	43	25	S-1	V層	13	すり石	9.9	7.4	3.9	262	砂岩 にぶい赤褐色 土375/2	定形	表裏面にすり面 下部にたたき面	焼熟
	44	25	S-1	V層	2・4	台石・石皿	17.9	11.4	7.8	1,266	砂岩 中粒 にぶい赤褐色 土375/2	定形	表面にたたき面	焼熟 接合
	45	25	S-1	V層	7・8・9	台石・石皿	16.7	12.8	3.6	830	砂岩 中粒 にぶい赤褐色 土375/2	準定形	表裏面にすり面	焼熟 接合
	46	25	S-1	V層	12	台石・石皿	13.2	14.3	5.8	1,047	砂岩 中粒 にぶい赤褐色 土375/2	定形	表面に すり面とたたき面	焼熟

表57 上幌内4遺跡 フローテーション法回収遺物一覧表

年度	資料 番号	採取 年月日	母体物	遺構名	採取地点 (付共通番号)	層位	土質材料		水洗後 状態			自然遺物				備考	
							乾重量 (g)	容積 (ml)	名称	個の数	重量 (g)	植物 遺体	動物 遺体	反応材 変化	人工遺物		
															フレイク ・石片		礫石
平成27 (2015)年度	—	2015/6/26	祭祀施設遺 構代定用材料	H-2	b-f-1	掘土	25.6	0.3	2015/10/14	焼土	1.45g	0.0	—	—	—	—	—
	浮遊物	2.79g	1.7							—	—	—	—				
	浮遊物	0.425g	1.6							—	—	—	—				
	浮遊物	1.45g	0.0							—	—	—	—				
平成28 (2016)年度	—	2016/6/6	祭祀施設遺 構代定用材料	UF-1	—	掘土	6.220	1.5	2016/9/3	焼土	2.96g	0.0	—	—	—	—	—
	浮遊物	0.425g	0.9							—	—	—	—				
	浮遊物	1.45g	0.0							—	—	—	—				
	浮遊物	0.425g	0.9							—	—	—	—				

表56 上幌内4遺跡 V層 包含層出土石器等観察表(1)

図	遺跡 番号	遺跡 名称	出土地点	層位	遺物 番号	種類	計測値 (cm)			重量 (g)	石材		製作 形態	特徴 観察事項	備考	
							長さ	幅	厚さ		原石名	特徴				
71	1	26	O-22区	V層	—	石鏢	2.2	1.3	0.3	0.7	黒曜石	—	完全	基部 直線的		
	2	26	O-22区	V層	—	石鏢	1.9	1.3	0.3	0.6	黒曜石	—	完全	基部 微小湾曲		
	3	26	R-25区	V層	—	石鏢	(1.7)	1.0	0.2	0.3	黒曜石	—	準完全	小湾 腹面に刺痕		
	4	26	M-23区	V層	—	石鏢	2.5	1.5	0.4	0.9	黒曜石	小球果	完全	矢形跡 微小湾曲		
	5	26	O-22区	V層	—	石鏢	2.9	1.7	0.6	1.6	黒曜石	小球果 匙状	完全	左右非対称 背面に原線		
	6	26	O-22区	V層	—	石鏢	3.1	1.8	0.6	1.9	黒曜石	小球果 匙状	完全	無線跡 腹面		
	7	26	N-21区	V層	—	石鏢	4.4	2.3	0.6	3.3	黒曜石	—	完全	先端部 折れ面内加工		
	8	26	O-21区	V層	—	石鏢	3.7	2.3	0.5	4.4	黒曜石	—	完全	左右非対称		
	9	26	M-19区	V層	—	石鏢	4.7	2.3	0.6	3.7	黒曜石	—	完全	屈曲刺痕		
	10	26	S-25区	V層	—	石鏢	4.5	1.9	0.6	3.3	黒曜石	—	完全	無線跡 腹面		
	11	26	N-24区	V層	—	石鏢	3.0	1.1	0.2	0.6	黒曜石	—	完全	湾い		
	12	26	P-22区	V層	—	石鏢	4.8	2.4	0.6	3.9	黒曜石	—	完全	石鏢基部 内		
	13	26	O-22区	V層	—	石鏢	14.0	2.6	0.9	6.6	黒曜石	—	完全	左側基部 直線的 右側基部 湾曲的		
	14	26	L-23区	V層	—	石鏢	3.6	1.9	0.5	2.4	黒曜石	—	完全	無線跡 腹面		
	15	26	M-23区	V層	—	石鏢	4.2	2.2	0.7	3.2	黒曜石	—	完全	左右非対称 基部が湾い		
	16	26	R-24区	V層	—	石鏢・ナイフ	12.6	3.2	1.4	48.0	頁岩	—	完全	背面 微小湾曲		
	17	26	O-21区	V層	—	石鏢・ナイフ	7.9	2.6	0.8	12.0	黒曜石	—	完全	無線跡 腹面		
	18	26	O-27区	V層	—	石鏢・ナイフ	(5.0)	1.8	0.9	6.3	黒曜石	小球果	完全	無線跡 腹面		
	19	26	L-22区	V層	—	石鏢・ナイフ	15.0	2.0	1.1	9.2	黒曜石	梨状	完全	両側面に 微小な刺痕		
	20	26	P-24区	V層	—	石鏢・ナイフ	6.2	2.0	0.9	6.0	黒曜石	—	完全	基部 湾曲的		
	21	26	Q-24区	V層	—	石鏢・ナイフ	6.0	3.8	0.9	11.0	黒曜石	—	完全	有茎 両側基部 湾曲的		
	22	26	P-26区	V層	—	石鏢	2.9	0.9	0.4	1.0	黒曜石	—	完全	無線跡 腹面		
	23	26	Q-23区	V層	—	石鏢	3.3	1.3	0.3	1.8	黒曜石	—	完全	つまみ付きナイフ 転用品	転熟	
	24	26	R-26区	V層	—	石鏢	4.8	2.2	0.7	3.8	黒曜石	赤褐色部分あり	完全	つまみ付きナイフ 転用品		
72	25	26	O-24区	V層	—	つまみ付きナイフ	14.0	2.6	0.9	8.5	黒曜石	—	完全	上端面に折痕		
	26	26	R-25区	V層	—	つまみ付きナイフ	6.6	4.0	1.3	16.9	黒曜石	—	完全	石鏢に 微小な刺痕		
	27	26	P-20区	V層	—	つまみ付きナイフ	5.0	2.6	1.0	7.0	頁岩	褐色色 (H84/1)	完全	腹面に刺痕		
	28	26	N-21区	V層	—	つまみ付きナイフ	3.9	3.7	1.2	13.6	黒曜石	—	完全	両面加工		
	29	26	L-24区	V層	—	つまみ付きナイフ	5.8	3.4	1.7	13.6	頁岩	灰黄色 L216/2	完全	腹面に刺痕		
	30	26	O-25区	V層	—	スクレイパー	5.1	1.8	1.2	6.6	黒曜石	—	完全	背面に原線		
	31	26	O-21区	V層	—	スクレイパー	6.3	2.7	1.0	13.0	黒曜石	に濃い赤褐色色 L218/4 部分水浸し	完全	背側面石鏢縁に 微小な刺痕		
	32	26	R-26区	V層	—	スクレイパー	3.0	2.2	0.8	7.2	黒曜石	—	完全	背側加工 矢形跡内湾		
	33	26	O-24区	V層	—	スクレイパー	3.7	2.0	0.9	3.0	黒曜石	—	完全	背側加工 背側に原線		
	34	26	L-24区	V層	—	スクレイパー	3.3	3.3	1.4	10.3	黒曜石	小球果 匙状	完全	背側面に原線 背側矢形跡に方部		
	35	26	N-23区	V層	—	スクレイパー	3.7	3.8	1.2	8.9	黒曜石	—	完全	背面に無線		
	36	26	R-26区	V層	—	スクレイパー	2.9	3.7	1.2	10.2	黒曜石	—	完全	背側面上部に 折痕 左側面に方部		
	37	26	O-21区	V層	—	スクレイパー	2.2	1.8	0.5	2.6	黒曜石	光沢なし	完全	背側加工	転熟	
	38	26	S-25区	V層	—	スクレイパー	3.0	3.3	1.0	8.6	黒曜石	—	完全	フランク スクレイパー		
	39	26	M-23区	V層	—	スクレイパー	(3.5)	1.4	0.5	1.1	黒曜石	—	完全	両側縁に狭り部 微小な刺痕		
	40	26	N-20区	V層	—	石核	2.1	2.7	1.2	7.7	黒曜石	—	—	腹側の刺痕面 背面に原線		
	41	26	L-23区	V層	—	石核	2.2	3.3	3.5	21.1	黒曜石	小球果 匙状	—	腹側の刺痕面 腹側の刺痕面		
	42	26	O-21区	V層	—	石核	3.9	4.5	3.7	60.3	チャート	灰白色 318/1	—	腹側の刺痕面 上端面に折痕		
	43	26	M-25区	V層	—	石核	6.2	6.1	4.1	134.4	チャート	灰白色 319/1	—	腹側の刺痕面 裏面に原線		
	44	26	O-20区	V層	—	石核	2.8	6.3	3.9	38.7	チャート	灰白色 317/2	—	腹側の刺痕面		
	73	45	27	O-21区	V層	—	磨製石斧	(8.0)	2.5	1.4	65.1	緑色泥岩	18675/3	完全	全面磨製 上端欠損	
		46	27	N-19区	V層	—	磨製石斧	14.1	2.6	1.6	111	片岩	緑褐色 18673/1	完全	全面に磨製	

表56 上幌内4遺跡 V層 包含層出土石器等観察表(2)

図	遺跡番号	出土地点	層位	遺物番号	種類	計測値 (cm)			重量 (g)	石材		製作状態	特徴 観察要旨	備考
						長さ	幅	厚さ		原石名	特徴			
73	47	N-23区	V層	—	磨製石斧	14.3	6.2	3.3	460	緑色泥岩	緑灰色 18/15/1	完全	全面に研磨面 断面に結核	
	48	Q-26区	V層	—	たたき石	18.1	5.0	3.9	330	緑色泥岩	緑灰色 2.5/3/1	完全	断面にたたき痕 裏面にすり痕	
	49	Q-25区	V層	—	たたき石	11.9	7.4	3.2	600	砂岩	粗粒 暗灰黄色 2.3/3/2	完全	表面に 凹状のたたき痕 裏面に すり痕とたたき痕	
	50	P-20区	V層	—	たたき石	17.1	7.0	3.4	500	砂岩	粗粒 黄灰色 2.3/4/2	完全	表面面に 凹状のたたき痕	
	51	M-23区	V層	—	たたき石	12.2	7.3	2.0	243	凝灰岩	細粒 絹質 灰白色 2.3/3/1	完全	表面面に 凹状のたたき痕	
	52	K-23区	V層	—	たたき石	12.0	3.0	4.1	218	砂岩	にぶい暗緑色 18/18/3	完全	側縁部に たたき痕	熟石
	53	K-23区	V層	—	たたき石	11.7	7.3	3.0	273	凝灰岩	粗粒 にぶい黄色 2.3/3/2	完全	側縁部のたたき痕 表面すり痕	
	54	R-25区	V層	—	たたき石	17.6	6.4	2.3	345	砂岩	細粒 暗灰黄色 2.3/3/2	完全	両側面の上縁部に たたき痕	
	55	L-24区	V層	—	すり石	17.5	6.0	5.7	333	片麻岩	粗粒 にぶい暗緑色 18/18/4	完全	全面にすり痕 表面にたたき痕	
	74	56	N-25区	V層	—	すり石	11.8	6.6	2.9	270	凝灰岩	暗灰黄色 2.3/3/2	完全	表面面に すり痕、たたき痕 断面にたたき痕
57		P-20区	V層	—	すり石	9.6	3.4	1.4	33.7	凝灰岩	灰黄色 2.3/7/2	完全	全面にすり痕	
58		L-24区	V層	—	すり石	10.0	4.4	1.5	38	凝灰岩	粗粒 灰黄色 2.3/7/3	完全	表面面にすり痕	
59		O-21区	V層	—	すり石	5.0	13.7	6.1	830	砂岩	粗粒 黄灰色 2.3/3/1	完全	下端面にすり痕	
60		R-26区	V層	—	すり石	10.4	16.2	4.5	1,160	砂岩	粗粒 にぶい赤褐色 3/12/2	完全	断面に 斜擦痕と磨行痕 下端面にすり痕	熟石
61		Q-28区	V層	—	北海道式石冠	18.1	13.3	3.3	933	砂岩	粗粒 灰黄色 2.3/8/2	準完全	下端面にすり面 表面面に磨行痕	褐色物 付着
62		M-22区	V層	—	北海道式石冠	10.5	12.9	6.5	1,600	砂岩	粗粒 灰黄色 2.3/7/2	準完全	下端面にすり面 表面面に磨行痕	
63		O-21区	V層	—	北海道式石冠	9.9	10.9	3.7	723	砂岩	粗粒 黄灰色 2.3/3/1	完全	下端面にすり面 表面面に磨行痕	
64		L-21区	V層	—	砥石	20.0	15.8	6.4	2,830	砂岩	粗粒 暗灰黄色 2.3/3/2	片	表面面に砥面	接合
75		65	L-23区	V層	—	砥石	17.30	4.7	4.0	137	凝灰岩	粗粒 灰黄色 2.3/8/2	完全	両面に砥面
	66	R-24区	V層	—	砥石	13.3	6.0	3.7	330	砂岩	中粒 暗灰黄色 2.3/3/2	片	表面と右側面に 砥面	
	67	P-27区	V層	—	砥石	17.4	11.5	2.5	1,120	砂岩	粗粒 灰黄色 2.3/8/2	完全	表面と側面に 砥面	
	68	Q-25区	V層	—	砥石	40.5	23.9	11.6	9,700	砂岩	中粒 暗灰黄色 2.3/3/2	準完全	表面に砥面	
	69	O-24区	I層	—	砥石	5.0	6.3	2.4	123	砂岩	中粒 暗灰黄色 2.3/3/2	片	表面面と断面に 両方の砥面	
	76	70	S-24区	V層	—	台石・石皿	33.3	23.3	14.6	23,300	砂岩	中粒 にぶい黄色 2.3/8/2	完全	たたき痕 すり痕
71		Q-26区	V層	—	台石・石皿	38.1	41.4	11.0	3,690	砂岩	中粒 暗灰黄色 2.3/3/2	完全	大型 たたき痕とすり痕	
72		R-25区	V層	—	台石・石皿	32.7	27.3	13.7	17,600	砂岩	粗粒 暗灰黄色 2.3/3/2	準完全	表面に すり痕とたたき痕	
77	73	Q-25区	V層	—	台石・石皿	34.9	23.3	20.5	31,600	砂岩	粗粒 灰黄色 2.3/8/2	準完全	表面に すり痕とたたき痕 下端面に加工痕?	
	74	M-22区	V層	—	玉	3.2	2.8	1.0	12.9	凝灰岩	オリーブ原色 18/1/1	完全	上部に穿孔	
78	75	Q-22区	V層	—	石製品	5.1	3.1	2.3	32.9	砂岩	粗粒 灰黄色 2.3/8/2	完全	表面面に 多数の磨痕の跡み	
	76	P-20区	V層	—	石製品	8.3	4.1	2.5	87.0	砂岩	粗粒 灰黄色 2.3/7/2	完全	結核部に付着? 研磨痕?	
	77	L-23区	V層	—	石製品	4.3	4.4	2.0	43.9	砂岩	粗粒 暗灰黄色 2.3/3/2	完全	小型の 北海道式石冠	
	78	N-21区	V層	—	石製品	6(7)	6.7	2.9	134.3	砂岩	中粒 黄灰色 2.3/4/1	片	小型の 北海道式石冠	

VII章 上幌内5遺跡 遺構

1. 概要(図79)

調査した遺構は竪穴住居跡(H)1軒、土坑(P)8基、小土坑(SP)1基で、すべて無名の沢(イタルイカ)の左岸L地区でみつかった。竪穴住居跡はL-3地区で楕円形のH-1を調査し、縄文時代早期または中期と推測している。土坑はL-1地区でP-1、L-3地区の東側でP-8、西側ではP-2~7を調査した。P-1は楕円形、P-8は細長い。西側のものは円形または楕円形で、礫石器やレキがまとまって出土した。小土坑はL-3地区西側で1か所みつかった。多くみつかったTビット(TP)は第4節で述べる。また、図79でR-3地区の中央付近にのみV層上面の等高線を図示したが、この部分は包含層調査の予定範囲であったが、遺構確認調査に切り換えた(Ⅲ章3節参照)。また、この沢への崖が左岸のL-1・4地区、右岸のR-2地区にみられ、これより沢に近い低位部に遺構はみられなかった。

2. 竪穴住居跡

H-1 (図80 表58・59 図版32)

位置 b・c・d-44・45・46区 規模 7.60×5.16 / 7.30×4.40 / 0.54m

平面形態 楕円形

確認・調査 建設機械による表土除去作業中、VII層が傾斜し黒色土がみられた。調査区無名の沢へ傾斜する地形と考え、この黒色土を掘削するように指示した。しかし、北西から北側、そして北東側でVII層が再びみられ、楕円形の広い黒色土の堆積で遺構と考えられた。その後、人力で調査を開始した。黒色土が残る北東側部分で土層を観察したところ、平坦な面と壁の立ち上がりがみられたので、遺構と判断した。規模から竪穴住居跡と考えられ、段や土坑、柱穴・杭穴を確認した。

覆土 北東側部分で覆土最下層を確認し、炭化物が微量に混じる。

床面・壁 壁はゆるやかに立ち上がり、坑底面は曲線的で中央がくぼむ。

付属遺構 土坑h p-1を1基、柱穴・杭穴h p-2~4を3か所、そして段を確認した。

土坑 h p-1 規模 0.76×0.46 / 0.64×0.36 / 0.06m 平面形態 楕円形

柱穴・杭穴 h p-2 規模 0.28 / 0.20 / 0.20m 平面形態 円形

h p-3 規模 0.14 / ー / 0.08m 平面形態 円形

h p-4 規模 0.24 / 0.08・0.10 / 0.06m 平面形態 円形

段 規模 2.80×1.54 / 2.52×1.18 / (0.12)m 平面形態 不整な楕円形

土坑h p-1は楕円形で住居跡の北西側に位置し、軸方向は一致しない。柱穴・杭穴は、h p-2は径が大きく、h p-3は小さい。h p-4は底面を2か所確認した。段は北東側に位置し底面は平坦である。

重複 南西側部分の壁際で、TP-17・18と重なるが、覆土を調査できなかったため、新旧関係は不明である。

遺物出土状況 床面出土の遺物はI群土器、石鏃、フレイク、台石・石皿、レキがあり、覆土からは石鏃、石槍・ナイフ、磨製石斧、砥石等が出土した。

時期 出土土器から縄文時代早期の可能性があるが、放射性炭素年代測定の結果は5292ca1BP-

5044c1BP(95.4%) (2の暦年代)で、縄文時代中期中葉と考えられる。

3. 土坑・小土坑 (図81～85 表60・61 図版33・34)

P-1 (図81 表60 図版33)

位置 a-37区 **規模** 1.23×0.76 / 0.76×0.45 / 0.24m **平面形態** 楕円形
確認・調査 遺構確認調査中、楕円形の黒色土がみられた。半載し平坦な面と壁の立ち上がりを確認し、遺構と判断した。
覆土 黒色土主体で、上位のくぼみには1層の盛土が堆積していた。
坑底面・壁 坑底は短軸方向が平坦で、長軸方向が曲線的である。壁は大きく開いて立ち上がる。
時期 遺跡の主たる時期である縄文時代中期後半～後期初頭と推測される。

P-2 (図81 表60 図版33)

位置 k-54区 **規模** 1.23×0.67 / 0.63×0.22 / 0.52m **平面形態** 楕円形
確認・調査 遺構確認調査中、楕円形の黒色土がみられた。半載したところ平坦な面と壁の立ち上がりを確認し、遺構と判断した。
覆土 上～中位は黒色土主体で、下位の第3層は褐色を呈する。
坑底面・壁 坑底は概ね平坦で、壁は大きく開いて立ち上がり、南側では曲線的である。
時期 遺跡の主たる時期である縄文時代中期後半～後期初頭と推測される。

P-3 (図82 表60 図版33)

位置 j・k-53区 **規模** 1.84×1.53 / 1.00×0.42 / 0.84m **平面形態** 楕円形
確認・調査 遺構確認調査中、楕円形の土がみられた。半載したところ平坦な面と壁の立ち上がりを確認し、遺構と判断した。
覆土 最上位のくぼみにIV層T a-cが厚く堆積しており、第1層は褐色土主体である。
坑底面・壁 坑底は概して平坦で、壁は大きく開口気味に立ち上がる。
遺物出土状況 覆土からIV群土器の胴部と底部破片、台石・石皿、U・Rレキが出土した。
時期 出土土器から縄文時代後期初頭と判断される。

P-4 (図82 表60 図版33)

位置 i-53区 **規模** 1.11×0.95 / 0.90×0.56 / 0.28m **平面形態** 楕円形
確認・調査 遺構確認調査中、レキと楕円形の土がみられたので、半載したところ平坦な面と壁の立ち上がりを確認し、遺構と判断した。
覆土 第2層の上位の層界は、中央がくぼみ形状で堆積する。
坑底面・壁 坑底は、長軸方向は中央が低く、短軸方向は北側へ傾斜する。
遺物出土状況 覆土から台石・石皿・レキがまとめて出土した。
時期 遺跡の主たる時期である縄文時代中期後半～後期初頭と推測される。

P-5 (図83 表60 図版34)

位置 i-53区 **規模** 1.06×0.66 / 0.70×0.15 / 0.32m **平面形態** 楕円形
確認・調査 遺構確認調査中、楕円形の黒色土がみられた。半載したところ平坦な面と壁の立ち上

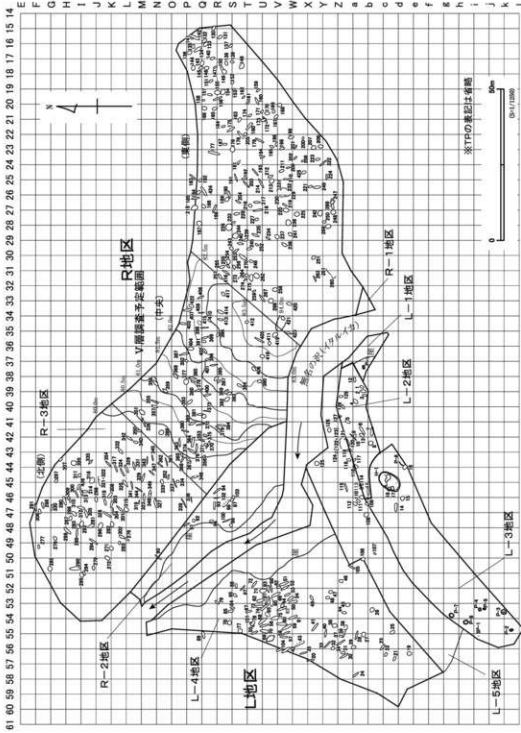
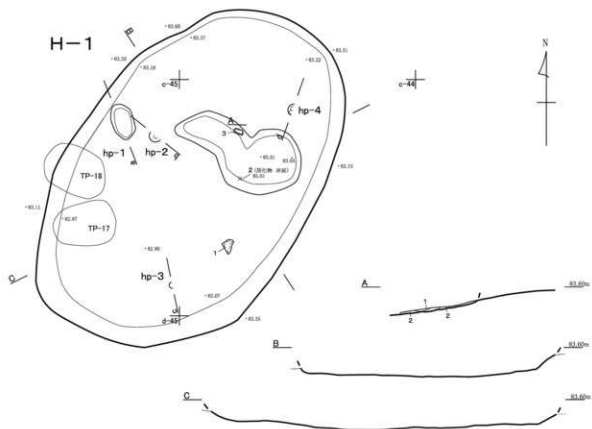
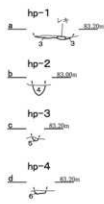


図79 上幌内5遺跡 V層上面地形測量図・遺構位置図



遺跡	土層	用途	形状	構造	面積	層位	層厚 (m)	層数	備考
hp-1	砂	貯蔵	円形	---	41	82.20	---	---	---
hp-2	砂	貯蔵	円形	---	41	82.20	---	---	---
hp-3	砂	貯蔵	円形	---	41	82.20	---	---	---
hp-4	砂	貯蔵	円形	---	41	82.20	---	---	---
TP-17	砂	貯蔵	円形	---	41	82.20	---	---	---
TP-18	砂	貯蔵	円形	---	41	82.20	---	---	---



遺構名	付属	位置	用途	形状	構造	砂・粘土・シルト (長径2m未満)		礫 (長径2m以上)		層位	層厚 (m)	層数	備考	
						色	含有率 (%)	平均	最大					
H-1	2	砂V層	貯蔵	円形	砂	野土	赤褐色	100%	0	7	11	底層	段状	段状
						野土	赤褐色	100%	0	7	11	底層	段状	段状
H-1	3	砂V層	貯蔵	円形	砂	野土	赤褐色	100%	0	13	2-3	底層	段状	段状
						野土	赤褐色	100%	0	13	2-3	底層	段状	段状
						野土	赤褐色	100%	0	13	2-3	底層	段状	段状
						野土	赤褐色	100%	0	13	2-3	底層	段状	段状
H-1	4	砂層	貯蔵	円形	砂	野土	赤褐色	100%	0	1	2	底層	段状	---
						野土	赤褐色	100%	0	1	2	底層	段状	---
H-1	5	砂層	貯蔵	円形	砂	野土	赤褐色	100%	0	1	2	底層	段状	---
						野土	赤褐色	100%	0	1	2	底層	段状	---
H-1	6	砂V層	貯蔵	円形	砂	野土	赤褐色	100%	0	13	2-3	底層	段状	段状
						野土	赤褐色	100%	0	13	2-3	底層	段状	段状

図80 上幌内5遺跡 H-1

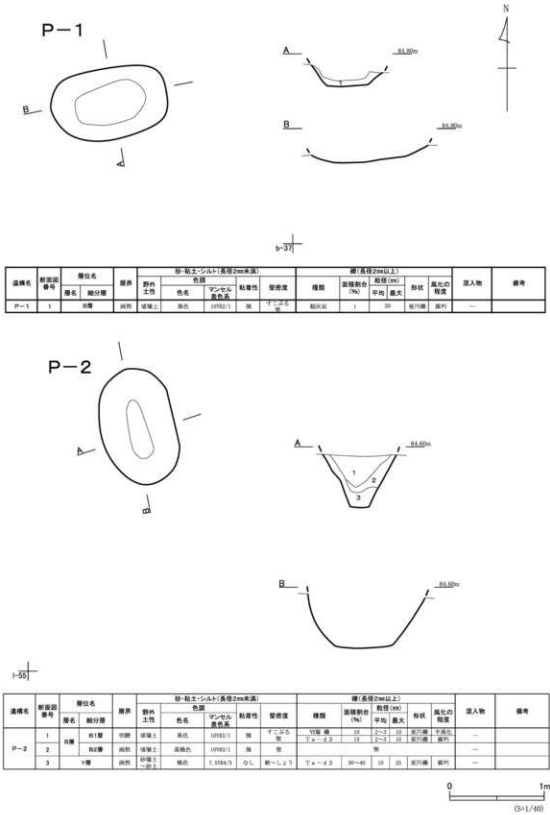


図81 上幌内5遺跡 P-1・P-2

りを確認し、遺構と判断した。

覆土 主たる覆土は黒色土主体で、上位の中央に褐色土が一部堆積する。

坑底面・壁 長軸方向の坑底は曲線的で、壁の立ち上がりは大きく開く。

時期 遺跡の主たる時期である縄文時代中期後半～後期初頭と推測される。

P-6 (図83 表60 図版34)

位置 h-54区 **規模** 1.63×1.38 / 1.23×1.07 / 0.34m **平面形態** 楕円形

確認・調査 遺構確認調査中、円形の黒色土がみられた。半載したところ平坦な面と壁の立ち上がりを確認し、遺構と判断した。

覆土 覆土第3層が黄褐色土主体で、各層は概して水平な堆積である。

坑底面・壁 坑底は概して平坦で、壁は大きく開いて立ち上がる。

遺物出土状況 中央よりやや北側で頁岩製のつまみ付きナイフ、南側の壁際で礫石器やレキがまとめてみられた。覆土から黒曜石のフレイクが100点以上、残存状態が「片」の磨製石斧が50点弱出土した。

時期 遺跡の主たる時期である縄文時代中期後半～後期初頭と推測される。

P-7 (図84 表60 図版34)

位置 g-53区 **規模** 1.63×1.41 / 1.34×1.06 / 0.34m **平面形態** 楕円形

確認・調査 遺構確認調査中、楕円形の黒色土がみられた。半載したところ平坦な面と壁の立ち上がりを確認し、遺構と判断した。

覆土 主たる覆土は褐色土で、上位は部分的な層が多くみられる。

坑底面・壁 坑底は凹凸があり、壁の立ち上がりは開口気味である。

遺物出土状況 覆土からフレイク、台石・石皿、レキが中心付近からまとめて出土した。

時期 遺跡の主たる時期である縄文時代中期後半～後期初頭と推測される。

P-8 (図84 表60 図版34)

位置 d-43区 **規模** 1.80×(0.37) / 1.56×(0.28) / 0.36m **平面形態** 楕円形

確認・調査 遺構確認調査中、細長い黒色土がみられた。形状からTビットと予想し半載した。平坦な面と壁の立ち上がりを確認したので、土坑と判断した。

覆土 すべて黒色土主体で、第1層は最上位の中央付近に部分的に堆積する。

坑底面・壁 坑底は段差があるが平坦で、壁は長軸方向で大きく開き、短軸方向ではやや直立気味な立ち上がりである。

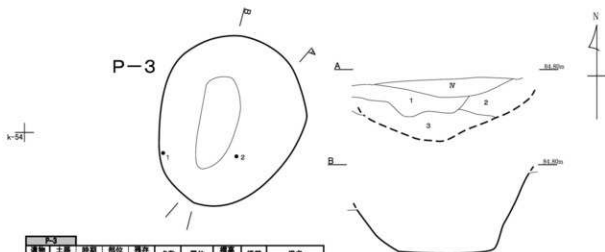
時期 遺跡の主たる時期である縄文時代中期後半～後期初頭と推測される。

S P-1 (図85 表61 図版34)

位置 i-55区 **規模** 0.12 / 0.04 / 0.20m **平面形態** 円形

確認・調査 遺構確認調査中、円形の黒色土がみられた。半載して断面形態や覆土から遺構と判断した。周辺も精査し同様な遺構の発見に努めたが、みられなかった。覆土は黒色土主体で、断面形態は斜めである。

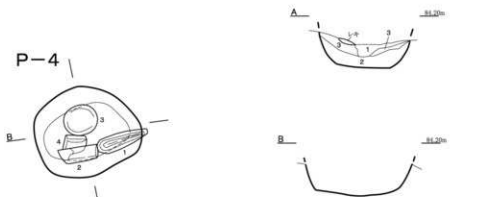
時期 遺跡の主たる時期である縄文時代中期後半～後期初頭と推測される。



遺構番号	土層	時期	形状	掘削状態	点数	層位	層厚 (m)	縄文	備考
1	砂土・石層	前期	凹形	掘削	1	層上1層	0.1-0.5		
2	砂土・石層	前期	凹形	掘削	1	層上1層	0.1-0.5		
3	砂土・石層	前期	凹形	掘削	1	層上1層	0.1-0.5		
4	砂土	前期	凹形	掘削	4	層上1層	—		
5	砂土	前期	凹形	掘削	10	層上1層	—		
6	砂土	前期	凹形	掘削	1	層上1層	—		
7	砂土	前期	凹形	掘削	1	層上1層	—		

遺構名	断面図番号	層位名	層厚	野外地性	色図			堅密度	種類	埋没割合 (%)		形状	風化の程度	遺入物	備考
					色名	マンセル色数表	粘着性			種類	平均				
P-3	1	砂層	高粘	硬土	紅褐色	10YR5/4	弱	粘~粘	砂層	20	2~3	窪み跡	中風化	炭化物 燧石	
	2	砂層	高粘	硬土	黄褐色	10YR5/1	弱	粘~粘	アモニウム	1~2	2~3	窪み跡	高粘	炭化物 燧石	
	3	砂層	高粘	硬土	黄褐色	10YR5/1	弱	粘~粘	アモニウム	1~2	2~3	窪み跡	高粘	—	

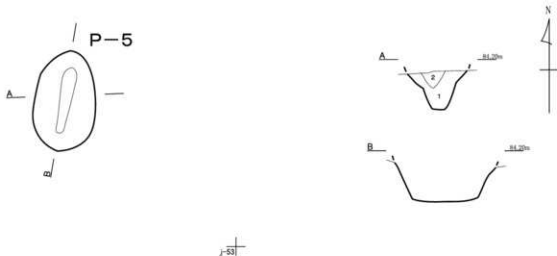
k-53



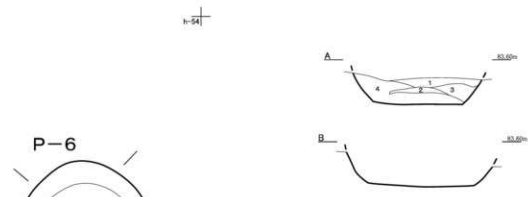
遺構番号	土層	時期	形状	掘削状態	点数	層位	層厚 (m)	縄文	備考
1	砂土・石層	前期	凹形	掘削	1	層上1層	0.1-0.5		
2	砂土・石層	前期	凹形	掘削	1	層上1層	0.1-0.5		
3	砂土・石層	前期	凹形	掘削	1	層上1層	0.1-0.5		
4	砂土	前期	凹形	掘削	2	層上1層	—		
5	砂土	前期	凹形	掘削	2	層上1層	—		
6	砂土	前期	凹形	掘削	1	層上1層	—		
7	砂土	前期	凹形	掘削	1	層上1層	—		
8	砂土	前期	凹形	掘削	1	層上1層	—		
9	砂土	前期	凹形	掘削	4	層上1層	—		
10	砂土	前期	凹形	掘削	12	層上1層	—		

遺構名	断面図番号	層位名	層厚	野外地性	色図			堅密度	種類	埋没割合 (%)		形状	風化の程度	遺入物	備考
					色名	マンセル色数表	粘着性			種類	平均				
P-4	1	砂層	高粘	硬土	赤色	10YR5/1	弱	粘~粘	アモニウム	1~2	2~3	窪み跡	高粘	—	
	2	砂層	高粘	硬土	黄褐色	10YR5/2	弱	粘	アモニウム	2~3	3	窪み跡	高粘	—	

図82 上幌内5遺跡 P-3・P-4



遺跡名	新調査番号	遺址名	層別	地質・土性	砂・粘土・シルト(長径2m未満)				礫(長径2m以上)				遺入物	備考		
					色		粘着性	塑性度	種類	個体割合(N%)	粒径(mm)平均	最大			形状	高さの程度
					色名	マンテル濃色名										
P-5	1	B1層	砂質	砂質土	黄褐色	100B1.3	無	無	礫混在	3~7	2~3	卵円礫	高化	—		
	2	B2層	砂質	砂質土	灰色(粘土)	100B2.3	中~強	無	礫混在	3~5	2~3	卵円礫	高化	—		



遺跡番号	土層	時期	層別	形状	点数	層位	層高(m)	規模	備考
1	100A1.1	前期	前期	1	埋土貯蔵	33.24			
2	100A1.2	中期	中期	1	埋土貯蔵	33.20			
3	100A1.3	後期	後期	1	埋土貯蔵	33.31			
4	100A1.4	後期	後期	2	埋土貯蔵	33.31			
—	フレイク	片	—	1	埋土貯蔵	—			
—	フレイク	片	—	79	埋土貯蔵	—			
—	フレイク	片	—	3	埋土貯蔵	—			
—	フレイク	片	—	7	埋土貯蔵	—			
—	フレイク	片	—	9	埋土貯蔵	—			
—	フレイク	片	—	4	埋土貯蔵	—			
—	フレイク	片	—	41	埋土貯蔵	—			
—	フレイク	片	—	1	埋土貯蔵	—			
—	100A1.1	前期	前期	1	埋土貯蔵	—			
—	100A1.2	中期	中期	2	埋土貯蔵	—			
—	100A1.3	後期	後期	2	埋土貯蔵	—			
—	100A1.4	後期	後期	1	埋土貯蔵	—			

遺跡名	新調査番号	遺址名	層別	地質・土性	砂・粘土・シルト(長径2m未満)				礫(長径2m以上)				遺入物	備考		
					色		粘着性	塑性度	種類	個体割合(N%)	粒径(mm)平均	最大			形状	高さの程度
					色名	マンテル濃色名										
P-6	1	B1層	砂質	砂質土	黄褐色	100B1.3	無	無	T ₄ -4.2	5	3~5	卵円礫	高化	フレイク		
	2	B2層	砂質	砂質土	黄褐色	100B2.3	無	無	T ₄ -4.2	7	7	卵円礫	高化	—		
	3	B3層	砂質	砂質土	灰色(粘土)	100B3.3	無	無	T ₄ -4.2	20	3~5	卵円礫	高化	—		
	4	B4層	砂質	砂質土	黄褐色	T ₄ 100A.3	無	無	T ₄ -4.2	13	10	卵円礫	高化	フレイク		

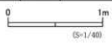
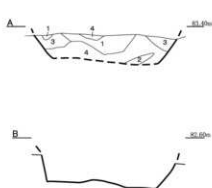
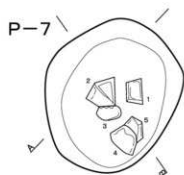


図83 上幌内5遺跡 P-5・P-6

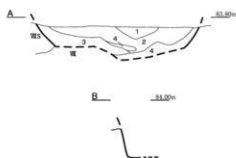
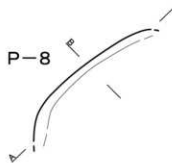


遺構番号	土層・時期	形状	構造	高さ	層位	深さ (m)	用途	備考
1	白石・石炭	砂状	穴状	1	掘土跡	83.27 →83.21		
2	白石・石炭	砂状	穴状	1	掘土跡	83.06 →83.11		
3	石炭	砂状	穴	1	掘土跡	83.16		
4	白石・石炭	砂状	穴状	1	掘土跡	83.07 →83.12		
5	白石・石炭	砂状	穴状	1	掘土跡	83.13 →83.14		
—	フレイズ	厚板石	—	—	掘土跡	—		
—	石炭	砂状	穴	2	掘土跡	—		
—	石炭	砂状	穴	3	掘土跡	—		

n-51

遺構名	新調査番号	層位名		層界	砂・粘土・シルト (長径2mm未満)				礫 (長径2mm以上)				遺入物	備考	
		層名	細分類		野内土性	色名	マンセル色色名	粘着性	堅硬度	種類	含量割合 (%)	平均			最大
P-7	1	砂1層	砂質	硬質土	赤褐色	10Y5/2	強	堅	T a - 4 2	7	5	10	球形礫	風化無	少量
	2	砂2層	砂質	硬質土	赤色	10Y5/1	強	堅～軟	T a - 4 2	3	2~3	5	球形礫	風化	—
	3	砂3層	砂質	硬質土	赤褐色	10Y5/1	強	堅～軟	T a - 4 2	7	8~10	5	球形礫	風化	—
	4	V層	砂質	硬質土	褐色	7.5Y5/4	強	堅	T a - 4 2	30	5~6	10	球形礫	風化	—

s-44



遺構名	新調査番号	層位名		層界	砂・粘土・シルト (長径2mm未満)				礫 (長径2mm以上)				遺入物	備考	
		層名	細分類		野内土性	色名	マンセル色色名	粘着性	堅硬度	種類	含量割合 (%)	平均			最大
P-8	1	砂1層	砂質	硬質土	赤色	10Y5/1, 7/1	強	堅	T a - 4 2	—	—	—	—	—	—
	2	砂2層	砂質	硬質土	赤色	10Y5/1, 7/1	強	堅	T a - 4 2	7~10	3~5	5	球形礫	風化	—
	3	砂3層	砂質	硬質土	赤褐色	10Y5/1	強	堅	T a - 4 2	1	2~5	5	球形礫	風化	—
	4	砂4層	砂質	硬質土	赤褐色	10Y5/1	強	堅	T a - 4 2	30	2~3	10	球形礫	風化	—

0 1m
(S=1/40)

図84 上幌内5遺跡 P-7・P-8

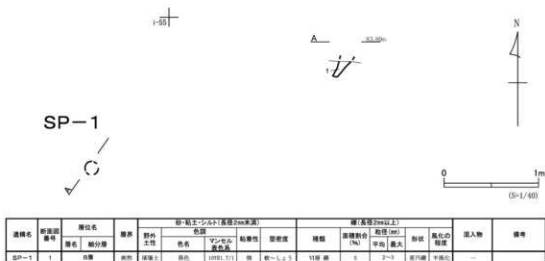


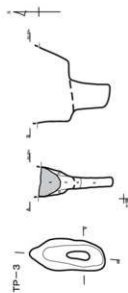
図85 上横内5遺跡 SP-1

4. Tピット(図79・86~193 表62・63 図版35~104)

Tピットは遺跡の全体から多くみつかり、426番までを付した。これには、同じ番号を複数の遺構付しさらに記号を追加して付けたもの、複数と想定したものが単独であったもの、土坑と判断したものの、遺構でないものがある。これらを整理した総数は421基で、左岸L地区が116基、右岸R地区が305基である(詳細はIX章3節参照)。

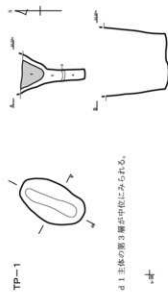
Tピットは形態で円形、楕円形、長楕円形、溝状に分けられる。L地区の南側では楕円形のものが多く、散在的な分布で、調査区中央を流れる無名の沢(イタルイカ)から離れたL-3・5地区の南西側ではみられない。L-4地区では中央付近から南側が散在的で、西側に楕円形、東側に溝状が多い。特にU~W-52~55区付近は大型の溝状が集中する。これより北側へは散在的で、さらにみられなくなる。右岸はこの沢近くに、凝灰岩由来と考えられる粘土層(Lgc1層・Lgtf層)を地山とするR-2地区で散在的にみられ、上流側は存在しない。R-3地区の東側は概ね散在的で、概して楕円形が多い。中央付近~北側部分は溝状のものも多く、厚真川の崖に近い北東側とこの沢近くではみられなかった。

多くのTピットを限られた期間で調査するため、方法を工夫した。図化作業は、土層断面図は、平成27(2015)年度の調査開始時、作業員の中で実測できる人材を数名育成し、当初は二人一組での図化、熟練するにつれ単独で行った。平成28(2016)年度は、現場の普通作業員として雇用した高知大学考古学専攻の学生中原朋美に、基本土層とTピット覆土のモデル(表74)に基づいた分層作業に携わせた。平面図とエレベーション図は、平成27(2015)年度の調査からトータルステーションを導入し、測点は平面直角座標(世界測地系)で測り、CADソフトを用いて作図した。



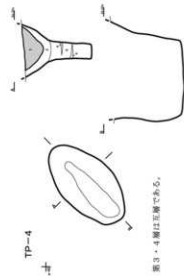
第3層は砂と粘土の互層で遺構の覆土ではなく、南側の深い部分は掘り通りで、エレベーターシャフトの遺構で示した位置が瓦葺基壇と考えられる。

遺構番号	層	遺構形状	位置		面積		備考
			北緯	東経	㎡	坪	
TP-3	3	瓦葺基壇	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-3	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-3	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-3	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-3	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-3	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-3	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-3	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-3	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-3	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	



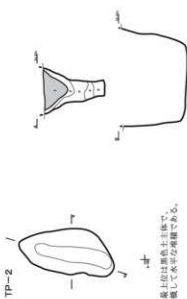
TP-1-1 主体の第3層が中心にみられる。

遺構番号	層	遺構形状	位置		面積		備考
			北緯	東経	㎡	坪	
TP-1-1	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-1-1	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-1-1	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-1-1	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-1-1	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-1-1	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-1-1	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-1-1	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-1-1	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-1-1	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	



第3・4層は互層である。

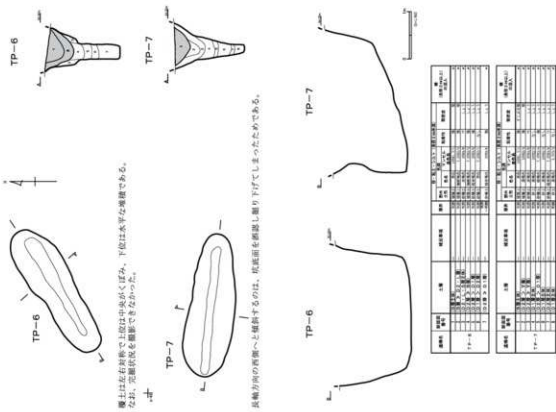
遺構番号	層	遺構形状	位置		面積		備考
			北緯	東経	㎡	坪	
TP-4	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-4	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-4	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-4	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-4	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-4	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-4	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-4	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-4	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-4	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	



覆土の層上は部の上主体で、下位は掘り通りである。

遺構番号	層	遺構形状	位置		面積		備考
			北緯	東経	㎡	坪	
TP-2	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-2	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-2	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-2	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-2	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-2	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-2	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-2	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-2	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	
TP-2	3	掘り通	33.3	14.4	4.8	62.1	

図86 上幌内5遺跡 TP-1・TP-2・TP-3・TP-4



長軸方向の西部へと傾斜するのは、瓦葺面を確認し崩り下げたためである。

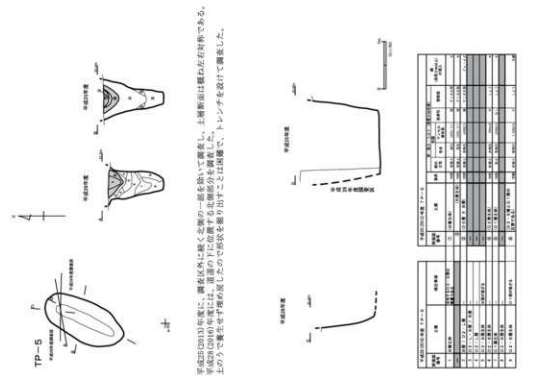


図87 上幌内5遺跡 TP-5・TP-6・TP-7

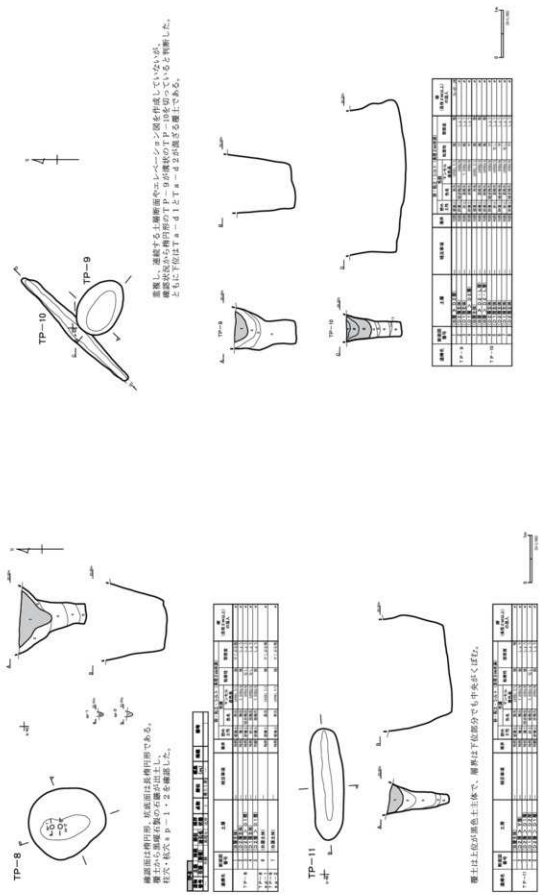
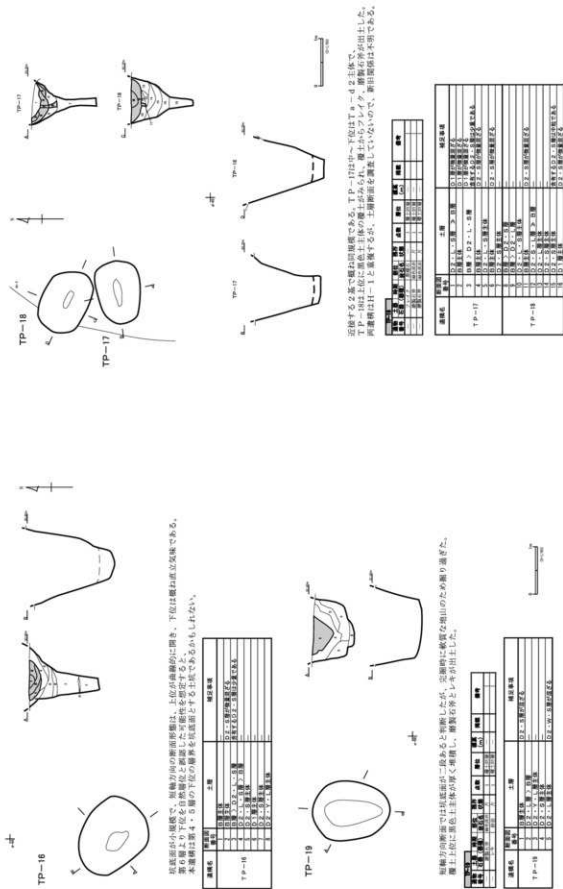


図88 上幌内5遺跡 TP-8・TP-11・TP-9・TP-10

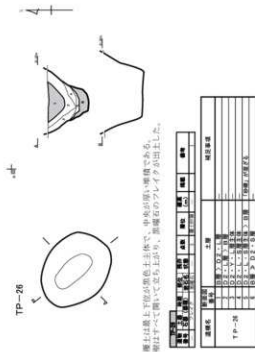


坑底面が分層様で、層相方向の断面形態は、上位が扇形的に開き、下位は緩む直立気味である。第4層より下位を自然腐化と判断した可塑性を想定すると、米遺物は第4・5面の下位の層相を底面とする土気であるかもしれない。

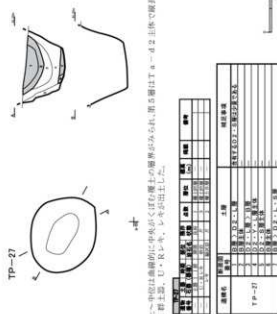
層相方向断面では坑底面が二峰あると判断したが、定量的に軟質な堆山のため崩り過ぎた。層上位は赤色土主体が厚く相成し、崩壊石等とレンガが出た。

3坑するまで掘り進められる。TP-17は中心下位はレンガの土気。TP-18は上位は赤色土主体の層相が厚く、層上からレンガ・崩壊石等が出た。両遺物は1・2と異なるが、土層断面を測っていないので、断面図は本図である。

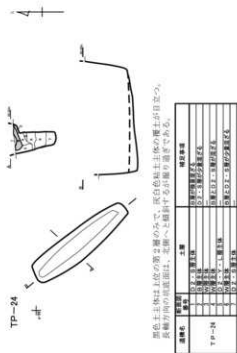
図90 上幌内5遺跡 TP-16・TP-19・TP-17・TP-18



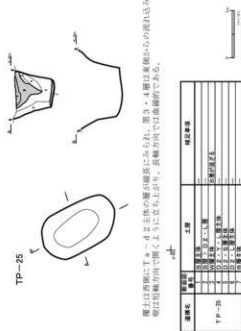
断面は最上層位の黒色土主体で、中央部が、傾斜である。壁はすべて土割いで立ち上がり、黒褐色のクレークが出土した。



断面は黒色土主体で、中央部が、傾斜である。壁はすべて土割いで立ち上がり、黒褐色のクレークが出土した。

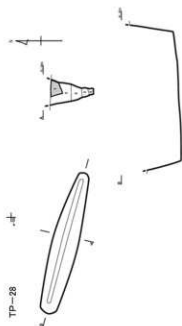


断面は黒色土主体で、中央部が、傾斜である。壁はすべて土割いで立ち上がり、黒褐色のクレークが出土した。



断面は黒色土主体で、中央部が、傾斜である。壁はすべて土割いで立ち上がり、黒褐色のクレークが出土した。

図92 上幌内5遺跡 TP-24・TP-25・TP-26・TP-27



TP-28

北して深く、最上位に褐色土主体の層が部分的にみられる。
 長軸方向の坑底面は東傾へ傾斜し、IV層土層とフレイクが出た。

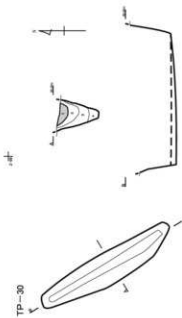
遺跡名	調査年度	調査機関	調査者	調査種別	調査内容	調査結果
TP-28	1973	国土地理院	佐藤 隆	発掘調査	1. 長軸方向の坑底面は東傾へ傾斜し、IV層土層とフレイクが出た。	



TP-29

層は大きく三つに分けられ、平べて北西側から東北山に傾斜している。
 坑底面は南り向きで、黒曜石のフレイクが出た。

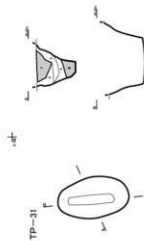
遺跡名	調査年度	調査機関	調査者	調査種別	調査内容	調査結果
TP-29	1973	国土地理院	佐藤 隆	発掘調査	1. 層は大きく三つに分けられ、平べて北西側から東北山に傾斜している。 2. 坑底面は南り向きで、黒曜石のフレイクが出た。	



TP-30

各層上の層界は上位では曲線的に半円状に平たくなり、下位へ行くにつれ水平に近くなる。
 坑底は南り向きである。

遺跡名	調査年度	調査機関	調査者	調査種別	調査内容	調査結果
TP-30	1973	国土地理院	佐藤 隆	発掘調査	1. 各層上の層界は上位では曲線的に半円状に平たくなり、下位へ行くにつれ水平に近くなる。 2. 坑底は南り向きである。	



TP-31

層土は最上下位が褐色土主体で、第2層は西から、第3層は東から傾斜した傾斜である。

遺跡名	調査年度	調査機関	調査者	調査種別	調査内容	調査結果
TP-31	1973	国土地理院	佐藤 隆	発掘調査	1. 層土は最上下位が褐色土主体で、第2層は西から、第3層は東から傾斜した傾斜である。	

図93 上幌内5遺跡 TP-28・TP-29・TP-30・TP-31

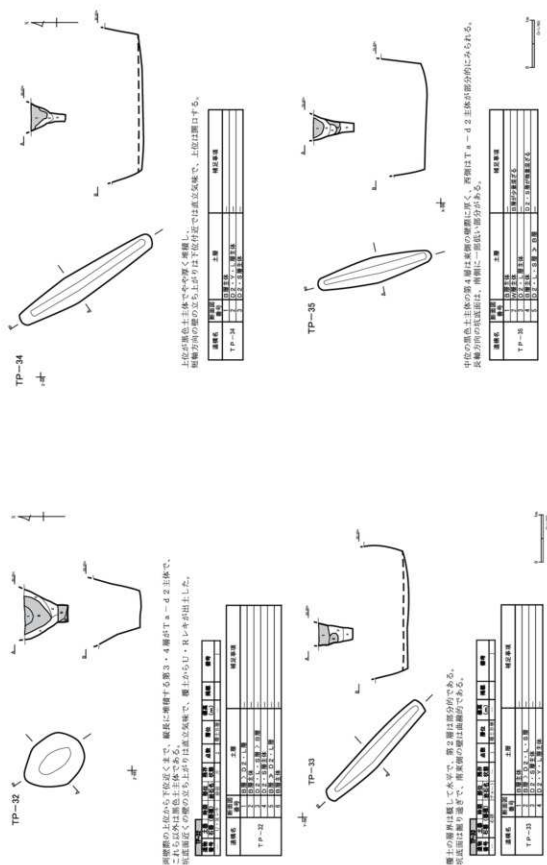
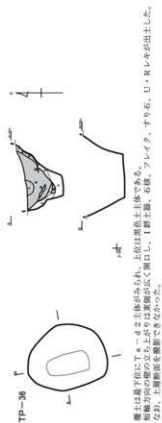
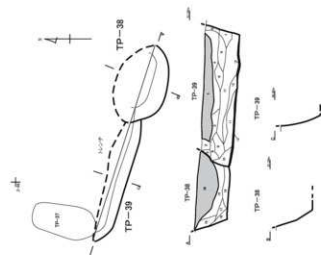


図94 上幌内5遺跡 TP-32・TP-33・TP-34・TP-35



遺跡名	TP-36				遺跡位置			
	緯度	経度	東	北	緯度	経度	東	北
遺跡名	01°02'30.00" N	103°01'48.00" E	103°02'00.00" E	103°02'30.00" E	緯度	103°01'48.00" E	経度	103°02'30.00" E

遺跡は遺跡下に T a - d 2 土層がみられ、上位は褐色土土層である。土層断面をみると、遺跡が広がる。土層断面をみると、遺跡が広がる。



TP-37



遺跡は遺跡下に T a - d 2 土層がみられ、上位は褐色土土層である。土層断面をみると、遺跡が広がる。土層断面をみると、遺跡が広がる。

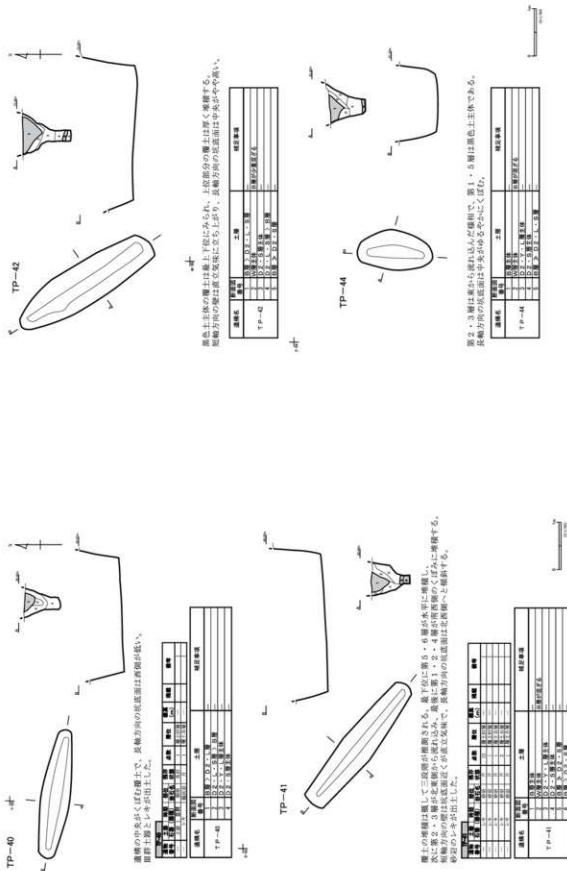
遺跡名	TP-37				遺跡位置			
	緯度	経度	東	北	緯度	経度	東	北
遺跡名	01°02'30.00" N	103°01'48.00" E	103°02'00.00" E	103°02'30.00" E	緯度	103°01'48.00" E	経度	103°02'30.00" E

横田部の TP-38 と同じく TP-37 も遺跡し、遺跡する土層断面の厚さのため、トレンチで掘ら回した。切り取りから横田部の TP-38 が多く、層土は断面上位である。横田部の TP-38 は、TP-38 の多く、褐色土土層の層が遺跡の下にみられる。

遺跡名	TP-38				遺跡位置			
	緯度	経度	東	北	緯度	経度	東	北
遺跡名	01°02'30.00" N	103°01'48.00" E	103°02'00.00" E	103°02'30.00" E	緯度	103°01'48.00" E	経度	103°02'30.00" E

遺跡名	遺跡位置				遺跡位置			
	緯度	経度	東	北	緯度	経度	東	北
遺跡名	01°02'30.00" N	103°01'48.00" E	103°02'00.00" E	103°02'30.00" E	緯度	103°01'48.00" E	経度	103°02'30.00" E

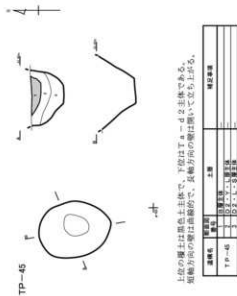
図95 上概内5遺跡 TP-36・TP-37・TP-38・TP-39



黒色土主体の遺構は最上下段にみられ、上段部分の遺構は厚く残存する。長軸方向の北底面は直立状態で、長軸方向の北底面は中央部が浅い。

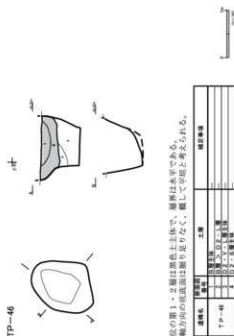
遺構の色を色くぼくぼくした遺構で、長軸方向の北底面は新築が低い。断面十数センチ出た。レキが出た。

図96 上幌内5遺跡 TP-40・TP-41・TP-42・TP-44



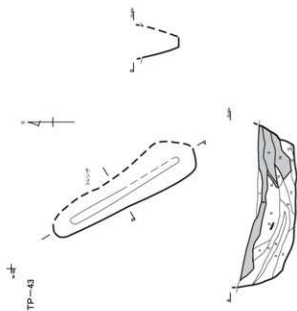
上位の層土は褐色土主体で、下位はT a - 4 2 主体である。
 長軸方向の壁は曲線的で、長軸方向の壁は直線的で、直上する。

遺構名	層別	土層	構造	備考
TP-45	1	10	1	10
	2	10	1	10
	3	10	1	10
	4	10	1	10
	5	10	1	10



上位の層1・2層は褐色土主体で、層断は水平である。
 長軸方向の短辺は直線的で、直上する。

遺構名	層別	土層	構造	備考
TP-46	1	10	1	10
	2	10	1	10
	3	10	1	10
	4	10	1	10
	5	10	1	10



長軸方向に設けたトレンチで断ら探りした。
 上位は赤くみられる褐色土層の中央のくぼみには、百層T a - e が埋積する。
 層断は直線的で東側の中央へ凸出するが、第3・4・8・14層は南西面の前面上位から覆れ込んだ層面である。
 北東面は凹凸があり、壁は南西面から直上する。

遺構名	層別	土層	構造	備考
TP-43	1	10	1	10
	2	10	1	10
	3	10	1	10
	4	10	1	10
	5	10	1	10
	6	10	1	10
	7	10	1	10
	8	10	1	10
	9	10	1	10
	10	10	1	10
	11	10	1	10
	12	10	1	10
	13	10	1	10
	14	10	1	10
	15	10	1	10
	16	10	1	10
	17	10	1	10
	18	10	1	10
	19	10	1	10
	20	10	1	10

図97 上帳内5遺跡 TP-43・TP-45・TP-46

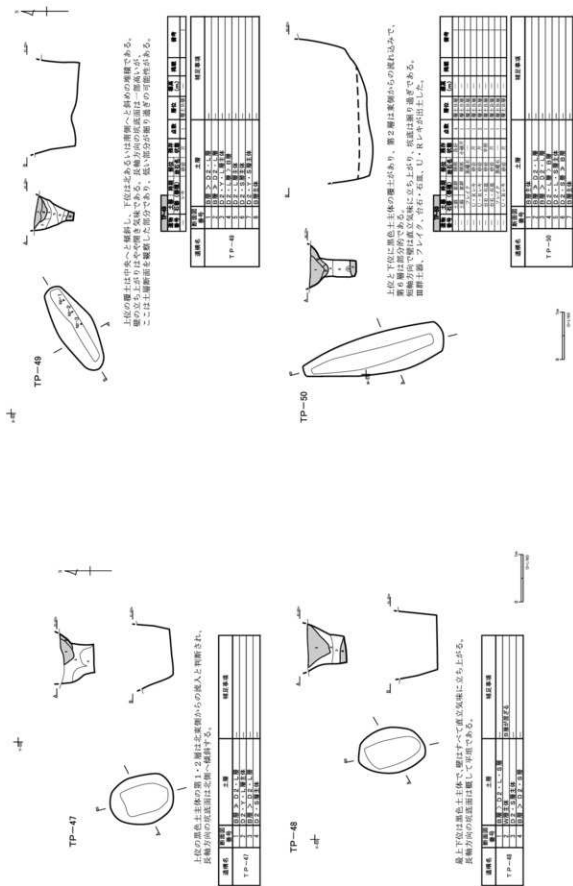
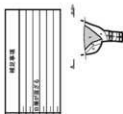
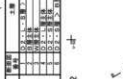


図98 上幌内5遺跡 TP-47・TP-48・TP-49・TP-50

↑ ↓ TP-51

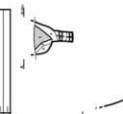


↑ ↓ TP-52



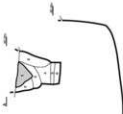
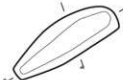
遺物名	発掘層	位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置
TP-51	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
埋蔵層												
埋蔵層												
埋蔵層												

↑ ↓ TP-53



遺物名	発掘層	位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置
TP-53	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
埋蔵層												
埋蔵層												
埋蔵層												

↑ ↓ TP-54



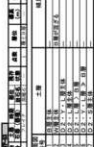
遺物名	発掘層	位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置
TP-54	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
埋蔵層												
埋蔵層												
埋蔵層												

↑ ↓ TP-53



遺物名	発掘層	位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置
TP-53	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
埋蔵層												
埋蔵層												
埋蔵層												

↑ ↓ TP-54



遺物名	発掘層	位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置
TP-54	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
埋蔵層												
埋蔵層												
埋蔵層												

↑ ↓ TP-51

↑ ↓ TP-52

↑ ↓ TP-53

↑ ↓ TP-54

遺物名	発掘層	位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置
TP-51	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
埋蔵層												
埋蔵層												
埋蔵層												

遺物名	発掘層	位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置	出土層	出土位置
TP-52	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
埋蔵層												
埋蔵層												
埋蔵層												

図99 上幌内5遺跡 TP-51・TP-52・TP-53・TP-54

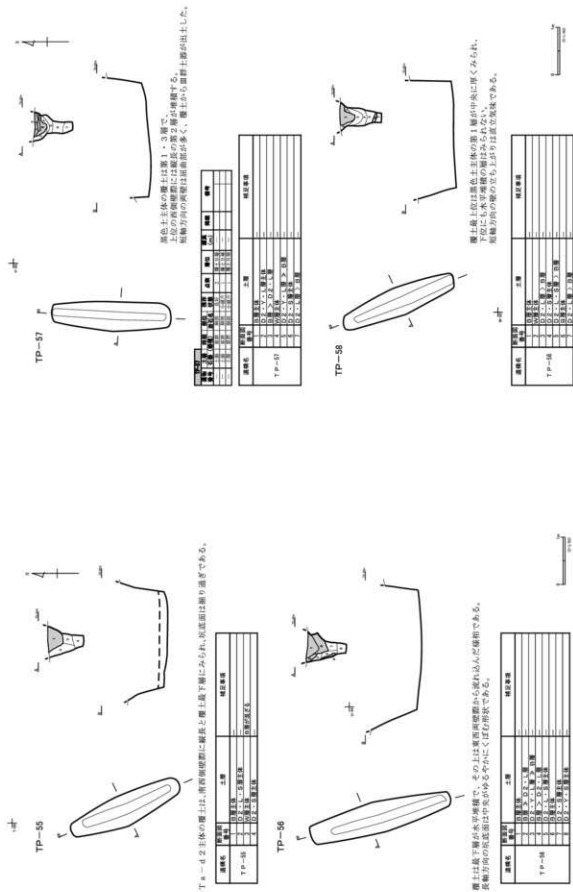
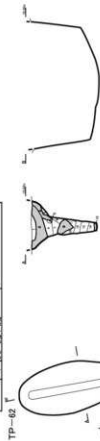


図100 上椀内5遺跡 TP-55・TP-56・TP-57・TP-58



上位の河礫層は灰白色粘土主体の礫土が屢長にみられ、
下位も中央へ上端部する程度である。礫粒は粗から中、
礫土は礫の礫形時と形も出たが、礫上げしたので、
断面図に示した礫粒は特定できない。

層別	TP-61				層別	TP-62			
	1	2	3	4		1	2	3	4
1	礫土	礫土	礫土	礫土	1	礫土	礫土	礫土	礫土
2	礫土	礫土	礫土	礫土	2	礫土	礫土	礫土	礫土
3	礫土	礫土	礫土	礫土	3	礫土	礫土	礫土	礫土
4	礫土	礫土	礫土	礫土	4	礫土	礫土	礫土	礫土



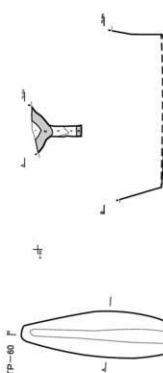
礫土にT₁〜4と玉体の礫土がみられ、上位の開口する部分は黒色土主体が露出する。
下位の層間は黒砂〜礫を中心に露出する。
礫の上り上がりは若干開き、原礫方向の完成面は扇形的で中央がくぼむ。

層別	TP-62				層別	TP-60			
	1	2	3	4		1	2	3	4
1	礫土	礫土	礫土	礫土	1	礫土	礫土	礫土	礫土
2	礫土	礫土	礫土	礫土	2	礫土	礫土	礫土	礫土
3	礫土	礫土	礫土	礫土	3	礫土	礫土	礫土	礫土
4	礫土	礫土	礫土	礫土	4	礫土	礫土	礫土	礫土



黒色土主体の第8層は最下層に厚くみられ、
開口する上位部分は河礫層から第2・4層が露れ込んだ層面である。
完成面は一階面り過ぎて、礫土から右・右屋とし、Rレキが出た。

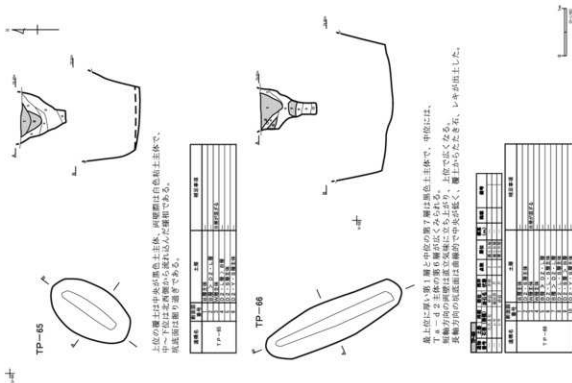
層別	TP-59				層別	TP-60			
	1	2	3	4		1	2	3	4
1	礫土	礫土	礫土	礫土	1	礫土	礫土	礫土	礫土
2	礫土	礫土	礫土	礫土	2	礫土	礫土	礫土	礫土
3	礫土	礫土	礫土	礫土	3	礫土	礫土	礫土	礫土
4	礫土	礫土	礫土	礫土	4	礫土	礫土	礫土	礫土



原礫方向の礫は直立気後に右へ上がり、中央で大きく開き、
左の部分と礫土層上部に黒色土主体の礫土がみられる。
完成面は階り過ぎて、礫土が右・右屋が右に出した。

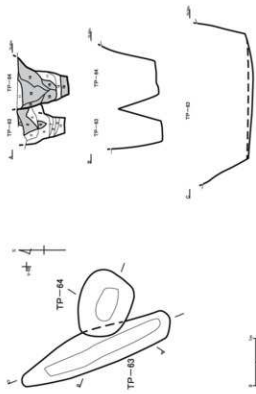
層別	TP-60				層別	TP-61			
	1	2	3	4		1	2	3	4
1	礫土	礫土	礫土	礫土	1	礫土	礫土	礫土	礫土
2	礫土	礫土	礫土	礫土	2	礫土	礫土	礫土	礫土
3	礫土	礫土	礫土	礫土	3	礫土	礫土	礫土	礫土
4	礫土	礫土	礫土	礫土	4	礫土	礫土	礫土	礫土

図101 上線内5遺跡 TP-59・TP-60・TP-61・TP-62



上位の層土は中赤土が赤色土主体、河層部は白色粘土主体で、高低差は斜り通ずである。

角土筋に深い溝と角の隅7層は赤色土主体で、中位には、T8-1と土主体の第6層が広がるみられる。別軸方向の両部は直立気味に立ち上がり、上位で広がる。長軸方向の両部は曲線的で中央が低く、腰土からたまたま石、レンガが出土した。



溝状のTP-60は北東方向のTP-64が遺構し、溝状する上層部面の張り合ひから、前者が新しい。TP-64の土は、最上位の第1層と下位の第16・18層は傾斜で、これら以外は傾斜の緩慢である。腰の立ち上がりは傾斜気味で、長軸方向の底面は北東側が低い、両側壁からU・Rレンガ等が出土した。

遺構番号	位置				形状	規模	層数	土質	特徴
	北緯	東経	高さ	深さ					
TP-60	10.00	10.00	0.00	0.00	楕円形	1.5m	1.5m	1.5m	1.5m
TP-61	10.00	10.00	0.00	0.00	楕円形	1.5m	1.5m	1.5m	1.5m
TP-62	10.00	10.00	0.00	0.00	楕円形	1.5m	1.5m	1.5m	1.5m
TP-63	10.00	10.00	0.00	0.00	楕円形	1.5m	1.5m	1.5m	1.5m
TP-64	10.00	10.00	0.00	0.00	楕円形	1.5m	1.5m	1.5m	1.5m

図102 上椽内5遺跡 TP-63・TP-64・TP-65・TP-66

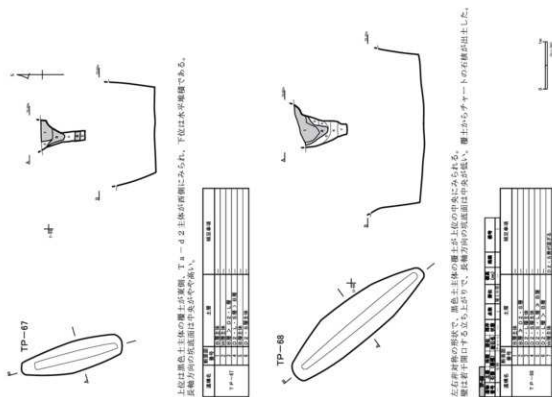
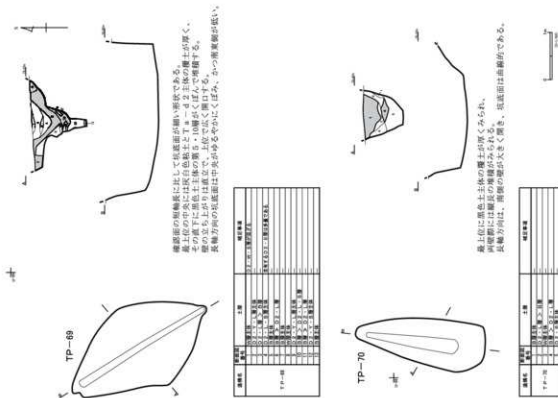
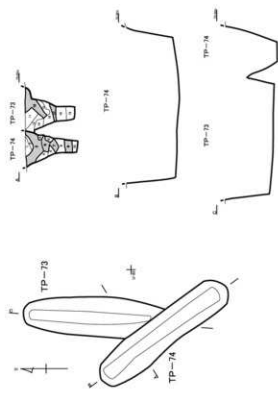


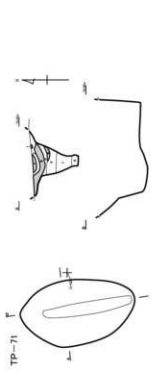
図103 上段内5遺跡 TP-67・TP-68・TP-69・TP-70





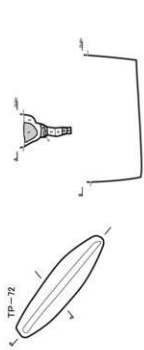
同層級の埋め戻し土が露出する。連続する土層断面の編年から、TP-74はTP-73を切っており、前者が新しく後者が古い。
 TP-73の上位は、南西側から灰白色黏土主体の第11層とT#d-2主体の第13層、北東側から黒色土主体の第1層の埋め戻し土へと連続してみられ、中～下位は水平層である。
 TP-74の上位は、最上位の中央部にT#d-2主体の第1層と灰白色黏土主体の第2層が露出みられ、その直下は黒色土主体の第3～5層が厚い。長軸方向の両側は若干開口して立ち上がり、底面は中央がゆるやかにくぼむ。
 遺土からチャートの石粒とU・R・レキが出土した。

遺構番号	遺構の位置		形状	深さ	層	土質	出土品
	北緯	東経					
TP-73	100.00	100.00	楕円形	0.5	1	黒色土	土器片
TP-74	100.00	100.00	楕円形	1.0	1	黒色土	土器片



黒色土主体の遺土は最上位の第1層は薄く、第2層は石灰、第3層は灰砂に偏る。最下位は埋め戻し土とみられる。長軸方向の両側面は北面が広いが、掘り進みが浅いため、遺土からV跡は露が出た。

遺構番号	遺構の位置		形状	深さ	層	土質	出土品
	北緯	東経					
TP-71	100.00	100.00	楕円形	0.5	1	黒色土	土器片
TP-72	100.00	100.00	楕円形	1.0	1	黒色土	土器片



黒色土主体の遺土は、第1層が石灰、第2～3層が石灰、第4層が石灰にみられる。黒色土主体の遺土は最上位の第1層は薄く、第2層は石灰、第3層は灰砂に偏る。長軸方向の両側面は北面が広いが、掘り進みが浅いため、遺土からV跡は露が出た。

遺構番号	遺構の位置		形状	深さ	層	土質	出土品
	北緯	東経					
TP-75	100.00	100.00	楕円形	0.5	1	黒色土	土器片
TP-76	100.00	100.00	楕円形	1.0	1	黒色土	土器片

図104 上椽内5遺跡 TP-71・TP-72・TP-73・TP-74

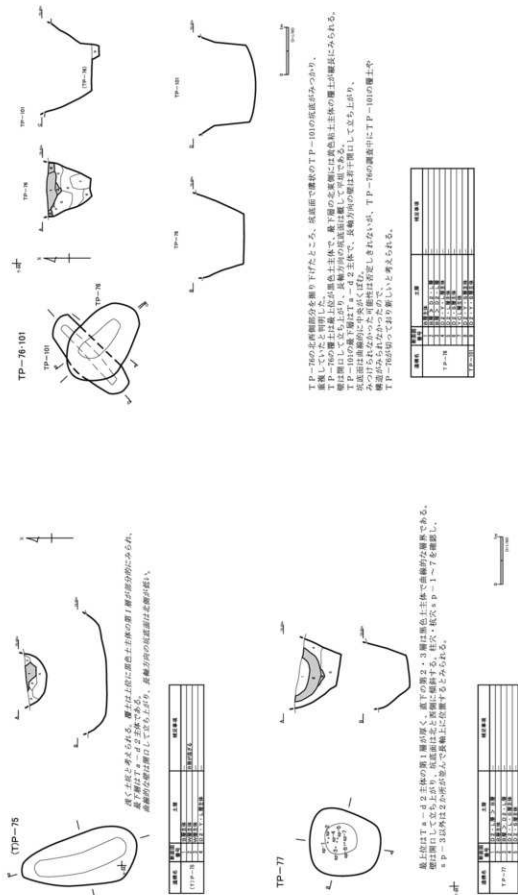


図105 上檜内5遺跡 (T)P-75・T-P-77・T-P-76・T-P-101

TP-76の北西部分を掘り下げたところ、瓦床面で覆状のTP-101の瓦床が見つかり、蓋されていたと推定した。瓦床の本体で、最下層の瓦床層には彩色粘土主体の覆土が確認にみられる。壁は開口して立ち上がり、瓦床面の瓦床層は覆土で平出である。TP-101の最下層はT a-d 2 主体で、瓦床方向の壁は若干開口して立ち上がり、瓦床面は赤褐色の中央がくぼむ。あつたと思われるが、瓦床面は瓦床層に若干開口して立ち上がり、TP-76が壁の開口と推定される。

遺構番号	遺構名	位置	面積		形状	構造	地層	調査年度
			平面	断面				
TP-101	瓦床	北西	10.0	5.0	長方形	瓦床	1976	

赤く土成と考えられる。覆土は上に原土主体の第1層が部分的にみられる。最下層はT a-d 2 主体である。瓦床方向の壁は開口して立ち上がり、瓦床面は赤褐色が濃い。

最上層はT a-d 2 主体の第1層が厚く、瓦下の第2・3層は彩色粘土主体で曲線的な構造である。壁は開口して立ち上がり、瓦床面は北西側に傾斜する。柱・柱穴s p-1-7を確認し、s p-3以内は2か所が赤褐色で瓦床上に位置するとみられる。

遺構番号	遺構名	位置	面積		形状	構造	地層	調査年度
			平面	断面				
TP-77	瓦床	北西	10.0	5.0	長方形	瓦床	1977	

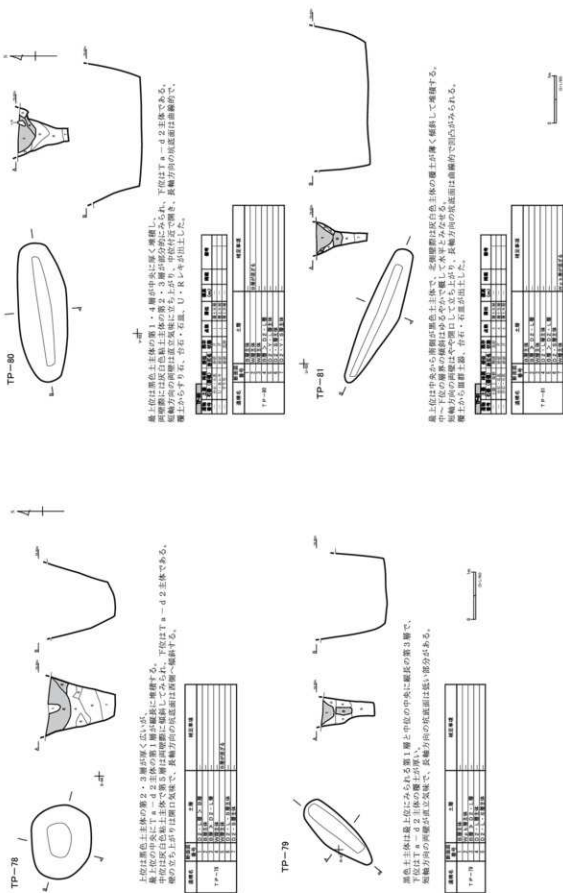
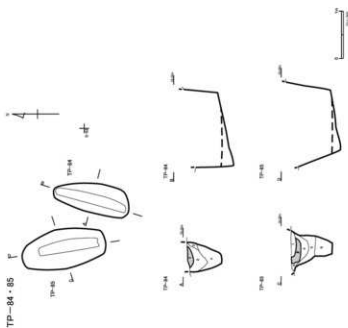
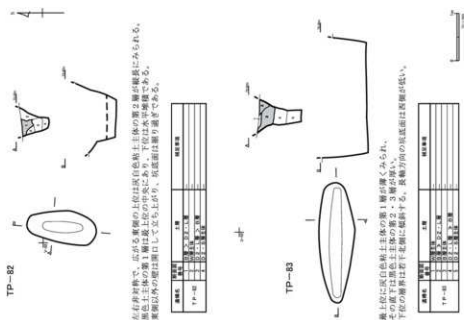


図106 上椽内5遺跡 TP-78・TP-79・TP-80・TP-81

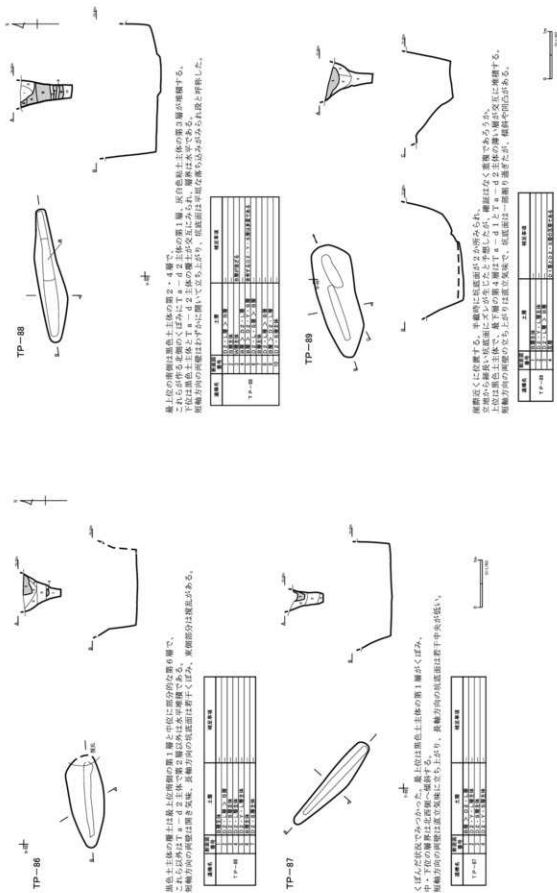


横円筒の形式で、東側のTP-84は軸上方位中央に黒色土主体の覆土が確認し、層厚はすべて確認する。西側のTP-85の軸上方位の覆土は北側を張り過ぎた。灰白色粘土主体の厚3層で、下位は右半層厚である。両側の覆土は平気で確認し、北側の北側部分は張り過ぎである。

断面	層位	土質	厚	直径	備考
TP-84	1	灰白色粘土	1.0	1.5	
	2	灰白色粘土	1.0	1.5	
	3	灰白色粘土	1.0	1.5	

断面	層位	土質	厚	直径	備考
TP-85	1	灰白色粘土	1.0	1.5	
	2	灰白色粘土	1.0	1.5	
	3	灰白色粘土	1.0	1.5	

図107 上線内5遺跡 TP-82・TP-83・TP-84・TP-85



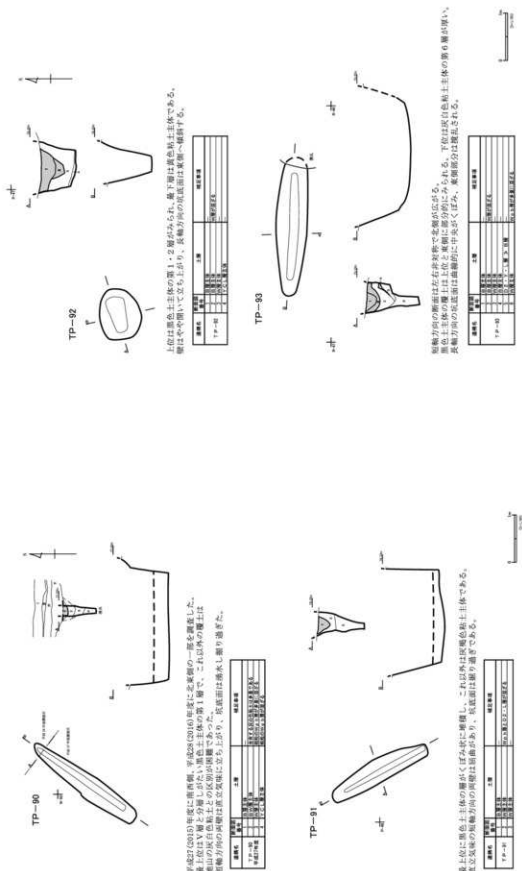


図109 上線内5遺跡 TP-90・TP-91・TP-92・TP-93

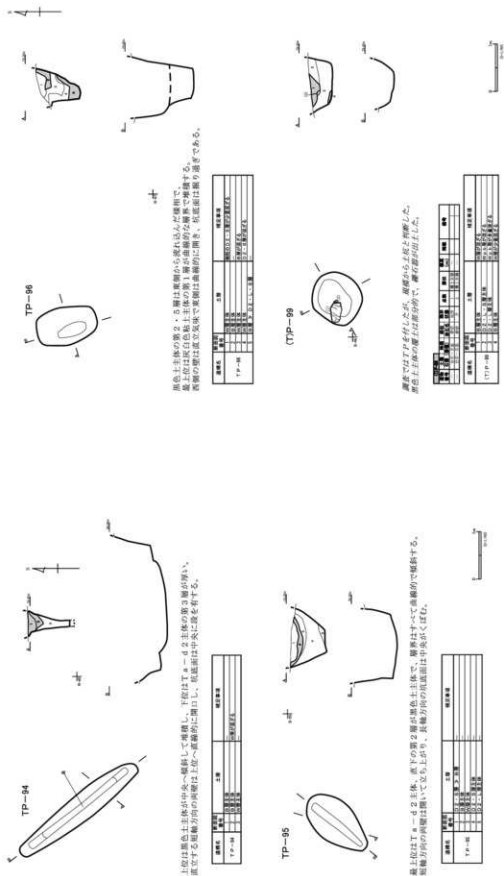
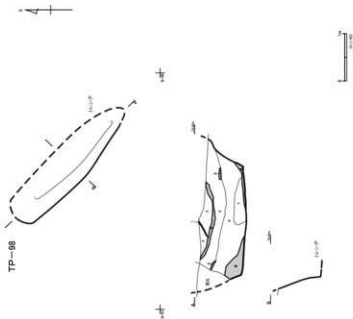


図110 上椽内5遺跡 TP-94・TP-95・TP-96・(T)P-99



橋上段の中央は区画色橋上主体の第2層で、橋上主体の第1・3層がこの層下と画にみられる。中～下位の層帯は非線形的で、最下層の第3層は高梁部から渡りかんに傾斜している。所長側部は傾斜され、長崎方向の気道部は中央部よりやや広く含む。

調査年度	調査区	調査内容
昭和33年	1	調査区1
昭和34年	2	調査区2
昭和35年	3	調査区3
昭和36年	4	調査区4
昭和37年	5	調査区5
昭和38年	6	調査区6
昭和39年	7	調査区7
昭和40年	8	調査区8
昭和41年	9	調査区9
昭和42年	10	調査区10
昭和43年	11	調査区11
昭和44年	12	調査区12
昭和45年	13	調査区13
昭和46年	14	調査区14
昭和47年	15	調査区15
昭和48年	16	調査区16
昭和49年	17	調査区17
昭和50年	18	調査区18
昭和51年	19	調査区19
昭和52年	20	調査区20
昭和53年	21	調査区21
昭和54年	22	調査区22
昭和55年	23	調査区23
昭和56年	24	調査区24
昭和57年	25	調査区25
昭和58年	26	調査区26
昭和59年	27	調査区27
昭和60年	28	調査区28
昭和61年	29	調査区29
昭和62年	30	調査区30
昭和63年	31	調査区31
昭和64年	32	調査区32
昭和65年	33	調査区33
昭和66年	34	調査区34
昭和67年	35	調査区35
昭和68年	36	調査区36
昭和69年	37	調査区37
昭和70年	38	調査区38
昭和71年	39	調査区39
昭和72年	40	調査区40
昭和73年	41	調査区41
昭和74年	42	調査区42
昭和75年	43	調査区43
昭和76年	44	調査区44
昭和77年	45	調査区45
昭和78年	46	調査区46
昭和79年	47	調査区47
昭和80年	48	調査区48
昭和81年	49	調査区49
昭和82年	50	調査区50
昭和83年	51	調査区51
昭和84年	52	調査区52
昭和85年	53	調査区53
昭和86年	54	調査区54
昭和87年	55	調査区55
昭和88年	56	調査区56
昭和89年	57	調査区57
昭和90年	58	調査区58
昭和91年	59	調査区59
昭和92年	60	調査区60
昭和93年	61	調査区61
昭和94年	62	調査区62
昭和95年	63	調査区63
昭和96年	64	調査区64
昭和97年	65	調査区65
昭和98年	66	調査区66
昭和99年	67	調査区67
平成元年	68	調査区68
平成2年	69	調査区69
平成3年	70	調査区70
平成4年	71	調査区71
平成5年	72	調査区72
平成6年	73	調査区73
平成7年	74	調査区74
平成8年	75	調査区75
平成9年	76	調査区76
平成10年	77	調査区77
平成11年	78	調査区78
平成12年	79	調査区79
平成13年	80	調査区80
平成14年	81	調査区81
平成15年	82	調査区82
平成16年	83	調査区83
平成17年	84	調査区84
平成18年	85	調査区85
平成19年	86	調査区86
平成20年	87	調査区87
平成21年	88	調査区88
平成22年	89	調査区89
平成23年	90	調査区90
平成24年	91	調査区91
平成25年	92	調査区92
平成26年	93	調査区93
平成27年	94	調査区94
平成28年	95	調査区95
平成29年	96	調査区96
平成30年	97	調査区97
平成31年	98	調査区98
平成32年	99	調査区99
平成33年	100	調査区100

調査ではTP-97を付したが、調査から上段を判断した。中～下位の層帯は非線形的で、最下層の第3層は高梁部から渡りかんに傾斜している。所長側部は傾斜され、長崎方向の気道部は中央部よりやや広く含む。

調査年度	調査区	調査内容
昭和33年	1	調査区1
昭和34年	2	調査区2
昭和35年	3	調査区3
昭和36年	4	調査区4
昭和37年	5	調査区5
昭和38年	6	調査区6
昭和39年	7	調査区7
昭和40年	8	調査区8
昭和41年	9	調査区9
昭和42年	10	調査区10
昭和43年	11	調査区11
昭和44年	12	調査区12
昭和45年	13	調査区13
昭和46年	14	調査区14
昭和47年	15	調査区15
昭和48年	16	調査区16
昭和49年	17	調査区17
昭和50年	18	調査区18
昭和51年	19	調査区19
昭和52年	20	調査区20
昭和53年	21	調査区21
昭和54年	22	調査区22
昭和55年	23	調査区23
昭和56年	24	調査区24
昭和57年	25	調査区25
昭和58年	26	調査区26
昭和59年	27	調査区27
昭和60年	28	調査区28
昭和61年	29	調査区29
昭和62年	30	調査区30
昭和63年	31	調査区31
昭和64年	32	調査区32
昭和65年	33	調査区33
昭和66年	34	調査区34
昭和67年	35	調査区35
昭和68年	36	調査区36
昭和69年	37	調査区37
昭和70年	38	調査区38
昭和71年	39	調査区39
昭和72年	40	調査区40
昭和73年	41	調査区41
昭和74年	42	調査区42
昭和75年	43	調査区43
昭和76年	44	調査区44
昭和77年	45	調査区45
昭和78年	46	調査区46
昭和79年	47	調査区47
昭和80年	48	調査区48
昭和81年	49	調査区49
昭和82年	50	調査区50
昭和83年	51	調査区51
昭和84年	52	調査区52
昭和85年	53	調査区53
昭和86年	54	調査区54
昭和87年	55	調査区55
昭和88年	56	調査区56
昭和89年	57	調査区57
昭和90年	58	調査区58
昭和91年	59	調査区59
昭和92年	60	調査区60
昭和93年	61	調査区61
昭和94年	62	調査区62
昭和95年	63	調査区63
昭和96年	64	調査区64
昭和97年	65	調査区65
昭和98年	66	調査区66
昭和99年	67	調査区67
平成元年	68	調査区68
平成2年	69	調査区69
平成3年	70	調査区70
平成4年	71	調査区71
平成5年	72	調査区72
平成6年	73	調査区73
平成7年	74	調査区74
平成8年	75	調査区75
平成9年	76	調査区76
平成10年	77	調査区77
平成11年	78	調査区78
平成12年	79	調査区79
平成13年	80	調査区80
平成14年	81	調査区81
平成15年	82	調査区82
平成16年	83	調査区83
平成17年	84	調査区84
平成18年	85	調査区85
平成19年	86	調査区86
平成20年	87	調査区87
平成21年	88	調査区88
平成22年	89	調査区89
平成23年	90	調査区90
平成24年	91	調査区91
平成25年	92	調査区92
平成26年	93	調査区93
平成27年	94	調査区94
平成28年	95	調査区95
平成29年	96	調査区96
平成30年	97	調査区97
平成31年	98	調査区98
平成32年	99	調査区99
平成33年	100	調査区100

図111 上管内5遺跡 (T)P-97・(T)P-103・T-P-98

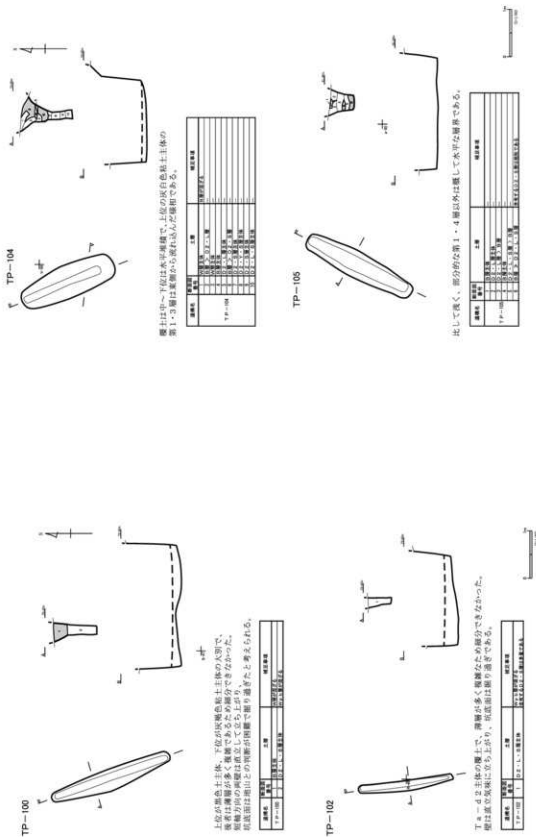


図112 上椽内5遺跡 TP-100・TP-102・TP-104・TP-105

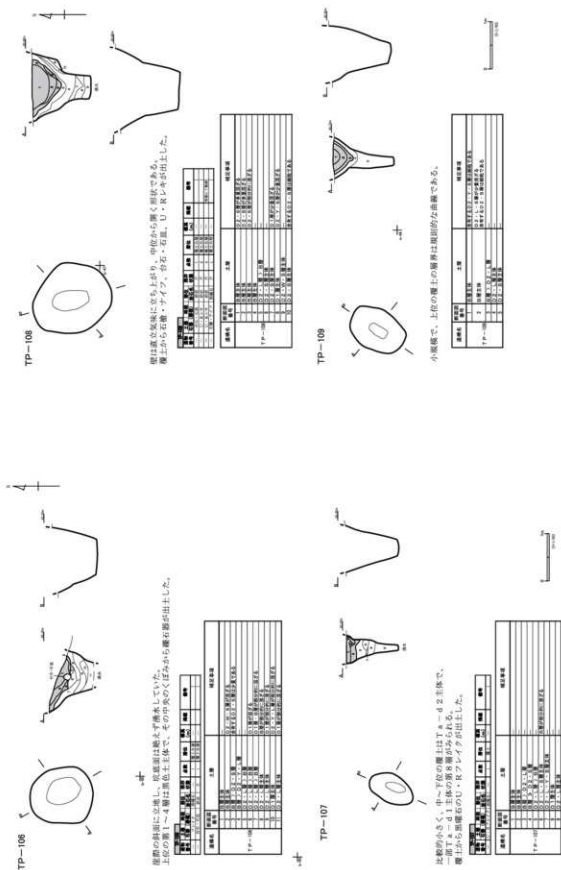


図113 上層内5遺跡 TP-106・TP-107・TP-108・TP-109

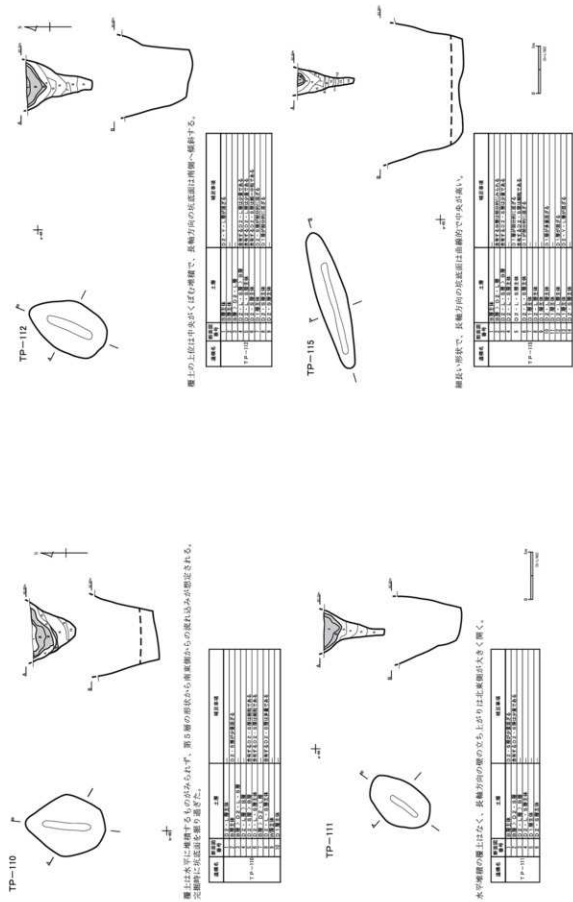


図114 上椽内5遺跡 TP-110・TP-111・TP-112・TP-115

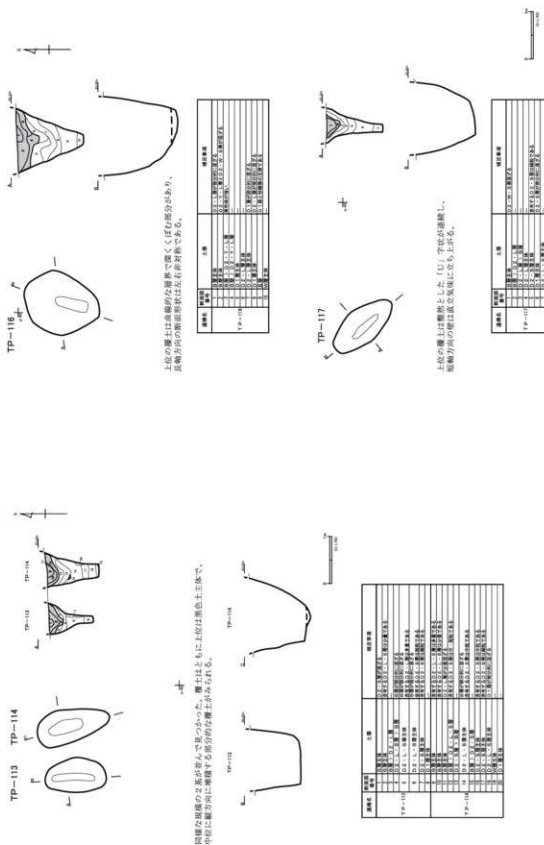
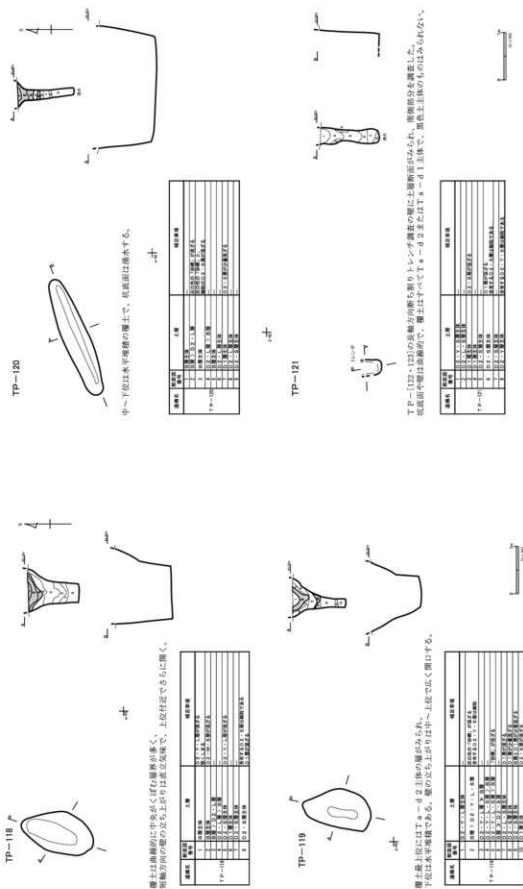
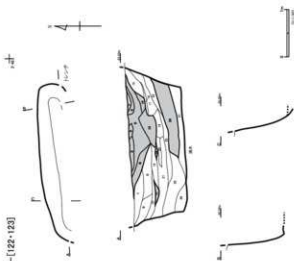


図115 上野内5道跡 TP-113・TP-114・TP-116・TP-117



± TP-[122・123]



楕圓形風が竈輪方向で重複していると考え、調査前に竈敷の遺構番号を付した。四方向にトレンチを切り分け残りを取りし、このトレンチから1基と判別された。遺構を繋げるため遺構番号の再整理はせず、このトレンチ1基をTP-[122・123]と表記する。トレンチは北に黒色土主体の竈の遺構、南側にはT・d・1主体の竈の遺構が認められる。竈は少し開き気味に立ち上がる。

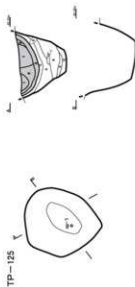
TP-124



小規模で、竈土は平伝にT・d・1主体の第4・5層がみられる。竈底面は張り通すである。

遺構番号	遺構名	土層	説明	備考
TP-124	竈	4, 5	黒色土主体の竈	遺構番号不明

TP-125



± TP-125
竈土は上位に黒色土主体の層が厚く、黒色土の中心に厚い白色土が部分的にみられる。長軸方向の竈底面は南側へと傾斜し、柱穴・柱穴s・d-1を埋設した。

遺構番号	遺構名	土層	説明	備考
TP-125	竈	4, 5	黒色土主体の竈	遺構番号不明

図117 上標内5遺跡 TP-[122・123]・TP-124・TP-125

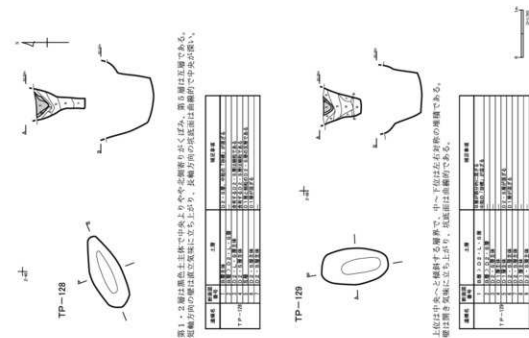
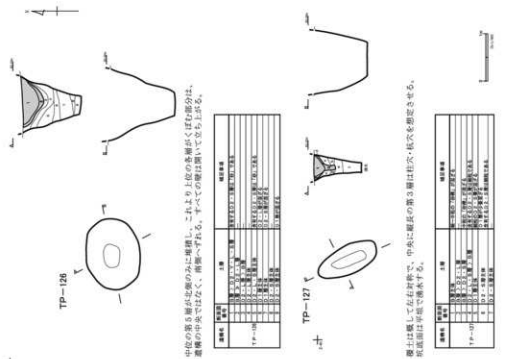


図118 上椽内5遺跡 T P - 126 ・ T P - 127 ・ T P - 128 ・ T P - 129

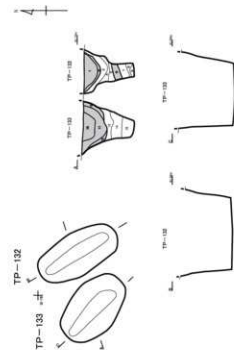


第1・2層は黒色土主体で中央よりやや北側寄り広くばらみ、第3層は土層である。北側方向の壁は直立気配に立ち上がり、北側方向の気配面は曲線的で平突が強い。

中央の第3層が北面のみを構築し、これより上位の各層が広くばら部分、遺構の中央ではなく、南側へずれる。すべての層は薄いて立ち上がる。

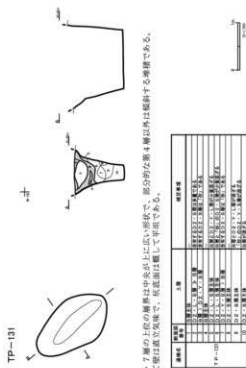
層土は傾して左右折状で、中央に壁長の第3層は柱穴・杭穴を想定させる。気配面は平突で構成する。

上位は中央へと傾斜する層状で、中へ下層は左右折状の遺構である。壁は折角気配に立ち上がり、気配面は曲線的である。



長軸方向で平截したが、黒色上体の層土は第1・3・6層で北西面にみられる。
短軸方向の層は全方向に立ち上る。

層別	層別	土層	観察事項
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30	31	32
33	34	35	36
37	38	39	40
41	42	43	44
45	46	47	48
49	50	51	52
53	54	55	56
57	58	59	60
61	62	63	64
65	66	67	68
69	70	71	72
73	74	75	76
77	78	79	80
81	82	83	84
85	86	87	88
89	90	91	92
93	94	95	96
97	98	99	100



第2・7層の上位の層土は中央上に広い凹状で、部分的な第4層以外は傾斜する層状である。
すべて層は直立状態で、底底部は概して平坦である。

層別	層別	土層	観察事項
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30	31	32
33	34	35	36
37	38	39	40
41	42	43	44
45	46	47	48
49	50	51	52
53	54	55	56
57	58	59	60
61	62	63	64
65	66	67	68
69	70	71	72
73	74	75	76
77	78	79	80
81	82	83	84
85	86	87	88
89	90	91	92
93	94	95	96
97	98	99	100

2層が逆接して見られた。TP-133の上位の層土は中央がくぼみ、下位は層方向へ傾斜する。
上層の層土は、断面の上位は黒色土玉塊である。
ともに長軸方向の断面は中央が窪み深い。

層別	層別	土層	観察事項
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30	31	32
33	34	35	36
37	38	39	40
41	42	43	44
45	46	47	48
49	50	51	52
53	54	55	56
57	58	59	60
61	62	63	64
65	66	67	68
69	70	71	72
73	74	75	76
77	78	79	80
81	82	83	84
85	86	87	88
89	90	91	92
93	94	95	96
97	98	99	100

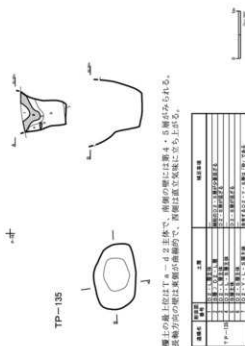
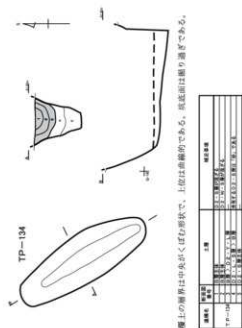
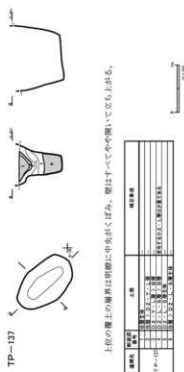
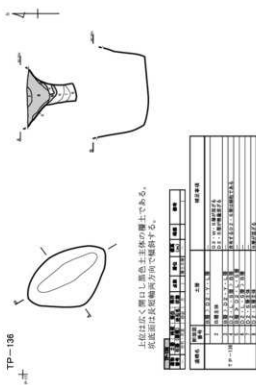


図120 上幌内5遺跡 TP-134・TP-135・TP-136・TP-137

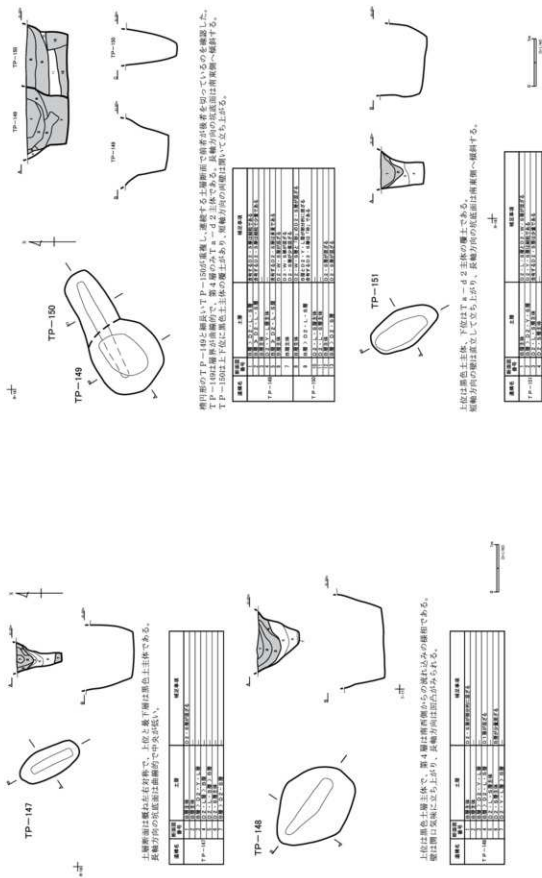


図123 上線内5遺跡 TP-147・TP-148・TP-149・TP-150・TP-151

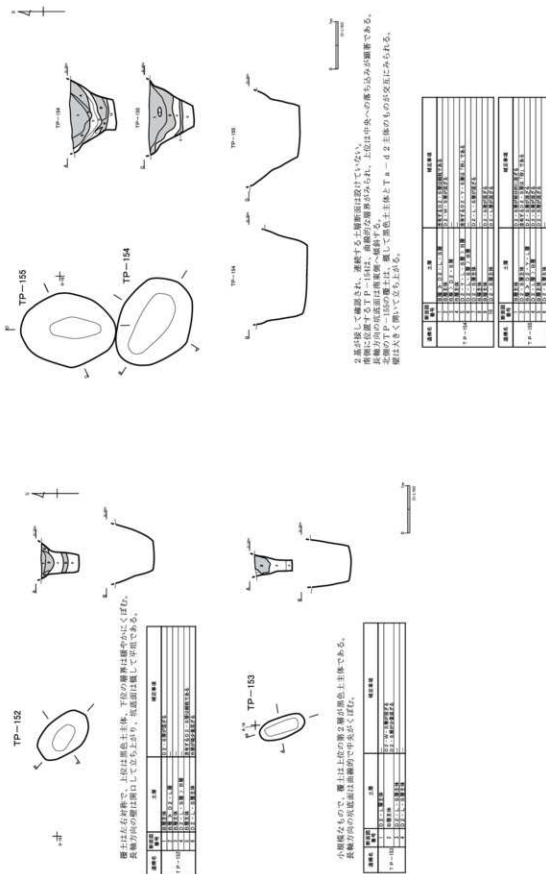


図124 上幌内5遺跡 TP-152・TP-153・TP-154・TP-155

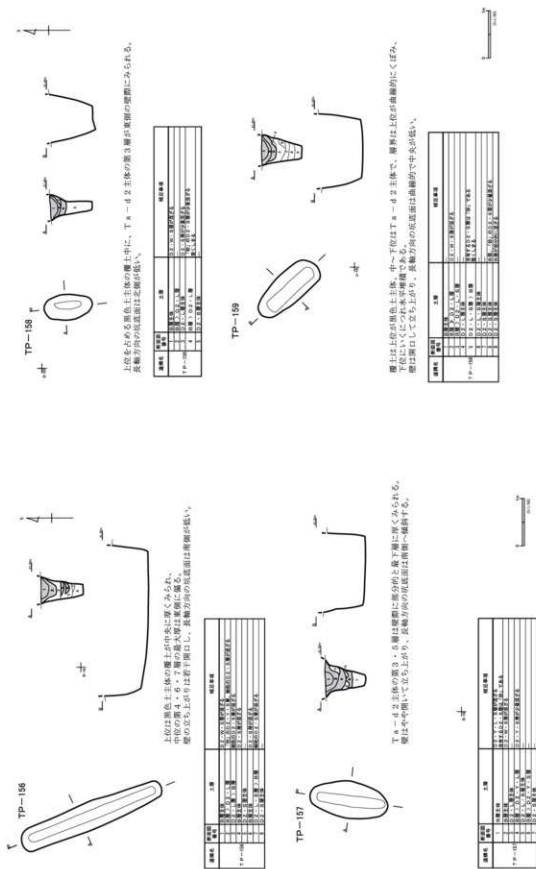


図125 上標内5遺跡 TP-156・TP-157・TP-158・TP-159



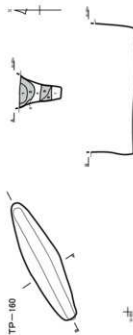
構は、最上段と下段に黒色土主体、中段はT₁-4型主体、最下層は白褐色粘土主体で、長軸方向の底面は扇形的で北東側へ傾斜する。

遺構番号	名称	構造	構造断面
TP-162	土間	1. 土間 2. 土間 3. 土間 4. 土間 5. 土間 6. 土間 7. 土間	1. 土間 2. 土間 3. 土間 4. 土間 5. 土間 6. 土間 7. 土間



上段から中段まで黒色土主体の層が厚く、第3層の部分が巨大・柱穴の存在が確認される。扇形方向の底面は直立気味で立ち上がり、上段へと開口する。長軸方向の底面は扇形的で中水がくぼむ。

遺構番号	名称	構造	構造断面
TP-163	土間	1. 土間 2. 土間 3. 土間 4. 土間 5. 土間 6. 土間 7. 土間	1. 土間 2. 土間 3. 土間 4. 土間 5. 土間 6. 土間 7. 土間



構は黒色土主体と、T₁-4型主体の層が交互に重複する。長軸方向は、南西側の壁が若干オーバーストーンを有し、北東面は凹凸がみられる。

遺構番号	名称	構造	構造断面
TP-160	土間	1. 土間 2. 土間 3. 土間 4. 土間 5. 土間 6. 土間 7. 土間	1. 土間 2. 土間 3. 土間 4. 土間 5. 土間 6. 土間 7. 土間



最上段に傾斜する第1・2層は黒色土主体で扇形的な構造で、下段は水平気味である。扇形方向の壁の立ち上がりは直立気味で、長軸方向の底面はゆるやかにくぼむ。

遺構番号	名称	構造	構造断面
TP-161	土間	1. 土間 2. 土間 3. 土間 4. 土間 5. 土間 6. 土間 7. 土間	1. 土間 2. 土間 3. 土間 4. 土間 5. 土間 6. 土間 7. 土間

図126 上幌内5遺跡 TP-160・TP-161・TP-162・TP-163

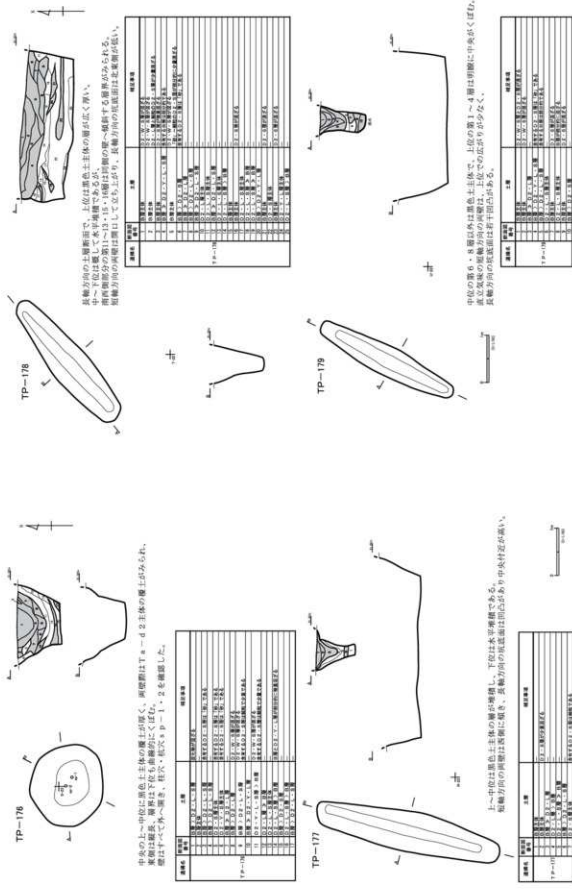
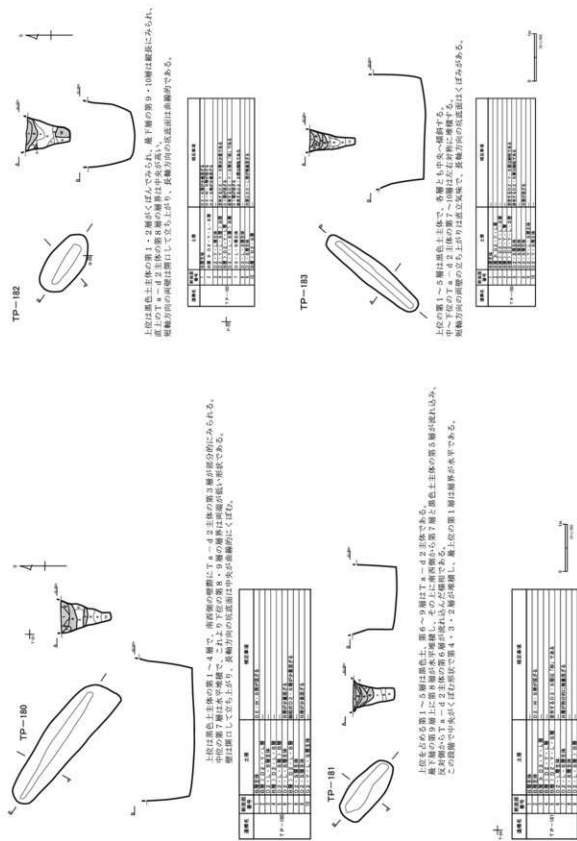


図130 上幌内5遺跡 T P-176・T P-177・T P-178・T P-179



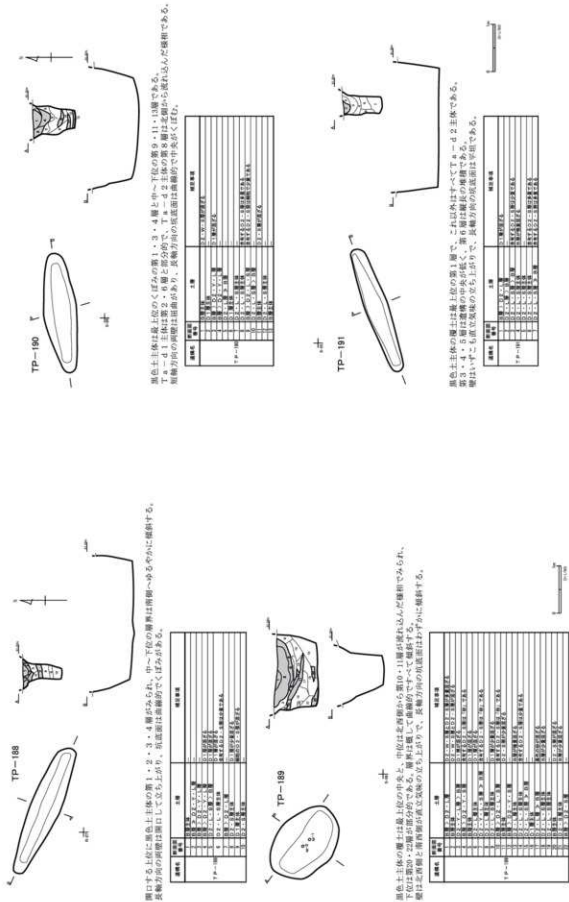


図133 上段内5遺跡 TP-188・TP-189・TP-190・TP-191

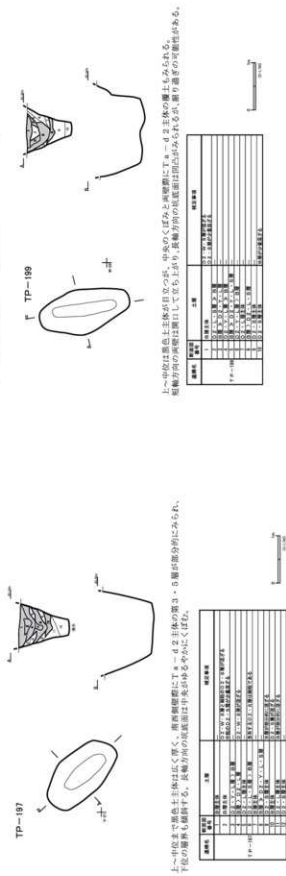
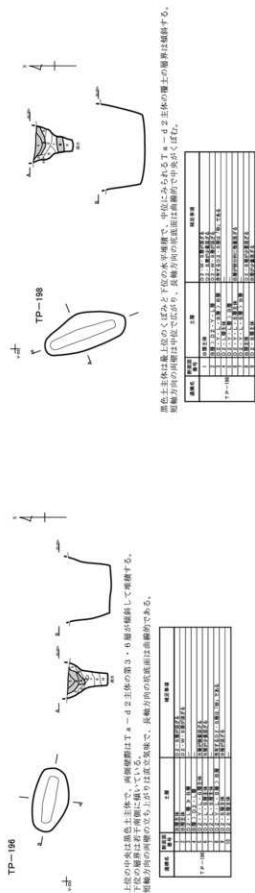


図135 上段内5遺跡 TP-196・TP-197・TP-198・TP-199

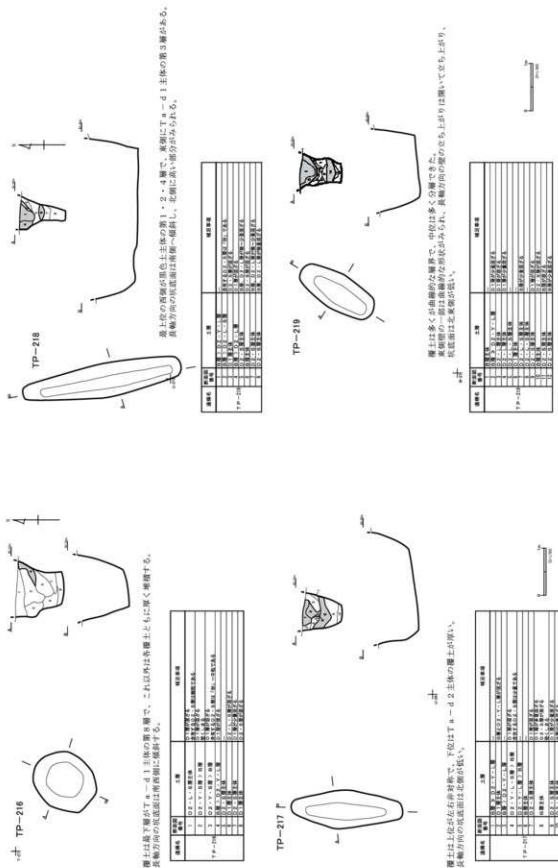


図140 上椽内5遺跡 TP-216・TP-217・TP-218・TP-219

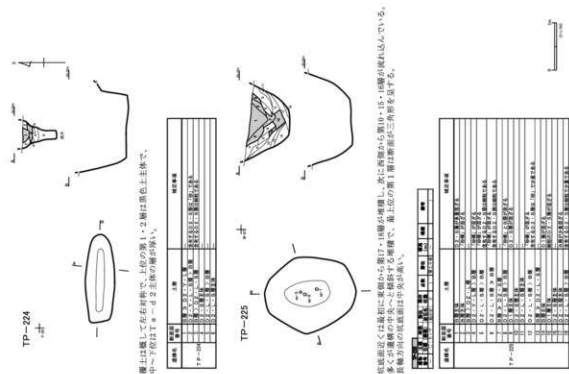
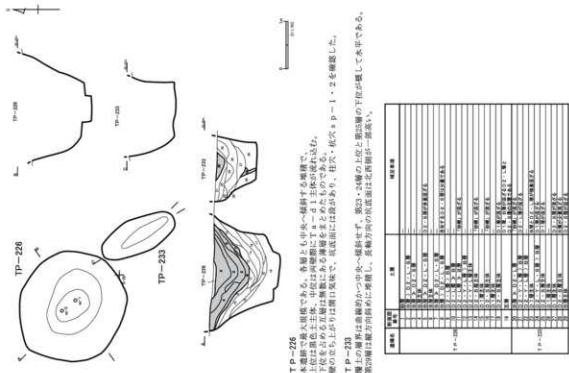
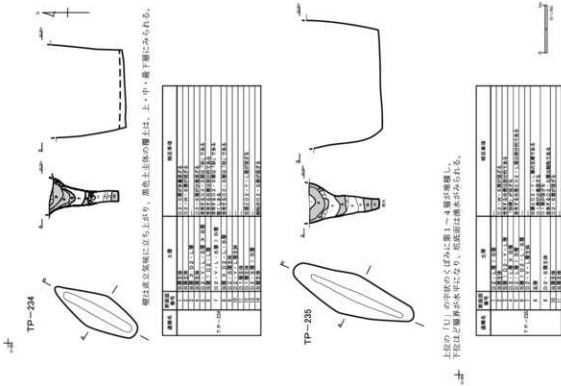
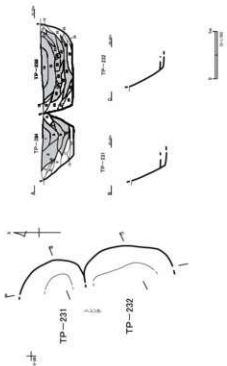


図142 上幌内5遺跡 TP-224・TP-225・TP-226・TP-233



壁は黒土質に立ち上がり、黒色土主体の層土は、上・中・層下部にみられる。

上段の「1」の穴体のくぼみに第1～4層が埋積し、
下段は土層が水没になり、灰底部は湧水がみられる。

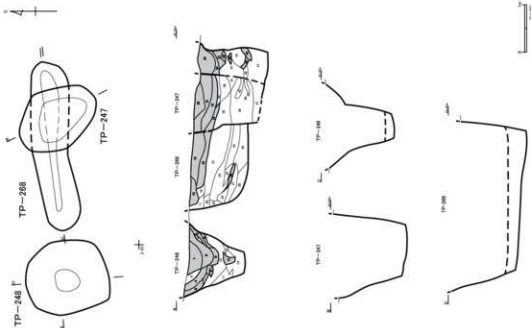


長軸方向にトレンチを敷き断りし、連続する土層断面を撮影した。
ともに断面であるが、上段部分でTP-232がTP-221を切っていることが判明された。
黒色土主体の層土は、TP-221は南側に多く、TP-232では概ね遺構の中心に埋積している。

層別	層厚	土質	備註
1	0.00~0.10	黒色土質の層土	黒色土質の層土
2	0.10~0.20	黒色土質の層土	黒色土質の層土
3	0.20~0.30	黒色土質の層土	黒色土質の層土
4	0.30~0.40	黒色土質の層土	黒色土質の層土
5	0.40~0.50	黒色土質の層土	黒色土質の層土
6	0.50~0.60	黒色土質の層土	黒色土質の層土
7	0.60~0.70	黒色土質の層土	黒色土質の層土
8	0.70~0.80	黒色土質の層土	黒色土質の層土
9	0.80~0.90	黒色土質の層土	黒色土質の層土
10	0.90~1.00	黒色土質の層土	黒色土質の層土
11	1.00~1.10	黒色土質の層土	黒色土質の層土
12	1.10~1.20	黒色土質の層土	黒色土質の層土
13	1.20~1.30	黒色土質の層土	黒色土質の層土
14	1.30~1.40	黒色土質の層土	黒色土質の層土
15	1.40~1.50	黒色土質の層土	黒色土質の層土
16	1.50~1.60	黒色土質の層土	黒色土質の層土
17	1.60~1.70	黒色土質の層土	黒色土質の層土
18	1.70~1.80	黒色土質の層土	黒色土質の層土
19	1.80~1.90	黒色土質の層土	黒色土質の層土
20	1.90~2.00	黒色土質の層土	黒色土質の層土
21	2.00~2.10	黒色土質の層土	黒色土質の層土
22	2.10~2.20	黒色土質の層土	黒色土質の層土
23	2.20~2.30	黒色土質の層土	黒色土質の層土
24	2.30~2.40	黒色土質の層土	黒色土質の層土
25	2.40~2.50	黒色土質の層土	黒色土質の層土
26	2.50~2.60	黒色土質の層土	黒色土質の層土
27	2.60~2.70	黒色土質の層土	黒色土質の層土
28	2.70~2.80	黒色土質の層土	黒色土質の層土
29	2.80~2.90	黒色土質の層土	黒色土質の層土
30	2.90~3.00	黒色土質の層土	黒色土質の層土
31	3.00~3.10	黒色土質の層土	黒色土質の層土
32	3.10~3.20	黒色土質の層土	黒色土質の層土
33	3.20~3.30	黒色土質の層土	黒色土質の層土
34	3.30~3.40	黒色土質の層土	黒色土質の層土
35	3.40~3.50	黒色土質の層土	黒色土質の層土
36	3.50~3.60	黒色土質の層土	黒色土質の層土
37	3.60~3.70	黒色土質の層土	黒色土質の層土
38	3.70~3.80	黒色土質の層土	黒色土質の層土
39	3.80~3.90	黒色土質の層土	黒色土質の層土
40	3.90~4.00	黒色土質の層土	黒色土質の層土
41	4.00~4.10	黒色土質の層土	黒色土質の層土
42	4.10~4.20	黒色土質の層土	黒色土質の層土
43	4.20~4.30	黒色土質の層土	黒色土質の層土
44	4.30~4.40	黒色土質の層土	黒色土質の層土
45	4.40~4.50	黒色土質の層土	黒色土質の層土
46	4.50~4.60	黒色土質の層土	黒色土質の層土
47	4.60~4.70	黒色土質の層土	黒色土質の層土
48	4.70~4.80	黒色土質の層土	黒色土質の層土
49	4.80~4.90	黒色土質の層土	黒色土質の層土
50	4.90~5.00	黒色土質の層土	黒色土質の層土

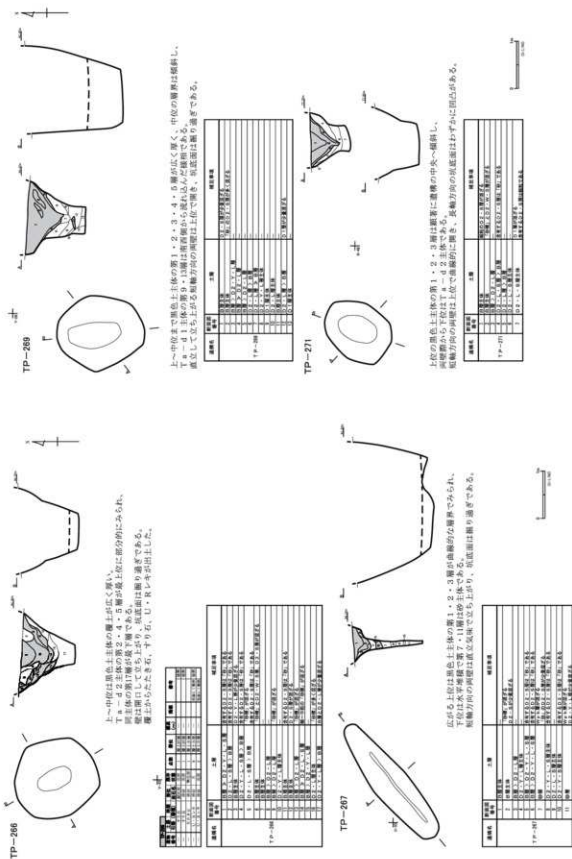
図144 上椽内5遺跡 TP-231・TP-232・TP-234・TP-235

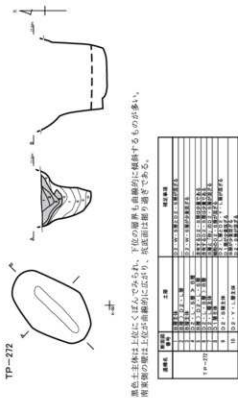
西側のTP-248は、上位に褐色土主体の層土が多く、Ta-d2主体の積層層が部分的である。下位の赤土層は柱穴・杭穴の存在を示唆する。堀は開口して立ち上がり、積層面は廻り通りである。掘削部分には、赤土層の厚さが異なる。赤土層の厚さが異なるのは、掘削部分で明らか。掘削部分では、TP-247の最上位の赤土層には褐色土主体の積層層がほとんど埋没し、ほとんど後者が古い。第16・17層と下位の第11・16・17層は分析できず、TP-268と連続する層にみられた。片敷方向の向きは形跡へと転換する。この層は、第11・16・17・22・23層上。基層部分の中心で、上位に第23・22・14・14・14層が部分的にみられ、積層面は廻り通りである。



遺構名	層別	土層	備註
TP-248	1	11	赤土層
	2	11	赤土層
	3	11	赤土層
	4	11	赤土層
	5	11	赤土層
	6	11	赤土層
	7	11	赤土層
	8	11	赤土層
	9	11	赤土層
	10	11	赤土層
TP-247	1	11	赤土層
	2	11	赤土層
	3	11	赤土層
	4	11	赤土層
	5	11	赤土層
	6	11	赤土層
	7	11	赤土層
	8	11	赤土層
	9	11	赤土層
	10	11	赤土層
TP-268	1	11	赤土層
	2	11	赤土層
	3	11	赤土層
	4	11	赤土層
	5	11	赤土層
	6	11	赤土層
	7	11	赤土層
	8	11	赤土層
	9	11	赤土層
	10	11	赤土層

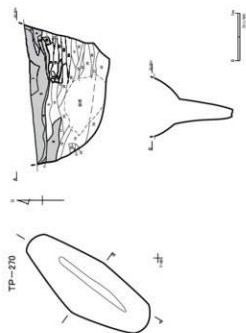
図148 上幌内5遺跡 TP-247・TP-248・TP-268





黒色土主体は上位にくぼんでみられ、下位の層界も断片的に模糊するものが多い。南東部の壁は上位が断片的に広がり、底表面は粗みぞである。

上部は黒色土主体が著しく、中～下部はT・dまたは白色粘土層の抽出が注目層上である。多くの層間は断片的である。中～下部はT・dまたは白色粘土層の抽出が注目層上である。「前巻」と呼ばれた部分は土層断面図面に於いた部分で、長軸方向の底表面は北東部が低い。



TP-276



上位は褐色土主体の第1・2・3層で、中位にT・a-d 1主体の第7層が断片的な層内でみられ、最下層は灰色土主体である。ある点、中央・北東・南東・南西・南東・南西の順に、層上中に灰層がある可能性もあるが、層り足りない可能性がある。また、遺構のはほぼ中央にはB・P-2がある。

遺構番号	名称	位置	規模	構造	築造時期	用途
TP-274	黒色土主体の遺構	上椽内5遺跡	長1.0m、幅0.5m	土壁	縄文時代	倉庫

図154 上椽内5遺跡 TP-270・TP-272・TP-276

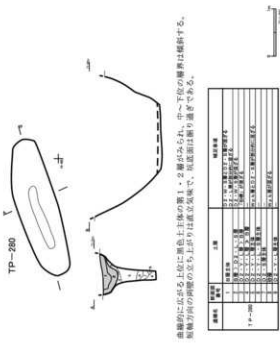
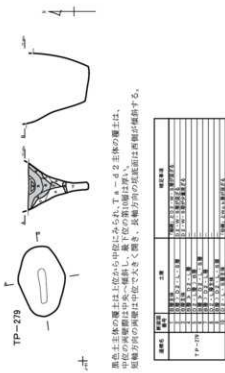
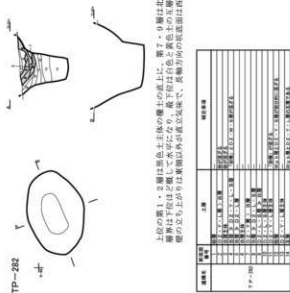
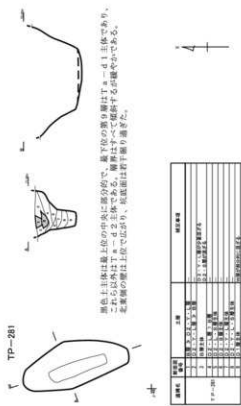


図156 上幌内5遺跡 TP-279・TP-280・TP-281・TP-282

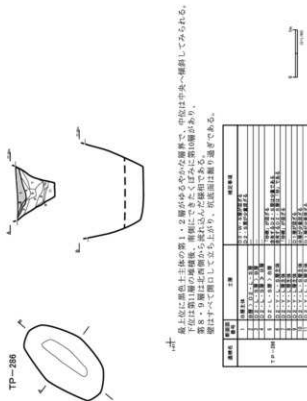
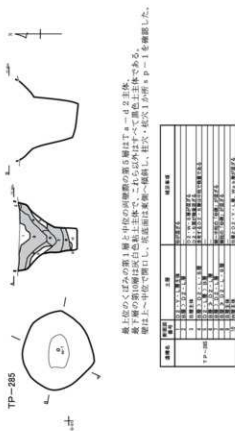
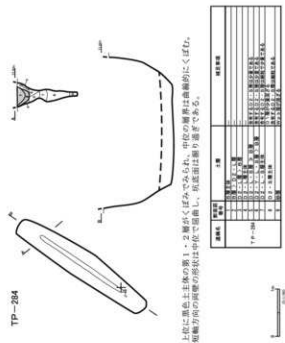
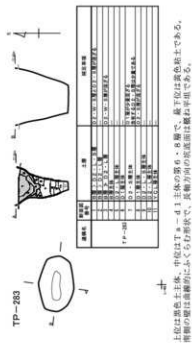
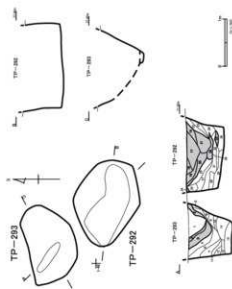
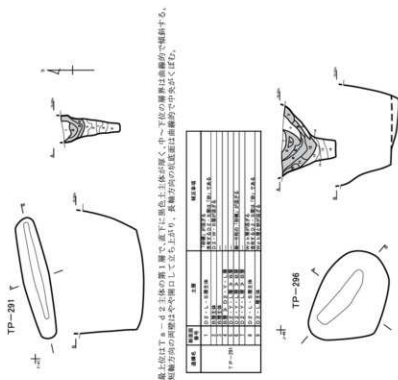


図157 上段内5遺跡 TP-283・TP-284・TP-285・TP-286



2基が近くで見られた。南東側のTP-292は上～中位の黒色土主体が中央付近にくぼみであるが、同側側のTP-a-d 2主体の境界は傾斜する。最下層の高35・36層は黒層が交互にみられる。長軸方向の底面図は図159である。北東側のTP-293は高2・3層で、北西側のTP-a-d 2主体の境界は傾斜する。最上層の高11層が遺構する。中～下位は北側側がTP-a-d 2、南東側は灰白色粘土主体の層上がみられる。北東側の中～下位の壁は傾り過ぎた。

遺構名	層位	遺構	説明
TP-293	1	1	1. 土壌層
	2	2	2. 土壌層
	3	3	3. 土壌層
	4	4	4. 土壌層
	5	5	5. 土壌層
	6	6	6. 土壌層
	7	7	7. 土壌層
	8	8	8. 土壌層
	9	9	9. 土壌層
	10	10	10. 土壌層
TP-292	1	1	1. 土壌層
	2	2	2. 土壌層
	3	3	3. 土壌層
	4	4	4. 土壌層
	5	5	5. 土壌層
	6	6	6. 土壌層
	7	7	7. 土壌層
	8	8	8. 土壌層
	9	9	9. 土壌層
	10	10	10. 土壌層

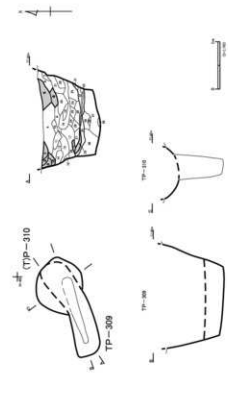
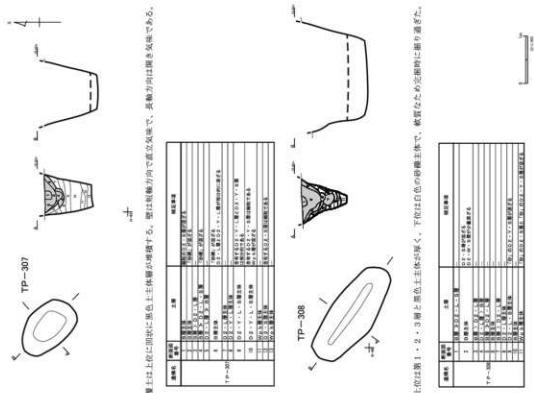


最上位はTP-a-d 2主体の第1層で、最下は黒色土主体が厚く、中～下位の境界は曲線的で傾斜する。短軸方向の同位はやや開口して立ち上がり、長軸方向の底面図は曲線的で中央がくぼむ。

上～中位の黒色土主体が広く傾いたが、砂層主体の第1層とTP-a-d 2主体の第4・9層が部分的にみられる。下位の境界は北側に傾斜し、第1層はTP-a-d 1主体である。壁はすべて傾いて立ち上がり、底面図は北側傾り過ぎた。

遺構名	層位	遺構	説明
TP-291	1	1	1. 土壌層
	2	2	2. 土壌層
	3	3	3. 土壌層
	4	4	4. 土壌層
	5	5	5. 土壌層
	6	6	6. 土壌層
	7	7	7. 土壌層
	8	8	8. 土壌層
	9	9	9. 土壌層
	10	10	10. 土壌層
TP-296	1	1	1. 土壌層
	2	2	2. 土壌層
	3	3	3. 土壌層
	4	4	4. 土壌層
	5	5	5. 土壌層
	6	6	6. 土壌層
	7	7	7. 土壌層
	8	8	8. 土壌層
	9	9	9. 土壌層
	10	10	10. 土壌層

図159 上層内5遺跡 TP-291・TP-296・TP-292・TP-293



器壁の形状から、楕円形土器が複製していると考えられる。これも多量出土した陶器で平織したところ、細長いTP-309の上唇面のみがみられ、(T)P-310の腹上や脚は確認できなかった。後者は良い状態で、これら切欠細長いTP-309が複製されたと判断される。TP-309は上段のみにT・d 2主体の層が確認し、その間に黒色土主体の層が部分的にみられる。下段は細粒の土質がみられ、第3層あるいは第4層の下部の層層が混在する可能性がある。

図163 上段内5遺跡 TP-307・TP-308・TP-309・(T)P-310

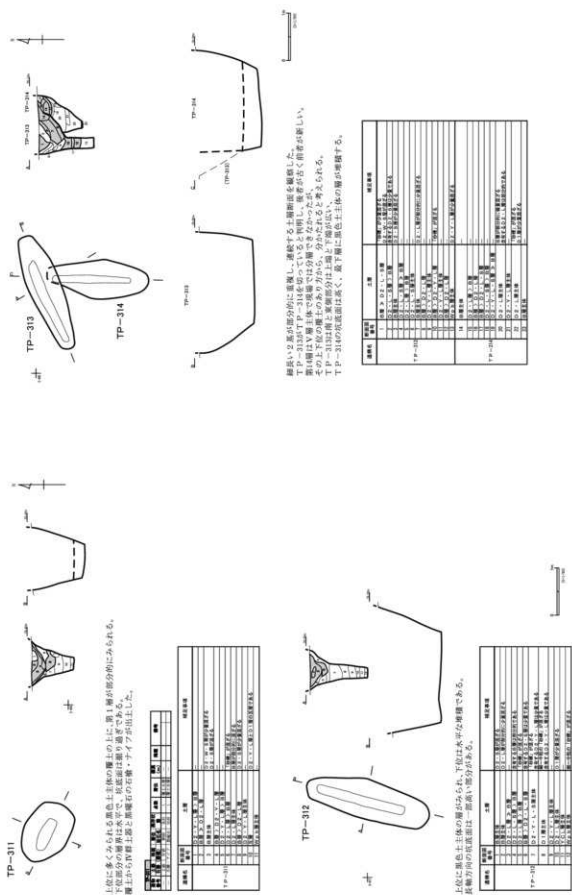
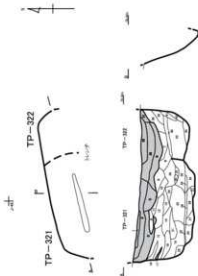


図164 上幌内5遺跡 T P - 311 ・ T P - 312 ・ T P - 313 ・ T P - 314

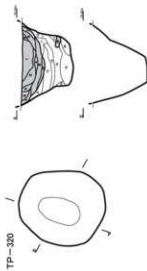


坑底面の高さより下記の層上から2区が露出すると判断した。東端方向で断らぬ限り TP-321と TP-322を切つていくと判断され、前者が新しく後者が古い。切り合いから TP-321は TP-322を切つていくと判断され、前者が新しく後者が古い。第6・7・8層は分層できず、河邊部に連続してみられる。河邊部には土質が異なる分層が認められる。土質は第11層にほぼ同じ土質である。TP-322の層上は東端部に向けて傾斜する層がある。層は斜めに立ち上がり、坑底面は東端へ傾斜する。

層番号	層名	土質	備考
1	1	黄褐色の粘土質土	
2	2	黄褐色の粘土質土	
3	3	黄褐色の粘土質土	
4	4	黄褐色の粘土質土	
5	5	黄褐色の粘土質土	
6	6	黄褐色の粘土質土	
7	7	黄褐色の粘土質土	
8	8	黄褐色の粘土質土	
9	9	黄褐色の粘土質土	
10	10	黄褐色の粘土質土	
11	11	黄褐色の粘土質土	
12	12	黄褐色の粘土質土	
13	13	黄褐色の粘土質土	
14	14	黄褐色の粘土質土	
15	15	黄褐色の粘土質土	
16	16	黄褐色の粘土質土	
17	17	黄褐色の粘土質土	
18	18	黄褐色の粘土質土	
19	19	黄褐色の粘土質土	
20	20	黄褐色の粘土質土	
21	21	黄褐色の粘土質土	
22	22	黄褐色の粘土質土	
23	23	黄褐色の粘土質土	
24	24	黄褐色の粘土質土	
25	25	黄褐色の粘土質土	
26	26	黄褐色の粘土質土	
27	27	黄褐色の粘土質土	
28	28	黄褐色の粘土質土	
29	29	黄褐色の粘土質土	
30	30	黄褐色の粘土質土	
31	31	黄褐色の粘土質土	
32	32	黄褐色の粘土質土	
33	33	黄褐色の粘土質土	
34	34	黄褐色の粘土質土	
35	35	黄褐色の粘土質土	
36	36	黄褐色の粘土質土	
37	37	黄褐色の粘土質土	
38	38	黄褐色の粘土質土	
39	39	黄褐色の粘土質土	
40	40	黄褐色の粘土質土	
41	41	黄褐色の粘土質土	
42	42	黄褐色の粘土質土	
43	43	黄褐色の粘土質土	
44	44	黄褐色の粘土質土	
45	45	黄褐色の粘土質土	
46	46	黄褐色の粘土質土	
47	47	黄褐色の粘土質土	
48	48	黄褐色の粘土質土	
49	49	黄褐色の粘土質土	
50	50	黄褐色の粘土質土	
51	51	黄褐色の粘土質土	
52	52	黄褐色の粘土質土	
53	53	黄褐色の粘土質土	
54	54	黄褐色の粘土質土	
55	55	黄褐色の粘土質土	
56	56	黄褐色の粘土質土	
57	57	黄褐色の粘土質土	
58	58	黄褐色の粘土質土	
59	59	黄褐色の粘土質土	
60	60	黄褐色の粘土質土	
61	61	黄褐色の粘土質土	
62	62	黄褐色の粘土質土	
63	63	黄褐色の粘土質土	
64	64	黄褐色の粘土質土	
65	65	黄褐色の粘土質土	
66	66	黄褐色の粘土質土	
67	67	黄褐色の粘土質土	
68	68	黄褐色の粘土質土	
69	69	黄褐色の粘土質土	
70	70	黄褐色の粘土質土	
71	71	黄褐色の粘土質土	
72	72	黄褐色の粘土質土	
73	73	黄褐色の粘土質土	
74	74	黄褐色の粘土質土	
75	75	黄褐色の粘土質土	
76	76	黄褐色の粘土質土	
77	77	黄褐色の粘土質土	
78	78	黄褐色の粘土質土	
79	79	黄褐色の粘土質土	
80	80	黄褐色の粘土質土	
81	81	黄褐色の粘土質土	
82	82	黄褐色の粘土質土	
83	83	黄褐色の粘土質土	
84	84	黄褐色の粘土質土	
85	85	黄褐色の粘土質土	
86	86	黄褐色の粘土質土	
87	87	黄褐色の粘土質土	
88	88	黄褐色の粘土質土	
89	89	黄褐色の粘土質土	
90	90	黄褐色の粘土質土	
91	91	黄褐色の粘土質土	
92	92	黄褐色の粘土質土	
93	93	黄褐色の粘土質土	
94	94	黄褐色の粘土質土	
95	95	黄褐色の粘土質土	
96	96	黄褐色の粘土質土	
97	97	黄褐色の粘土質土	
98	98	黄褐色の粘土質土	
99	99	黄褐色の粘土質土	
100	100	黄褐色の粘土質土	



小根柱の遺跡で、上位はT a-d 1主体の第1・3層、層灰中の砂状主体の第2層が露出し、坑底面は斜り通である。



層上の層は垂直的であるが、遺構の中央付近は著しく傾斜する層があるものはない。坑底面は南側と西側が低い。

層番号	層名	土質	備考
1	1	黄褐色の粘土質土	
2	2	黄褐色の粘土質土	
3	3	黄褐色の粘土質土	
4	4	黄褐色の粘土質土	
5	5	黄褐色の粘土質土	
6	6	黄褐色の粘土質土	
7	7	黄褐色の粘土質土	
8	8	黄褐色の粘土質土	
9	9	黄褐色の粘土質土	
10	10	黄褐色の粘土質土	
11	11	黄褐色の粘土質土	
12	12	黄褐色の粘土質土	
13	13	黄褐色の粘土質土	
14	14	黄褐色の粘土質土	
15	15	黄褐色の粘土質土	
16	16	黄褐色の粘土質土	
17	17	黄褐色の粘土質土	
18	18	黄褐色の粘土質土	
19	19	黄褐色の粘土質土	
20	20	黄褐色の粘土質土	
21	21	黄褐色の粘土質土	
22	22	黄褐色の粘土質土	
23	23	黄褐色の粘土質土	
24	24	黄褐色の粘土質土	
25	25	黄褐色の粘土質土	
26	26	黄褐色の粘土質土	
27	27	黄褐色の粘土質土	
28	28	黄褐色の粘土質土	
29	29	黄褐色の粘土質土	
30	30	黄褐色の粘土質土	
31	31	黄褐色の粘土質土	
32	32	黄褐色の粘土質土	
33	33	黄褐色の粘土質土	
34	34	黄褐色の粘土質土	
35	35	黄褐色の粘土質土	
36	36	黄褐色の粘土質土	
37	37	黄褐色の粘土質土	
38	38	黄褐色の粘土質土	
39	39	黄褐色の粘土質土	
40	40	黄褐色の粘土質土	
41	41	黄褐色の粘土質土	
42	42	黄褐色の粘土質土	
43	43	黄褐色の粘土質土	
44	44	黄褐色の粘土質土	
45	45	黄褐色の粘土質土	
46	46	黄褐色の粘土質土	
47	47	黄褐色の粘土質土	
48	48	黄褐色の粘土質土	
49	49	黄褐色の粘土質土	
50	50	黄褐色の粘土質土	
51	51	黄褐色の粘土質土	
52	52	黄褐色の粘土質土	
53	53	黄褐色の粘土質土	
54	54	黄褐色の粘土質土	
55	55	黄褐色の粘土質土	
56	56	黄褐色の粘土質土	
57	57	黄褐色の粘土質土	
58	58	黄褐色の粘土質土	
59	59	黄褐色の粘土質土	
60	60	黄褐色の粘土質土	
61	61	黄褐色の粘土質土	
62	62	黄褐色の粘土質土	
63	63	黄褐色の粘土質土	
64	64	黄褐色の粘土質土	
65	65	黄褐色の粘土質土	
66	66	黄褐色の粘土質土	
67	67	黄褐色の粘土質土	
68	68	黄褐色の粘土質土	
69	69	黄褐色の粘土質土	
70	70	黄褐色の粘土質土	
71	71	黄褐色の粘土質土	
72	72	黄褐色の粘土質土	
73	73	黄褐色の粘土質土	
74	74	黄褐色の粘土質土	
75	75	黄褐色の粘土質土	
76	76	黄褐色の粘土質土	
77	77	黄褐色の粘土質土	
78	78	黄褐色の粘土質土	
79	79	黄褐色の粘土質土	
80	80	黄褐色の粘土質土	
81	81	黄褐色の粘土質土	
82	82	黄褐色の粘土質土	
83	83	黄褐色の粘土質土	
84	84	黄褐色の粘土質土	
85	85	黄褐色の粘土質土	
86	86	黄褐色の粘土質土	
87	87	黄褐色の粘土質土	
88	88	黄褐色の粘土質土	
89	89	黄褐色の粘土質土	
90	90	黄褐色の粘土質土	
91	91	黄褐色の粘土質土	
92	92	黄褐色の粘土質土	
93	93	黄褐色の粘土質土	
94	94	黄褐色の粘土質土	
95	95	黄褐色の粘土質土	
96	96	黄褐色の粘土質土	
97	97	黄褐色の粘土質土	
98	98	黄褐色の粘土質土	
99	99	黄褐色の粘土質土	
100	100	黄褐色の粘土質土	

図166 上幌内5遺跡 TP-319・TP-320・TP-321・TP-322

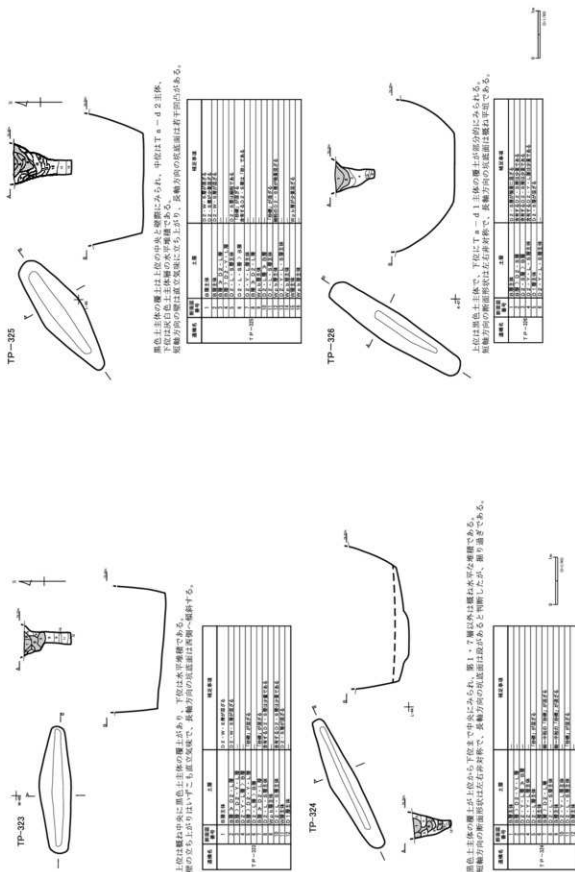


図167 上層

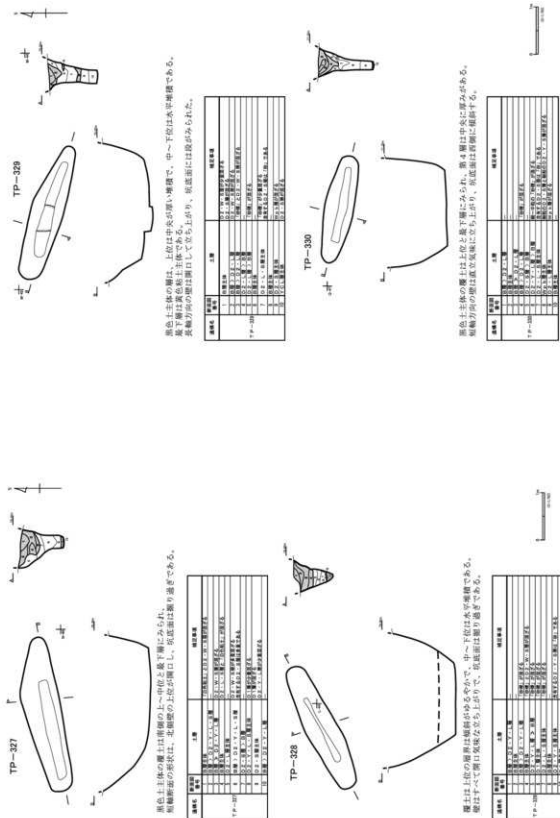
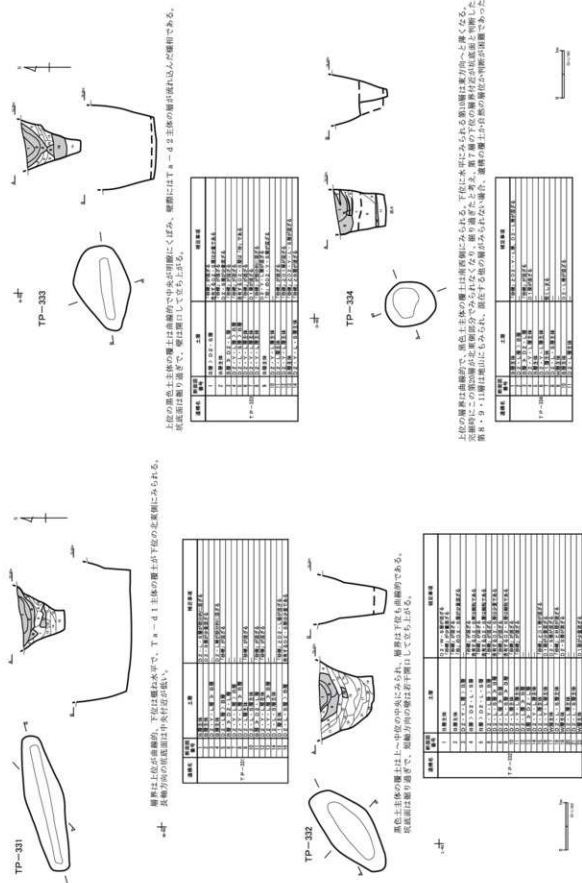


図168 上帆内5遺跡 TP-327・TP-328・TP-329・TP-330



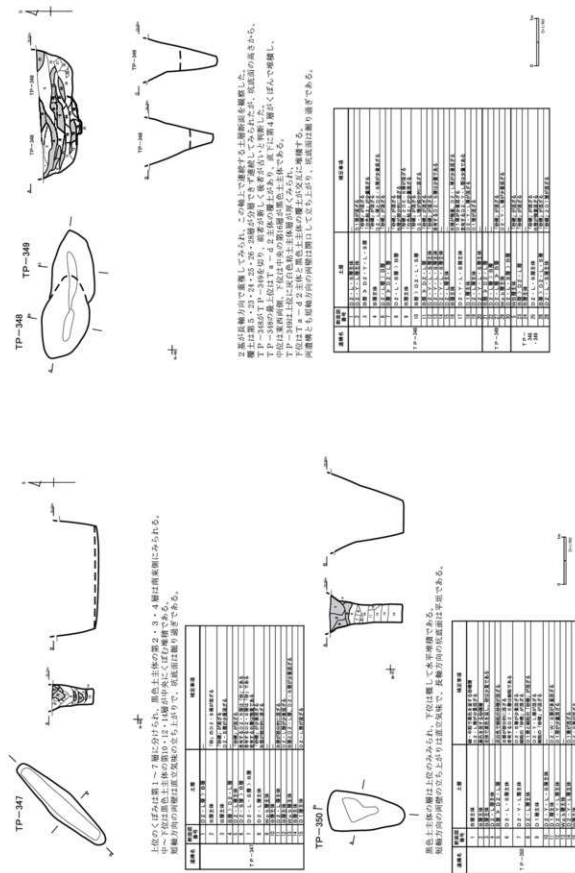
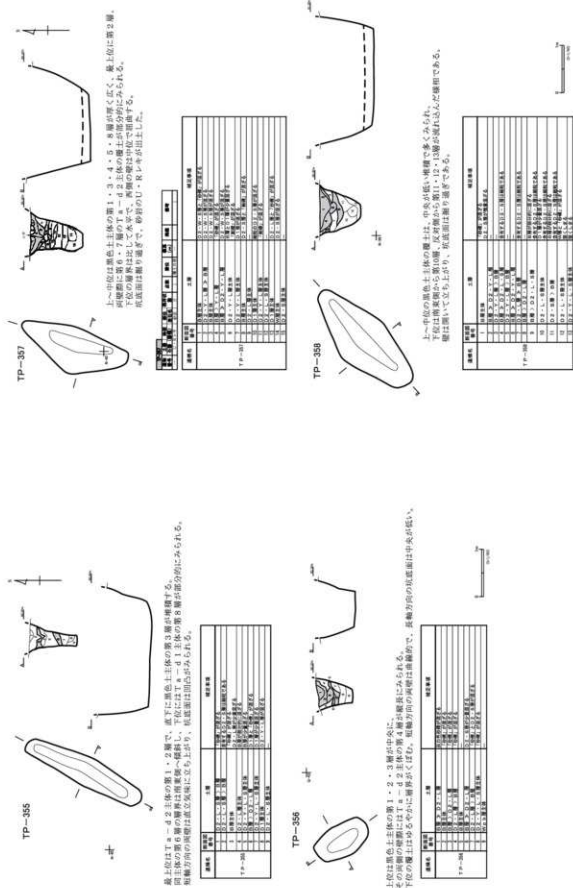


図173 上標内5遺跡 TP-347・TP-350・TP-348・TP-349



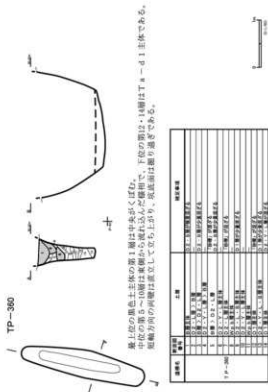
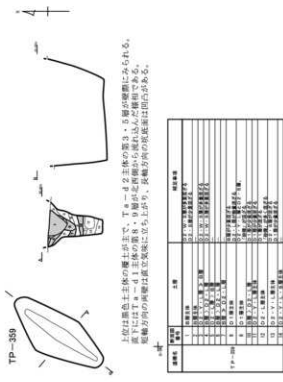
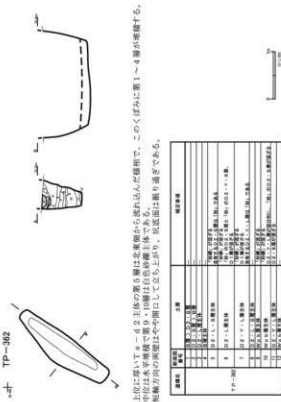
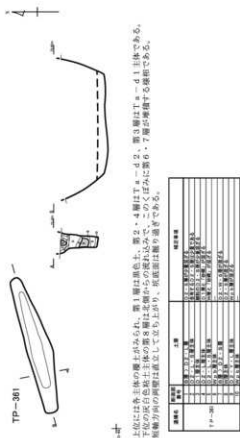


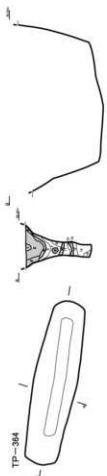
図176 上椽内5遺跡 TP-359・TP-360・TP-361・TP-362



上段は黒色土主体の第1・2層がくぼんで傾斜し、このくぼみは削込の第4層・8層に影響されていると考えられる。下段は概して水平面状で最下層は灰白色粘土主体である。壁はいずれも直立状で、長軸方向の底面は西側へ傾斜する。

+4

層別	土層	構成要素
1	10~15cm	黒色土(粘土質)
2	15~20cm	黒色土(粘土質)
3	20~25cm	黒色土(粘土質)
4	25~30cm	黒色土(粘土質)
5	30~35cm	黒色土(粘土質)
6	35~40cm	黒色土(粘土質)
7	40~45cm	黒色土(粘土質)
8	45~50cm	黒色土(粘土質)
9	50~55cm	黒色土(粘土質)
10	55~60cm	黒色土(粘土質)
11	60~65cm	黒色土(粘土質)
12	65~70cm	黒色土(粘土質)
13	70~75cm	黒色土(粘土質)
14	75~80cm	黒色土(粘土質)
15	80~85cm	黒色土(粘土質)
16	85~90cm	黒色土(粘土質)
17	90~95cm	黒色土(粘土質)
18	95~100cm	黒色土(粘土質)
19	100~105cm	黒色土(粘土質)
20	105~110cm	黒色土(粘土質)
21	110~115cm	黒色土(粘土質)
22	115~120cm	黒色土(粘土質)
23	120~125cm	黒色土(粘土質)
24	125~130cm	黒色土(粘土質)
25	130~135cm	黒色土(粘土質)
26	135~140cm	黒色土(粘土質)
27	140~145cm	黒色土(粘土質)
28	145~150cm	黒色土(粘土質)
29	150~155cm	黒色土(粘土質)
30	155~160cm	黒色土(粘土質)
31	160~165cm	黒色土(粘土質)
32	165~170cm	黒色土(粘土質)
33	170~175cm	黒色土(粘土質)
34	175~180cm	黒色土(粘土質)
35	180~185cm	黒色土(粘土質)
36	185~190cm	黒色土(粘土質)
37	190~195cm	黒色土(粘土質)
38	195~200cm	黒色土(粘土質)
39	200~205cm	黒色土(粘土質)
40	205~210cm	黒色土(粘土質)
41	210~215cm	黒色土(粘土質)
42	215~220cm	黒色土(粘土質)
43	220~225cm	黒色土(粘土質)
44	225~230cm	黒色土(粘土質)
45	230~235cm	黒色土(粘土質)
46	235~240cm	黒色土(粘土質)
47	240~245cm	黒色土(粘土質)
48	245~250cm	黒色土(粘土質)
49	250~255cm	黒色土(粘土質)
50	255~260cm	黒色土(粘土質)



黒色土主体は上段に集中するものと、中段に傾斜で見られる。同層位には第3・4・8・16層が認められる。長軸方向の側面は西側へ傾斜し、中央が最も低い。

+4

層別	土層	構成要素
1	10~15cm	黒色土(粘土質)
2	15~20cm	黒色土(粘土質)
3	20~25cm	黒色土(粘土質)
4	25~30cm	黒色土(粘土質)
5	30~35cm	黒色土(粘土質)
6	35~40cm	黒色土(粘土質)
7	40~45cm	黒色土(粘土質)
8	45~50cm	黒色土(粘土質)
9	50~55cm	黒色土(粘土質)
10	55~60cm	黒色土(粘土質)
11	60~65cm	黒色土(粘土質)
12	65~70cm	黒色土(粘土質)
13	70~75cm	黒色土(粘土質)
14	75~80cm	黒色土(粘土質)
15	80~85cm	黒色土(粘土質)
16	85~90cm	黒色土(粘土質)
17	90~95cm	黒色土(粘土質)
18	95~100cm	黒色土(粘土質)
19	100~105cm	黒色土(粘土質)
20	105~110cm	黒色土(粘土質)
21	110~115cm	黒色土(粘土質)
22	115~120cm	黒色土(粘土質)
23	120~125cm	黒色土(粘土質)
24	125~130cm	黒色土(粘土質)
25	130~135cm	黒色土(粘土質)
26	135~140cm	黒色土(粘土質)
27	140~145cm	黒色土(粘土質)
28	145~150cm	黒色土(粘土質)
29	150~155cm	黒色土(粘土質)
30	155~160cm	黒色土(粘土質)
31	160~165cm	黒色土(粘土質)
32	165~170cm	黒色土(粘土質)
33	170~175cm	黒色土(粘土質)
34	175~180cm	黒色土(粘土質)
35	180~185cm	黒色土(粘土質)
36	185~190cm	黒色土(粘土質)
37	190~195cm	黒色土(粘土質)
38	195~200cm	黒色土(粘土質)
39	200~205cm	黒色土(粘土質)
40	205~210cm	黒色土(粘土質)
41	210~215cm	黒色土(粘土質)
42	215~220cm	黒色土(粘土質)
43	220~225cm	黒色土(粘土質)
44	225~230cm	黒色土(粘土質)
45	230~235cm	黒色土(粘土質)
46	235~240cm	黒色土(粘土質)
47	240~245cm	黒色土(粘土質)
48	245~250cm	黒色土(粘土質)
49	250~255cm	黒色土(粘土質)
50	255~260cm	黒色土(粘土質)

最上段は黒色土主体で中央が厚く、中段は層が連続的にみられ、下段の盛り層は水平面状である。壁はいずれも傾斜して立ち上がり、長軸方向の側面は中央付近から傾斜的で、底面は傾斜面である。

+4

層別	土層	構成要素
1	10~15cm	黒色土(粘土質)
2	15~20cm	黒色土(粘土質)
3	20~25cm	黒色土(粘土質)
4	25~30cm	黒色土(粘土質)
5	30~35cm	黒色土(粘土質)
6	35~40cm	黒色土(粘土質)
7	40~45cm	黒色土(粘土質)
8	45~50cm	黒色土(粘土質)
9	50~55cm	黒色土(粘土質)
10	55~60cm	黒色土(粘土質)
11	60~65cm	黒色土(粘土質)
12	65~70cm	黒色土(粘土質)
13	70~75cm	黒色土(粘土質)
14	75~80cm	黒色土(粘土質)
15	80~85cm	黒色土(粘土質)
16	85~90cm	黒色土(粘土質)
17	90~95cm	黒色土(粘土質)
18	95~100cm	黒色土(粘土質)
19	100~105cm	黒色土(粘土質)
20	105~110cm	黒色土(粘土質)
21	110~115cm	黒色土(粘土質)
22	115~120cm	黒色土(粘土質)
23	120~125cm	黒色土(粘土質)
24	125~130cm	黒色土(粘土質)
25	130~135cm	黒色土(粘土質)
26	135~140cm	黒色土(粘土質)
27	140~145cm	黒色土(粘土質)
28	145~150cm	黒色土(粘土質)
29	150~155cm	黒色土(粘土質)
30	155~160cm	黒色土(粘土質)
31	160~165cm	黒色土(粘土質)
32	165~170cm	黒色土(粘土質)
33	170~175cm	黒色土(粘土質)
34	175~180cm	黒色土(粘土質)
35	180~185cm	黒色土(粘土質)
36	185~190cm	黒色土(粘土質)
37	190~195cm	黒色土(粘土質)
38	195~200cm	黒色土(粘土質)
39	200~205cm	黒色土(粘土質)
40	205~210cm	黒色土(粘土質)
41	210~215cm	黒色土(粘土質)
42	215~220cm	黒色土(粘土質)
43	220~225cm	黒色土(粘土質)
44	225~230cm	黒色土(粘土質)
45	230~235cm	黒色土(粘土質)
46	235~240cm	黒色土(粘土質)
47	240~245cm	黒色土(粘土質)
48	245~250cm	黒色土(粘土質)
49	250~255cm	黒色土(粘土質)
50	255~260cm	黒色土(粘土質)



最上段の層土の下段は第4・5層が同層から斜めに重複する。中段は傾斜的な層状で、最下層は黒色土主体の第10層である。長軸方向の側面は傾斜に立ち上がり、底面は傾斜面である。

+4

層別	土層	構成要素
1	10~15cm	黒色土(粘土質)
2	15~20cm	黒色土(粘土質)
3	20~25cm	黒色土(粘土質)
4	25~30cm	黒色土(粘土質)
5	30~35cm	黒色土(粘土質)
6	35~40cm	黒色土(粘土質)
7	40~45cm	黒色土(粘土質)
8	45~50cm	黒色土(粘土質)
9	50~55cm	黒色土(粘土質)
10	55~60cm	黒色土(粘土質)
11	60~65cm	黒色土(粘土質)
12	65~70cm	黒色土(粘土質)
13	70~75cm	黒色土(粘土質)
14	75~80cm	黒色土(粘土質)
15	80~85cm	黒色土(粘土質)
16	85~90cm	黒色土(粘土質)
17	90~95cm	黒色土(粘土質)
18	95~100cm	黒色土(粘土質)
19	100~105cm	黒色土(粘土質)
20	105~110cm	黒色土(粘土質)
21	110~115cm	黒色土(粘土質)
22	115~120cm	黒色土(粘土質)
23	120~125cm	黒色土(粘土質)
24	125~130cm	黒色土(粘土質)
25	130~135cm	黒色土(粘土質)
26	135~140cm	黒色土(粘土質)
27	140~145cm	黒色土(粘土質)
28	145~150cm	黒色土(粘土質)
29	150~155cm	黒色土(粘土質)
30	155~160cm	黒色土(粘土質)
31	160~165cm	黒色土(粘土質)
32	165~170cm	黒色土(粘土質)
33	170~175cm	黒色土(粘土質)
34	175~180cm	黒色土(粘土質)
35	180~185cm	黒色土(粘土質)
36	185~190cm	黒色土(粘土質)
37	190~195cm	黒色土(粘土質)
38	195~200cm	黒色土(粘土質)
39	200~205cm	黒色土(粘土質)
40	205~210cm	黒色土(粘土質)
41	210~215cm	黒色土(粘土質)
42	215~220cm	黒色土(粘土質)
43	220~225cm	黒色土(粘土質)
44	225~230cm	黒色土(粘土質)
45	230~235cm	黒色土(粘土質)
46	235~240cm	黒色土(粘土質)
47	240~245cm	黒色土(粘土質)
48	245~250cm	黒色土(粘土質)
49	250~255cm	黒色土(粘土質)
50	255~260cm	黒色土(粘土質)

図177 上段内5遺跡 TP-363・TP-364・TP-365・TP-366

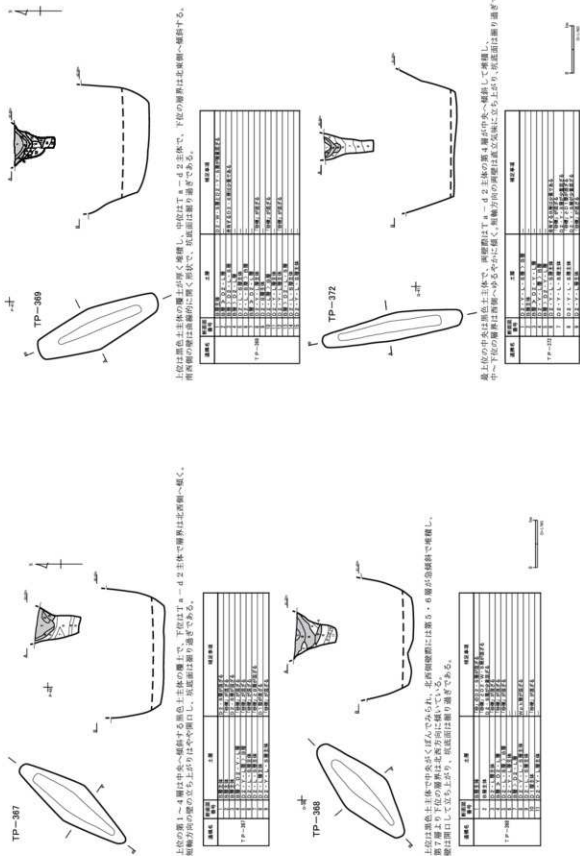
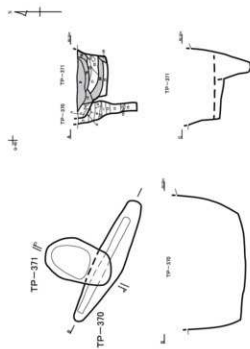
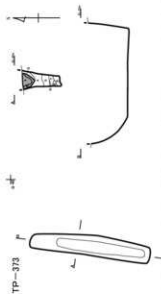


図178 上椽内5遺跡 TP-367・TP-368・TP-369・TP-372



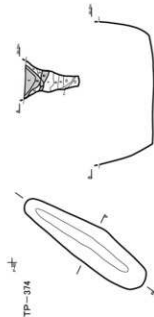
遺構のTP-370と同一形のTP-371が重複する。
 遺跡の上層部で遺構1、遺跡が相重を叩いており、TP-370B5よりTP-371が厚しい。
 斜めや直線的な配置が部分的にみられるが、疑って本平埋蔵である。
 掘削方向の両側は直立状態に立ち上がる。長軸方向の墳頂面は中央がゆるやかにくぼむ。
 TP-371は覆して黒色土主体と下a-d土主体が交互にみられる。
 遺構の中心部が平坦で、北西側は傾斜した状態である。
 掘削面が平坦で、北西側は傾斜した状態である。

遺構名	遺構の位置		遺構の形状	遺構の規模	遺構の構造	遺構の層位	遺構の年代	遺構の用途
	北緯	東経						
TP-370	37° 15' 00" N	140° 05' 00" E	楕円形	約 10m x 15m	土壁	上層部	古墳	埋葬施設
TP-371	37° 15' 00" N	140° 05' 00" E	楕円形	約 5m x 8m	土壁	上層部	古墳	埋葬施設
TP-372	37° 15' 00" N	140° 05' 00" E	楕円形	約 5m x 8m	土壁	上層部	古墳	埋葬施設



上位の第1・3層は中央が厚い黒色土主体で、東側壁面はT a-d土主体の第2層が壁長に覆出し、
 中心部がゆるやかにくぼむ。掘削面が平坦で、北西側は傾斜した状態である。
 掘削面が平坦で、北西側は傾斜した状態である。

遺構名	遺構の位置		遺構の形状	遺構の規模	遺構の構造	遺構の層位	遺構の年代	遺構の用途
	北緯	東経						
TP-373	37° 15' 00" N	140° 05' 00" E	楕円形	約 10m x 15m	土壁	上層部	古墳	埋葬施設
TP-374	37° 15' 00" N	140° 05' 00" E	楕円形	約 5m x 8m	土壁	上層部	古墳	埋葬施設



上位の黒色土主体は第1・2・3・6層で、前二者は最上位の中央にくぼみでみられ、
 後二者の層厚は北西側へ傾斜する。
 中心は水平埋蔵で下位は灰白色土主体の掘削面の層厚は急傾斜である。

遺構名	遺構の位置		遺構の形状	遺構の規模	遺構の構造	遺構の層位	遺構の年代	遺構の用途
	北緯	東経						
TP-375	37° 15' 00" N	140° 05' 00" E	楕円形	約 10m x 15m	土壁	上層部	古墳	埋葬施設
TP-376	37° 15' 00" N	140° 05' 00" E	楕円形	約 5m x 8m	土壁	上層部	古墳	埋葬施設

図179 上層内5遺跡 TP-370・TP-371・TP-373・TP-374

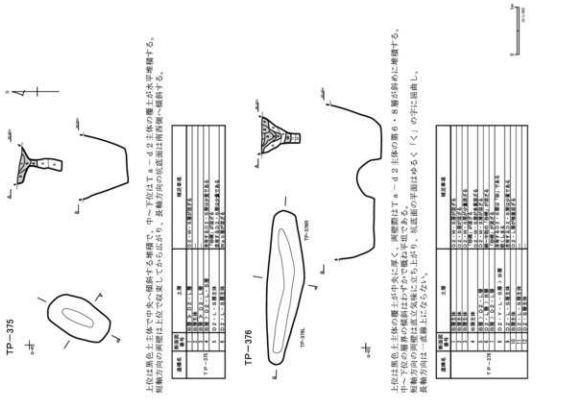
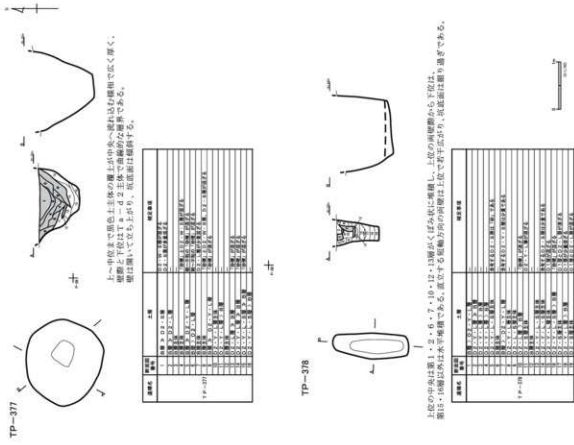
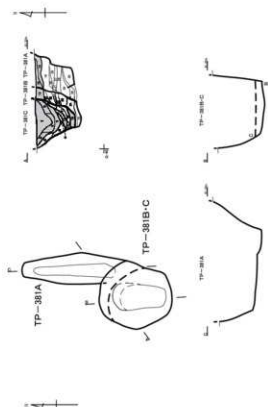
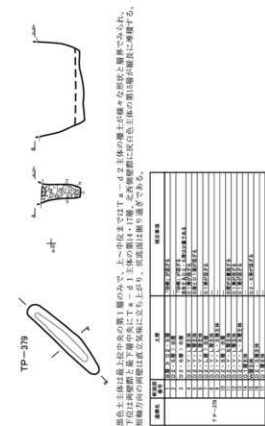


図180 上幌内5遺跡 TP-375・TP-376・TP-377・TP-378

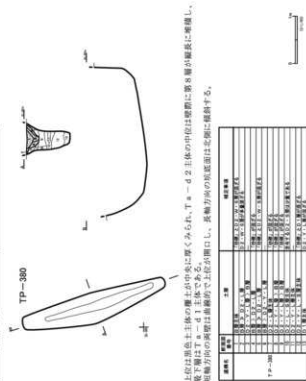


横状と横断面が重複し、連続する上層断面を構成した。
 連続した TP-381A の横断面に示され、さらに後者は断面が 2 つの部分に分かれたので、B・C に分けた。
 下層の断面は、29 層に相当する区別がなかった。扇形方向の断面は扇形に連続する。
 横断面で古い B は最上位が黒色土主体で、層界は中位が傾斜、下位は水平である。
 C は黒色土主体の層上が多く、上位はくぼみ、中位は北東側から覆れ込んだ傾斜、そして最下層にみられる。
 B・C の断は開口して立ち上がり、断面は B は開口があり、C は開口で立ち上がる。

種別	種名	産地	標本番号
1	TP-381A	TP-381A	TP-381A
2	TP-381B	TP-381B	TP-381B
3	TP-381C	TP-381C	TP-381C

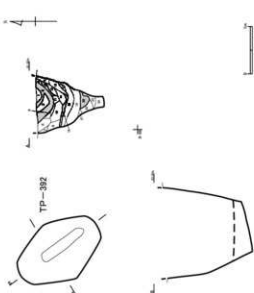


黒色土主体は最上位中央の第 1 層のみで、上・中位までは T a-d 2 主体の黒土が連続した層界でみられ、
 下位は同傾斜と最下層のみに T a-d 1 主体の第 14・17 層、北西側断面は灰白色土主体の第 13 層が連続して連続する。
 扇形方向の断面は直立気集に立ち上がり、断面は傾り過ぎである。



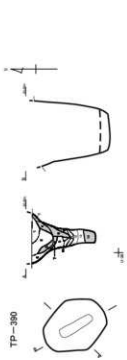
上位は黒色土主体の層界が中央部に深くみられ、T a-d 2 主体の中央位は傾斜に第 8 層が延長に連続し、
 最下層は T a-d 1 主体である。
 扇形方向の断面は扇形方向で上位が開口し、扇形方向の断面は北側に傾斜する。

図181 上層内5通跡 TP-379・TP-380・TP-381



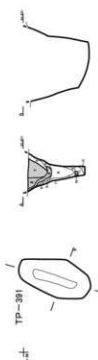
最上位に褐色土主体が厚く、T_a-d 2主体の第1・2層が部分的にみられる。正~中心の遺構は、北面側は傾斜がきつく、南側面は比して緩やかである。傾斜方向の両側は中心で開口し、瓦断面は断り過ぎた。

遺構番号	層別	土質	厚さ	傾斜	備考
TP-392	1	褐色土	100	0°	最上位の厚層土
	2	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	3	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	4	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	5	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	6	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	7	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	8	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	9	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	10	褐色土	50	0°	正~中心の遺構



最上位の第1・2層は褐色土と灰色粘土が混ざり、直下に褐色土主体の層土がみられる。第3層は形長から形欠・形欠に陥すると考えられる。中心の遺構は直線状にくぼき、瓦断面はT_a-d 1主体である。傾斜方向の両側は上位が広がり、瓦断面は断り過ぎである。

遺構番号	層別	土質	厚さ	傾斜	備考
TP-390	1	褐色土	100	0°	最上位の厚層土
	2	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	3	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	4	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	5	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	6	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	7	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	8	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	9	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	10	褐色土	50	0°	正~中心の遺構



上位の中心から東側は褐色土主体がくぼくぼくみられる。反斜側の壁脚はT_a-d 2主体の第3・5層が傾斜して覆われる。中心の層長の第7層と下位の層は断りはT_a-d 1主体である。傾斜方向の両側の北上りには瓦断面で、長軸方向の瓦断面は北面に傾斜する。

遺構番号	層別	土質	厚さ	傾斜	備考
TP-391	1	褐色土	100	0°	最上位の厚層土
	2	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	3	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	4	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	5	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	6	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	7	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	8	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	9	褐色土	50	0°	正~中心の遺構
	10	褐色土	50	0°	正~中心の遺構

図184 上椽内5遺跡 TP-390・TP-391・TP-392

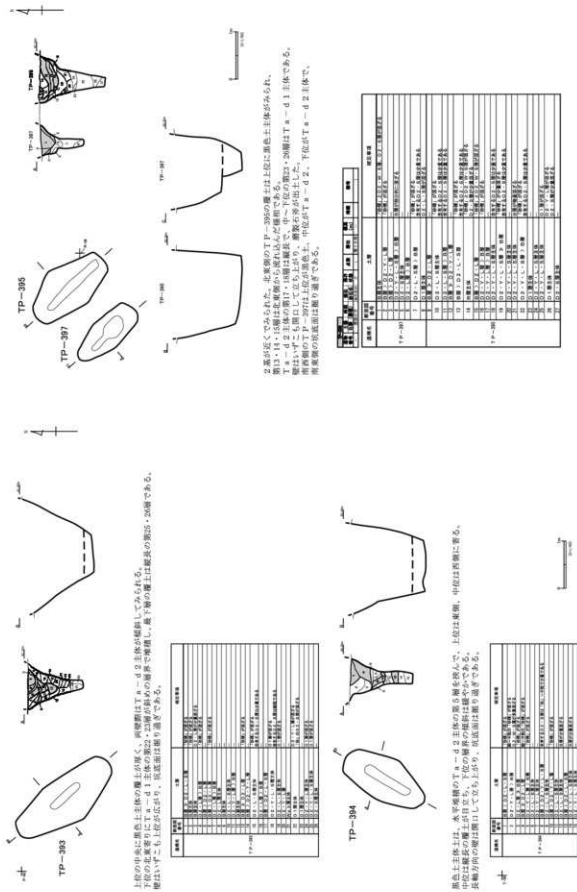


図185 上段内5遺跡 TP-393・TP-394・TP-395・TP-397

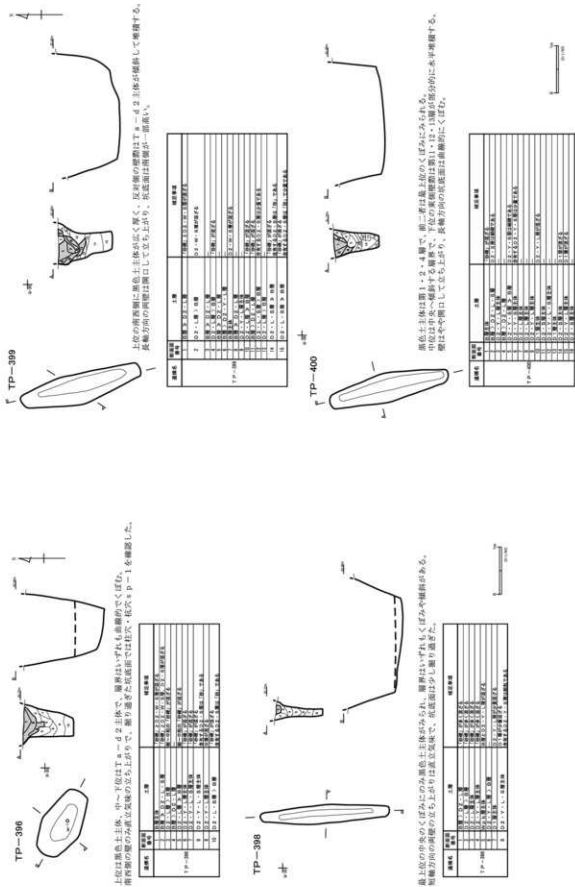


図186 上幌内5遺跡 TP-396・TP-398・TP-399・TP-400

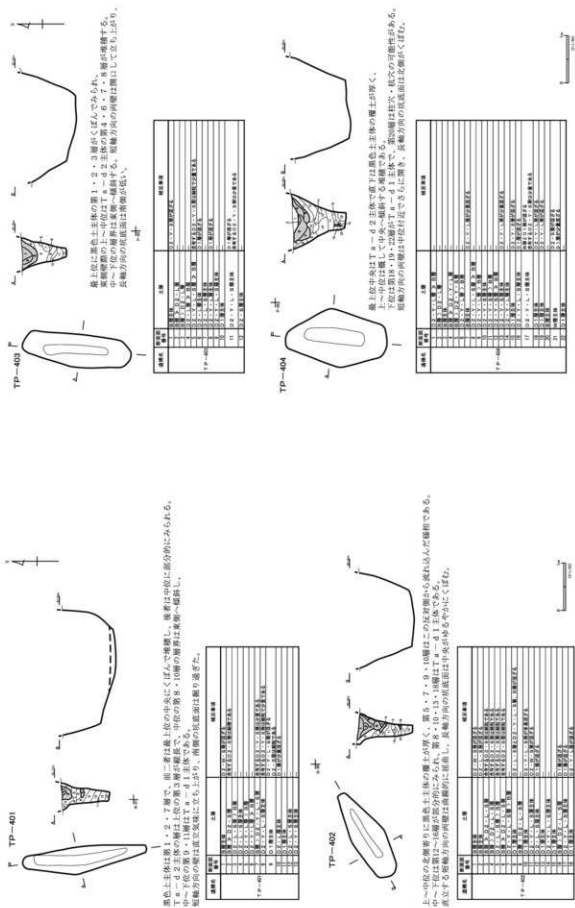


図187 上標内5遺跡 TP-401・TP-402・TP-403・TP-404

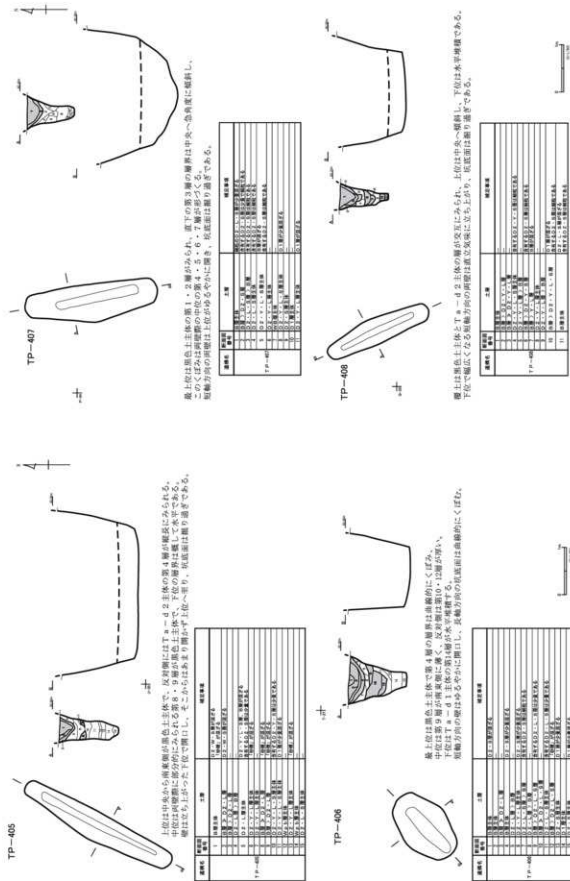


図188 上幌内5遺跡 TP-405・TP-406・TP-407・TP-408

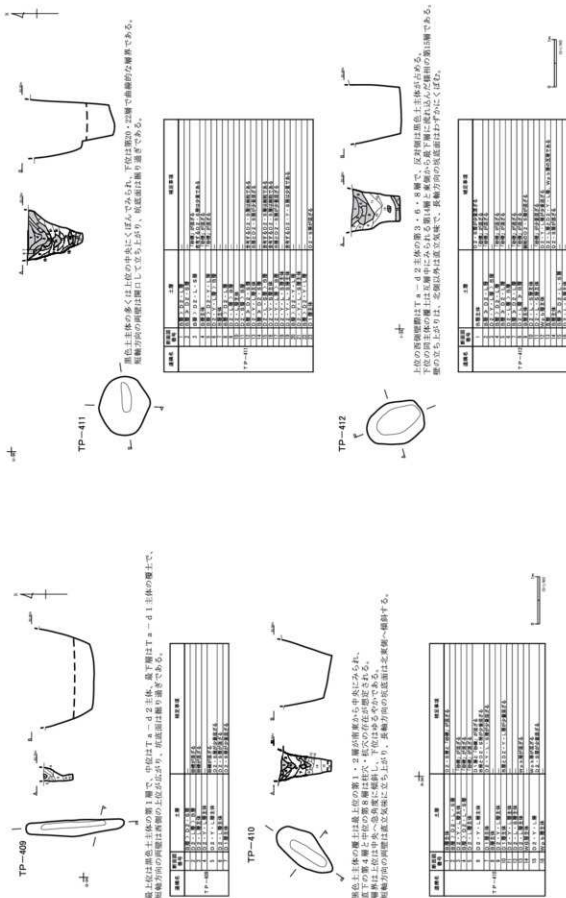
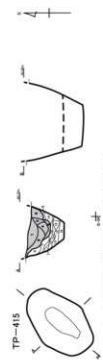
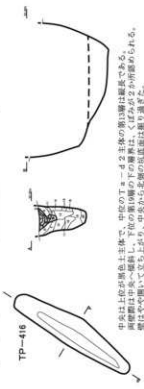


図189 上標内5遺跡 TP-409・TP-410・TP-411・TP-412



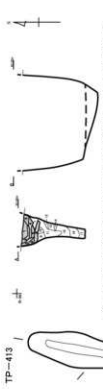
上~中位は黒色土主体の遺構に広くほぼ同一形状する。1層主体である。断面は隅角立ち上がり、北西面は張り通まである。

遺構番号		土層	地層区分	地層名称
TP-415	1	黒色土	第13層	黒色土
	2	黒色土	第13層	黒色土
	3	黒色土	第13層	黒色土
	4	黒色土	第13層	黒色土
	5	黒色土	第13層	黒色土
	6	黒色土	第13層	黒色土
	7	黒色土	第13層	黒色土
	8	黒色土	第13層	黒色土
	9	黒色土	第13層	黒色土
	10	黒色土	第13層	黒色土
	11	黒色土	第13層	黒色土
	12	黒色土	第13層	黒色土
	13	黒色土	第13層	黒色土
	14	黒色土	第13層	黒色土



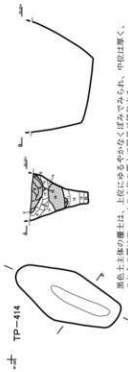
中央は上位が黒色土主体で、中位の10層は黒色土層である。所覆部は中央へ傾斜し、下位の第13層の下の層厚は、くぼみ2か所認められる。壁は中央側から立ち上がり、中央から北面の北東面は張り通まで。

遺構番号		土層	地層区分	地層名称
TP-416	1	黒色土	第13層	黒色土
	2	黒色土	第13層	黒色土
	3	黒色土	第13層	黒色土
	4	黒色土	第13層	黒色土
	5	黒色土	第13層	黒色土
	6	黒色土	第13層	黒色土
	7	黒色土	第13層	黒色土
	8	黒色土	第13層	黒色土
	9	黒色土	第13層	黒色土
	10	黒色土	第13層	黒色土
	11	黒色土	第13層	黒色土
	12	黒色土	第13層	黒色土
	13	黒色土	第13層	黒色土
	14	黒色土	第13層	黒色土



上位の中央、黒色土主体の遺構に認められ、最下位の張り通は黒色土層である。北西面は黒色土主体で、第12・13層の壁が形成するくぼみ第13層の壁面に認められ、T a-d 1主体の張り通層に属する。断面は北西側に傾斜して立ち上がり、長軸方向の北東面は北西面を張り通まで。

遺構番号		土層	地層区分	地層名称
TP-413	1	黒色土	第13層	黒色土
	2	黒色土	第13層	黒色土
	3	黒色土	第13層	黒色土
	4	黒色土	第13層	黒色土
	5	黒色土	第13層	黒色土
	6	黒色土	第13層	黒色土
	7	黒色土	第13層	黒色土
	8	黒色土	第13層	黒色土
	9	黒色土	第13層	黒色土
	10	黒色土	第13層	黒色土
	11	黒色土	第13層	黒色土
	12	黒色土	第13層	黒色土
	13	黒色土	第13層	黒色土
	14	黒色土	第13層	黒色土



黒色土主体の遺構は、上位に少くなく認められ、中位は厚く、それらの間はT a-d 2主体に属する。最下位は黒色土層である。長軸方向の内面は北東面から北西面は北東へ傾斜する。断面は北東側に立ち上がり、長軸方向の北東面は北東へ傾斜する。

遺構番号		土層	地層区分	地層名称
TP-414	1	黒色土	第13層	黒色土
	2	黒色土	第13層	黒色土
	3	黒色土	第13層	黒色土
	4	黒色土	第13層	黒色土
	5	黒色土	第13層	黒色土
	6	黒色土	第13層	黒色土
	7	黒色土	第13層	黒色土
	8	黒色土	第13層	黒色土
	9	黒色土	第13層	黒色土
	10	黒色土	第13層	黒色土
	11	黒色土	第13層	黒色土
	12	黒色土	第13層	黒色土
	13	黒色土	第13層	黒色土
	14	黒色土	第13層	黒色土

図190 上幌内5遺跡 TP-413・TP-414・TP-415・TP-416

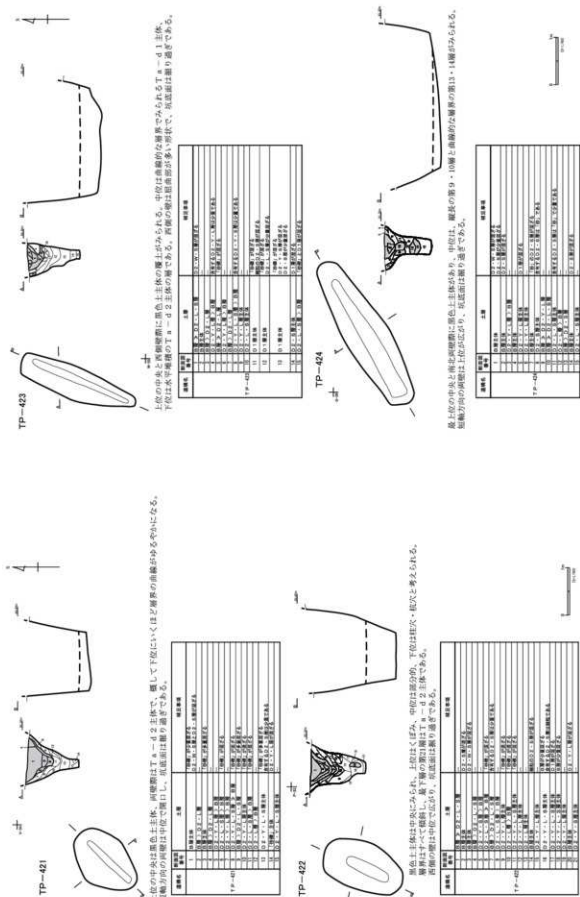


図192 上椽内5遺跡 TP-421・TP-422・TP-423・TP-424

表58 上幌内5遺跡 竪穴住居跡一覧表

遺跡名	目	距離	グランド	平面形状	壁 幅 (cm)				付属遺構	出土遺物			備考			
					幅約部		壁底・坑底部			最大深	土器	割内石器		磨石器		
					長さ	幅	長さ	幅								
H-1	竪	32	ホ・ホ・ホ-11・竪・竪	縦円形	2.00	2.30	2.30	4.40	0.34	段：1 土丸・1 土器	1	石器 石丸・土ワ フレイク	磨石 石片 割内・土器 土器 土器	TP・H・TP-11 土器	—	不明

表59 上幌内5遺跡 竪穴住居跡付属遺構一覧表

遺跡	付属遺構名	種類	目	距離	形状	壁 幅 (cm)				最大深	出土遺物			備考	
						幅約部		壁底・坑底部			土器	割内石器	磨石器		
						長さ	幅	長さ	幅						
H-1	—	壁	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	hp-1	土坑	32	横円形	—	0.70	0.40	0.60	0.30	—	—	—	—	—	—
	hp-2	—	32	円形	丸	0.20	—	—	0.20	—	—	—	—	—	—
	hp-3	—	32	円形	縦丸	0.14	—	—	0.08	—	—	—	—	—	—
	hp-4	—	—	円形	縦丸	0.24	—	—	0.10	0.08	—	—	—	—	—

表60 上幌内5遺跡 土坑一覧表

遺跡名	目	距離	形状	平面形状	壁 幅 (cm)				最大深	出土遺物			備考		
					幅約部		壁底・坑底部			土器	割内石器	磨石器			
					長さ	幅	長さ	幅							
P-1	竪	33	L	1階形	a-20K	縦円形	1.23	0.26	0.26	0.43	0.24	—	—	—	—
P-2	竪	33	L	3階形	b-34K	縦円形	1.23	0.42	0.42	0.22	0.22	—	—	—	—
P-3	竪	32	L	3階形	1・2 -34K	縦円形	1.94	1.13	1.00	0.42	0.44	—	—	—	—
P-4	竪	33	L	3階形	1-30K	縦円形	1.11	0.95	0.90	0.56	0.29	—	—	—	—
P-5	竪	34	L	3階形	1-30K	縦円形	1.00	0.88	0.70	0.13	0.22	—	—	—	—
P-6	竪	32	L	3階形	a-34K	縦円形	1.42	1.20	1.22	1.47	0.34	—	—	—	—
P-7	竪	34	L	3階形	a-30K	縦円形	1.43	1.41	1.34	1.06	0.34	—	—	—	—
P-8	竪	34	L	3階形	d-43K	縦円形	1.30	0.27	1.20	0.20	0.30	—	—	—	—

表61 上幌内5遺跡 S P 一覧表

遺跡名	目	距離	形状		グランド	壁 幅 (cm)				特殊	出土遺物	備考	
			大断面	小断面		幅約部		坑底深					
						長さ	幅						
S P-1	竪	34	L	3階形	1-30K	円形	中	0.22	0.24	0.20	0.40	—	—

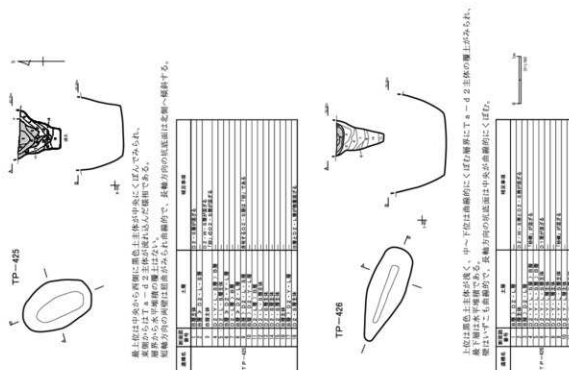


図193 上幌内5遺跡 TP-425・TP-426

VIII章 上幌内5遺跡 V層の遺構・包含層の出土遺物

1. 概要

本遺跡のV層の遺構・包含層出土遺物をまとめて記載する。ほとんどが遺構確認調査であったので、包含層出土の遺物は少なく、土器は8点、石器377等点、合計385点出土した。

包含層出土点数表(表67～69)

土器はV層出土が2点、I層・F層(風倒木痕)出土が6点で、I・III・IV群である。剥片石器は、約95%が黒曜石のフレイクで、石鎌5点、スクレイパー2点、U・Rフレイク2点、石核1点が出土した。礫石器・石製品・レキは84%がレキである。多い順に台石・石皿16点、砥石6点、たたき石3点、すり石3点、磨製石斧2点、石製品1点で、過半数以上がF層出土である。

出土分布図(図194～198)

I群土器はe-50区、III群土器はU-52区、c-46区、h-54区、IV群土器はd-56区から4点出土した。石鎌が出土したグリッドは4か所で、U・RフレイクはS-33・35区、石核はV-53区の出土である。磨製石斧はR-33区、たたき石はL-3地区、すり石は2か所、砥石は4か所のグリッドから出土した。台石・石皿は強いていえば南側に多い。

2. 土器

(1) 破片土器(図199 表70 図版106)

遺構出土(1～9)

1はH-1出土で、RL縄線文と縄文が施される。2・3はP-3出土で、2は節の形状からLRの別原体による施文と判断され、3は底部近くで内面が剥離する。4はTP-27出土で燃りの異なる原体の羽状縄文がみられる。5はTP-26出土で絡条体圧痕文が施される。6はTP-40出土、7はTP-50出土、8はTP-54出土で、結束第1種羽状縄文がみられる。9はTP-81出土、10はTP-311出土で、斜行縄文がみられる。

1・5はI群b類、2～4・9・10はIV群a類、6～8はIII群b類と考えられる。

包含層出土(11～15)

11は突起を有し、貼付帯上に貝殻腹縁文が縦位に施される。I群a類と考えられる。12は口唇部が内面に顕著に張り出し、外面は貼付帯と燃り戻し原体による縄文がみられる。13は燃紐により施文された貼付帯とRL縄文がみられる。14はLR縄文と半截竹管状工具による刺突文が施され、III群b類と判断される。15は底部近くで、LR縄文が浅く観察され、IV群a類と考えられる。

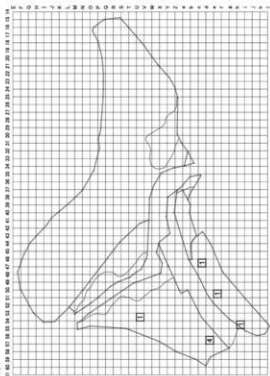
3. 石器等

(1) 遺構出土の石器(図200～205 表71 図版106～109)

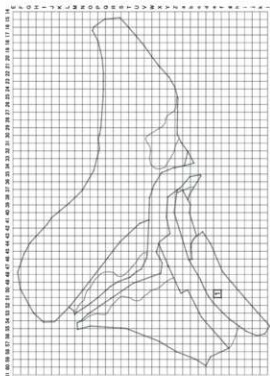
剥片石器(1～13)

1～3はH-1出土の石鎌で、1は腹面右側縁部の一部、2は先端部を破損する。3は周縁のみ加工が施される。4はP-6出土のつまみ付きナイフで、上部の作出は両面調整である。5はTP-8出土で非対称である。6は直線距離で4.5m離れたTP-33・36出土が接合し、表面は透明な結晶が集中する。7は表面に原礫面を残し、右側縁に加工らしき痕跡がみられる。8はTP-72出土で、背

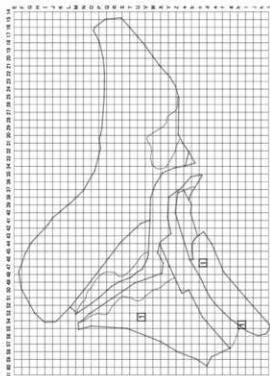
土器總点数



I群土器



III群土器



IV群土器

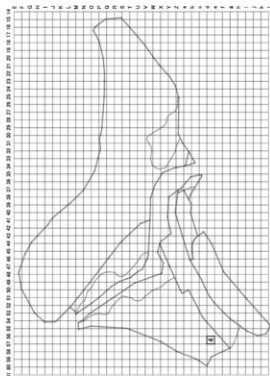


图194 上幌内5遺跡 遺物出土分布图(1)

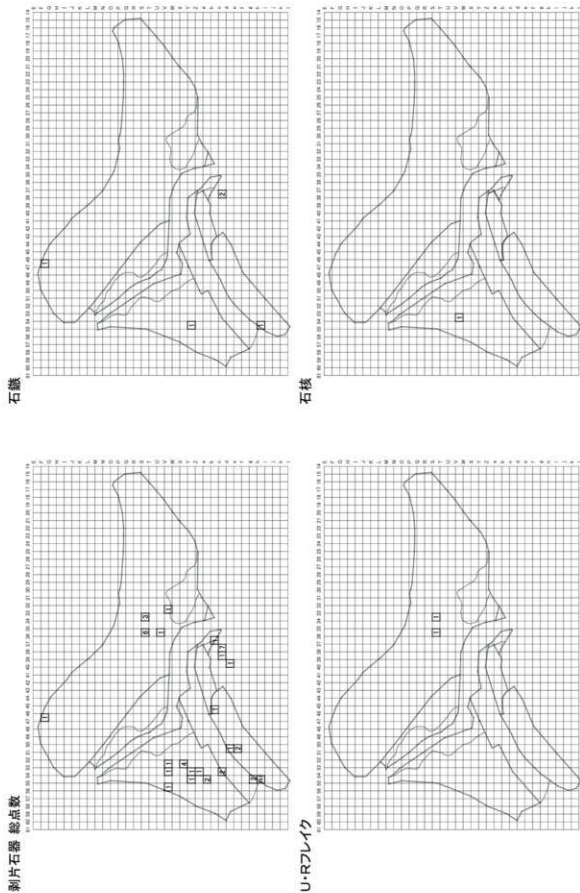
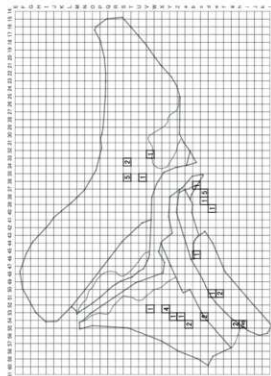
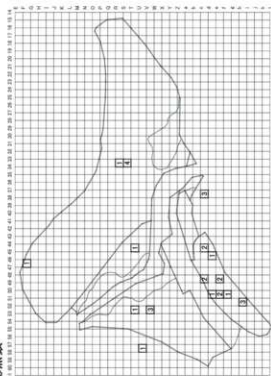


図195 上幌内5遺跡 遺物出土分布図(2)

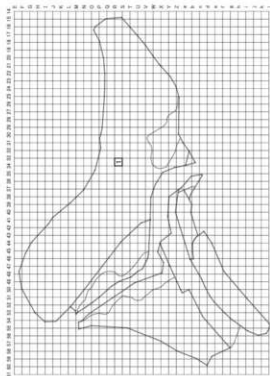
フレイク



礫石器 総点数



磨製石斧



たたき石

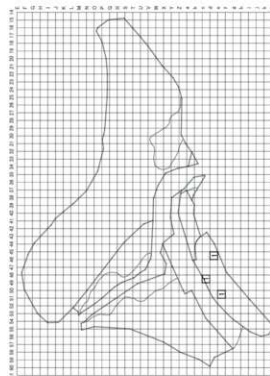


図196 上幌内5遺跡 遺物出土分布図(3)

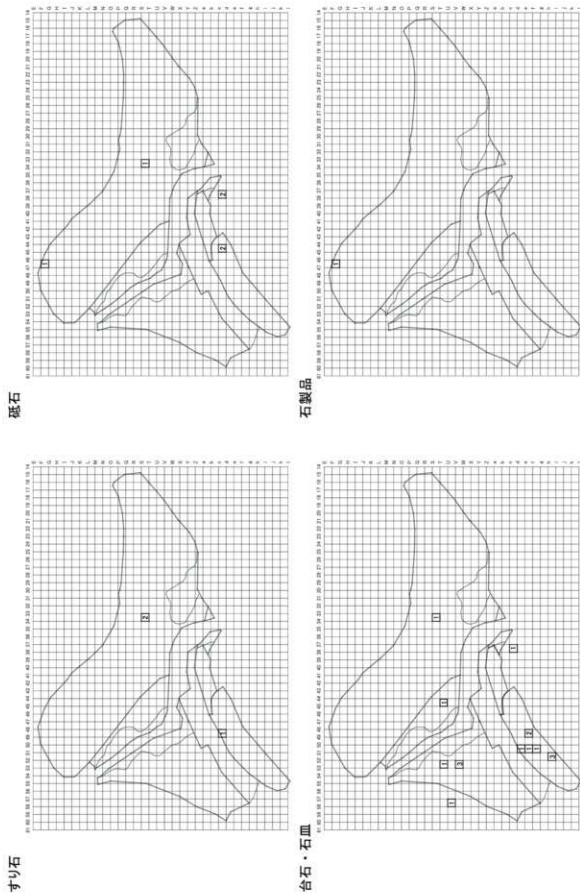
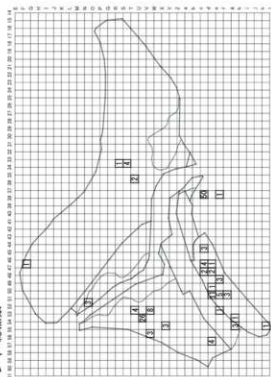
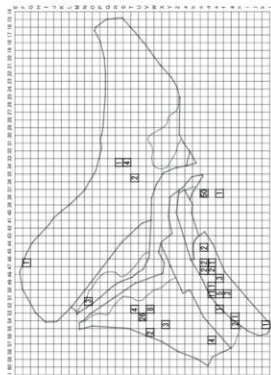


図197 上幌内5遺跡 遺物出土分布図(4)

U・Rレキ 総高数



U・Rレキ



レキ

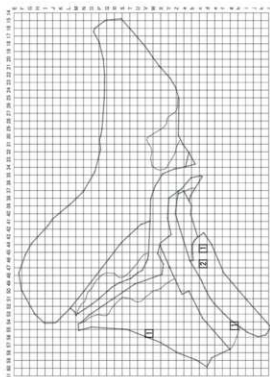


図198 上管内5遺跡 遺物出土分布図(5)

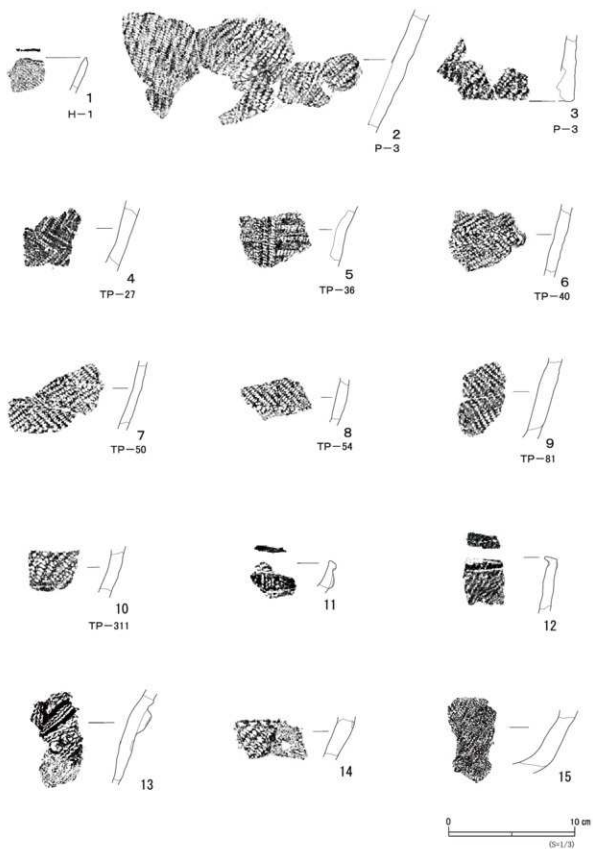


図199 上幌内5遺跡 遺構・包含層出土の破片土器

面の中央部分に高まりを残す。9はTP-74出土で原礫面と剥離面がみられる。10はTP-108出土で、基部のみで石鏃かもしれない。11はTP-238出土で、薄手で二等辺三角形である。12はTP-263出土で、基部のみである。13はTP-311出土で、腹面は槌状剥離が目立つ。

礫石器(14~38)

H出土

14はやや粗粒の砂岩の砥石で、15は台石・石皿で左側を破損する。

P出土

16はP-4出土で使用面は明瞭にくぼみ、17は加工・使用痕と判断できる部分はみられない。18は中央に曲線的にくぼむ使用痕がみられ、19は表面全体にすり痕、中央にたたき痕がみられる。

TP出土

20はTP-36出土で、接合した表面に使用痕がみられる。21はTP-54出土で、表面と右側面にたたき痕がみられる。22はTP-59出土で、概して直方体の礫岩を用いている。23・24はTP-61出土である。23は全体にすり痕、部分的にたたき痕がみられ、24は厚みのある石材で、曲線的にくぼむ使用痕がみられる。25はTP-64出土で、下端面は直線化した使用痕があり、敲打による加工がある。26はTP-66出土で、棒状の礫を素材とし表面と下端面にたたき痕が観察される。27はTP-80出土で、下端に平滑なすり面と表面に敲打による加工がみられ、形状は似ないが北海道式石冠とも考えられる。28はTP-106出土、29はTP-108出土で、すり痕とたたき痕がみられる。30はTP-136出土で、表裏両面に使用痕が観察される。31~34はTP-143出土で、31のたたき石は下端面に使用痕がみられ、32は使用により直線化したと思われる三つの辺がある。33のすり石は、使用面が素材の軸に対し傾斜する。34は厚みのある中粒の砂岩を素材とする。35~37はTP-266出土で、35は表面の下側にたたき痕がみられ、36・37は扁平な楕円礫を素材とするすり石である。38は磨製石斧の刃部である。

(2) 包含層出土の石器(図206 表71 図版109)

剥片石器(1~6)

1~4は黒曜石の石鏃である。1は基部を破損し、2は腹面の中央から基部側に剥離面を残す。3は先端部側を破損し、4の両側縁はやや曲線的である。5は両面調整で、背面右側縁部の大きな剥離面はざらつきがあり、被熱と考えられる。6は灰白色のチャートで剥離面が複数みられる。

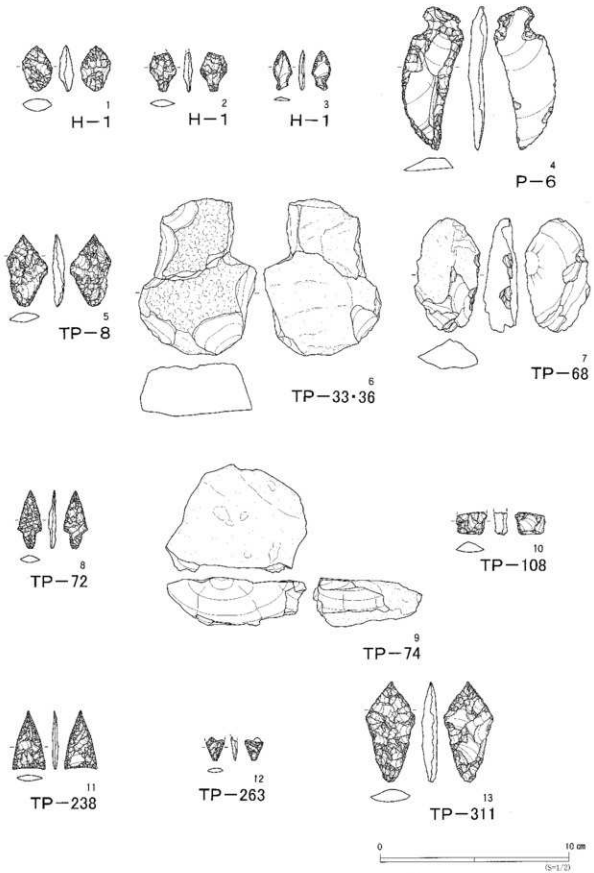


図200 上幌内5遺跡 遺構出土の剥片石器

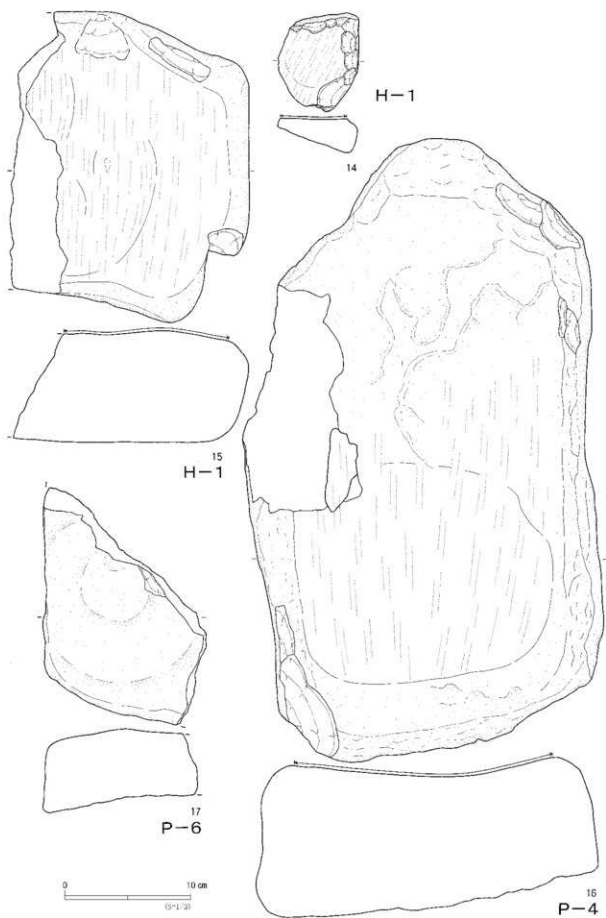


図201 上幌内5遺跡 遺構出土の礫石器(1)

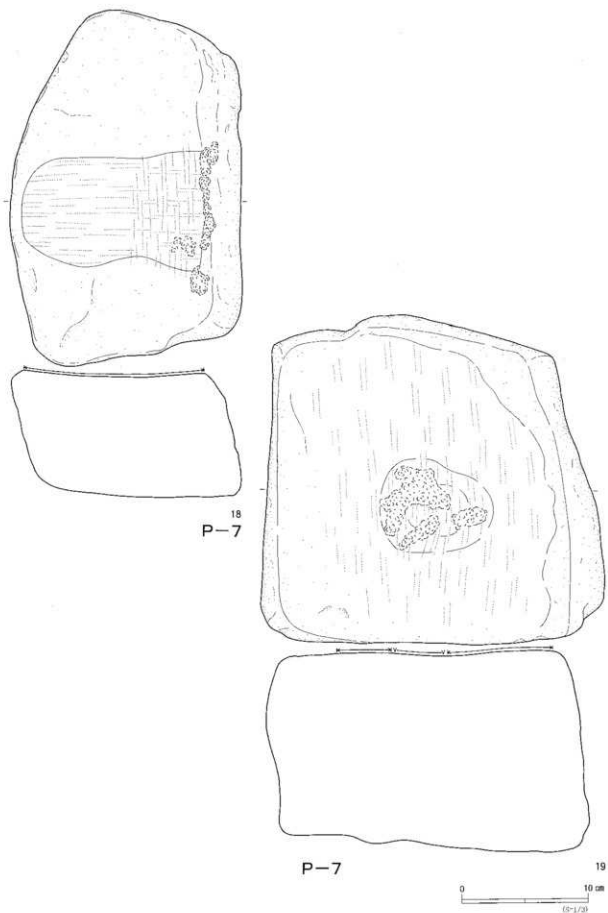


図202 上幌内5遺跡 遺構出土の礫石器(2)

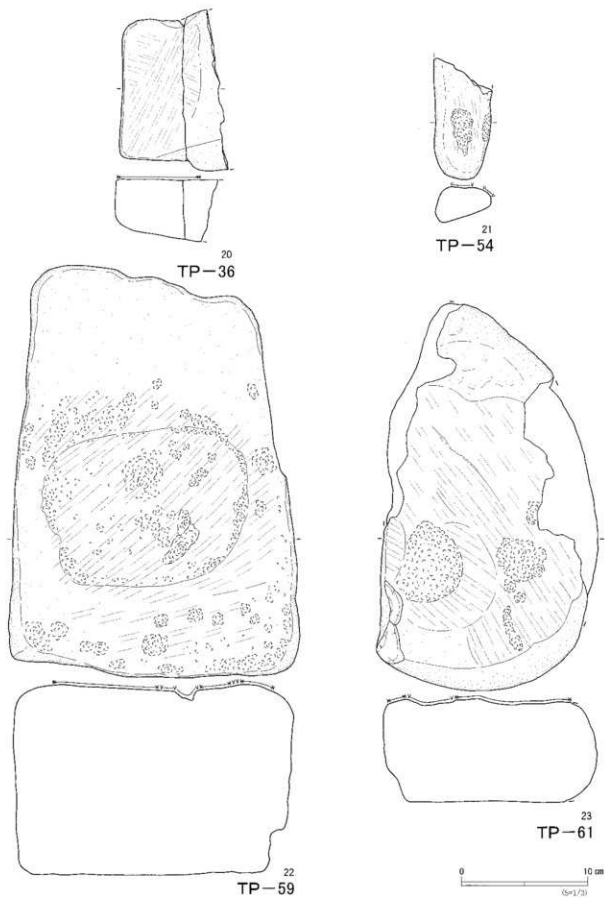


図203 上幌内5遺跡 遺構出土の礫石器(3)

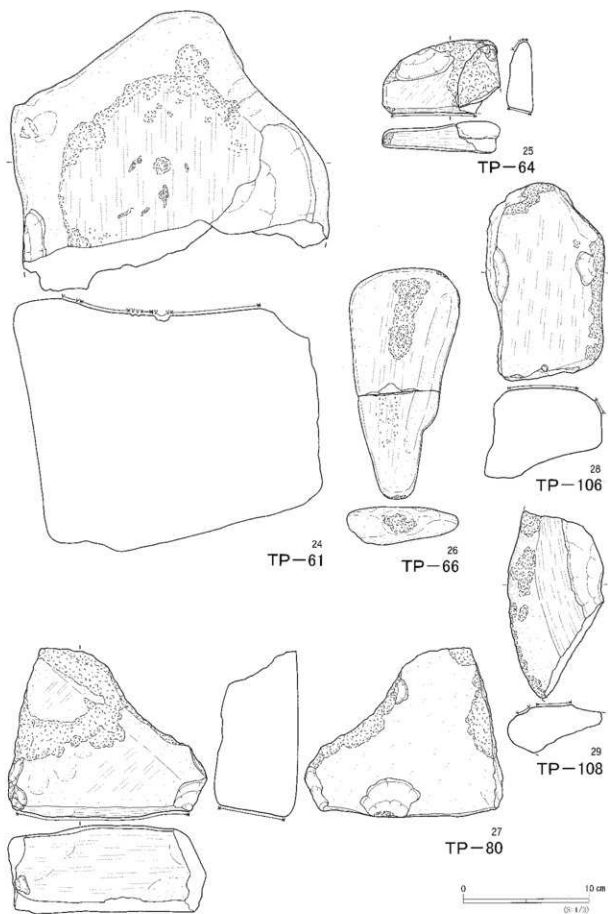


図204 上幌内5遺跡 遺構出土の礫石器(4)

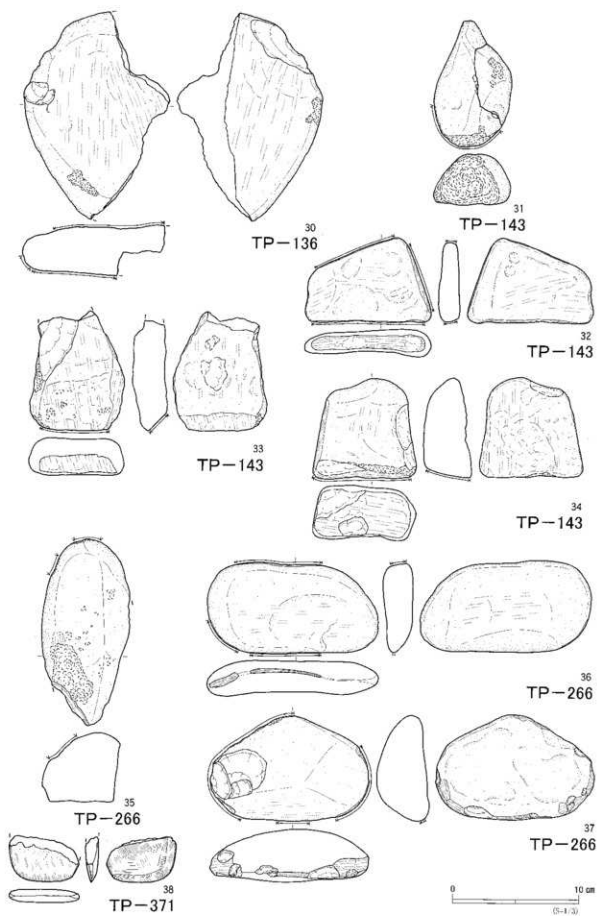


図205 上幌内5遺跡 遺構出土の礫石器(5)

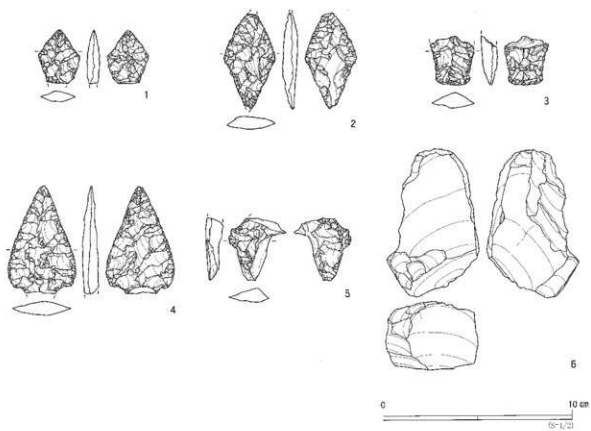


図206 上幌内5遺跡 包含層出土の石器

表65 上幌内5遺跡 遺構出土剥片石器器点数表

遺構名				TP-1			TP-6			TP-7			TP-8			TP-16			TP-23			小計
器種	器種名・分類 / 層位	石種	破砕数	燧石		合計	燧石		合計	燧石		合計	燧石		合計	燧石		合計	燧石		合計	
				器種	器種		器種	器種		器種	器種		器種	器種		器種	器種					
石鏟	完形	—	—	1	1																	3
	準完形	黒曜石	—						0		0	1										0
	半形	—	—	2		1							1									2
	片	—	—																			0
石鏟・ナイフ	完形	黒曜石	—						0													0
	準完形	—	—			1																0
	半形	—	—						0													0
	片	黒曜石	—	1																		1
つまみ付きナイフ	完形	頁岩	—						1													1
	準完形	—	—																			0
	半形	—	—			0			1													0
	片	—	—																			0
U・Rフレイク	黒曜石	—	—			0			0													0
	燧石	—	燧然	10	103	56	171	51	30	111	1	1			0	1	1	1	1	1	277	285
石鏟	チャート	—	—			0			0													0
合計					176				112			1		1		1		1		1		282

遺構名				TP-26		TP-28		TP-29		TP-33		TP-36		TP-38		TP-50		小計
器種	器種名・分類 / 層位	石種	破砕数	燧石		燧石		燧石		燧石		燧石		燧石		燧石		
				器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種			
石鏟	完形	—	—															0
	準完形	黒曜石	—															0
	半形	—	—	0														0
	片	—	—															0
石鏟・ナイフ	完形	黒曜石	—															0
	準完形	—	—	0														0
	半形	—	—			0												0
	片	黒曜石	—															0
つまみ付きナイフ	完形	頁岩	—															0
	準完形	—	—															0
	半形	—	—	0														0
	片	—	—															0
U・Rフレイク	黒曜石	—	—	0														0
	燧石	—	燧然	2	3	1	2	1	3	0	3	1	7	2	3	2	18	18
石鏟	チャート	—	—					0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
合計				3	1		3		1	1		8		2		2		20

遺構名				TP-52		TP-53		TP-54		TP-68		TP-72		TP-76		TP-106		TP-107		小計
器種	器種名・分類 / 層位	石種	破砕数	燧石		燧石		燧石		燧石		燧石		燧石		燧石		燧石		
				器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	
石鏟	完形	—	—									1								1
	準完形	黒曜石	—																	0
	半形	—	—	0								1								1
	片	—	—																	0
石鏟・ナイフ	完形	黒曜石	—																	0
	準完形	—	—																	0
	半形	—	—	0																0
	片	黒曜石	—																	0
つまみ付きナイフ	完形	頁岩	—																	0
	準完形	—	—																	0
	半形	—	—	0																0
	片	—	—																	0
U・Rフレイク	黒曜石	—	—	0																1
	燧石	—	燧然	1	1	1	6	8	0	1	1			0	1	1	0	10	10	
石鏟	チャート	—	—					0	1	1			0	1	1				2	
合計				1	1		8	0	1	1		2		1	1		1		14	

遺構名				TP-108		TP-144		TP-175		TP-238		TP-259		TP-263		TP-263		小計	合計
器種	器種名・分類 / 層位	石種	破砕数	燧石		燧石		燧石		燧石		燧石		燧石		燧石			
				器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種	器種			
石鏟	完形	—	—															2	6
	準完形	黒曜石	—																1
	半形	—	—	0														0	2
	片	—	—																0
石鏟・ナイフ	完形	黒曜石	—			1	1											2	2
	準完形	—	—																0
	半形	—	—	1		1												0	3
	片	黒曜石	—	1															1
つまみ付きナイフ	完形	頁岩	—																0
	準完形	—	—																0
	半形	—	—	0															0
	片	—	—																0
U・Rフレイク	黒曜石	—	—	0															0
	燧石	—	燧然	0	0	0	0	0	0	1	1							1	206
石鏟	チャート	—	—	0					0	0								0	8
合計				1	1		3		1	1		1		1		1		7	314

表66 上幌内5遺跡 遺構出土礫石器・石製品・レキ点数表(3)

遺構名				TP-24		TP-80		TP-99		TP-106		TP-136		TP-143		TP-144		小計
種類	器名・分形	層位	結核地	礫土 目録	小計	礫土 目録	小計	礫土 目録	小計	礫土 目録	小計	礫土 目録	小計	礫土 目録	小計	礫土 目録	小計	
磨製石片	定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	準定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	早期	—	—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	片	緑色定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
たたく石	定形	砂岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	2
	準定形	砂岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	早期	砂岩	—	—	0	0	—	0	0	0	0	—	—	—	2	—	0	
	片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
すり石	定形	砂岩	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	準定形	—	—	0	1	—	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	1	
	早期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
砥石	定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	準定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	早期	—	—	0	0	—	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	0	
	片	砂岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
台石・砥石	定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	準定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	早期	—	—	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
U・Rレキ	定形	—	—	—	0	2	—	7	3	—	1	—	1	—	—	—	—	20
	片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	片	—	—	—	1	—	1	—	0	0	—	0	6	—	0	2	7	
	片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
レキ	定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	片	—	—	—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
合計	—	—	—	1	1	0	0	0	0	6	0	0	2	7	7	7	17	
合計	—	—	—	1	3	7	3	1	7	0	1	7	1	7	7	7	37	

遺構名				TP-225		TP-266		TP-342		TP-357		TP-371		TP-384		TP-395		小計	合計
種類	器名・分形	層位	結核地	礫土 目録	小計	礫土 目録	小計	礫土 目録	小計	礫土 目録	小計	礫土 目録	小計	礫土 目録	小計	礫土 目録			
磨製石片	定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0
	準定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	0
	早期	—	—	0	0	—	0	0	0	0	1	—	0	—	1	—	—	2	0
	片	緑色定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
たたく石	定形	砂岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	準定形	砂岩	—	—	0	1	—	1	0	0	0	0	0	0	—	—	—	1	1
	早期	砂岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
すり石	定形	砂岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	準定形	—	—	0	1	2	—	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	2	5
	早期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
砥石	定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	準定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	早期	—	—	—	—	—	0	0	0	0	0	—	—	—	—	—	—	—	0
	片	砂岩	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
台石・砥石	定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	準定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	早期	—	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—	0	
	片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
U・Rレキ	定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
レキ	定形	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	片	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
合計	—	—	—	0	3	0	0	0	1	—	4	1	—	9	9	9	249		
合計	—	—	—	1	10	2	1	0	0	0	0	0	14	23	23	275			
合計	—	—	—	1	13	2	1	1	1	4	1	23	23	23	23	524			

表67 上幌内5遺跡
包含層出土土器点数表

遺物種別 / 部位		器種名・分級 / 部位		V層		その他 (I層・F層)		合計	
時期	部位	残存状態	器種名・分級	部位	V層	I層	F層	合計	
I群	口縁部	複数部位						0	
		良好						0	
		割履						0	
		磨耗						0	
		小破片						0	
	底面	良好						0	
		割履						0	
		磨耗						0	
		小破片						0	
		不明						0	
	胴部	良好						0	
		割履						0	
		磨耗						0	
		小破片						0	
		不明						0	
不明	良好						0		
	割履						0		
	磨耗						0		
	小破片						0		
	不明						0		
小計							0		
複数部位								0	
II群	口縁部	良好	1					1	
		割履						0	
		磨耗						0	
		小破片						0	
		不明						0	
	底面	良好						0	
		割履						0	
		磨耗						0	
		小破片						0	
		不明						0	
	胴部	良好	1					1	
		割履						0	
		磨耗						0	
		小破片						0	
		不明						0	
不明	良好						0		
	割履						0		
	磨耗						0		
	小破片						0		
	不明						0		
小計							3		
複数部位								0	
III群	口縁部	良好						0	
		割履						0	
		磨耗						0	
		小破片						0	
		不明						0	
	底面	良好						0	
		割履						0	
		磨耗						0	
		小破片						0	
		不明						0	
	胴部	良好						0	
		割履						0	
		磨耗						0	
		小破片						0	
		不明						0	
不明	良好						0		
	割履						0		
	磨耗						0		
	小破片						0		
	不明						0		
小計							0		
複数部位								0	
合計								8	

表68 上幌内5遺跡
包含層出土剥片石器点数表

器種		器種名・分級 / 部位		V層		I層		F層		合計	
器種	残存状態	器種名・分級	部位	V層	I層	F層	合計				
石錐	完形	黒曜石					1	1			
	準完形	黒曜石		2	3		2	5			
	半形	---		1			2	0			
スクレイパー	片	---					0	0			
	完形	---					0	0			
	準完形	---			0	1	2	0	2		
U・Rフレイク	片	黒曜石				1	1	0	2		
	完形	---		2	2		0	0	2		
	準完形	---		165	9		11	185			
フレイク	完形	黒曜石		2	167	9	12	2	188		
	準完形	被熱					1	1			
	被熱	---						0			
石核	完形	---			0	1	1	0	1		
	チャート	---							0		
合計				172	12	14	198				

表69 上幌内5遺跡
包含層出土礫石器・石製品・レキ点数表

器種		器種名・分級 / 部位		V層		I層		F層		合計	
器種	残存状態	器種名・分級	部位	V層	I層	F層	合計				
磨製石器	完形	---					0				
	準完形	緑色泥岩		1	1	0	1	2			
	半形	---					0				
	片	緑色泥岩			1		1				
	不明	---					0				
たたく石	完形	---					0				
	準完形	凝灰岩		1			1				
	半形	---			2	0	1	3			
	片	凝灰岩				1	1	2			
		砂岩					1	1			
すり石	完形	安山岩					1	1			
	準完形	凝灰岩					2	3			
	半形	---			3	0	0	3			
	片	---					0				
	不明	---					0				
礫石	完形	凝灰岩					1				
	準完形	---					2				
	半形	---			2		2				
	片	砂岩			1	2	2				
	不明	---					0				
台石・石皿	完形	凝灰岩					1				
	準完形	砂岩				1	1				
	半形	砂岩			2	10	2	4			
	片	凝灰岩					1				
	不明	砂岩					2				
石製品	完形	泥岩		1	1	0	0	1			
	合計			17	4	7	28				
U・Rレキ	完形	凝灰岩				1	1	2			
	片	---				4	1	5			
	準完形	凝灰岩				2	77	10			
	被熱	---		64	2	5	71				
	砂岩	---			3		3				
	被熱	---		49			66				
	片	被熱		2			4				
レキ	完形	---		1	1	1	3				
	片	砂岩					1				
合計				65	6	80	151				
合計				82	10	87	179				

表70 上幌内5遺跡 遺構・包含層出土破片土器観察表

図	番号	図版	出土地点	層位	遺物 番号	破片管		破片部位	重量 (g)	器種	分類	備考 (土器型式)
						小針	合計					
編年		出土時期		種類		文様・調整		色調		使用の痕跡		
										外面	内面	内面
199	1	106	H-1	床面	—	1		口縁部?	4.7	深鉢	I群b類?	全体の磨耗
無	細粒	灰物主体	R.L.縄文 漆系文? R.L.縄文?	?	(口唇部)?	黄褐色 (10YR5/3)	—	炭化物付着	—	—	—	—
199	2	106	P-3	遺土B層	—	8		胴部	185.6	深鉢	IV群a類	内面一部割離
無	細粒	岩石・灰物 ともにあり	L.R.縄文 (別部体)	ナズ	—	(赤色化)	褐色 (7.5YR7/6)	赤色化 明赤褐色 (5YR3/3)	赤色化 炭化物付着	—	—	—
199	3	106	P-3	遺土B層	—	3		底部	17.0	深鉢	IV群a類	内面 大部分割離
少量?	細粒	岩石・灰物 ともにあり (白色岩片)	L.R.縄文	ナズ?	(底外面)	にぶい・褐色 (7.5YR6/4)	にぶい・褐色 (7.5YR6/4)	—	—	—	—	—
199	4	106	TP-27	遺土B層	—	1		胴部	30.6	深鉢	IV群a類	—
中量	中～細粒	灰物主体 (石灰)	L.R.・R.L. 羽状縄文	ナズ	—	褐色 (7.5YR5/1)	にぶい・褐色 (7.5YR5/3)	黒色化	黒色化 炭化物付着	—	—	—
199	5	106	TP-36	遺土B層	—	1		胴部	22.3	深鉢	I群b類	黒色化 炭化物付着 内面割離
中量	細粒	灰物主体	結晶体正灰文 (R石器部体) 半截竹管割裂文	—	—	(黒褐色)	—	—	—	—	—	—
199	6	106	TP-40	遺土B層	—	1		胴部	33.7	深鉢	II群b類	—
少～中量	粗粒	岩石主体 (円縁状の記号 ・白色岩片)	L.R.・R.L. 結晶体1種 羽状縄文	ミガキ (沈殿文状の 調整痕)	—	にぶい・黄褐色 (10YR6/2)	(黒褐色)	—	—	—	—	黒色化 炭化物付着
199	7	106	TP-50	遺土B層	—	2		胴部	26.4	深鉢	II群b類	8と同一個体
微量	細粒	灰物主体?	L.R.・R.L. 結晶体1種 羽状縄文	ミガキ	—	にぶい・褐色 (7.5YR7/4)	にぶい・黄褐色 (10YR6/2)	黒色化	黒色化	—	—	—
199	8	106	TP-54	遺土B層	—	1		胴部	15.3	深鉢	II群b類	7と同一個体
微量	細粒	灰物主体?	L.R.・R.L. 結晶体1種 羽状縄文	ミガキ	—	にぶい・褐色 (7.5YR7/4)	(黒褐色)	—	—	—	—	黒色化 炭化物付着
199	9	106	TP-61	遺土B層	—	2		胴部	27.1	深鉢	IV群a類	—
中量	中～粗粒	灰物主体 (長石)	R.L.縄文	ナズ	—	にぶい・黄褐色 (10YR7/4)	浅黄色 (2.5Y7/2)	黒色化?	—	—	—	—
199	10	106	TP-311	遺土B層	—	1		胴部	17.5	深鉢	IV群a類	—
中量	細粒	灰物主体	L.R.縄文 ナズ	ナズ	—	にぶい・黄褐色 (10YR6/3)	(黒褐色)	黒色化	黒色化 炭化物付着	—	—	—
199	11	106	U-53区	V層	—	1		口縁部 (突起部)	6.4	深鉢	I群a類	外面一部 磨耗・割離
少量	中粒	岩石主体 (赤円縁状)	貼付帯 刺突文(貝殻?)	ミガキ	(貼付帯) 貝殻刺突文 (口唇部) ミガキ?	褐色 (7.5YR6/6)	にぶい・褐色 (7.5YR6/4)	—	—	—	—	黒色化
199	12	106	e-50区	F層	—	1		口縁部	14.8	深鉢	IV群a類	補修孔1か所
少～中量	中粒	岩石・灰物 ともにあり (赤円縁状)	貼付帯 L.L.Y.縄文	ナズ	(口唇部) L.縄文・縄文 (貼付帯) L.L.Y.縄文	にぶい・褐色 (7.5YR6/4)	(黒褐色)	—	—	—	—	黒色化 炭化物付着
199	13	106	h-54区	V層	—	1		胴部	31.3	深鉢	II群b類	—
少量	中粒	岩石・灰物 ともにあり (赤円縁状)	貼付帯 L.L.縄文 縄直正灰文	ミガキ	(貼付) 矢羽状の 凹線正灰文	(黒褐色)	明黄褐色 (10YR6/6)	黒色化 炭化物付着	黒色化	—	—	黒色化
199	14	106	c-46区	F層	—	1		胴部	29.7	深鉢	II群b類	外面一部割離
多量	細粒	灰物主体 (石灰多量)	L.R.縄文 半截竹管割裂文	ミガキ	—	(黒褐色)	(黒褐色)	黒色化 炭化物付着	黒色化	—	—	—
199	15	106	d-56区	F層	—	1		胴部	42.5	深鉢	IV群a類	外面磨耗
中～多量	中粒	岩石・灰物 ともにあり (赤円縁状 粗粒の凝灰岩)	L.R.縄文	ナズ	—	にぶい・黄褐色 (10YR6/4)	(褐色)	—	—	—	—	黒色化

表71 上幌内5遺跡 遺構・包含層出土石器等観察表

図	層番号	図説	出土地点	層位	遺物番号	種類	計測値 (cm)			重量 (g)	石材		保存状態	特徴観察事項	備考	
							長さ	幅	高さ		原石名	特徴				
200	1	106	H-1	床面	—	石鏝	2.4	1.6	0.8	2.2	炭燻石	—	破損?			
	2	106	H-1	塵土B層	—	石鏝	0.11	1.4	0.5	1.0	炭燻石	—	完全	先端部破損 原研痕		
	3	106	H-1	塵土B層	—	石鏝	2.1	1.0	0.3	0.4	炭燻石	—	半形	—		
	4	106	P-6	塵土B層	—	つまみ付きナイフ	2.6	3.3	1.0	14.4	頁岩	灰褐色色 0.136/2	—	完全	—	
	5	106	TP-6	塵土1層	—	石鏝	3.8	3.2	0.0	3.5	炭燻石	—	完全	破損した歯を 再加工?		
	6	106	TP-33	塵土B層	—	石鏝	8.3	4.2	2.8	191.8	チャート	石黄結晶部分 (灰白色)	—	破損	遺構間で接合	
	7	106	TP-68	塵土B層	—	スクレイパー	6.0	3.0	1.8	30.2	チャート	石黄結晶部分 (灰白色)	—	破損		
	8	106	TP-72	塵土B層	—	石鏝	3.1	1.3	0.4	0.9	炭燻石	—	完全	—		
	9	106	TP-74	塵土B層	—	石鏝	2.6	2.4	5.7	110.3	チャート	石黄結晶部分 (灰白色)	—	—		
	10	106	TP-108	塵土B層	—	石鏝・ナイフ	0.20	1.0	0.7	1.3	炭燻石	—	片	破損 基部の一部のみ残存		
	11	106	TP-238	塵土B層	—	石鏝	3.1	1.7	0.3	1.1	炭燻石	—	完全	—		
	12	106	TP-283	塵土B層	—	石鏝	0.20	1.0	0.4	0.7	炭燻石	—	片	破損 基部のみ残存		
	13	106	TP-301	塵土B層	—	石鏝・ナイフ	5.3	2.6	0.8	8.5	炭燻石	—	完全	—		
201	14	107	H-1	塵土BY層	—	砥石	7.8	6.4	2.6	131.8	砂岩	粗粒 にぶい黄褐色 0.137/1 細粒	片	すり痕		
	15	107	H-1	床面	—	台石・石鏝	24.6	18.9	8.8	6,200	砂岩	にぶい黄褐色 0.137/2 細粒	半形	破損 すり痕		
	16	107	P-4	塵土BY層	—	台石・石鏝	40.1	28.5	12.9	22,400	砂岩	にぶい黄褐色 0.137/2 細粒	完全	すり痕		
202	17	107	P-6	塵土BY層	—	シキ	118.00	02.80	6.6	1,700	砂岩	にぶい黄褐色 0.137/3 細粒	片	破損		
	18	107	P-7	塵土BY層	—	台石・石鏝	28.1	18.3	11.2	8,600	砂岩	黄灰色 2.316/1	完全	すり痕 たたき痕		
203	19	108	P-7	塵土BY層	—	台石・石鏝	38.0	27.1	15.9	26,800	砂岩	黄灰色 2.316/1 細～中粒	完全	すり痕 たたき痕		
	20	108	TP-36	塵土BY層	—	台石・石鏝 (すり石)	12.7	8.7	5.0	600	砂岩	黄灰色 2.316/2	片	破損 すり痕	2点接合	
204	21	108	TP-54	塵土B層	—	たたき石	0.40	4.7	3.8	150	砂岩	黄灰色 0.137/1	半形	破損 たたき痕		
	22	108	TP-59	塵土B層	—	台石・石鏝	32.6	23.0	15.1	20,600	砂岩	(黄灰色)	完全	すり痕 たたき痕		
	23	108	TP-61	塵土B層	—	台石・石鏝	30.0	17.5	11.5	6,600	砂岩	にぶい黄褐色 2.316/1	完全	破損 すり痕 たたき痕		
	24	108	TP-61	塵土B層	—	台石・石鏝	02.11	23.1	18.9	11,000	砂岩	黄灰色 2.316/1	半形	破損 すり痕 たたき痕		
205	25	109	TP-64	塵土B層	—	すり石	5.9	9.3	2.6	142	砂岩	黄灰色 2.317/2	片	破損 磨削面	2点接合	
	26	109	TP-66	塵土B層	—	たたき石	18.2	8.7	3.0	560	砂岩	黄灰色 2.316/2	完全	破損 たたき痕	2点接合	
	27	109	TP-80	塵土	—	すり石	13.0	13.7	7.0	1,680	砂岩	黄灰色 2.316/2	完全	磨削面	すり痕 持内手部分を含む 北極式石鏝	
	28	109	TP-108	塵土B層	—	台石・石鏝	15.8	9.3	7.1	1,400	砂岩	粗粒 黄褐色(は2.16/2)	片	破損 すり痕 たたき痕		
	29	109	TP-108	塵土B層	—	台石・石鏝	114.00	07.0	4.1	410	砂岩	粗粒 (黄灰色)	片	破損 たたき痕	すり痕	
	30	109	TP-136	塵土B層	—	台石・石鏝	16.4	01.20	5.2	700	砂岩	粗粒 硬質 (黄灰色)	片	すり痕 たたき痕		
206	31	109	TP-143	塵土B層	—	たたき石	10.0	6.1	4.0	212.3	砂岩	(黄灰色)	完全	たたき痕	2点接合	
	32	109	TP-143	塵土B層	—	すり石	6.7	10.6	2.2	151.8	凝灰岩	(黄灰色)	完全	すり痕	全体に平滑な面	
	33	109	TP-143	塵土B層	—	すり石	0.9	7.5	2.9	252.3	砂岩	中粒 (黄灰色)	片	破損 すり痕		
	34	109	TP-143	塵土B層	—	すり石	2.0	8.2	4.3	350	砂岩	中粒 やや硬質 (黄灰色)	片	破損		
	35	109	TP-286	塵土B層	—	たたき石	114.7	7.6	5.5	180	砂岩	粗粒赤褐色 (は0.15/2)	半完全形	たたき痕		
	36	109	TP-286	塵土BY層	—	すり石	7.2	13.5	2.8	350	砂岩	細粒	完全	すり痕	熱熱(赤色化)	
	37	109	TP-286	塵土BY層	—	すり石	5.3	12.6	4.2	440	凝灰岩	細粒	完全	すり痕	すり痕 熱熱(赤色化)	
	38	109	TP-371	塵土B層	—	磨削石片	0.40	3.5	1.0	23.5	片岩	(明緑灰色)	片	破損 新磨削 面のみ残存	褐色化?	
	206	1	109	Y-54区	V層	—	石鏝	02.6	3.2	0.7	3.6	炭燻石	—	半完全形	破損	
		2	109	c-37区	F層	—	石鏝	05.7	2.8	0.8	7.7	炭燻石	—	完全	先端部破損	
3		109	h-54区	V層	—	石鏝	02.6	2.4	0.9	4.1	炭燻石	—	半形	破損 基部のみ残存		
4		109	F-46区	V層	—	石鏝	05.7	3.0	0.9	12.5	炭燻石	—	半完全形	基部破損		
5		109	—	I層	—	スクレイパー	03.0	3.0	1.0	4.9	炭燻石	—	半形	破損	破損?	
6	109	V-53区	I層	—	石鏝	7.8	4.9	3.0	132.7	チャート	石黄結晶部分 (灰白色) 先端部に黄灰色	—	割片			

IX章 まとめ

1. 自然科学的分析結果について

(1) 上幌内4・5遺跡 放射性炭素年代測定結果について

これらについて、標準偏差の百分率が高いものを表72にまとめた。竪穴住居跡は上幌内4遺跡のH-1が縄文時代後期初頭、H-2が同中期中葉～後葉で、上幌内5遺跡のH-1はこれらよりも古い縄文時代中期前葉～中葉頃と考えられ、概して両遺跡の主たる時期と同じである。上幌内4遺跡のⅢ層の遺構は大きく二つの時期に分けられ、前半期は、焼土UF-1が13世紀の中頃～後半、US-2は14世紀代である。後半期は炭化物集中UC-1が16～17世紀、UC-2は15～17世紀でやや年代幅がある。この測定結果を受け、炭化物集中はともに遺構でなく、西暦1667年の樽前b軽石降下に伴う可能性が考えられる。アイヌ文化期の遺跡では、明確な時期を判断できる遺物が出土しないため、放射性炭素年代測定が有効である。

(2) 上幌内4遺跡 炭化種実同定結果について

焼土UF-1から採取した土壌の一部はフローテーションを行い、植物遺存体を回収した。同定できたものはイネ科、タデ属、タデ属サナエタデ節、アカザ属である。現場の調査では、焼土の色調が不明瞭であったため、炭化した自然遺物の出土をもって焼土であるとの確認を得たいとの目的もあったが、炭化したものは確認できなかった。これらは当時(13世紀中頃～後半)の周囲の自然環境を表すと理解され、これらすべては樹木の少なく日当たりの良い生育環境であることから、伐採など人間活動の影響があったことを示している。

(3) 上幌内4遺跡 鉄製品の保存処理と材質分析の結果について

Ⅲ層から出土した鉄製品のうち、図23に掲載の3：棒状品、4：鉤状品、5：刀子の各種別について実施した。破壊分析であるため、破損しているものを選び出した。

いずれも外観は錆が目立つが、内部には金属鉄が残存する。組織観察では、3は微細で強度と靱性を持たせたもの、4は介在物が層状にみられ、折り返し鍛錬されたもので、硬度観察では、5が予想より硬質であった。E P M A分析では、3と5は砂鉄を原料とすることが判明し、4はこれが認められなかった。

2. 上幌内4遺跡の調査

(1) Ⅲ層の調査

平成28(2016)年度のみ調査した。中世～近世アイヌ文化期で、放射性炭素年代測定結果では、最古は13世紀代、最新は17世紀代で時期に幅があり、すべての遺構・遺物の帰属を確定させることはできない。小柱穴SP-1・2は平成27(2015)年度にTP-13の調査時に確認し、Ⅲ層の遺構と判断した。周囲に同様な柱穴はみられず、平地住居跡の可能性は低いと考えられる。焼土UF-1はカワシンジユガイと植物遺存体が出土し、礫集中US-1・2は斜面に広がり、丸みを帯び楕円形で厚みのある、いわゆる「棒状礫」が多数出土した。炭化物集中UC-1・2は出土状況や測定結果から、樽前b降下軽石に関わる自然のものである可能性も考えられる。鉄製品は斜面から小刀、刀子、棒状品、鉤状品が出土した。台地平坦部にも当該時期の遺跡が広がっていたと考えられる。

(2) V層の調査

竪穴住居跡は地床炉をもち、台地平坦部に位置するH-1は縄文時代中期末葉～後期初頭で、縄文中期末葉のH-2は台地の南西端に位置する。Tピットは多くみられ、確認面が円形で坑底面が楕円形、かつ複数の柱穴・杭穴をもつものはTP-6・17・20・31で、20以外は台地縁部や斜面に位置する。TP-31は斜面の下にh-1とした掘り上げ土がみられた。多くのTピットは北東側～南西側方向に並ぶと解され、台地の北側の縁部と平行に位置する。遺物集中は、土器集中は各時期のものが多くみられ、フレイク集中は2か所である。

本遺跡出土の復原土器も含めて整理する。

早期後半 I群b類 東剣路Ⅳ式：PS-3A・3B、4、6、R-25区、K-23区

調査区の南側のPS-3A、3B、4、R-25区と北側の斜面のPS-6とK-23区の二つの地点が認められ、深鉢と浅鉢が出土した。

前期後半 II群b類 静内中野式：PS-7 植苗式：R-24区

静内中野式は調査区北東側の斜面出土で、一次整理ではIV群と誤認した。植苗式は調査区南側のR-24区出土の小型の深鉢がある。貼付帯はみられないが、口唇部の断面形態、繊維を含む胎土、内面の縄文等から、これに分類した。

中期前半 III群a類 円筒土器上層a式：PS-1

調査区南側で、本型式の復原土器は厚真町内では初の出土である。胎土、内面調整、整然とした施文から、搬入品と推測される。

中期後半 III群b類 柏木川式：PS-5 北筒式：S-1

柏木川式は調査区北側の斜面で出土し、半截竹管状工具による施文で、器形は萩ヶ岡式に類似する。北筒式は調査区北側の斜面で、円形刺突文がめぐり、曲線的な器形と結束する縄文から中期と判断した。

後期前葉 IV群a類 余市式

：PS-5A・5B、H-1、H-1・PS-5、TP-21、TP-26 タブコブ式：TP-29

PS-5は北側の斜面で、H-1は調査区中央付近の平坦部である。H-1・PS-5はH-1床面直上の出土の20点とPS-5の3点が接合し、遺構間の距離は約15mである。TP-21・26・29は覆土から出土した破片が、周囲の包含層と接合した。これらは、調査区の中央から北東側部分である。特徴は貼付帯が複数みられるもの、円形刺突文、無文部分があり縄線文が施されるものがある。また、土器集中PS-5ではIII群b類とIV群a類が出土している。斜面に位置し遺物が二次的に移動している可能性があり、土器集中の範囲の定め方にもよるが、これらの土器の時期に近いことを示唆しているのかもしれない。

後期中葉 IV群b類 手稲式：PS-2

調査区の南側の沢に面する平坦部で出土した。同時期の土器はこれ以外にはみられなかった。

石器は各器種がみられた。剥片石器は黒曜石製が多く、頁岩製は石槍・ナイフとつまみ付きナイフに限られる。チャートと分類した「透明の石英質」のものはU・Rフレイク、石核、フレイク、原石にみられ、特定の石器の器種に仕上げられたものはない。礫石器は、磨製石斧の多くは緑色泥岩が用いられ、残存状態「片」が多い。たたき石は、比較的厚みのある石材の周縁等に使用痕がみられるものと、扁平な石材を用い平坦で広い面に2か所の敲打痕がみられるものがある。後者は、持ち手部として加工した「すり石」との指摘(北理調報325)があったが、本遺跡の調査では結論には至らなかった。すり石は、自然礫の形状を大きく加工することなく、全体や一部に平滑な使用痕があるもの、扁平打製石器とこれに類似するもの、北海道式石冠がある。砥石は使用による結果で様々な形状がある

が、石材は、粗粒の砂岩から軟質で粒径の細かい凝灰岩を用いたものがみられ、使用痕は、断面が凹状の曲線的なくぼみで広い砥面のもと、溝あるいは線状で明瞭な段差を有する痕のものがある。台石・石皿では図76-70、77-73のような大型で重いものがあり、これらは地面に固定され使用されたと考えられる。

礫石器は、礫の自然面と使用による平滑な面の区別が困難なものが多く、かつ脆弱な堆積岩のものは破片と化し本来の形状を想像できない遺物も多く、分類に悩むものが多かった。

3. 上幌内5遺跡の調査

(1) Tピット以外の遺構・遺物

竪穴住居跡は大型の楕円形で、L-3地区の北東側に位置する。床面からI群b類が出土し、放射性炭素年代測定の結果は縄文時代中期の前半である。付属遺構h p-1が先端部ピットの様な軸上の土坑と解すると、後者と判断される。土坑は、P-1のみがL-1地区で、P-2~7はL-3地区の南西側に位置する。L-3地区の中央とL-5地区の南西側部分は遺構が全くみられない。

土器はI群、III群、IV群があり、図199-11のU-53区出土の土器は貝殻腹線文が施され、I群a類と考えられる。剥片石器は、石鏃、石槍・ナイフ、つまみ付きナイフ、U・Rフレイク、フレイク、石核で、つまみ付きナイフが頁岩、石核がチャートで、これら以外はすべて黒曜石である。礫石器は、磨製石斧、たたき石、すり石、砥石、台石・石皿、石製品、U・Rレキ、レキが出土し、砂岩と凝灰岩が多い。また、溝状のTP-33と楕円形のTP-36出土のチャートが接合した(図200-6)。両遺構の平面形態は異なるが、遺物が接合したことから、さほど時間差がなく、形状の異なるTピットが同時に利用された可能性が想定される。

(2) Tピット

多くみつかりと予想したTピットの数を、あらかじめ把握し計画的に調査を進めるために、表土除去が完了した時点で、Tピットと考えられる場所に通し番号を付し、426まで数えた。調査の結果、①：単独のTピット、②：単独番号で複数と判明したTピット、③：複数番号で単独と判明したTピット、④：土坑と判断したもの、⑤：遺構でないものに分けられ、これらを整理し表73にまとめた。すなわち、②は方角またはアルファベット大文字を末尾に付し、③は[角形括弧]で数字をくくった。④は「T」の字を、⑤は「TP-」を(丸括弧)でくくり、本文は斜字体とした。整理後のTピットの総数は421基で、土坑は6基である。

また、効率的な調査や統一的な記述のために、表74に示すように覆土の表記を統一した。

Tピットが構築される遺跡の自然層位は、概していうと上位の黒色土層、下位の地山はTa-d 2のスコリア(礫)またはローム(土)層で、主たる覆土はこれらが混ざり合う相対的な量で分けられる。スコリアは非常に脆弱で観察のために手にすると土壌化しているため、ロームとの違いは土層断面の状態、礫の形状を保っているか否かで判断した。また、Ta-d 2層の色調が黄色または白色を呈する部分もみられ、これは地下水の影響による還元作用の変色と考えた。地山であるTa-d 2層は多くが水成二次堆積と考えられ、これらの中に部分的な薄層がみられ、これらが掘り上げられ、覆土として遺構内にみられたものが、灰白色(W層)または黄色粘土(YCL層)や青灰色の砂礫層のTa-d 1層(D 1層)等である。

Tピットの分布の概要を述べる。左岸はL-2の全体、L-3地区北東側、L-5地区の中央から東側にやや集中し、周囲には遺構が位置しない部分がある。L-4地区の南側部分はまばらにみられ、中央付近は長軸方向を南北とする溝状のものが集中する。北側へとさらにまばらになり、さらにみら

れなくなる。無名の沢(イタルイカ)近くのR-2地区は少なく、細長いものが多い。R-3地区の北側部分は、東西または北東から南西方向を長軸とする溝状が目立つ、同地区の中央部分は南西から北東側の範囲に多く、その周囲は散在的である。東側部分は、南側が少なく、みられない範囲が認められ、溝状の長軸方向は比して様々である。

(未光)

表72 放射性炭素年代測定結果一覧表

試料名	調査年度	遺跡名	遺構	付属遺構	層位	遺物 番号	遺物 種別	乾燥重量 (g)	1標準偏差 暦年較正年代(68.2%)		2標準偏差 暦年較正年代(95.4%)		世紀・時代
									ca.159 ± 228 ca.159	ca.161 ± 228 ca.161	ca.159 - 172 ca.159	ca.161 - 172 ca.161	
KH4-1	平成27 (2015)年度	上幌内4遺跡	第六住居跡 H-1	—	礎土歩層	炭1	炭化物	0.1	1299 ± 228 ca.159	1411 ± 228 ca.161	4409 ± 228 ca.159	4526 ± 228 ca.159	縄文時代 後期前期
KH4-2	平成27 (2015)年度	上幌内4遺跡	第六住居跡 H-2	炭化物物集 hc-1	床面	—	炭化物	0.5	1709 ± 228 ca.159	1614 ± 228 ca.159	166,493 ± 228 ca.159	1575 ± 228 ca.159	縄文時代 中期中葉～後葉
KH5-1	平成27 (2015)年度	上幌内5遺跡	第六住居跡 H-1	—	床面	2	炭化物	0.3	1293 ± 228 ca.159	1324 ± 228 ca.159	130,493 ± 228 ca.159	1514 ± 228 ca.159	縄文時代 中期前期～中葉
KH4-3	平成28 (2016)年度	上幌内4遺跡	礎土 UF-1	—	草層	(1)	貝	2.3	1362 ± 228 ca.159	1277 ± 228 ca.159	168,253 ± 228 ca.159	1254 ± 228 ca.159	13世紀中葉～後半 (中世アイヌ文化期)
KH4-4	平成28 (2016)年度	上幌内4遺跡	雑草中 US-2	—	草層	38	炭化物	0.7	1511 ± 228 ca.159 1309 ± 228 ca.159 1624 ± 228 ca.159	1392 ± 228 ca.159 1329 ± 228 ca.159 1654 ± 228 ca.159	125,493 ± 228 ca.159 1306 ± 228 ca.159 1664 ± 228 ca.159	1306 ± 228 ca.159 1370 ± 228 ca.159	14世紀初期～末葉 中期(中世アイヌ文化期)
KH4-5	平成28 (2016)年度	上幌内4遺跡	炭化物物集 UC-1	—	草層	—	炭化物	0.2	1329 ± 228 ca.159	1543 ± 228 ca.159	120,493 ± 228 ca.159	1251 ± 228 ca.159 1370 ± 228 ca.159	17世紀初葉～中葉 (中世アイヌ文化期) 16世紀中葉～後半 (中世アイヌ文化期)
KH4-6	平成28 (2016)年度	上幌内4遺跡	炭化物物集 UC-2	—	草層	—	炭化物	2.7	1239 ± 228 ca.159	1595 ± 228 ca.159	144,553 ± 228 ca.159	1492 ± 228 ca.159 1665 ± 228 ca.159	15世紀末～17世紀初葉 (中～後世アイヌ文化期)

表73 上幌内5遺跡 Tピット 数整理表

遺跡番号 / 地区・調査年度	L-1地区 平成27 (2015)年度	L-2地区 平成27 (2015)年度	L地区					R地区			合計			
			L-3地区 平成27 (2015)年度	L-4地区 平成27 (2015)年度	L-2+5 地区 平成28・29 (2016・2016) 年度	L-5・(4) 地区 平成27 (2015)年度	R-1地区 平成27 (2015)年度	R-3地区 平成27 (2015)年度	R-2・3 地区 平成27・28 (2015・2016) 年度	R-3地区 平成28 (2016)年度				
												数	12	5
① 新築発祥で 築造したTピット	—	遺構番号											412	
② 新築発祥で 築造したTピット	表記 ※ 検定号を末尾に付す	遺構番号			2								7	
③ 築造発祥で 築造したTピット	表記 ※ 築造から○○○○	遺構番号				1							1	
④ 土坑と類似した もの	表記 ※ (TP)本 及び○○○○ ※ 築造発祥	遺構番号			7			2					9	
⑤ 遺構で築いた もの	表記 ※ (TP)本 及び○○○○ ※ 築造発祥	遺構番号								2			2	
Tピット 数	小地区 合計	9	12	5	74	25		0	0			287	431	
	地区 合計				168					265				
	平成27(2015) 年度 合計		12											12
	平成28(2016) 年度 合計				74					2				76
	平成29(2016) 年度 合計					25						287		323
遺跡 合計													431	

※調査年度で調査したTP-3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・17・18・19・20・21・22・23・24・25・26・27・28・29・30・31・32・33・34・35・36・37・38・39・40・41・42・43・44・45・46・47・48・49・50・51・52・53・54・55・56・57・58・59・60・61・62・63・64・65・66・67・68・69・70・71・72・73・74・75・76・77・78・79・80・81・82・83・84・85・86・87・88・89・90・91・92・93・94・95・96・97・98・99・100・101・102・103・104・105・106・107・108・109・110・111・112・113・114・115・116・117・118・119・120・121・122・123・124・125・126・127・128・129・130・131・132・133・134・135・136・137・138・139・140・141・142・143・144・145・146・147・148・149・150・151・152・153・154・155・156・157・158・159・160・161・162・163・164・165・166・167・168・169・170・171・172・173・174・175・176・177・178・179・180・181・182・183・184・185・186・187・188・189・190・191・192・193・194・195・196・197・198・199・200・201・202・203・204・205・206・207・208・209・210・211・212・213・214・215・216・217・218・219・220・221・222・223・224・225・226・227・228・229・230・231・232・233・234・235・236・237・238・239・240・241・242・243・244・245・246・247・248・249・250・251・252・253・254・255・256・257・258・259・260・261・262・263・264・265・266・267・268・269・270・271・272・273・274・275・276・277・278・279・280・281・282・283・284・285・286・287・288・289・290・291・292・293・294・295・296・297・298・299・300・301・302・303・304・305・306・307・308・309・310・311・312・313・314・315・316・317・318・319・320・321・322・323・324・325・326・327・328・329・330・331・332・333・334・335・336・337・338・339・340・341・342・343・344・345・346・347・348・349・350・351・352・353・354・355・356・357・358・359・360・361・362・363・364・365・366・367・368・369・370・371・372・373・374・375・376・377・378・379・380・381・382・383・384・385・386・387・388・389・390・391・392・393・394・395・396・397・398・399・400・401・402・403・404・405・406・407・408・409・410・411・412・413・414・415・416・417・418・419・420・421・422・423・424・425・426・427・428・429・430・431・432・433・434・435・436・437・438・439・440・441・442・443・444・445・446・447・448・449・450・451・452・453・454・455・456・457・458・459・460・461・462・463・464・465・466・467・468・469・470・471・472・473・474・475・476・477・478・479・480・481・482・483・484・485・486・487・488・489・490・491・492・493・494・495・496・497・498・499・500・501・502・503・504・505・506・507・508・509・510・511・512・513・514・515・516・517・518・519・520・521・522・523・524・525・526・527・528・529・530・531・532・533・534・535・536・537・538・539・540・541・542・543・544・545・546・547・548・549・550・551・552・553・554・555・556・557・558・559・560・561・562・563・564・565・566・567・568・569・570・571・572・573・574・575・576・577・578・579・580・581・582・583・584・585・586・587・588・589・590・591・592・593・594・595・596・597・598・599・600・601・602・603・604・605・606・607・608・609・610・611・612・613・614・615・616・617・618・619・620・621・622・623・624・625・626・627・628・629・630・631・632・633・634・635・636・637・638・639・640・641・642・643・644・645・646・647・648・649・650・651・652・653・654・655・656・657・658・659・660・661・662・663・664・665・666・667・668・669・670・671・672・673・674・675・676・677・678・679・680・681・682・683・684・685・686・687・688・689・690・691・692・693・694・695・696・697・698・699・700・701・702・703・704・705・706・707・708・709・710・711・712・713・714・715・716・717・718・719・720・721・722・723・724・725・726・727・728・729・730・731・732・733・734・735・736・737・738・739・740・741・742・743・744・745・746・747・748・749・750・751・752・753・754・755・756・757・758・759・760・761・762・763・764・765・766・767・768・769・770・771・772・773・774・775・776・777・778・779・780・781・782・783・784・785・786・787・788・789・790・791・792・793・794・795・796・797・798・799・800・801・802・803・804・805・806・807・808・809・810・811・812・813・814・815・816・817・818・819・820・821・822・823・824・825・826・827・828・829・830・831・832・833・834・835・836・837・838・839・840・841・842・843・844・845・846・847・848・849・850・851・852・853・854・855・856・857・858・859・860・861・862・863・864・865・866・867・868・869・870・871・872・873・874・875・876・877・878・879・880・881・882・883・884・885・886・887・888・889・890・891・892・893・894・895・896・897・898・899・900・901・902・903・904・905・906・907・908・909・910・911・912・913・914・915・916・917・918・919・920・921・922・923・924・925・926・927・928・929・930・931・932・933・934・935・936・937・938・939・940・941・942・943・944・945・946・947・948・949・950・951・952・953・954・955・956・957・958・959・960・961・962・963・964・965・966・967・968・969・970・971・972・973・974・975・976・977・978・979・980・981・982・983・984・985・986・987・988・989・990・991・992・993・994・995・996・997・998・999・1000

表74 上幌内5遺跡 Tピット 覆土表記

色調と構成物からみた分類				
見た目の色調		報告書での表記	備考	原図での表記
黒色土主体		B層主体	黒色土 = V層	B層
黒色土に混ざる Ta-d2の量	少量 ↑ ↓ 多量	B層>D2・α層		BBY層
		B層>D2・α層		BY層
		D2・α>B層		YB層
		D2・α>B層		YYB層
棕色または黄色(Ta-d2)主体		D2・α層主体		Y層

α:主たる構成物の記号 L:ローM:S:スコリア

覆土の主たる構成物による区分				
覆土の主たる構成物		報告書での表記	備考	
棕色または黄色土主体		D2・L層	主に地山の水成二次堆積層起源	
棕色または黄色礫(スコリア)主体		D2・S層	主に地山の水成二次堆積層起源	
棕色または黄色微塵じり土(スコリア微塵じり土)主体		D2・L・S層	主に地山の水成二次堆積層起源	

*土(ロー:M:L)か礫(スコリア:S)の区別は、礫が卵石の形状を留めていても能いたため、観察時にくだけるので、両者は縦向きとされた。

Ta-d2スコリアの色調による区分				
見た目の色調		報告書での表記	備考	
一般的な色調のもの(棕色)		D2・L層 / D2・S層		—
黄色		D2・Y・L層 / D2・Y・S層	還元が進んだと解釈した層	
白色		— / D2・W・S層	さらに還元が進んだと解釈した層	

その他の区分				
見た目の色調		報告書での表記	備考	
灰白色粘土主体の層		W層	灰白色粘土(湧水の底面)	
灰白色粘土に黒土が混じる層	灰白色粘土が少ない	BW層	黒色土(V層)が多い	
	灰白色粘土が多い	WB層	黒色土(V層)が少ない	
黄色粘土主体の層		YCL層	黄色粘土(湧水の底面)	
青灰色の砂礫主体(Ta-d1)		D1層	Ta-d1 スコリア	
β層に白色岩片が混ざる		β+Wpb層	白色岩片: 凝灰岩(シルト岩)	
白色の砂礫主体の層		Wpb層		

・スコリアの形状は、円礫、重円礫が多いが、一部、直角礫のものもある。

・灰白色粘土・黄色粘土は、地山の水成二次堆積物の一部と考えられる。

・白色の岩片は凝灰岩(シルト岩)で、この地域の山間部にもみられる。円礫度から水成二次堆積と考えられる。

「砂礫」

- ・円礫形状で、上記に該当しない岩石(火山噴出物や凝灰岩以外)を主として構成される砂礫層 自然層位では地山の水成堆積物層中に薄層でみられる。
- ・土性の「砂」は、この「砂礫」の粒径が小さなものを示す。

互層

- ・薄層が多数重なってみられる範囲

量

- ・その覆土中に占める存在物の量を判断し、多量・少量、微量と記し、中量の場合は表記しない。
- ・量の目安は、多量:30%、中量:20%、少量:10%、微量:10%未満である。

粒径区分

右記の表による	採用した粒径区分
	「粘土」
	「シルト」
2mm	「砂」
20mm	礫 細粒
40mm	礫 中粒
	礫 粗粒

現場で使用した名称の名称			
原図での表記	報告書での表記		
細礫	「砂礫」		
中礫	中粒の「砂礫」		
Yスコ	粗粒のスコリア		
小スコ	中粒のスコリア		
小粒	細粒のスコリア		
Yつぶ	さらに細粒のスコリア		
白つぶ	細粒の灰白色のスコリア		
乾砂	砂礫度のスコリア		

その他

- ・具体的に、補足する

付 篇

自然科学的手法による分析

1. 平成27(2015)年度 上幌内4遺跡における放射性炭素年代 (AMS測定)

(株) 加速器分析研究所

1 測定対象試料

上幌内4遺跡は、北海道勇払郡厚真町幌内368-1ほか(北緯42° 46' 57.51", 東経142° 00' 19.06")に所在する。測定対象試料は、竪穴住居跡から出土した炭化物2点である(表1)。試料が出土した遺構は樽前cテフラ(約2000年前降下)下位の黒色土層で検出された。

2 測定の意義

試料が出土した遺構の年代を明らかにする。

3 化学処理工程

- (1) メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。
- (2) 酸-アルカリ-酸(AAA: Acid Alkali Acid)処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1 mol/ℓ(1M)の塩酸(HCl)を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム(NaOH)水溶液を用い、0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1Mに達した時には「AAA」、1M未満の場合は「AaA」と表1に記載する。
- (3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素(CO₂)を発生させる。
- (4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- (5) 精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト(C)を生成させる。
- (6) グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

4 測定方法

加速器をベースとした¹⁴C-AMS専用装置(NEC社製)を使用し、¹⁴Cの計数、¹³C濃度(¹³C/¹²C)、¹⁴C濃度(¹⁴C/¹²C)の測定を行う。測定では、米国立標準局(NIST)から提供されたシュウ酸(HoX II)を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5 算出方法

- (1) $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の¹³C濃度(¹³C/¹²C)を測定し、基準試料からのずれを千分偏差(‰)で表した値である(表1)。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- (2) ¹⁴C年代(Libby Age: yrBP)は、過去の大気中¹⁴C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年(0yrBP)として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期(5568年)を使用する(Stuiver and Polach 1977)。¹⁴C年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。¹⁴C年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、¹⁴C年代の誤差($\pm 1\sigma$)は、試料の¹⁴C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。
- (3) pMC(percent Modern Carbon)は、標準現代炭素に対する試料炭素の¹⁴C濃度の割合である。

pMCが小さい (^{13}C が少ない) ほど古い年代を示し、pMCが100以上 (^{13}C の量が標準現代炭素と同等以上) の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。

- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{13}C 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{13}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 ^{13}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差 ($1\sigma=68.2\%$) あるいは2標準偏差 ($2\sigma=95.4\%$) で表示される。グラフの縦軸が ^{13}C 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない ^{13}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal13データベース (Reimer et al. 2013) を使い、OxCalv4.2較正プログラム (Bronk Ramsey 2009) を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。暦年較正年代は、 ^{13}C 年代に基づいて較正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」または「cal BP」という単位で表される。

6 測定結果

測定結果を表1、2に示す。

試料の ^{13}C 年代は、KH4-1が $3860 \pm 30\text{yrBP}$ 、KH4-2が $4140 \pm 30\text{yrBP}$ である。暦年較正年代 (1σ) は、KH4-1が縄文時代後期初頭頃、KH4-2が縄文時代中期中葉から後葉頃に相当する (小林編2008)。テフラとの上下関係に整合的な結果である。

試料の炭素含有率はいずれも60%を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

表1 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (‰)
IAAA-152824	KH4-1	竪穴住居跡H-1 覆土B	炭化物	AAA	-28.74±0.31	3,860±30	61.85±0.20
IAAA-152825	KH4-2	竪穴住居跡H-2bc-1 床面	炭化物	AAA	-27.18±0.37	4,140±30	59.70±0.20

[#7801]

表2 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年較正用 ^{14}C 年代、較正年代)

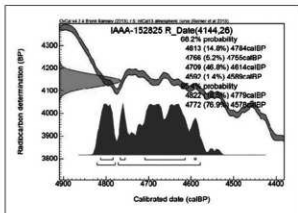
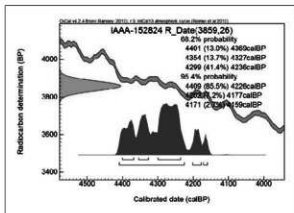
測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1σ暦年代範囲	2σ暦年代範囲
	Age(yrBP)	pMC(%)			
IAAA-152824	3,920±30	61.37±0.20	3,859±26	4401calBP - 4369calBP(13.0%)	4409calBP - 4226calBP(83.5%)
				4354calBP - 4327calBP(13.7%)	4202calBP - 4177calBP(7.2%)
				4299calBP - 4236calBP(41.4%)	4171calBP - 4159calBP(2.7%)
IAAA-152825	4,180±30	59.43±0.19	4,144±26	4813calBP - 4784calBP(14.8%)	4822calBP - 4779calBP(18.5%)
				4766calBP - 4755calBP(5.2%)	4772calBP - 4578calBP(76.9%)
				4709calBP - 4614calBP(46.8%)	
				4592calBP - 4589calBP(1.4%)	

[参考値]

文献

Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51(1), 337-360

小林達雄編 2008 総覧縄文土器、総覧縄文土器刊行委員会、アム・プロモーション

Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 55(4), 1869-1887Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363

[図版]暦年較正年代グラフ (参考)

(平成28(2016)年3月23日 受領 内容点検 受場)

2. 平成27(2015)年度 上幌内5遺跡における放射性炭素年代 (AMS測定)

(株) 加速器分析研究所

1 測定対象試料

上幌内5遺跡は、北海道勇払郡厚真町幌内351-1ほか(北緯42° 47' 09.24", 東経142° 00' 48.05")に所在する。測定対象試料は、竪穴住居跡から出土した炭化物1点である(表1)。この竪穴住居跡は樽前d火山噴出物層(8~9千年前降下、町田・新井2011)を掘り込んで構築されている。

2 測定の意義

試料が出土した遺構の年代を明らかにする。

3 化学処理工程

- (1) メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。
- (2) 酸-アルカリ-酸(AAA: Acid Alkali Acid)処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1 mol/ℓ(1M)の塩酸(HCl)を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム(NaOH)水溶液を用い、0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1Mに達した時には「AAA」、1M未満の場合は「AaA」と表1に記載する。
- (3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素(CO₂)を発生させる。
- (4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- (5) 精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト(C)を生成させる。
- (6) グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

4 測定方法

加速器をベースとした¹⁴C-AMS専用装置(NEC社製)を使用し、¹⁴Cの計数、¹³C濃度(¹³C/¹²C)、¹⁴C濃度(¹⁴C/¹²C)の測定を行う。測定では、米国立標準局(NIST)から提供されたシュウ酸(HoX II)を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5 算出方法

- (1) δ¹³Cは、試料炭素の¹³C濃度(¹³C/¹²C)を測定し、基準試料からのずれを千分偏差(‰)で表した値である(表1)。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- (2) ¹⁴C年代(Libby Age: yrBP)は、過去の大気中¹⁴C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年(0yrBP)として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期(5568年)を使用する(Stuiver and Polach 1977)。¹⁴C年代はδ¹³Cによって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。¹⁴C年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、¹⁴C年代の誤差(±1σ)は、試料の¹⁴C年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。
- (3) pMC(percent Modern Carbon)は、標準現代炭素に対する試料炭素の¹⁴C濃度の割合である。

pMCが小さい (^{13}C が少ない) ほど古い年代を示し、pMCが100以上 (^{13}C の量が標準現代炭素と同等以上) の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2に示した。

- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{13}C 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{13}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 ^{13}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差 ($1\sigma=68.2\%$) あるいは2標準偏差 ($2\sigma=95.4\%$) で表示される。グラフの縦軸が ^{13}C 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない ^{13}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal13データベース (Reimer et al. 2013) を使い、OxCalv4.2較正プログラム (Bronk Ramsey 2009) を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2に示した。暦年較正年代は、 ^{13}C 年代に基づいて較正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」または「cal BP」という単位で表される。

6 測定結果

測定結果を表1、2に示す。

試料KH5-1の ^{13}C 年代は $4490 \pm 30\text{yrBP}$ 、暦年較正年代 (1σ) は縄文時代中期前葉から中葉頃に相当する (小林編2008)、テフラとの上下関係に整合的な結果である。

試料の炭素含有率は60%を超える十分な値で、化学処理、測定上の問題は認められない。

表1 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

測定番号	試料名	採取場所	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-152826	KH5-1	竪穴住居跡H-1 床面	炭化物	AA	-25.26±0.60	4,490±30	57.16±0.21

[#7802]

表2 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年較正用 ^{14}C 年代、較正年代)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age(yrBP)	pMC (%)			
IAAA-152826	4,500 \pm 30	57.13 \pm 0.19	4,493 \pm 28	5281ca1BP - 5214ca1BP(30.8%) 5191ca1BP - 5163ca1BP(13.2%) 5135ca1BP - 5105ca1BP(13.7%) 5076ca1BP - 5053ca1BP(10.5%)	5292ca1BP - 5044ca1BP (95.4%)

[参考値]

文献

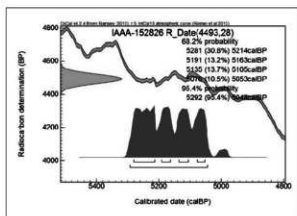
Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51(1), 337-360

小林達雄編 2008 総覧縄文土器, 総覧縄文土器刊行委員会, アム・プロモーション

町田洋, 新井房夫 2011 新編火山灰アトラス [日本列島とその周辺] (第2刷), 東京大学出版会

Reimer, P.J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 55(4), 1869-1887

Stuiver, M. and Polach, H.A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363



【図版】暦年較正年代グラフ (参考)

(平成28(2016)年3月23日 受領 内容点検 愛場)

3. 平成28(2016)年度 上幌内4遺跡における放射性炭素年代(AMS測定)

(株) 加速器分析研究所

1 測定対象試料

上幌内4遺跡は、北海道勇払郡厚真町幌内368-1ほか(北緯42° 46' 57.51", 東経142° 00' 19.06")に所在し、厚真川上流左岸の緩斜面(標高約72~73m)に立地する。測定対象試料は、Ⅲ層中で検出された焼土の周囲から出土した貝殻(カワシンジュガイ)、礫集中、炭化物集中から出土した炭化物の合計4点である(表1)。

Ⅲ層は、樽前b火山灰(西暦1667年降下)直下の黒色土層である。試料の時期は、いずれもアイヌ文化期(13~17世紀)と推定されている。

2 測定の意義

試料が出土した遺構の年代を明らかにする。

3 化学処理工程

(1) 炭化物の化学処理

- 1) メス・ピンセットを使い、付着物を取り除く。
- 2) 酸-アルカリ-酸(AAA: Acid Alkali Acid)処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1 mol/ℓ(1M)の塩酸(HCl)を用いる。アルカリ処理では水酸化ナトリウム(NaOH)水溶液を用い、0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1Mに達した時には「AAA」、1M未満の場合は「AA/A」と表1に記載する。
- 3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素(CO₂)を発生させる。
- 4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。
- 5) 精製した二酸化炭素を、鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト(C)を生成させる。
- 6) グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

(2) 貝殻の化学処理

- 1) メス・ピンセットを使い付着物を取り除き、超純水に浸し、超音波洗浄を行う。
 - 2) 試料の表面を塩酸で約30%溶かし、汚染された可能性のある部分を除去する(Edg)。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。なお、試料が特に少量の場合、塩酸の処理を行わない場合がある(Non)。
 - 3) 試料中の炭酸カルシウム(CaCO₃)を分解し、二酸化炭素(CO₂)を発生させる。
- 以下、(1)4)以降と同じ。

4 測定方法

加速器をベースとした¹⁴C-AMS専用装置(NEC社製)を使用し、¹⁴Cの計数、¹³C濃度(¹³C/¹²C)、¹¹C濃度(¹¹C/¹²C)の測定を行う。測定では、米国国立標準局(NIST)から提供されたシュウ酸(HoX

II) を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5 算出方法

- (1) $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の ^{13}C 濃度 ($^{13}\text{C}/^{12}\text{C}$) を測定し、基準試料からのずれを千分偏差 (%) で表した値である (表1)。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。
- (2) ^{14}C 年代 (Libby Age : yrBP) は、過去の大気中 ^{14}C 濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年 (0yrBP) として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期 (5568年) を使用する (Stuiver and Polach 1977)。 ^{14}C 年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2、3に示した。 ^{14}C 年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、 ^{14}C 年代の誤差 ($\pm 1\sigma$) は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。
- (3) pMC (percent Modern Carbon)は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{14}C 濃度の割合である。pMCが小さい (^{14}C が少ない) ほど古い年代を示し、pMCが100以上 (^{14}C の量が標準現代炭素と同等以上) の場合Modernとする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を表1に、補正していない値を参考値として表2、3に示した。
- (4) 暦年較正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C 濃度をもとに描かれた較正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に対応する較正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差 ($1\sigma=68.2\%$) あるいは2標準偏差 ($2\sigma=95.4\%$) で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が暦年較正年代を表す。暦年較正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、較正曲線および較正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年較正年代の計算に、IntCal13データベース (Reimer et al. 2013) を用い、OxCalv4.2較正プログラム (Bronk Ramsey 2009) を使用した。暦年較正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として表2、3、図版1、2に示した。なお、暦年較正年代は、 ^{14}C 年代に基づいて較正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BP」または「cal BC/AD」という単位で表され、ここでは前者を表2、図版1、3に、後者を表3、図版2、4に示した。

6 測定結果

測定結果を表1～3、図版1～4に示す。較正年代は、cal BPとcal BC/ADの2通りで算出したが、以下の説明ではcal BC/ADの値で記載し (表3、図版2、4)、cal BPの値は図表のみ提示した (表2、図版1、3)。試料の ^{14}C 年代は、KH4-3が 750 ± 20 yrBP、KH4-4が 600 ± 20 yrBP、KH4-5が 280 ± 20 yrBP、KH4-6が 320 ± 20 yrBPである。暦年較正年代 (1σ) は、KH4-3が1262～1277cal ADの範囲、KH4-4が1309～1396cal ADの間に3つの範囲、KH4-5が1529～1654cal ADの間に2つの範囲、KH4-6が1517～1635cal ADの間に3つの範囲で示され、いずれも推定される年代の範囲内である。

試料の状態を炭素含有率から確認すると、炭化物試料の炭素含有率は、すべて70%を超える十分な値である。また、貝殻試料の炭素含有率 (試料が100%炭酸カルシウムであると見なした場合) は90%以上の適正な値である。

文献

Bronk Ramsey, C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates, *Radiocarbon* 51(1), 337-360Reimer, P. J. et al. 2013 IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP, *Radiocarbon* 55(4), 1869-1887Stuiver, M. and Polach, H. A. 1977 Discussion: Reporting of ^{14}C data, *Radiocarbon* 19(3), 355-363表 1 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 補正值)

測定番号	試料名	採取場所	試料 形態	処理 方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり	
						Libby Age (yrBP)	pMC (%)
IAAA-162237	KH4-3	焼土 UF-1 Ⅲ層	貝殻 (カワシ ンジュガイ)	Edg	1.01±0.27	750±20	91.07±0.21
IAAA-162238	KH4-4	礎集中 US-2 Ⅲ層	炭化物	AAA	-27.00±0.35	600±20	92.77±0.22
IAAA-162239	KH4-5	炭化物集中 UC-1 Ⅲ層	炭化物	AAA	-26.50±0.43	280±20	96.61±0.23
IAAA-162240	KH4-6	炭化物集中 UC-2 Ⅲ層	炭化物	AAA	-23.68±0.34	320±20	96.04±0.23

[±8399]

表 2 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年較正用 ^{14}C 年代、較正年代cal BP)

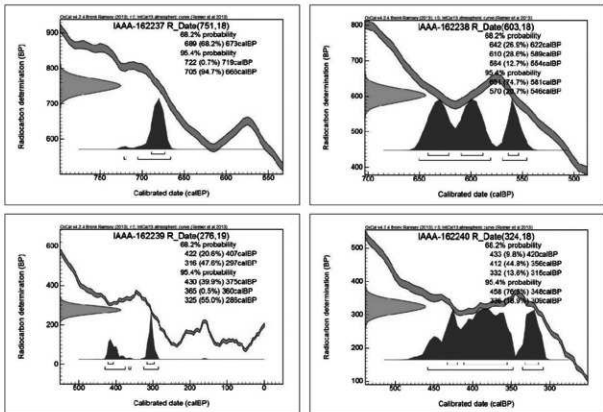
測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age(yrBP)	pMC (%)			
IAAA-162237	330±20	95.98±0.21	751±18	689ca1BP-673ca1BP(68.2%)	722ca1BP-719ca1BP(0.7%) 705ca1BP-666ca1BP(94.7%)
IAAA-162238	640±20	92.39±0.21	603±18	642ca1BP-622ca1BP(26.9%) 610ca1BP-589ca1BP(28.6%) 564ca1BP-554ca1BP(12.7%)	651ca1BP-581ca1BP(74.7%) 570ca1BP-546ca1BP(20.7%)
IAAA-162239	300±20	96.31±0.22	276±19	422ca1BP-407ca1BP(20.6%) 316ca1BP-297ca1BP(47.6%)	430ca1BP-375ca1BP(39.9%) 365ca1BP-360ca1BP(0.5%) 325ca1BP-286ca1BP(55.0%)
IAAA-162240	300±20	96.30±0.22	324±18	433ca1BP-420ca1BP(9.8%) 412ca1BP-356ca1BP(44.8%) 332ca1BP-315ca1BP(13.6%)	458ca1BP-348ca1BP(76.5%) 336ca1BP-309ca1BP(18.9%)

[参考値]

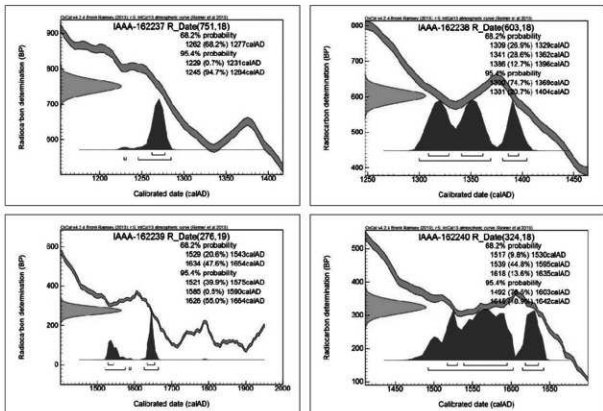
表3 放射性炭素年代測定結果 ($\delta^{13}\text{C}$ 未補正值、暦年較正用 ^{14}C 年代、較正年代cal BC/AD)

測定番号	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年較正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲	2 σ 暦年代範囲
	Age(yrBP)	pMC (%)			
IAAA-162237	330 \pm 20	95.98 \pm 0.21	751 \pm 18	1262calAD - 1277calAD(68.2%)	1229calAD - 1231calAD(0.7%) 1245calAD - 1284calAD(94.7%)
IAAA-162238	640 \pm 20	92.39 \pm 0.21	603 \pm 18	1309calAD - 1329calAD(26.9%) 1341calAD - 1362calAD(28.6%) 1386calAD - 1396calAD(12.7%)	1306calAD - 1369calAD(74.7%) 1381calAD - 1404calAD(20.7%)
IAAA-162239	300 \pm 20	96.31 \pm 0.22	276 \pm 19	1529calAD - 1543calAD(20.6%) 1634calAD - 1654calAD(47.6%)	1521calAD - 1575calAD(39.9%) 1585calAD - 1590calAD(0.5%) 1626calAD - 1664calAD(55.0%)
IAAA-162240	300 \pm 20	96.30 \pm 0.22	324 \pm 18	1517calAD - 1530calAD(9.8%) 1539calAD - 1595calAD(44.8%) 1618calAD - 1635calAD(13.6%)	1492calAD - 1603calAD(76.5%) 1615calAD - 1642calAD(18.9%)

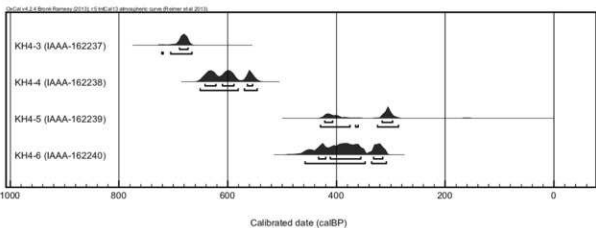
[参考値]



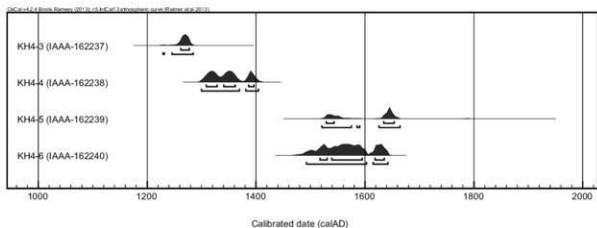
[図版 1] 暦年較正年代グラフ (cal BP、参考)



[図版 2] 暦年較正年代グラフ (cal BC/AD、参考)



[図版 3] 暦年較正年代グラフ (マルチプロット図、cal BP、参考)



[図版 4] 暦年較正年代グラフ (マルチプロット図、cal BC/AD、参考)

(平成29(2017)年3月24日 受領 内容点検 未光)

4. 平成28(2016)年度 上幌内4遺跡における種実同定

株式会社バレオ・ラボ

1. はじめに

厚真町に所在する上幌内4遺跡は、厚真川の左岸に位置する。ここから出土した種実を同定し、当時の植生と植物利用について検討する。

2. 試料と方法

試料は、アイヌ文化期とされる焼土(UF-1)Ⅲ層より水洗選別、篩分けされたものである。試料番号1-(1)浮遊物0.425mm、試料番号1-(2)浮遊物2.0mm、試料番号1-(3)残渣1.41mm、の計3点である。

試料を肉眼及び双眼実体顕微鏡で観察し、形態的特徴および現生標本との対比によって同定を行った。結果は同定レベルによって科、属、種の階級で示す。

3. 結果

(1) 分類群

草本4分類群が同定された。学名、和名および粒数を表1に示し、主要な分類群の写真を図版に示す。以下に同定根拠となる形態的特徴を記載する。

【草本】

イネ科 Gramineae 穎

穎は灰褐色～茶褐色で楕円形を呈す。腹面はやや平らで背面は丸い。表面は滑らかである。

タデ属 Polygonum 果実 タデ科

黒褐色で卵形を呈す。表面にはやや光沢があり、断面は三角形である。

タデ属サナエタデ節 Polygonum sect. Persicaria 果実(破片) タデ科

黒褐色で頂端が尖る広卵形を呈す。表面は滑らかで光沢があり、断面は扁平で中央がややくぼむ。

アカザ属 Chenopodium 種子 アカザ科

黒色で光沢があり円形を呈し、片面の中央から周縁まで浅い溝が走る。

(2) 種実群集の特徴

1) 試料番号1-(1)浮遊物0.425mm

草本種実のイネ科穎2、タデ属1、タデ属サナエタデ節2、アカザ属1が同定された。

2) 試料番号1-(2)浮遊物2.0mm

種実は検出されなかった。

3) 試料番号1-(3)残渣1.41mm

種実は検出されなかった。

4. 考察とまとめ

上幌内4遺跡の焼土(UF-1)Ⅲ層より出土した種実では、未炭化の草本種実、イネ科穎、タデ属、タデ属サナエタデ節、アカザ属が同定された。イネ科とタデ属には湿潤な環境、乾燥した環境に生育

する双方が含まれるが、タデ属サナエタデ節を除くタデ属は概して乾燥した環境に生育するものが多い。タデ属サナエタデ節は水生植物であり、湿地や流路際などに生育する。アカザ属は乾燥した集落域や路傍や畑などの人間活動の活発な干渉地に生育し、畑雑草でもある。

以上から、焼土（UF-1）Ⅲ層に含まれていた種実類は、未炭化であり周囲の草本を反映していると考えられる。数量は少ないが、人為干渉のある環境に生育する草本ばかりで、周囲には樹木が少なく日当たりの良い環境であったとみなされる。タデ属サナエタデ節の湿潤を好む草本とアカザ属の乾燥を好む草本が近接して生育し、湿潤な環境と乾燥した環境が隣接した起伏のある環境が推定される。

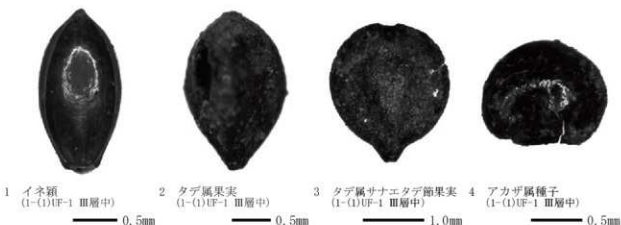
表1 上幌内4遺跡における種実同定結果

試料番号	対象試料	遺構名	層位	分類群		部位	個数	備考	時期
				学名	和名				
1-(1)	浮遊物 0.425mm ^{1/2} × ₁	UF-1	Ⅲ層中	Gramineae	イネ科	穎	2	未炭化	アイヌ文化期
				<i>Polygonum</i>	タデ属		1		
				<i>Polygonum</i> sect. <i>Persicaria</i>	タデ属サナエタデ節		2		
				<i>Chenopodium</i>	アカザ属		1		
1-(2)	浮遊物 2.0mm ^{1/2} × ₁	UF-1	Ⅲ層中						
1-(3)	残渣 1.41mm ^{1/2} × ₁	UF-1	Ⅲ層中						

参考文献

- 笠原安夫 (1985) 日本雑草図説, 養賢堂, 494p.
 笠原安夫 (1988) 作物および田畑雑草種類, 弥生文化の研究第2巻生業, 雄山閣 出版, p. 131-139.
 南木睦彦 (1992) 低湿地遺跡の種実, 月刊考古学ジャーナルNo. 355, ニューサイエンス社, p. 18-22.
 南木睦彦 (1993) 葉・果実・種子, 日本第四紀学会編, 第四紀試料分析法, 東京大学出版会, p. 276-283.

上幌内4遺跡の種実



(平成29(2017)年3月24日 受領 内容点検 未光)

5. 平成29(2017)年度 厚真町上幌内4遺跡の金属製品の材質分析

バリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

上幌内4遺跡は勇払郡厚真町に所在する。発掘調査ではアイヌ文化期と推定される小刀、刀子、鉤状・棒状などの金属製品が出土している。これら金属製品の材質や製作技術を検討する目的から、材質分析を行った。

1. 試料

本分析調査では、棒状品（遺物番号3）、鉤状品（遺物番号4）、刀子（遺物番号5）の3点について調査を実施した。表1に試料の詳細と、調査項目を示す。

表1 分析試料と調査項目

遺物番号	遺跡名	出土位置	遺物名称	推定年代	計測値		調査項目				
					大きさ(mm)	重量(g)	金属探知器反応	マクロ組織	顕微鏡組織	ビッカース断面硬度	EPMA
3	上幌内4	M-25区 Ⅱ層	棒状品	アイヌ文化期	(5.8) ×10×8	5.0	L (●)	○	○	○	○
4	上幌内4	M-26区 Ⅱ層	鉤状品		(48) ×37×7	13.8	L (●)	○	○	○	○
5	上幌内4	M-25区 Ⅱ層	刀子		(65) ×12×3	5.6	L (●)	○	○	○	○

2. 分析方法

(1) 外観観察

鉄製品の外観的な特徴を記載した。

(2) マクロ組織

試料を端部から切り出した後、断面をエメリー研磨紙の#150、#240、#320、#600、#1000、及びダイヤモンド粒子の3 μ mと1 μ mで順を追って研磨し、断面の全体像を撮影した。

(3) 顕微鏡組織

光学顕微鏡を用いて、鉄製品の金属組織および非金属介在物を観察後、写真を撮影した。金属組織観察には、3%ナイタル（硝酸アルコール液）を腐食（Etching）に用いた。

(4) ビッカース断面硬度

ビッカース断面硬度計（Vickers Hardness Tester）を用いて硬さの測定を行った。試料は顕微鏡を用いて併用し、荷重50～200gfで測定した。ビッカース硬さは測定箇所（136°の頂角をもったダイヤモンド）を押し込んだ時の荷重と、それにより残された窪み（圧痕）の対角線長さから求めた表面積から算出される。

(5) EPMA調査

EPMA（日本電子製 JXA-8230）を用いて、鉄製品中の非金属介在物の組成を調査した。測定条件は以下の通りである。加速電圧：15kV、照射電流（分析電流）：2.00E-8A。

3. 結果

遺物番号3 棒状鉄製品

(1) 外観観察：錆化に伴い両端が欠損した棒状の鉄製品（5.0g）である。上端部横断面は約7mm×

2mmとやや幅広く薄手の長方形、下端部横断面は約2.5mm角のやや歪な方形を呈する。全体が茶褐色の錆で覆われており、表面には錆膨れが複数生じている。ただし、広い範囲で金属探知器反応があるため、内部には金属鉄が残存すると考えられる。

(2) マクロ組織：図版1-①に示す。下端部横断面を調査した。写真右側のやや歪な環状の灰色部は鉄器表面に生じた錆膨れである。左側が鉄器断面で、錆化に伴い左下角部が欠損している。また内部には金属鉄が残存する。

(3) 顕微鏡組織：図版1-②③に示す。金属鉄部は3%ナイトルで腐食したところ、微細なフェライト (Ferrite: α 鉄)・パーライト (Pearlite) 組織が確認された。パーライトの面積率から炭素含有率は0.3~0.5%程度の亜共析鋼 ($C < 0.77\%$) と推定される。近代以前の鉄器としては、非常に微細な組織であった。この特徴から、製品に強度と靱性を持たせるために、比較的低い温度 (850℃前後) で鍛打加工した可能性が考えられる。

また内部には微細な淡茶褐色多角形結晶が点在する。これらの結晶は色調と形状から、ウルボスピネル (Ulvöspinel: $2\text{FeO}\cdot\text{TiO}_2$) など、製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) に由来する非金属介在物と推定される。組成については、EPMA調査の項で詳述する。

(4) ビッカース断面硬度：図版1-②の金属鉄部の硬度を測定した。硬度値は163~242Hvであった。炭素含有量が低めの芯部 (②の中央寄りと下側) が比較的軟らかく、炭素量が高い表層 (②の上側から左側) はやや硬質の値となっている。

(5) EPMA調査：図版1-④に鉄中非金属介在物の反射電子像 (COMP) を示す。中央の結晶は図版1-③右下の淡茶褐色多角形結晶の拡大で、定量分析値は45.2%FeO-18.0%Cr₂O₃-15.0%Al₂O₃-11.7%TiO₂-8.2%V₂O₅ (分析点1) であった。クロム鉄鉱 (Chromite: $\text{FeO}\cdot\text{Cr}_2\text{O}_3$)、ヘルシナイト (Hercynite: $\text{FeO}\cdot\text{Al}_2\text{O}_3$)、ウルボスピネル (Ulvöspinel: $2\text{FeO}\cdot\text{TiO}_2$) などを主な端成分とする、スピネル (Spinel) 類の化合物と推定される。

さらにもう1箇所、図版1-⑤に鉄中非金属介在物の反射電子像 (COMP) を示す。不定形暗灰色部の定量分析値は42.7%FeO-39.3%SiO₂-9.8%Al₂O₃-1.6%CaO-1.6%K₂O-2.3%P₂O₅ (分析点2) であった。素地は非晶質硅酸塩で、非常に微細なファヤライト (Fayalite: $2\text{FeO}\cdot\text{SiO}_2$) が晶出しているため、両者を反映した値となったと考えられる。また微細な茶褐色多角形結晶の定量分析値は60.5%FeO-7.1%Al₂O₃-2.5%V₂O₅-25.0%TiO₂ (分析点3) であった。ウルボスピネル (Ulvöspinel: $2\text{FeO}\cdot\text{TiO}_2$) とヘルシナイト (Hercynite: $\text{FeO}\cdot\text{Al}_2\text{O}_3$) を主な端成分とする固溶体と推定される。

遺物番号4 鈎状鉄製品

(1) 外観観察：鈎状の鉄製品 (13.8g) である。外観写真左側は錆化による破面で、横断面はやや歪な楕円状である。一方、外観写真右側端部は鋭く尖っている。また表面全体は茶褐色の錆で覆われており、錆膨れも複数生じている。ただし広い範囲で金属探知器反応があるため、内部に金属鉄が残存すると考えられる。

(2) マクロ組織：図版2-①に示す。外観写真の端部横断面を調査した。①の下側はやや直線的な輪郭線であるが、全体はやや歪な楕円状を呈する。内側には金属鉄が残存する。鉄中には熱間での鍛打に伴い展伸した非金属介在物が多数層状に分布しており、折り返し鍛錬された鍛造製品と判断される。また金属鉄部を3%ナイトルで腐食したところ、帯状の白色領域と灰色領域が確認された。部位により炭素量にばらつきがあることを示している。

(3) 顕微鏡組織：図版2-②~⑤に示す。②は①の上側表層の拡大である。②の上半部は炭素量が

最も低く、ほとんど炭素を含まないフェライト単相に近い組織であった。フェライトは再結晶して粗大化しており、かつ加工に伴い変形している。一方、②の下半部はフェライト・パーライト組織であった。黒色のパーライトの面積率から炭素含有率は0.4%前後と推定される。

また④⑤は①の右下表層部の拡大である。フェライト結晶には加工による変形がみられ、パーライトは不完全球状セメントイト (Cementite: Fe_3C) 化している。この特徴から、当鉄器の最終的な熱間鍛造加工温度は、パーライト組織が分解する700℃前後であったと推察される。

(4) **ピッカース断面硬度**: 図版2-②④の金属鉄部の硬さを測定した。硬度値は167~254Hvであった。上述のように、②の上側表層が最も炭素量は低いが、フェライト結晶が加工によって変形しているため、内側の亜共析組織部分 (④の上側)の方が軟質であった。これに対して、炭素量が高い下面表層部は最も硬質であった。

(5) **EPMA調査**: 図版2-⑥および⑦に鉄中非金属介在物の反射電子像 (COMP) を示す。白色粒状結晶の定量分析値は96.7%FeO (分析点4)、95.5%FeO (分析点6)であった。ともにウスタイト (Wustite: FeO) と推定される。また淡灰色結晶の定量分析値は66.7%FeO-1.0%CaO-27.5% SiO_2 -1.8% P_2O_5 (分析点5)であった。ファヤライト (Fayalite: $2\text{FeO}\cdot\text{SiO}_2$) と推定される。

これらの介在物は主に鉄酸化物 (FeO) と粘土溶融物 (SiO_2 主成分) からなる。熱間加工時の鉄器の酸化防止剤、または鍛接剤に用いられた粘土汁が、赤熱状態の鉄器表面と反応して生じたものと推定される。棒状鉄製品のような、製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) に由来する非金属介在物は確認されなかった。

遺物番号5 刀子

(1) **外観観察**: 非常に薄手の刀子の刃部破片 (5.6g) と推定される。全体が強く湾曲している。切先と柄側は欠損している。表面は錆に覆われるが金属探知器反応があり、内部には金属鉄が残存すると考えられる。

(2) **マクロ組織**: 図版3-①に示す。切先側の横断面を調査した。全体に錆化しているが、棟と刃部先端に若干金属鉄 (明白色部) が残存する。

(3) **顕微鏡組織**: 図版3-②③に示す。②は棟側、③は刃部先端の金属鉄部の拡大である。ほとんど炭素を含まないフェライト単相の組織であった。

(4) **ピッカース断面硬度**: 図版3-②の金属鉄部の硬さを測定した。硬度値は158Hvと組織から予想されるよりやや硬質であった。周囲は錆化が進んでいるため、その影響を受けた可能性が考えられる。

(5) **EPMA調査**: 図版3-④および⑤に鉄中非金属介在物の反射電子像 (COMP) を示す。淡茶褐色多角形結晶の定量分析値は64.9%FeO-6.2% Al_2O_3 -3.4% V_2O_5 -22.5% TiO_2 (分析点7) 64.3%FeO-6.0% Al_2O_3 -3.8% V_2O_5 -22.4% TiO_2 (分析点9)であった。ウルボスピネル (Ulvöspinel: $2\text{FeO}\cdot\text{TiO}_2$) と推定される。製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) に由来する非金属介在物である。また淡灰色柱状結晶の定量分析値は65.0%FeO-24.6% SiO_2 (分析点8)、65.1%FeO-24.4% SiO_2 (分析点10)であった。ファヤライト (Fayalite: $2\text{FeO}\cdot\text{SiO}_2$) と推定される。

棒状鉄製品 (KAH-1) と同様に、当鉄器中にも製鉄原料の砂鉄 (含チタン鉄鉱) に由来する非金属介在物 [鉄チタン酸化物: ウルボスピネル (Ulvöspinel: $2\text{FeO}\cdot\text{TiO}_2$)] が確認された。

4. まとめ

上幌内4遺跡から出土した鉄製品3点を調査した結果、以下の点が明らかとなった。

鉄製品中の非金属介在物を調査した結果、2点（遺物番号3、5）から、製鉄原料の砂鉄に由来する鉄チタン酸化物の結晶が確認された。これらは砂鉄を製錬して生産された鉄が鍛冶原料であったことを示すものである。このため本州で生産された鉄素材を入手していた可能性が考えられる。

なお棒状鉄製品（遺物番号3）の非金属介在物中には、チタン（Ti）、バナジウム（V）に加え、高い割合でクロム（Cr）を含む化合物（図版1-④中央の多角形結晶）が確認された。クロムは蛇紋岩、斑レイ岩などの超苦鉄質岩に特徴的な元素であり（井澤, 2005）、苦鉄質岩が分布する流域の河川または海岸で採取された砂鉄が始発原料であったと推察される。

鉄製品3点は、いずれも熱間で鍛打成形された鍛造品であった。

棒状鉄製品（遺物番号3）は、フェライト・パーライト組織が確認された。パーライトの割合から、炭素含有量が0.3~0.5%程度の鋼と推定される。組織は非常に微細であり、製品に強度と靱性を持たせるため、比較的低い温度（850℃前後）で鍛打加工された可能性が考えられる。

鉤状鉄製品（遺物番号4）は低炭素域と高炭素域が不規則な帯状に分布している。折り返し鍛錬後、鉤状に鍛打成形されたものと考えられる。最も炭素量の低い部分はほとんど炭素を含まないフェライト単相の組織、高い部分は炭素含有量が0.4%前後の鋼と推測される。また表層部のフェライト結晶には加工による変形がみられ、パーライトは不完全球状セメント化している。このため最終的な加工温度は、パーライト組織が分解する700℃前後であったと推察される。

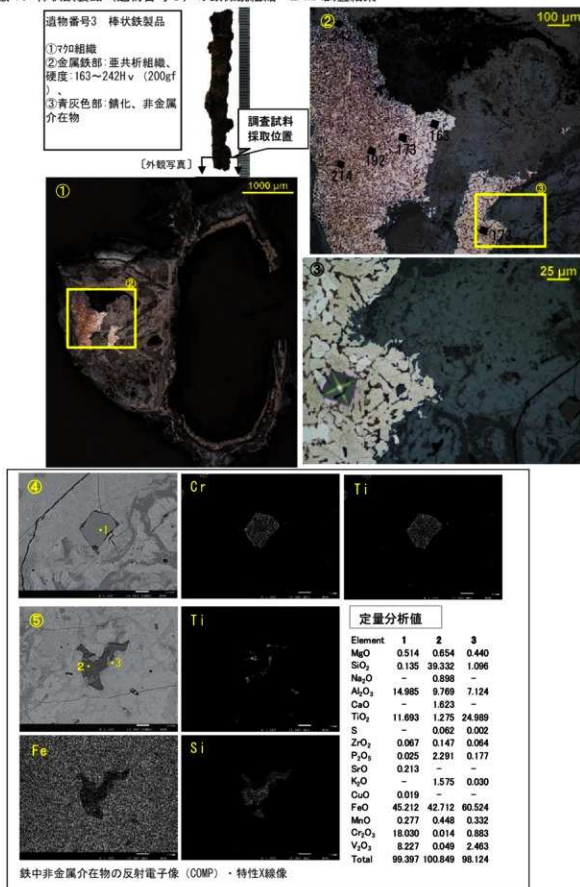
刀子（遺物番号5）の残存金属鉄部は、棟側・刃先ともほとんど炭素を含まないフェライト単相の組織であった。全体が軟鉄の薄刃刃物であり、乾燥した木材等の硬い対象物の切削ができる製品ではない。実用品であれば、柔らかいものを薄く切るような用途で作られた可能性が考えられる。

引用文献

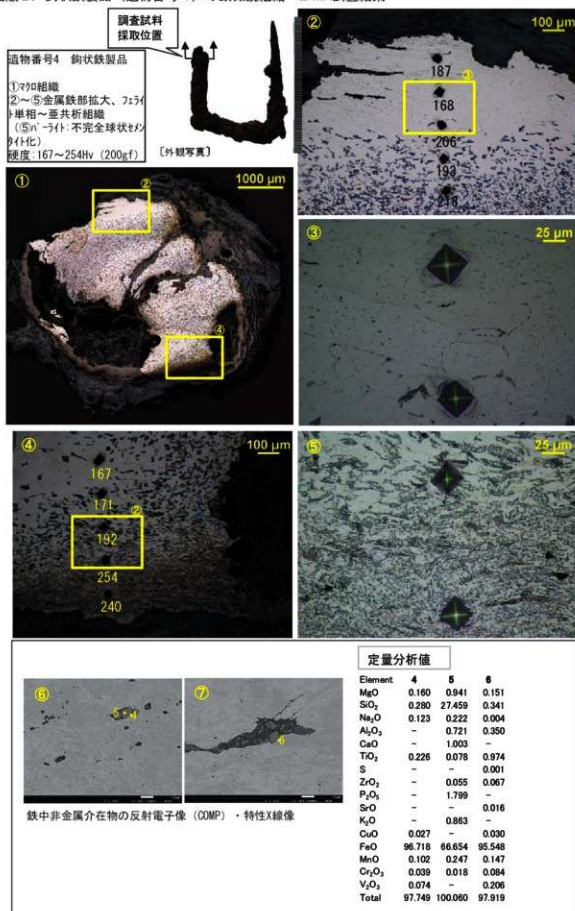
井澤英二, 2005, 日本の古代製鉄で使用された鉱石, ふえらむVol.10 No.5

(平成29(2017)年度10月27日 受領 内容点検 未光)

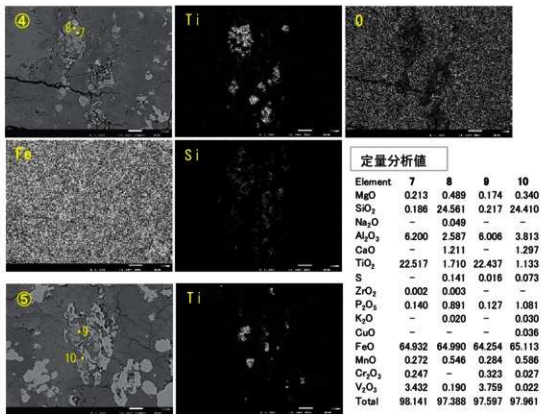
図版1. 棒状鉄製品（遺物番号3）の顕微鏡組織・EPMA調査結果



図版2. 鈎状鉄製品（遺物番号4）の顕微鏡組織・EPMA調査結果



図版3. 刀子（遺物番号5）の顕微鏡組織・EPMA調査結果



写 真 图 版



平成27(2015)年度調査区V層上面の状況(北東から)



平成28(2016)年度調査区III層上面の状況(東から)



平成27(2015)年度 基本土層(南東から)



馬の骨出土状況(L・M-21・22区)(南西から)



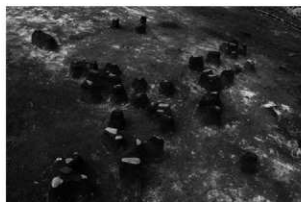
平成27(2015)年度調査区完掘状況(北東から)



S P - 1 土層断面 (北東から)



U F - 1 (北東から)



U S - 1 (東から)



U S - 2 (南西から)



U C - 1 (北東から)



U C - 2 (南から)



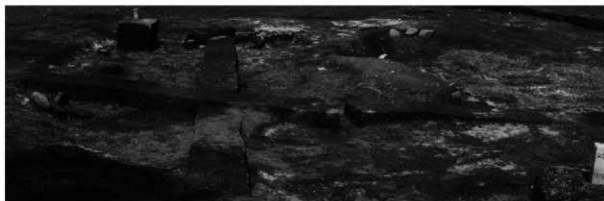
M-25区 鈎状品出土状況 (北西から)



N-26区 小刀出土状況 (北から)



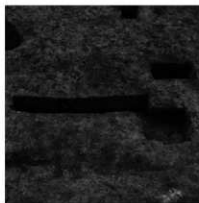
N-26区 刀子出土状況 (西から)



H-1 土層断面(南西から)



H-1 遺物出土状況(北から)



H-1 · hf-1 土層断面(東から)



H-1 · hp-1 完掘状況(東から)



H-1 · ph-1(右)・2(左) 土層断面(北東から)



H-2 土層断面(北東から)



H-2 遺物出土状況(北東から)



H-2 · h f - 1 土層断面(北東から)



H-2 完掘状況(北東から)



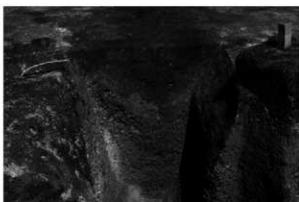
P-1 土層断面(南東から)



P-1 完掘状況(南東から)



TP-1 土層断面(南から)



TP-3 土層断面(南から)



TP-5 土層断面(南東から)



TP-6 土層断面(北東から)



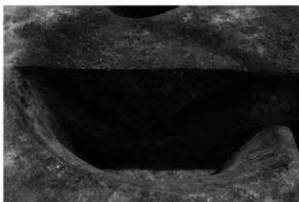
TP-7 土層断面(北東から)



TP-11 土層断面(東から)



TP-12(右)・13(左)土層断面(南東から)



TP-14土層断面(南東から)



TP-15土層断面(南東から)



TP-16土層断面(南東から)



TP-17土層断面(東から)



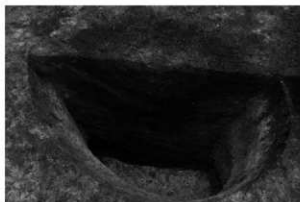
TP-18土層断面(南東から)



TP-19土層断面(南東から)



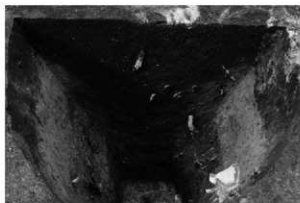
TP-20土層断面(南から)



TP-21土層断面(南東から)



TP-22土層断面(南東から)



TP-25土層断面(南から)



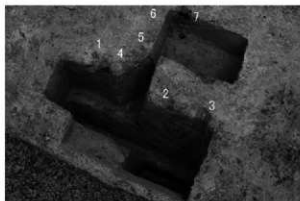
TP-28土層断面(南東から)



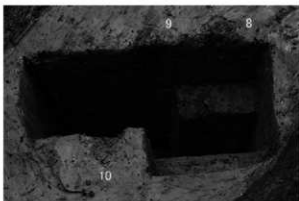
TP-30土層断面(東から)



TP-31土層断面(北から)



TP-6・sp-1~7(北東から)



TP-20・sp-8~10(南東から)



TP-2 土層断面(北東から)



TP-4 土層断面(東から)



TP-8 土層断面(北東から)



TP-9 土層断面(東から)



TP-10 土層断面(北西から)



TP-23 土層断面(東から)



TP-24 土層断面(南から)



TP-26 土層断面(南東から)



TP-27 土層断面(南東から)



TP-29土層断面(南東から)



TP-1完掘状況(南から)



TP-2完掘状況(北東から)



TP-3完掘状況(南から)



TP-4完掘状況(南東から)



TP-8完掘状況(北西から)



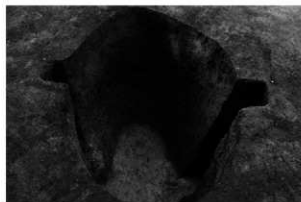
TP-9完掘状況(東から)



TP-10完掘状況(北西から)



TP-11完掘状況(南東から)



TP-5 完掘状況(南東から)



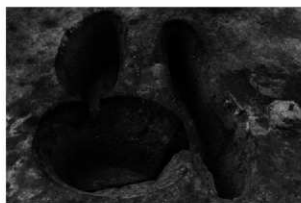
TP-6 完掘状況(南から)



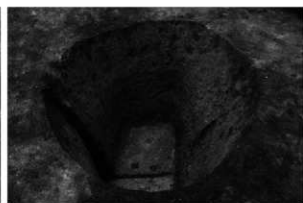
TP-7 完掘状況(南東から)



TP-12(右)・13(左) 完掘状況(南東から)



TP-14(左前)・15(右)・16(左奥) 完掘状況(南東から)



TP-17 完掘状況(東から)



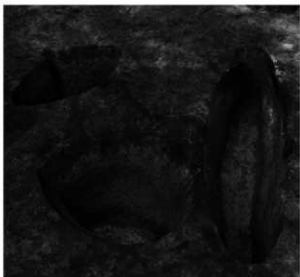
TP-18 完掘状況(南東から)



TP-19 完掘状況(南東から)



TP-20完掘状況(南から)



TP-18(左)・21(中)・22(右)完掘状況(東から)



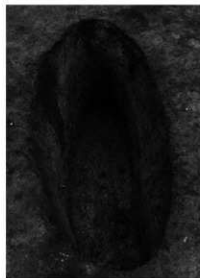
TP-23完掘状況(東から)



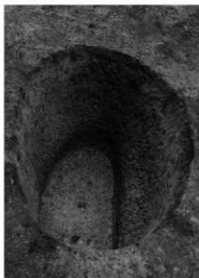
TP-24完掘状況(南から)



TP-25完掘状況(南から)



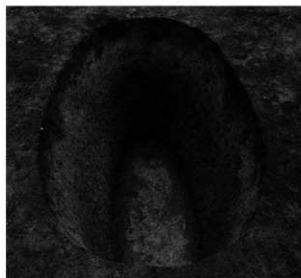
TP-26完掘状況(南東から)



TP-27完掘状況(北西から)



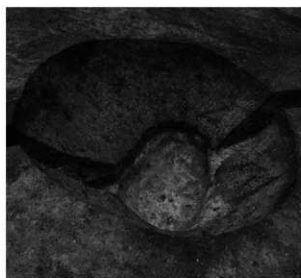
TP-28完掘状況(北西から)



TP-29完掘状況(北西から)



TP-30完掘状況(北西から)



TP-31完掘状況(北東から)



TP-31・h-1(北西から)



F-1土層断面(南西から)



PS-1(北から)



P S - 2 (北西から)



P S - 3 A (東から)



P S - 3 B (北西から)



P S - 4 (北西から)



P S - 5 (北東から)



P S - 5 A (北から)



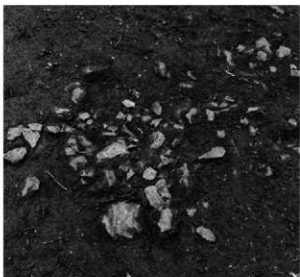
PS-5B (北西から)



PS-6 (北東から)



PS-7 (南西から)



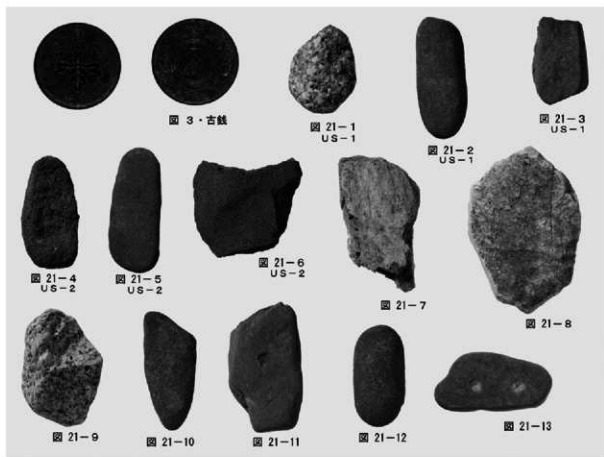
FC-1 (東から)



S-1 (北東から)



S-1 土器出土状況 (南東から)



I・Ⅲ層出土遺物



US-1・2出土のレキ





図 56-1
H-1

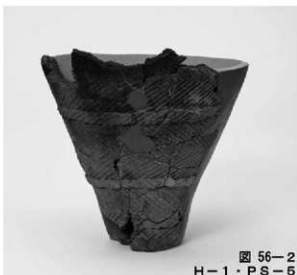


図 56-2
H-1・PS-6



図 56-3
TP-21



図 56-4
TP-26

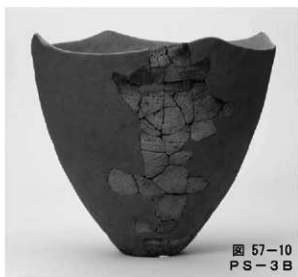


図 56-5
TP-29

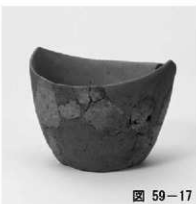
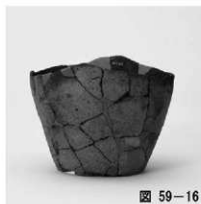
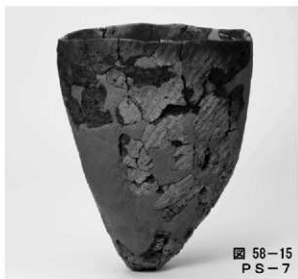
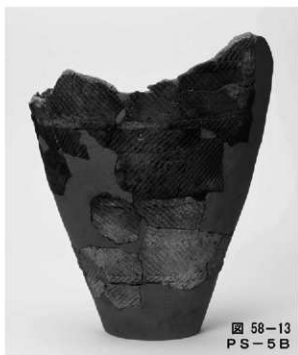


図 56-6
S-1

上幌内4遺跡 復原土器(1)



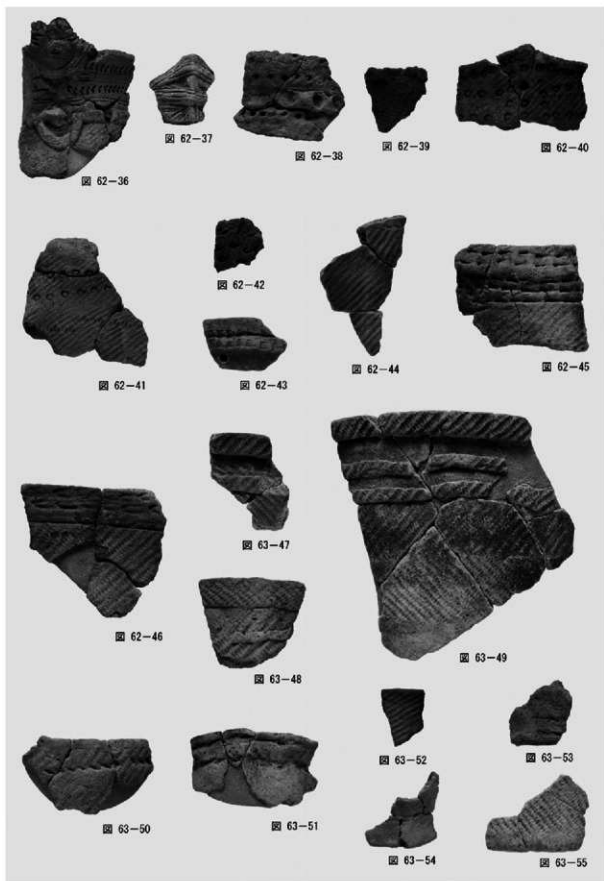
上幌内4遺跡 復原土器(2)



上幌内4遺跡 復原土器(3)



上幌内4遺跡 破片土器(1)



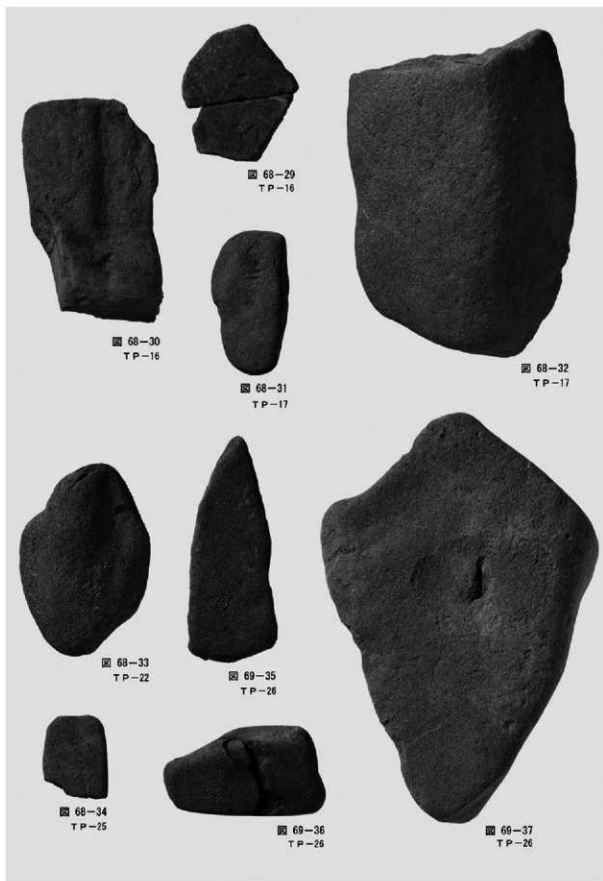
上横内4遺跡 破片土器(2)



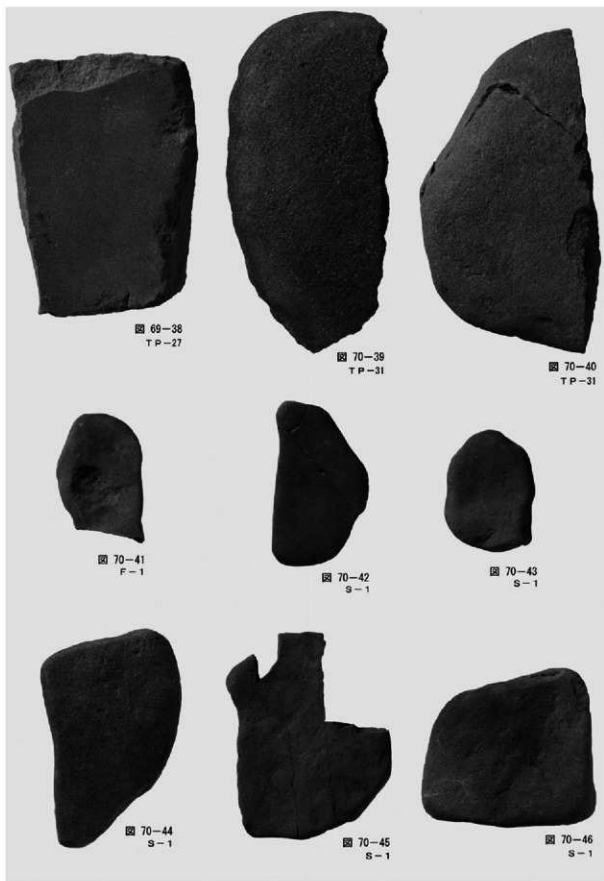
上幌内4遺跡 石器等(1)



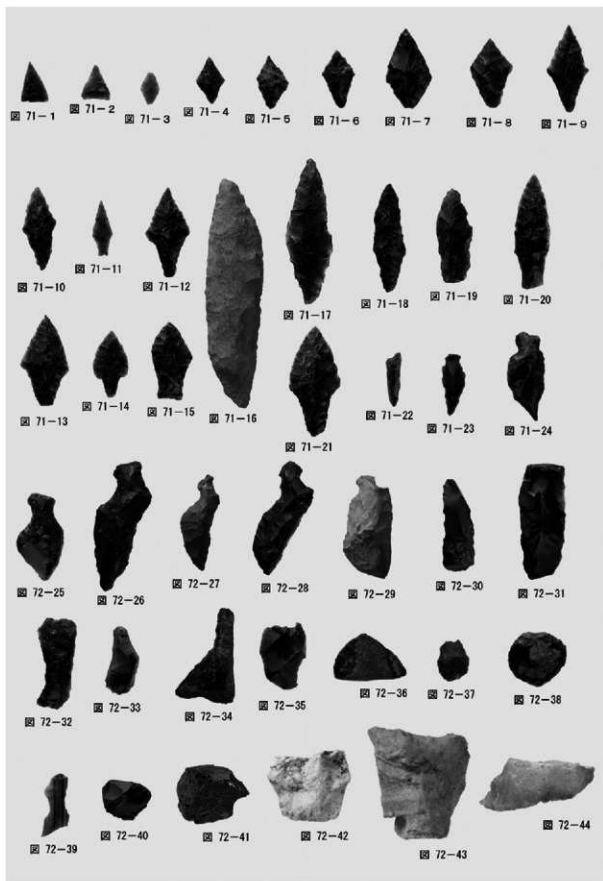
上幌内4遺跡 石器等(2)



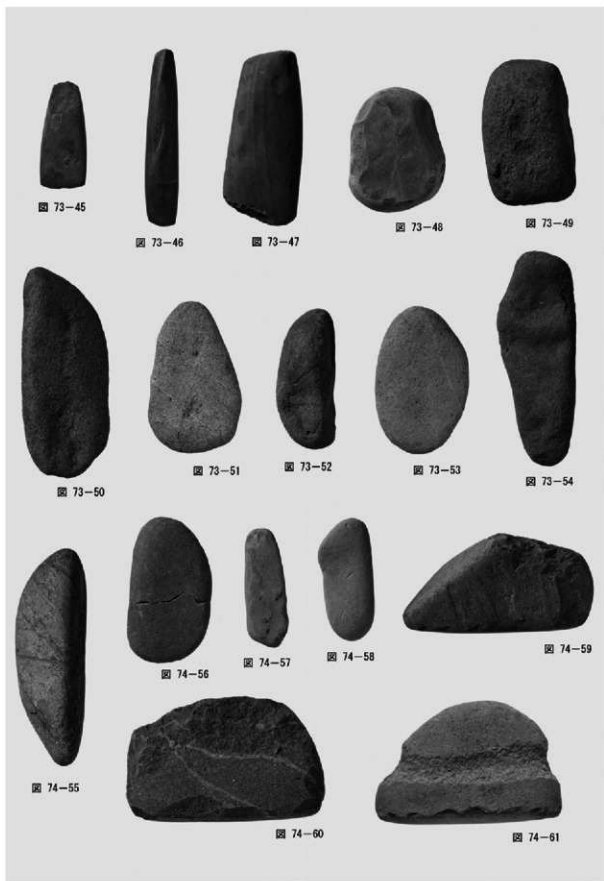
上幌内4遺跡 石器等(3)



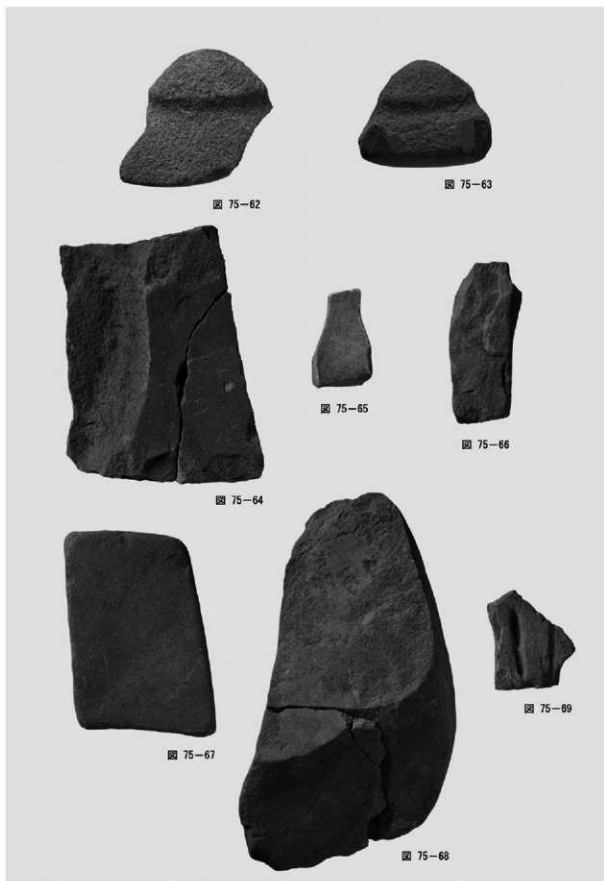
上幌内4遺跡 石器等(4)



上幌内4遺跡 石器等(5)



上幌内4遺跡 石器等(6)



上幌内4遺跡 石器等(7)

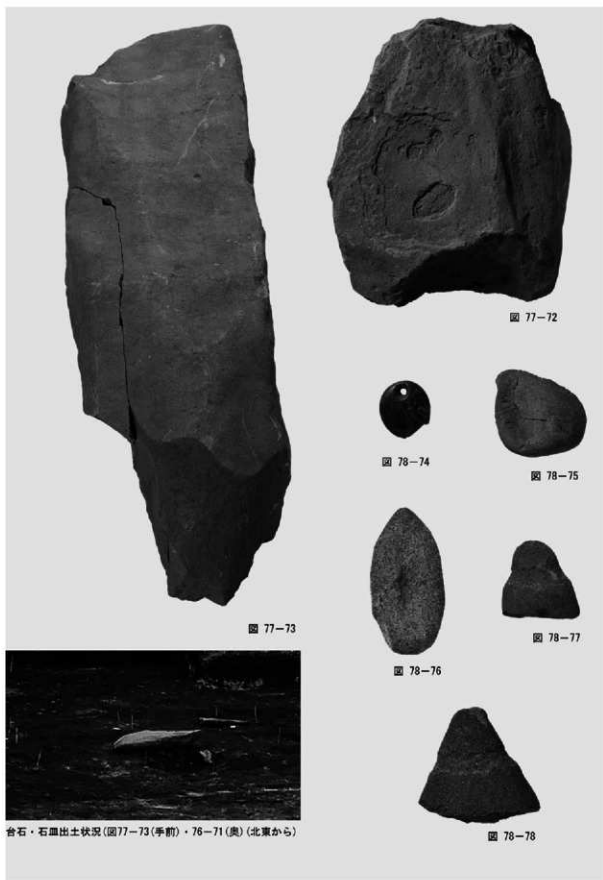


图 76-70



图 76-71

上幌内4遺跡 石器等(8)



上幌内4遺跡 石器等(9)



平成25(2013)年度 L-2 地区完掘状況(西から)



平成27(2015)年度 L-4 地区調査風景1(南西から)



平成27(2015)年度 L-4 地区調査風景2(東から)



平成27(2015)年度 R-2 地区調査風景(西から)



平成28(2016)年度 R-3 地区東側部分調査風景(西から)



基本土層(北西から)



平成28(2016)年度 R-3 地区北西側部分調査風景(南東から)



H-1土層断面(南から)



H-1・hp-1完掘状況(北から)



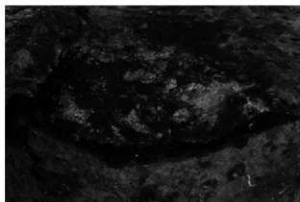
H-1・hp-2土層断面(北東から)



H-1・hp-3完掘状況(東から)



H-1完掘状況(北東から)



P-1 土層断面(東から)



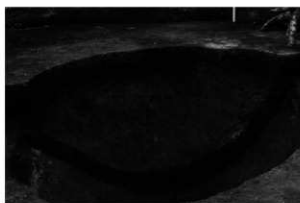
P-1 完掘状況(北西から)



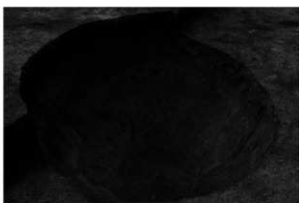
P-2 土層断面(南から)



P-2 完掘状況(北から)



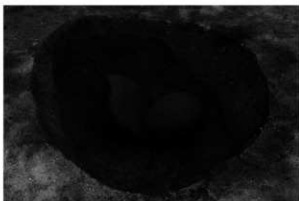
P-3 土層断面(北西から)



P-3 完掘状況(北から)



P-4 土層断面(東から)



P-4 完掘状況(東から)



P-5 土層断面(南から)



P-5 完掘状況(南から)



P-6 土層断面(南東から)



P-6 完掘状況(北東から)



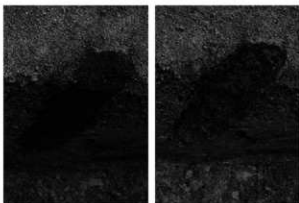
P-7 土層断面(南東から)



P-7 遺物出土状況(南西から)



P-8 完掘状況(南東から)



SP-1 土層断面(南東から) SP-1 完掘状況(南東から)



TP-1 土層断面(北東から)



TP-2 土層断面(北から)



TP-3 土層断面(北から)



TP-4 土層断面(南西から)



TP-5 土層断面(南から)



TP-6 土層断面(北東から)



TP-8 土層断面(北西から)



TP-7 土層断面(西から)



TP-9 土層断面(南東から)



TP-10 土層断面(南から)



TP-11 土層断面(東から)



TP-12 土層断面(西から)



TP-13 土層断面(南西から)



TP-14 土層断面(東から)



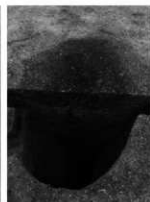
TP-16 土層断面(南東から)



TP-15土層断面(南東から)



TP-17土層断面(東から)



TP-18土層断面(東から)



TP-19土層断面(南西から)



TP-20土層断面(南から)



TP-23土層断面(南東から)



TP-21土層断面(南東から)



TP-22土層断面(東から)



TP-24土層断面(南東から)



TP-25土層断面(南東から)



TP-28土層断面(東から)



TP-26土層断面(南東から)



TP-27土層断面(北東から)



TP-29土層断面(南から)



TP-30土層断面(南東から)



TP-31土層断面(南から)



TP-32土層断面(南東から)



TP-33土層断面(南東から)



TP-34土層断面(南東から)



TP-35土層断面(南から)



TP-37土層断面(南から)



TP-40土層断面(東から)



TP-38(左)・TP-39(右)土層断面(北から)



TP-41土層断面(南東から)



TP-42土層断面(南東から)



TP-43土層断面(北東から)



TP-44土層断面(南から)



TP-45土層断面(南から)



TP-46土層断面(南東から)



TP-47土層断面(南から)



TP-48土層断面(南から)



TP-49土層断面(北東から)



TP-50土層断面(南から)



TP-51土層断面(南から)



TP-52土層断面(南東から)



TP-53土層断面(南東から)



TP-54土層断面(南東から)



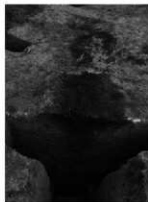
TP-55土層断面(南東から)



TP-56土層断面(南東から)



TP-57土層断面(南から)



TP-58土層断面(南東から)



TP-59土層断面(南東から)



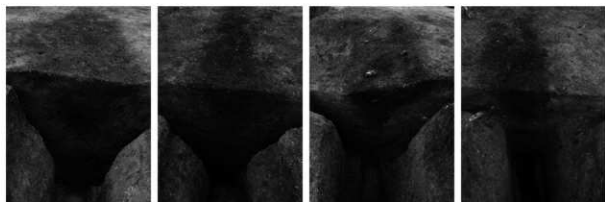
TP-60土層断面(南から)



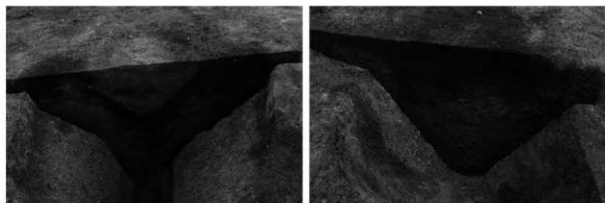
TP-61土層断面(南から)



TP-62土層断面(南から) TP-63(左)・TP-64(右)土層断面(南東から) TP-65土層断面(南西から)

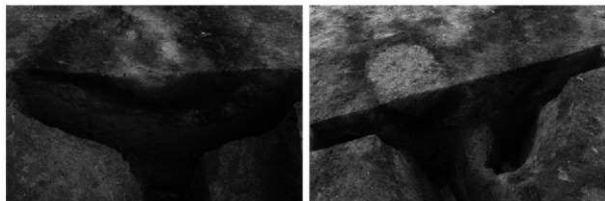


TP-66土層断面(南東から) TP-67土層断面(南から) TP-68土層断面(南東から) TP-72土層断面(南東から)



TP-69土層断面(南東から)

TP-70土層断面(南西から)



TP-71土層断面(南から)

TP-73(右)・TP-74(左)土層断面(南から)



(T)P-75土層断面(南から)



TP-76土層断面(南東から)



TP-77土層断面(東から)



TP-78土層断面(東から)



TP-79土層断面(南西から)



TP-80土層断面(東から)



TP-81土層断面(東から)



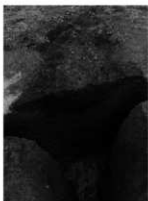
TP-82土層断面(南から)



TP-83土層断面(東から)



TP-84土層断面(南から)



TP-85土層断面(南から)



TP-86土層断面(東から)



TP-87土層断面(南東から) TP-88土層断面(東から) TP-89土層断面(東から) TP-91土層断面(南から)



TP-90土層断面(南西から)

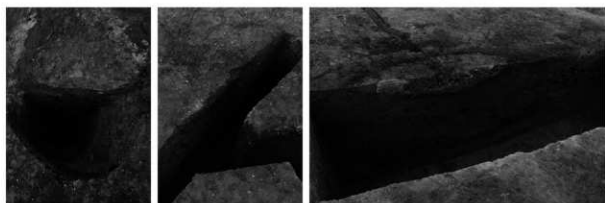
TP-92土層断面(南から)



TP-93土層断面(東から)

TP-94土層断面(南東から)

TP-95土層断面(南東から)



TP-96土層断面(南から)

(T)P-97土層断面(南東から)

TP-98土層断面(北東から)



(T) P-99土層断面(南東から)



TP-100土層断面(南から)



TP-102土層断面(南から)



TP-101土層断面(北東から)



(T) P-103土層断面(南から)



TP-104土層断面(北から)



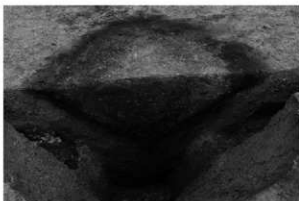
TP-105土層断面(南西から)



TP-107土層断面(南西から)



TP-106土層断面(南東から)



TP-108土層断面(南東から)



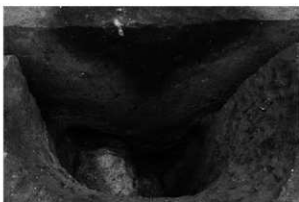
TP-109土層断面(南西から)



TP-110土層断面(南西から)



TP-111土層断面(南西から)



TP-112土層断面(南西から)



TP-113土層断面(南から)



TP-114土層断面(南から)



TP-115土層断面(西から)



TP-116土層断面(南から)



TP-117土層断面(南東から)



TP-118土層断面(南西から)



TP-120土層断面(西から)



TP-119土層断面(南から)



TP-121土層断面(北から)



TP-[122・123]土層断面(南から)



TP-124土層断面(南西から)



TP-125土層断面(南西から)



TP-126土層断面(西から)



TP-127土層断面(南東から)



TP-128土層断面(西から)



TP-134土層断面(南東から)



TP-129土層断面(南から)



TP-130土層断面(南から)



TP-131土層断面(南東から)



TP-132土層断面(南から)



TP-133土層断面(南から)



TP-135土層断面(東から)



TP-136土層断面(南東から)



TP-137土層断面(南東から)



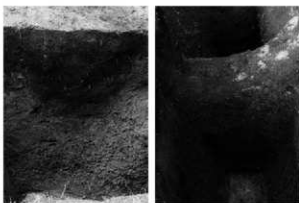
TP-138土層断面(東から)



TP-139土層断面(北から)



TP-140土層断面(南東から)



(T)P-141土層断面(東から)



TP-142土層断面(南西から)



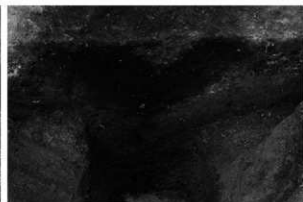
TP-143土層断面(南から)



TP-144土層断面(南から)



TP-145土層断面(南から)



TP-146土層断面(南から)



TP-147土層断面(南東から)



TP-148土層断面(南東から)



TP-149土層断面(南東から)



TP-150土層断面(南東から)



TP-151土層断面(南東から)



TP-152土層断面(南東から)



TP-153土層断面(南から)



TP-154土層断面(南東から)



TP-156土層断面(南東から)



TP-155土層断面(南東から)



TP-157土層断面(南から)



TP-158土層断面(南から)



TP-159土層断面(南東から)



TP-160土層断面(北東から)



TP-161土層断面(南東から)



TP-162土層断面(南東から)



TP-164土層断面(東から)



TP-163土層断面(東から)



TP-165土層断面(北西から)



TP-166土層断面(南から)



TP-167土層断面(南から)



TP-168土層断面(南から)



TP-169土層断面(南東から)



TP-171土層断面(南東から)



TP-170土層断面(南から)



TP-172(左)・TP-173(右)土層断面(南東から)



TP-174土層断面(南東から)



TP-175土層断面(南東から)



TP-176土層断面(南から)



TP-177土層断面(南から)



TP-178土層断面(南東から)



TP-179土層断面(南西から)



TP-180土層断面(南東から)



TP-181土層断面(南東から)



TP-182土層断面(南東から)



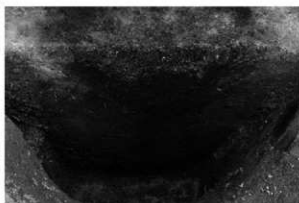
TP-183土層断面(南西から)



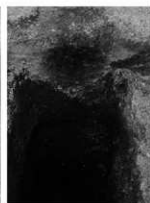
TP-184土層断面(南東から)



TP-185土層断面(南から)



TP-186土層断面(南西から)



TP-188土層断面(東から)



TP-187土層断面(東から)



TP-189土層断面(南西から)



TP-190土層断面(西から)



TP-191土層断面(西から)



TP-192土層断面(南から)



TP-193土層断面(南西から)



TP-194土層断面(南東から)



TP-195土層断面(南から)



TP-196土層断面(東から)



TP-197土層断面(南東から)



TP-201土層断面(東から)



TP-198土層断面(南から)



TP-199土層断面(南から)



TP-200土層断面(東から)



TP-202土層断面(南東から)



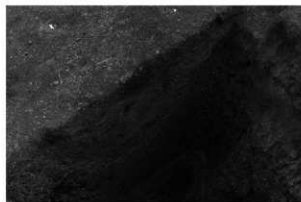
TP-203土層断面(南西から)



TP-204土層断面(南西から)



TP-205土層断面(南東から)



TP-206土層断面(南から)



TP-207土層断面(南東から)



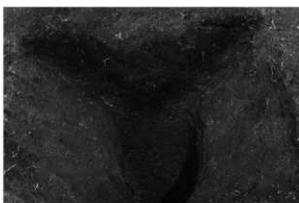
TP-208土層断面(南東から)



TP-209土層断面(南から)



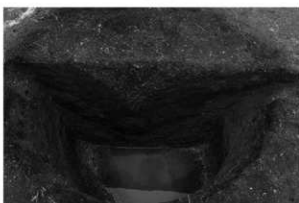
TP-210土層断面(南から)



TP-211土層断面(南から)



TP-212土層断面(南から)



TP-213土層断面(南から)



TP-214土層断面(南西から)



TP-215土層断面(南から)



TP-218土層断面(南から)



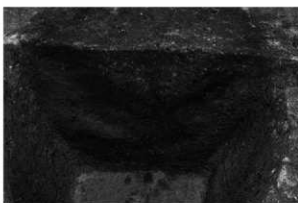
TP-216土層断面(南から)



TP-217土層断面(南から)



TP-219土層断面(南西から)



TP-220土層断面(南から)



TP-221土層断面(南東から)



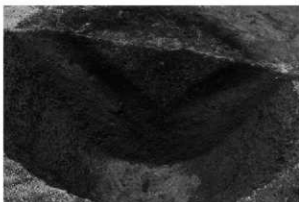
TP-222土層断面(南東から)



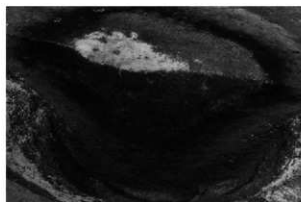
TP-224土層断面(西から)



TP-223土層断面(南から)



TP-225土層断面(南から)



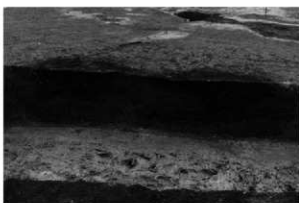
TP-226土層断面(南西から)



TP-227土層断面(南から)



TP-228土層断面(南から)



TP-229(左)・TP-230(右)土層断面(東から)



TP-231(左)・TP-232(右)土層断面(西から)



TP-233土層断面(南西から)



TP-234土層断面(南西から)



TP-235土層断面(南西から)



TP-236土層断面(南から)



TP-237土層断面(南から)



TP-238土層断面(南西から)



TP-239土層断面(南東から)



TP-240土層断面(南から)



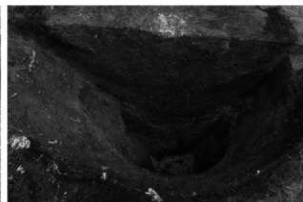
TP-241土層断面(西から)



TP-242土層断面(南から)



TP-243土層断面(東から)



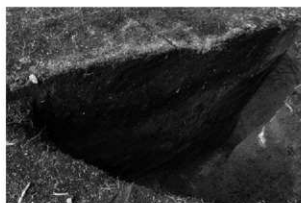
TP-244土層断面(南東から)



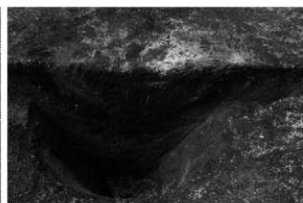
TP-245土層断面(南から)



TP-246土層断面(南から)



TP-247土層断面(南西から)



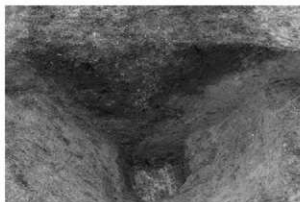
TP-248土層断面(南から)



TP-249土層断面(南から)



TP-250土層断面(南から)



TP-251土層断面(南東から)



TP-252土層断面(南西から)



TP-253土層断面(南東から)



TP-254土層断面(南から)



TP-255土層断面(南東から)



TP-256土層断面(西から)



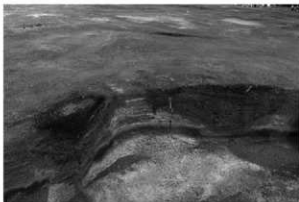
TP-257土層断面(南西から)



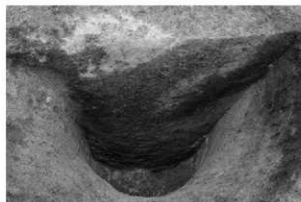
TP-259土層断面(南東から)



TP-258土層断面(南から)



TP-260(左)・TP-261(右)土層断面(南東から)



TP-262土層断面(南西から)



TP-263土層断面(南西から)



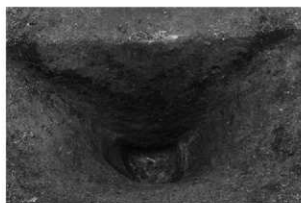
TP-267土層断面(南西から)



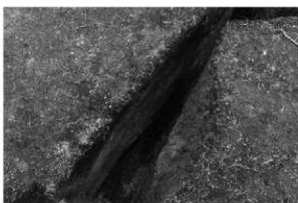
TP-264土層断面(南から)



TP-265土層断面(南から)



TP-266土層断面(南東から)



TP-268土層断面(南西から)



TP-269土層断面(南東から)



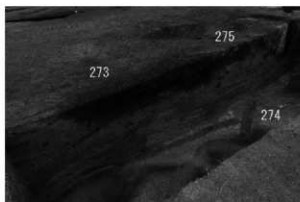
TP-270土層断面(北東から)



TP-271土層断面(南西から)



TP-272土層断面(南西から)



TP-273(左)・(TP-275(右)土層断面 TP-274(右手前)確認状況(北西から)



TP-276土層断面(南西から)



TP-277土層断面(西から)



TP-278土層断面(南西から)



TP-279土層断面(西から)



TP-280土層断面(西から) TP-284土層断面(南西から)



TP-281土層断面(南から)



TP-282土層断面(西から)



TP-283土層断面(東から)



TP-285土層断面(東から)



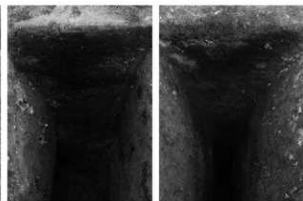
TP-286土層断面(南西から)



TP-287土層断面(東から)



TP-288土層断面(西から)



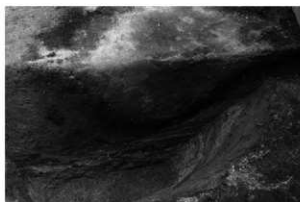
TP-289土層断面(西から) TP-290土層断面(南から)



TP-291土層断面(西から)



TP-292土層断面(南西から)



TP-293土層断面(南西から)



TP-294土層断面(南西から)



TP-295土層断面(南西から)



TP-296土層断面(北西から)



TP-297土層断面(南東から)



TP-298土層断面(西から)



TP-299土層断面(南西から)



TP-300土層断面(南西から)



TP-301土層断面(南西から)



TP-302土層断面(南から)



TP-303土層断面(東から)



TP-304土層断面(東から)



TP-305土層断面(西から)



TP-306土層断面(西から)



TP-312土層断面(南から)



TP-307土層断面(南東から)



TP-308土層断面(南東から)



TP-309(左)・(T)P-310(右)土層断面(南から)



TP-311土層断面(南東から)



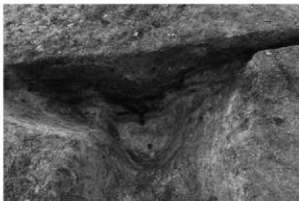
TP-313土層断面(西から)



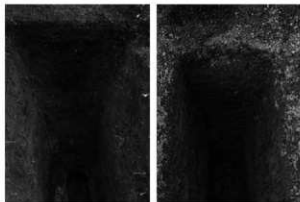
TP-314土層断面(西から) TP-317土層断面(西から)



TP-315土層断面(南東から)



TP-316土層断面(南東から)



TP-318土層断面(西から) TP-319土層断面(東から)



TP-320土層断面(東から)



TP-321(左)・TP-322(右)土層断面(南東から)



TP-323土層断面(西から)



TP-324土層断面(南西から)



TP-325土層断面(南西から)



TP-326土層断面(南西から)



TP-327土層断面(西から)



TP-328土層断面(南西から)



TP-329土層断面(東から)



TP-330土層断面(東から)



TP-331土層断面(南東から)



TP-332土層断面(南から)



TP-333土層断面(東から)



TP-334土層断面(南から)



TP-335土層断面(南東から)



TP-336土層断面(東から)



TP-337土層断面(北東から)



(TP-)338土層断面(東から)



TP-339土層断面(北東から)



TP-341土層断面(西から)



TP-340土層断面(南から)



TP-342土層断面(南西から)



TP-343土層断面(東から)



TP-344土層断面(南西から)



TP-345土層断面(東から)



TP-346土層断面(南から)



TP-347土層断面(北東から) TP-348(左)・TP-349(右)土層断面(南西から) TP-352土層断面(東から)



TP-350土層断面(南から)

TP-351土層断面(北東から)



TP-353土層断面(北から)

TP-354土層断面(南西から)

TP-360土層断面(北から)



TP-355土層断面(北東から)

TP-356土層断面(南東から)



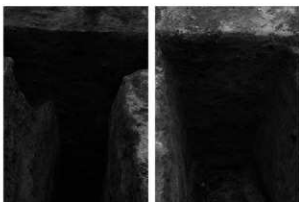
TP-357土層断面(北から)



TP-358土層断面(北東から)



TP-359土層断面(北東から)



TP-361土層断面(東から)

TP-362土層断面(北東から)



TP-363土層断面(東から)



TP-364土層断面(東から)



TP-365土層断面(東から)



TP-366土層断面(南東から)



TP-367土層断面(北東から)



TP-368土層断面(北東から)



TP-369土層断面(南東から)



TP-370(左)・TP-371(右)土層断面(南東から)



TP-372土層断面(南から)



TP-373土層断面(南から)



TP-374土層断面(北東から)



TP-378土層断面(南から)



TP-375土層断面(北東から)



TP-376土層断面(東から)



TP-377土層断面(南東から)



TP-379土層断面(北東から)



TP-380土層断面(南から)



TP-381土層断面(南東から)



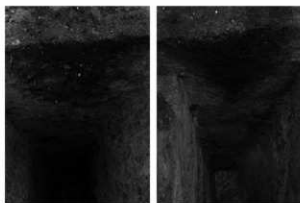
TP-382土層断面(南西から)



TP-383土層断面(南から)



TP-384土層断面(北から) TP-385土層断面(南から)



TP-386土層断面(南東から) TP-387土層断面(南から)



TP-388土層断面(南東から)



TP-389土層断面(南東から)



TP-390土層断面(南東から)



TP-391土層断面(北から)



TP-392土層断面(南東から)



TP-393土層断面(南東から)



TP-394土層断面(南西から)



TP-397土層断面(南東から)



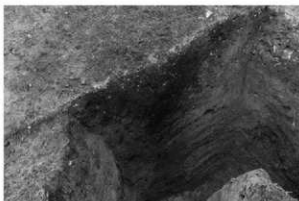
TP-395土層断面(南東から)



TP-396土層断面(南東から)



TP-398土層断面(北から)



TP-399土層断面(南東から)



TP-400土層断面(南から)



TP-401土層断面(南から)



TP-402土層断面(北東から)



TP-403土層断面(南から)



TP-404土層断面(南から)



TP-405土層断面(北東から)



TP-407土層断面(南から)



TP-406土層断面(北東から)



TP-408土層断面(南東から)



TP-409土層断面(北から)



TP-410土層断面(北東から)



TP-411土層断面(東から)



TP-413土層断面(北から)



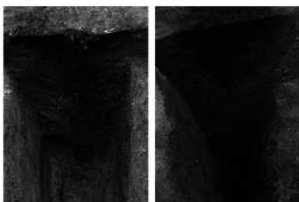
TP-412土層断面(南から)



TP-414土層断面(北東から)



TP-415土層断面(南西から)



TP-416土層断面(北東から) TP-423土層断面(南から)



TP-417土層断面(北東から)



TP-418土層断面(南西から)



TP-419土層断面(東から)



TP-420土層断面(南から)



TP-421土層断面(北東から)



TP-422土層断面(南から)



TP-424土層断面(南西から)



TP-425土層断面(南から)



TP-426土層断面(北西から)



平成28(2016)年度 R-3地区北～東側部分調査風景(西から)



TP-1 完掘状況(北東から)



TP-2 完掘状況(北から)



TP-3 完掘状況(北から)



TP-4 完掘状況(北東から)



TP-5 完掘状況
(平成25(2013)年度)(南西から)



TP-7 完掘状況(東から)



TP-8 完掘状況(南西から)



TP-9 完掘状況(南東から)



TP-10 完掘状況(南西から)



TP-11 完掘状況(西から)



TP-12 完掘状況(西から)



TP-13 完掘状況(北東から)



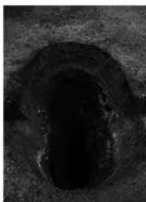
TP-14 完掘状況(西から)



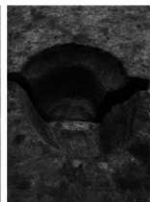
TP-15 完掘状況(南から)



TP-16完掘状況(南東から)



TP-17完掘状況(東から)



TP-19完掘状況(南から)



TP-18完掘状況(南東から)



TP-20完掘状況(北から)



TP-21完掘状況(南東から)



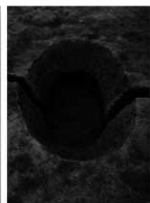
TP-22完掘状況(南東から)



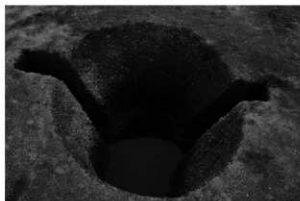
TP-23完掘状況(南東から)



TP-24完掘状況(北西から)



TP-25完掘状況(南東から)



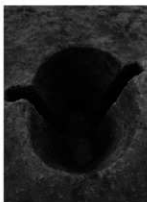
TP-26完掘状況(北西から)



TP-27完掘状況(東から)



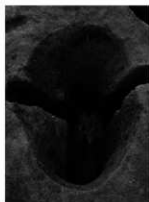
T P - 28完掘状況(西から)



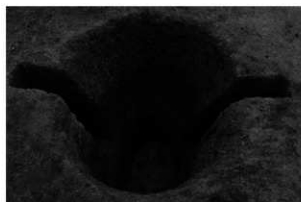
T P - 29完掘状況(北から)



T P - 30完掘状況(北西から)



T P - 31完掘状況(北から)



T P - 32完掘状況(北西から)



T P - 33完掘状況(北西から)



T P - 34完掘状況(南東から)



T P - 35完掘状況(北から)



T P - 36完掘状況(北から)



T P - 37完掘状況(北から)



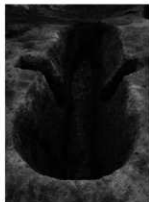
T P - 38(奥)・T P - 39(手前)
完掘状況(北西から)



T P - 40完掘状況(西から)



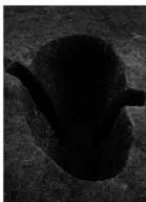
T P - 41完掘状況(北西から)



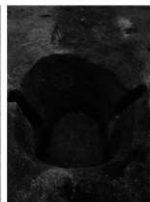
T P - 42完掘状況(南東から)



T P - 43完掘状況(北から)



T P - 44完掘状況(北から)



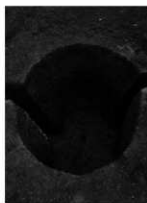
T P - 47完掘状況(北から)



T P - 45完掘状況(北から)



T P - 46完掘状況(北西から)



T P - 48完掘状況(北から)



T P - 49完掘状況(南西から)



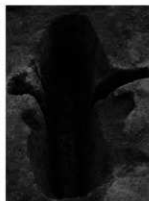
T P - 50完掘状況(北から)



T P - 51完掘状況(南東から)



T P - 52完掘状況(南東から)



T P - 53完掘状況(北西から)



T P - 54完掘状況(北西から)



T P - 55完掘状況(北西から)



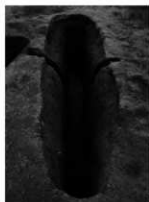
T P - 56完掘状況(南から)



T P - 57完掘状況(北から)



T P - 58完掘状況(南から)



T P - 59完掘状況(北西から)



T P - 60完掘状況(北から)



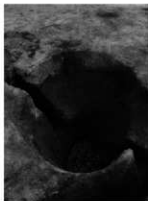
T P - 61完掘状況(北西から)



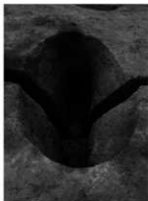
T P - 62完掘状況(北から)



T P - 63完掘状況(北西から)



T P - 64完掘状況(西から)



T P - 65完掘状況(北東から)



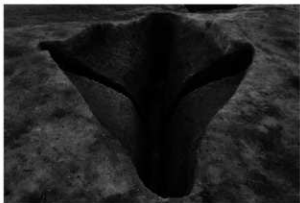
T P - 66完掘状況(南東から)



T P - 67完掘状況(北から)



T P - 68完掘状況(北東から)



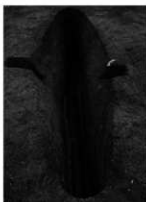
T P - 69完掘状況(北西から)



T P - 70完掘状況(南から)



TP-71完掘状況(北から)



TP-72完掘状況(北西から)



TP-73完掘状況(北から)



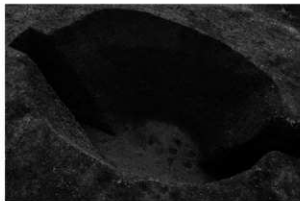
TP-74完掘状況(北西から)



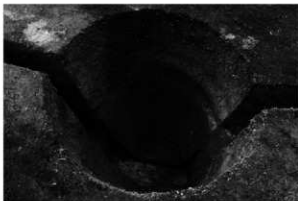
(T)P-75完掘状況(北から)



TP-76(左奥)・TP-101(右手前)完掘状況(北から)



TP-77完掘状況(東から)



TP-78完掘状況(東から)



TP-79完掘状況(北東から)



TP-80完掘状況(西から)



TP-81完掘状況(南東から)



TP-82完掘状況(北から)



T P-83完掘状況(東から)



T P-84完掘状況(北から)



T P-85完掘状況(北から)



T P-86完掘状況(東から)



T P-87完掘状況(南東から)



T P-88完掘状況(東から)



T P-89完掘状況(東から)



T P-90完掘状況
(平成28(2016)年度)(南西から)



T P-91完掘状況(南東から)



T P-92完掘状況(東から)



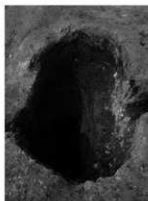
T P-93完掘状況(東から)



T P-94完掘状況(北西から)



T P-95完掘状況(北東から)



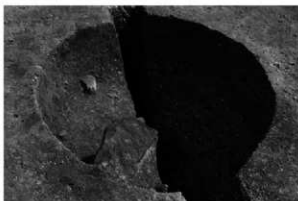
T P-96完掘状況(南から)



(T) P-97(左)・(T) P-103(右)完掘状況(西から)



TP-98完掘状況(北西から)



(T)P-99完掘状況(西から)



TP-100完掘状況(北から)



TP-102完掘状況(北から)



TP-104完掘状況(南から)



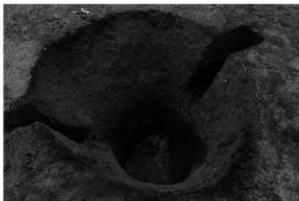
TP-105完掘状況(北東から)



TP-107完掘状況(北東から)



TP-106完掘状況(北西から)



TP-108完掘状況(北西から)



TP-109完掘状況(北東から)



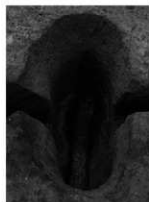
TP-110完掘状況(北から)



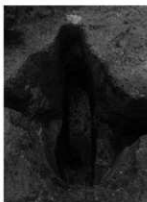
TP-111完掘状況(北東から)



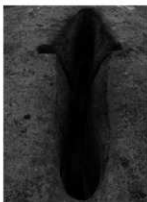
TP-112完掘状況(北東から)



TP-113完掘状況(北から)



TP-114完掘状況(北から)



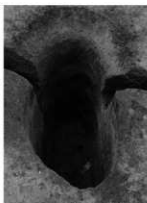
TP-115完掘状況(東から)



TP-116完掘状況(南から)



TP-117完掘状況(北西から)



TP-118完掘状況(北から)



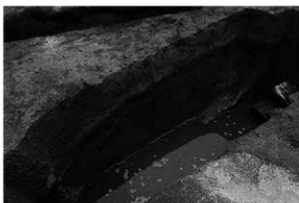
TP-119完掘状況(北から)



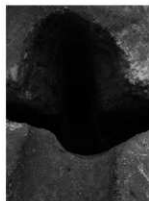
TP-120完掘状況(東から)



TP-121完掘状況(北から)



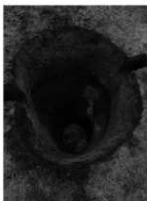
TP-[122・123]完掘状況(南西から)



TP-124完掘状況(南西から)



TP-125完掘状況(北東から)



TP-126完掘状況(東から)



TP-127完掘状況(北西から)



TP-128完掘状況(東から)



TP-129完掘状況(北から)



TP-130完掘状況(西から)



TP-131完掘状況(北西から)



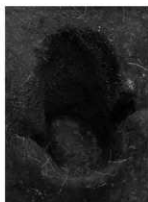
TP-132完掘状況(北西から)



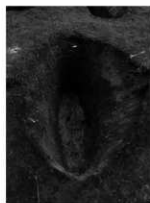
TP-133完掘状況(北西から)



TP-134完掘状況(北西から)



TP-135完掘状況(西から)



TP-136完掘状況(北西から)



TP-137完掘状況(北から)



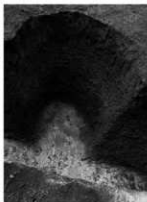
TP-138完掘状況(西から)



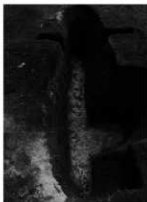
TP-139完掘状況(南から)



TP-140完掘状況(北西から)



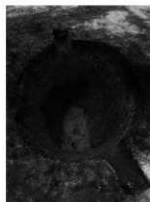
(T)P-141完掘状況(東から)



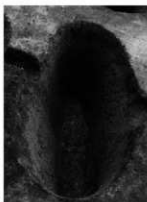
TP-142完掘状況(北東から)



TP-143完掘状況(南東から)



TP-144完掘状況(東から)



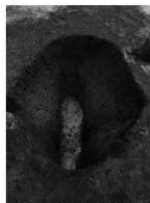
TP-145完掘状況(北から)



TP-146完掘状況(南から)



TP-147完掘状況(北西から)



TP-148完掘状況(北西から)



TP-149完掘状況(南東から)



TP-150完掘状況(南西から)



TP-151完掘状況(北西から)



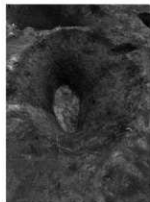
TP-152完掘状況(北西から)



TP-153完掘状況(北から)



TP-154完掘状況(南東から)



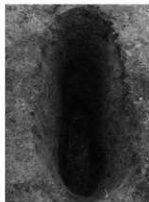
TP-155完掘状況(北から)



TP-156完掘状況(北西から)



TP-157完掘状況(北から)



TP-158完掘状況(北から)



TP-159完掘状況(北西から)



TP-160完掘状況(北東から)



TP-161完掘状況(北西から)



TP-162完掘状況(南東から)



TP-163完掘状況(北西から)



TP-164完掘状況(北から)



TP-165完掘状況(北から)



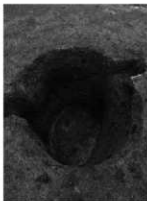
TP-166完掘状況(北から)



TP-167完掘状況(北から)



TP-168完掘状況(北から)



TP-169完掘状況(北西から)



TP-170完掘状況(北から)



TP-171完掘状況(北西から)



TP-172完掘状況(北東から)



TP-173完掘状況(北から)



TP-174完掘状況(北西から)



T P - 190完掘状況(東から)



T P - 191完掘状況(東から)



T P - 192完掘状況(北から)



T P - 193完掘状況(北東から)



T P - 194完掘状況(南東から)



T P - 195完掘状況(北から)



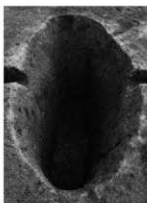
T P - 196完掘状況(東から)



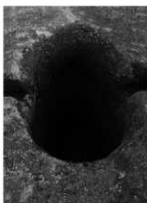
T P - 197完掘状況(北西から)



T P - 198完掘状況(北から)



T P - 199完掘状況(北から)



T P - 200完掘状況(西から)



T P - 201完掘状況(西から)



T P - 202完掘状況(北西から)



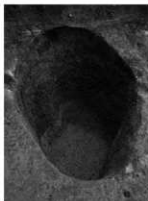
T P - 203完掘状況(南西から)



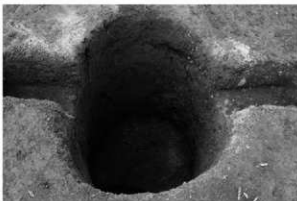
T P - 204完掘状況(北東から)



T P - 205完掘状況(南東から)



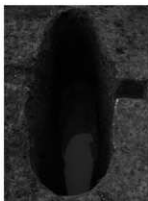
T P - 206完掘状況(北から)



T P - 208完掘状況(北西から)



T P - 209完掘状況(北から)



T P - 210完掘状況(北から)



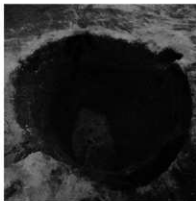
T P - 211完掘状況(北から)



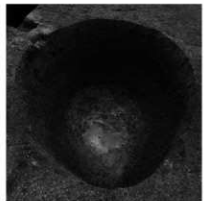
T P - 212完掘状況(北から)



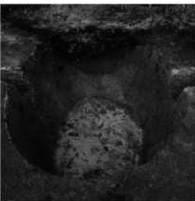
T P - 214完掘状況(北東から)



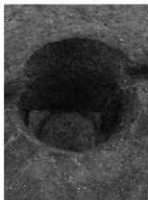
T P - 207完掘状況(北から)



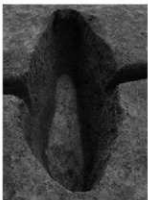
T P - 213完掘状況(北西から)



T P - 215完掘状況(南から)



T P - 216完掘状況(北東から)



T P - 217完掘状況(北から)



T P - 218完掘状況(北から)



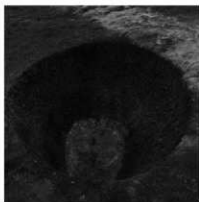
T P - 219完掘状況(北東から)



TP-220完掘状況(北から)



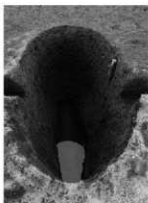
TP-221完掘状況(北から)



TP-225完掘状況(北から)



TP-222完掘状況(北西から)



TP-223完掘状況(北から)



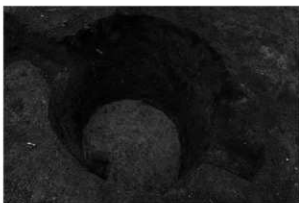
TP-224完掘状況(東から)



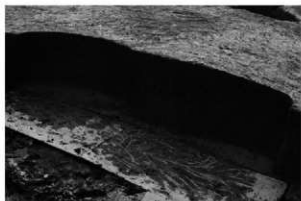
TP-228完掘状況(北から)



TP-226完掘状況(南東から)



TP-227完掘状況(北西から)



TP-229(左)・TP-230(右)完掘状況(東から)



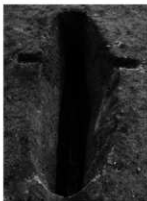
TP-231(左)・TP-232(右)完掘状況(西から)



TP-233完掘状況(南東から)



TP-234完掘状況(北東から)



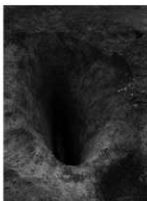
TP-235完掘状況(北東から)



TP-237完掘状況(南西から)



TP-236完掘状況(東から)



TP-238完掘状況(北東から)



TP-239完掘状況(北西から)



TP-240完掘状況(北から)



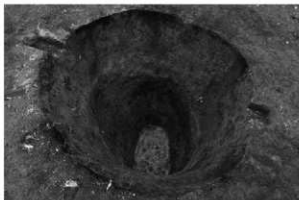
TP-241完掘状況(北東から)



TP-242完掘状況(東から)



TP-243完掘状況(北東から)



TP-244完掘状況(北西から)



TP-245完掘状況(北から)



TP-246完掘状況(北から)



TP-247(横方向)・TP-268
(右縦方向)完掘状況(東から)



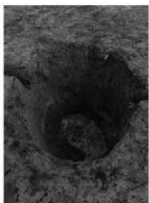
TP-248完掘状況(北から)



TP-249完掘状況(南から)



TP-250完掘状況(北から)



TP-251完掘状況(北西から)



TP-252完掘状況(北東から)



TP-253完掘状況(北から)



TP-254完掘状況(北から)



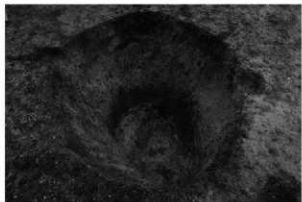
TP-255完掘状況(北東から)



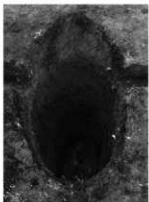
TP-256完掘状況(東から)



TP-257完掘状況(北東から)



TP-258完掘状況(北から)



TP-259完掘状況(南東から)



TP-261完掘状況(北東から)



TP-260完掘状況(東から)



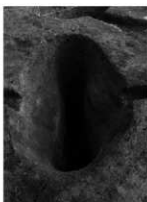
TP-262完掘状況(北東から)



TP-263完掘状況(北東から)



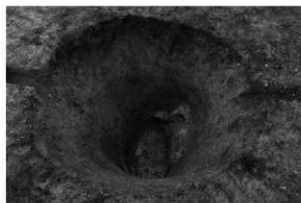
TP-264完掘状況(北から)



TP-265完掘状況(北から)



TP-267完掘状況(北東から)



TP-266完掘状況(南東から)



TP-270完掘状況(北東から)



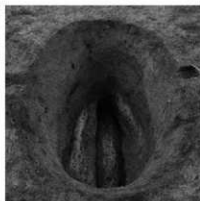
TP-273完掘状況(北から)



TP-269完掘状況(北から)



TP-271完掘状況(北東から)



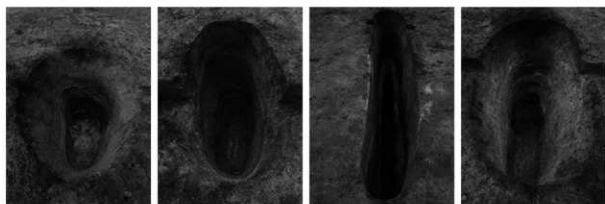
TP-272完掘状況(北東から)



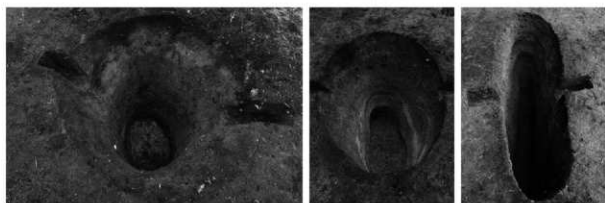
TP-274完掘状況(北西から) (TP-)275完掘状況(北から) TP-276完掘状況(南西から) TP-277完掘状況(東から)



TP-278完掘状況(北東から) TP-279完掘状況(東から) TP-280完掘状況(東から) TP-281完掘状況(南から)



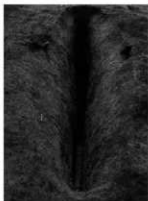
TP-282完掘状況(東から) TP-283完掘状況(東から) TP-284完掘状況(南西から) TP-286完掘状況(北東から)



TP-285完掘状況(東から) TP-287完掘状況(西から) TP-288完掘状況(東から)



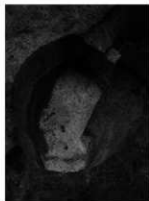
TP-289完掘状況(西から)



TP-290完掘状況(北から)



TP-291完掘状況(東から)



TP-292完掘状況(南東から)



TP-293完掘状況(南西から)



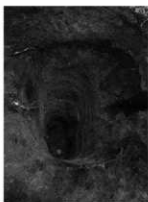
TP-294完掘状況(北東から)



TP-295完掘状況(南西から)



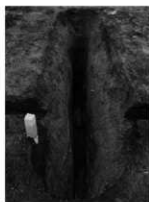
TP-296完掘状況(南東から)



TP-297完掘状況(南東から)



TP-298完掘状況(西から)



TP-299完掘状況(北東から)



TP-300完掘状況(南西から)



TP-301完掘状況(南西から)



TP-302完掘状況(北東から)



TP-303完掘状況(東から)



TP-304完掘状況(西から)



TP-305完掘状況(西から)



TP-306完掘状況(東から)



TP-307完掘状況(南東から)



TP-308完掘状況(南東から)



TP-309(縦方向)・(TP-310
(手前横方向)完掘状況(北東から)



TP-311完掘状況(北西から)



TP-312完掘状況(北から)



TP-313完掘状況(東から)



TP-314完掘状況(北から)



TP-315完掘状況(南東から)



TP-316完掘状況(北西から)



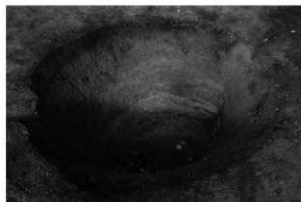
TP-317完掘状況(東から)



TP-318完掘状況(東から)



TP-319完掘状況(西から)



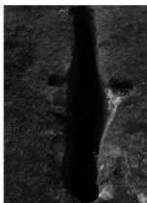
T P - 320完掘状況(南東から)



T P - 321(左)・T P - 322(右)完掘状況(南から)



T P - 323完掘状況(西から)



T P - 324完掘状況(北東から)



T P - 325完掘状況(北東から)



T P - 326完掘状況(北東から)



T P - 327完掘状況(西から)



T P - 328完掘状況(南西から)



T P - 329完掘状況(西から)



T P - 330完掘状況(東から)



T P - 331完掘状況(西から)



T P - 332完掘状況(北東から)



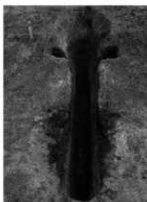
T P - 333完掘状況(東から)



T P - 335完掘状況(南東から)



TP-334完掘状況(南から)



TP-336完掘状況(西から)



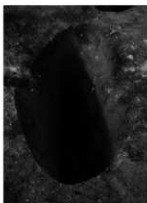
TP-337完掘状況(南西から)



(TP-338)完掘状況(東から)



TP-339完掘状況(北東から)



TP-340完掘状況(南から)



TP-341完掘状況(西から)



TP-342完掘状況(北東から)



TP-343完掘状況(東から)



TP-344完掘状況(南西から)



TP-345完掘状況(西から)



TP-346完掘状況(南から)



TP-347完掘状況(南西から)



TP-348(手前)・TP-349(奥)
完掘状況(西から)



TP-350完掘状況(南から)



TP-351完掘状況(南西から)



TP-352完掘状況(東から)



TP-353完掘状況(北から)



TP-354完掘状況(北東から)



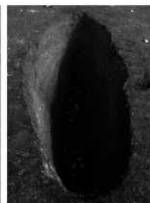
TP-355完掘状況(北東から)



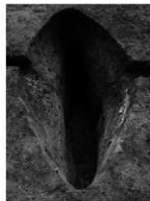
TP-356完掘状況(北西から)



TP-357完掘状況(北から)



TP-358完掘状況(南西から)



TP-359完掘状況(北東から)



TP-360完掘状況(北から)



TP-361完掘状況(西から)



TP-362完掘状況(北東から)



TP-363完掘状況(東から)



TP-364完掘状況(東から)



TP-365完掘状況(東から)



TP-366完掘状況(南東から)



TP-367完掘状況(北東から)



TP-368完掘状況(北東から)



TP-369完掘状況(南東から)



TP-372完掘状況(北から)



TP-370(左奥~右手前)・TP-371(右)完掘状況(南から)



TP-373完掘状況(北から)



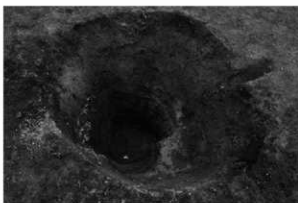
TP-374完掘状況(北東から)



TP-375完掘状況(南西から)



TP-376完掘状況(西から)



TP-377完掘状況(北西から)



TP-378完掘状況(南から)



TP-379完掘状況(南西から)



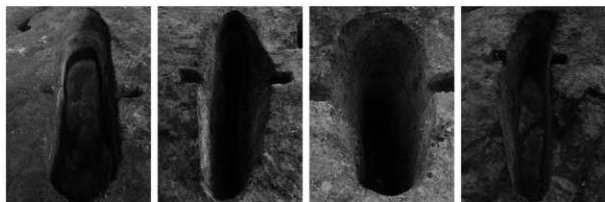
TP-380完掘状況(北から)



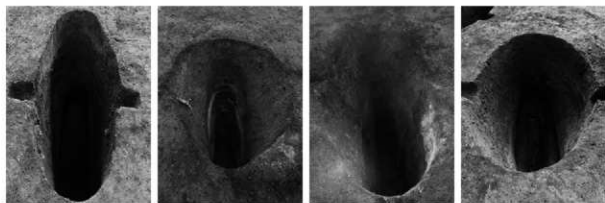
TP-383完掘状況(北から)



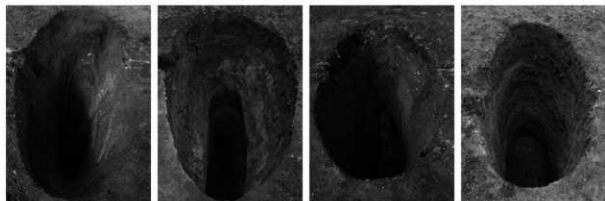
TP-381A・B・C完掘状況(南から) TP-382完掘状況(南西から) TP-388完掘状況(北西から)



TP-384完掘状況(南から) TP-385完掘状況(北から) TP-386完掘状況(北西から) TP-387完掘状況(北から)



TP-389完掘状況(北西から) TP-390完掘状況(北西から) TP-391完掘状況(北東から) TP-392完掘状況(北西から)



TP-393完掘状況(南東から) TP-394完掘状況(南西から) TP-395完掘状況(南東から) TP-396完掘状況(北西から)



TP-397完掘状況(南東から)



TP-398完掘状況(南から)



TP-399完掘状況(南から)



TP-400完掘状況(北から)



TP-401完掘状況(北東から)



TP-402完掘状況(北東から)



TP-403完掘状況(南から)



TP-404完掘状況(南西から)



TP-405完掘状況(北東から)



TP-406完掘状況(南西から)



TP-407完掘状況(南から)



TP-408完掘状況(北西から)



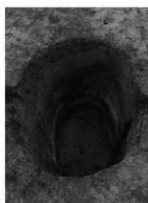
TP-409完掘状況(北から)



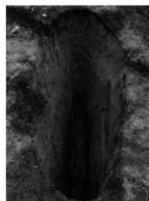
TP-410完掘状況(南西から)



TP-411完掘状況(東から)



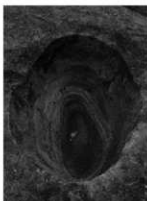
TP-412完掘状況(南から)



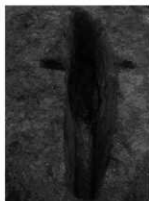
TP-413完掘状況(北から)



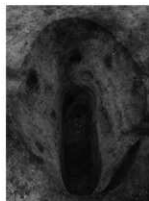
TP-414完掘状況(南西から)



TP-415完掘状況(北東から)



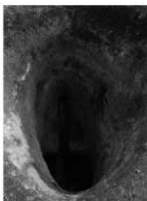
TP-416完掘状況(南西から)



TP-417完掘状況(南西から)



TP-418完掘状況(北東から)



TP-419完掘状況(北西から)



TP-420完掘状況(南から)



TP-421完掘状況(北東から)



TP-422完掘状況(北東から)



TP-423完掘状況(北東から)



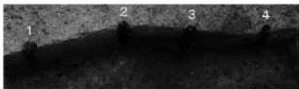
TP-424完掘状況(北東から)



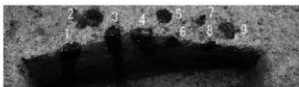
TP-425完掘状況(北から)



TP-426完掘状況(北西から)



TP-316・s p-1~4(北東から)



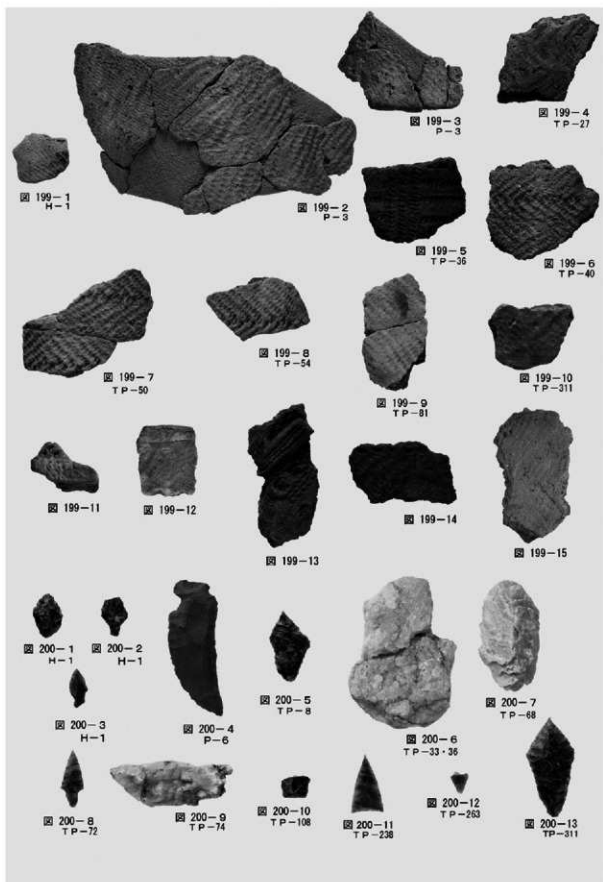
TP-388・s p-1~9(東から)



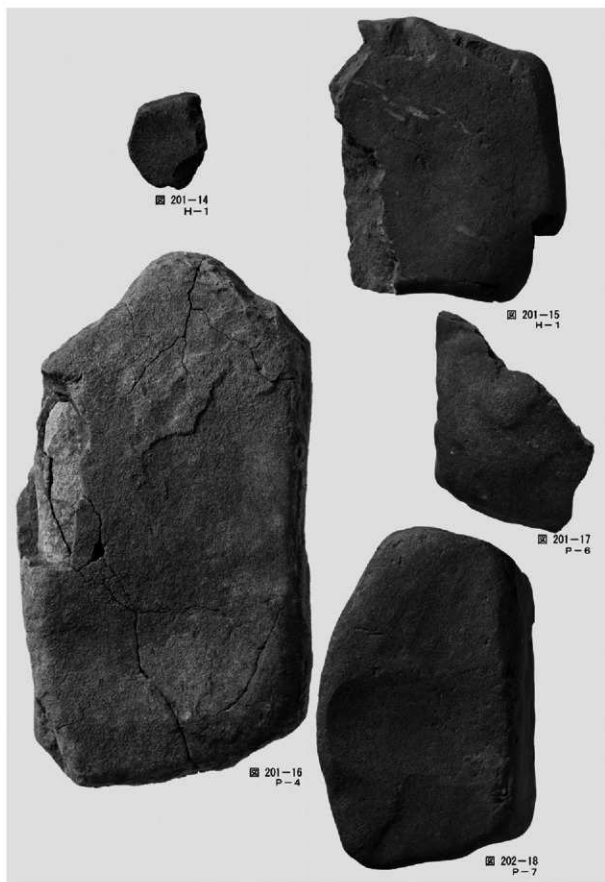
平成27(2015)年度 Tピット完掘状況 L-4地区(南東から)



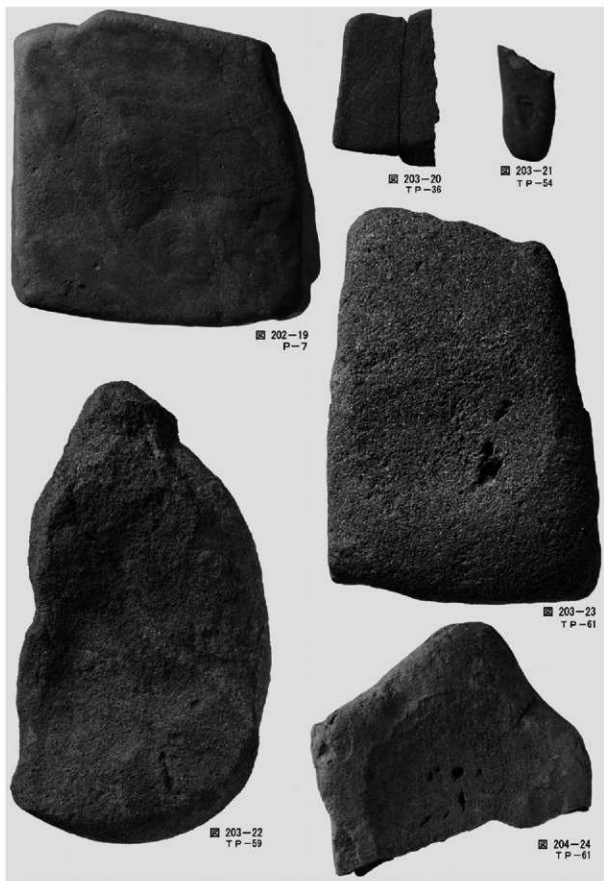
平成28(2016)年度 Tピット完掘状況 R-3地区東側部分(南東から)



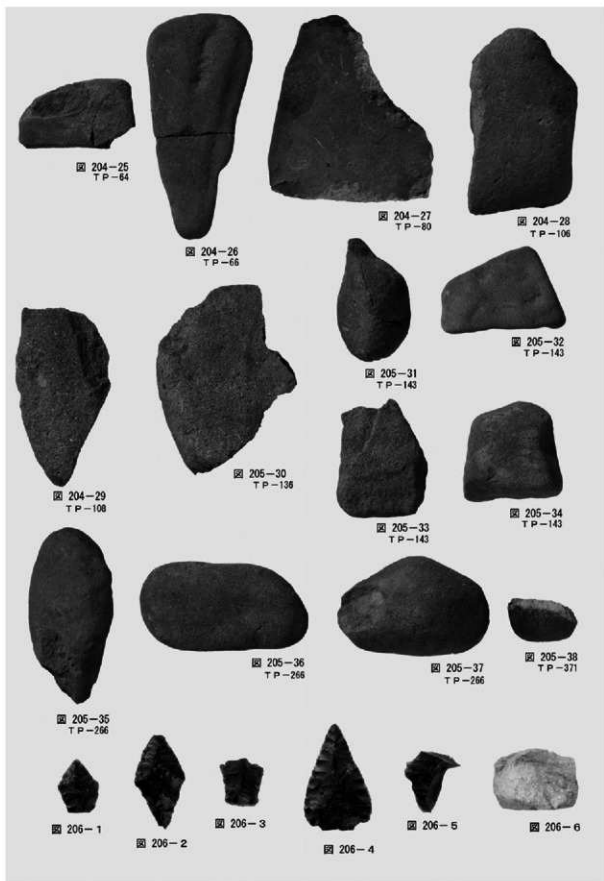
上幌内5遺跡 破片土器・遺構出土の剥片石器



上幌内5遺跡 礫石器(1)



上幌内5遺跡 磨石器(2)



上幌内5遺跡 礫石器(3)・包含層出土の剥片石器

引用参考文献

論文・書籍等

- 池田実・亀井喜久太郎 1976 『厚真の旧地名を尋ねて』
池田実・亀井喜久太郎 1978 『続 厚真の旧地名を尋ねて』
小山正忠・竹原秀雄 1967 『新版 標準土色帖』日本色研事業株式会社
松浦武四郎 秋葉実 解説 高倉新一郎校訂
1985 「戊午 東部 安都麻志 全」『戊午 東西蝦夷山川地理取調日誌 中』北海道出版企画センター

団体組織刊行物

- 厚真町 1986 『厚真町史』
厚真町 1998 『増補 厚真町史』
厚真シンポジウム実行委員会・厚真町教育委員会 2015
『厚真シンポジウム 遺跡が語るアイヌ文化の成立 -11～14世紀の北海道と本州島』
厚真町観内自治会 1997 『開基百年 観内のあゆみ』
厚真村 1956 『厚真村史』
厚真村教育委員会・厚真村郷土研究会 1956 『厚真村古代史 一村内に所在する先住民の遺跡-』
ベドロジスト懇談会 1984 『土壌調査ハンドブック』博友社
北海道考古学会 2013 『2013年度 北海道考古学会 遺跡調査報告会資料集』
北海道考古学会 2014 『2014年度 北海道考古学会 遺跡調査報告会資料集』
北海道考古学会 2015 『2015年度 北海道考古学会 遺跡調査報告会資料集』
北海道考古学会 2016 『2016年度 北海道考古学会 遺跡調査報告会資料集』

埋蔵文化財発掘調査報告書

厚真町教育委員会

厚幌ダム建設事業

- 厚真町教育委員会 2004 『厚幌1遺跡』-厚幌ダム建設に係わる一般道道切替工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
厚真町教育委員会 2006 『厚真町 上幌内モイ遺跡(1)』厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1
厚真町教育委員会 2007 『厚真町 上幌内モイ遺跡(2)』厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2
厚真町教育委員会 2009 『厚真町 上幌内モイ遺跡(3)』厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書3
厚真町教育委員会 2011 『オニキシベ2遺跡』厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書4
厚真町教育委員会 2013 『ワチャラセナイチャシ跡・ワチャラセナイ遺跡』
厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書5
厚真町教育委員会 2013 『オニキシベ5遺跡』厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書6
厚真町教育委員会 2014 『厚幌1遺跡(3)』厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書7
厚真町教育委員会 2014 『オニキシベ4遺跡』厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書8
厚真町教育委員会 2014 『ワチャラセナイ遺跡』厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書9
厚真町教育委員会 2014 『オニキシベ6遺跡』厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書10
厚真町教育委員会 2014 『ショロマ3遺跡』厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書11
厚真町教育委員会 2015 『ショロマ1遺跡(1)』厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書12
厚真町教育委員会 2015 『ショロマ2遺跡』厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書13
厚真町教育委員会 2016 『上幌内1遺跡』厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書14
厚真町教育委員会 2017 『上幌内2遺跡』厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書15
厚真町教育委員会 2017 『一里沢遺跡』厚幌ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書16

国営土地改良事業勇払東部(二期)地区 厚幌導水管事業

- 厚真町教育委員会 2009 『ニタツナイ遺跡(1)』
国営土地改良事業勇払東部(二期)地区 厚幌導水路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1

- 厚真町教育委員会 2010 『厚幌1遺跡(2) 幌内7遺跡』
国営土地改良事業勇払東部(二期)地区 厚幌導水路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2
- 厚真町教育委員会 2010 『幌内5遺跡(1) 富里2遺跡 ニタツナイ遺跡(2)』
国営土地改良事業勇払東部(二期)地区 厚幌導水路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書3

その他の事業

- 厚真町教育委員会 2002 『鯉沼2遺跡』 鯉沼農地造成工事・土砂採取工事用地内 埋蔵文化財工事立会報告書
- 厚真町教育委員会 2002 『豊川1遺跡』 ノーザンファームトレーニングコース(坂路馬場) 造成工事立会報告書
- 厚真町教育委員会 2013 『ツイカルマイ遺跡』
道道上幌内早来停車場線特改1種工事(道州) 事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

その他の市町村

- 苫小牧市埋蔵文化財調査センター
1998 『美沢東遺跡群』 道道静川美沢線道路改良工事に伴う美沢東4・5・6遺跡発掘調査報告書

(財)・(公財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書(北埋調報)

- (財)北海道埋蔵文化財センター 2003 『厚真町 浜厚真3遺跡』北埋調報186
- (財)北海道埋蔵文化財センター 2005 『千歳市 オルイカ2遺跡(2)』北埋調報221
- (財)北海道埋蔵文化財センター 2007 『千歳市 祝梅川上田遺跡・梅川2遺跡』北埋調報238
- (財)北海道埋蔵文化財センター 2007 『占冠村 占冠原野1遺跡』北埋調報239
- (財)北海道埋蔵文化財センター 2010 『千歳市 アンカリトー7遺跡・アンカリトー9遺跡』北埋調報268
- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2013 『千歳市 祝梅川上田遺跡(2)』北埋調報300
- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2014 『千歳市 梅川4遺跡(3)』北埋調報306
- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2015 『厚真町 朝日遺跡』
道道早来停車場線埋蔵文化財発掘調査報告書 北埋調報313
- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2017 『厚真町 オッコク1遺跡(1)』
厚真川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 北埋調報338

厚幌ダム建設事業

- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2015 『厚真町 オニキシベ1遺跡』北埋調報318
- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2015 『厚真町 イクバンドユクチセ2遺跡』北埋調報319
- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2016 『厚真町 ショロマ4遺跡』北埋調報322
- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2016 『厚真町 イクバンドユクチセ3遺跡』北埋調報325
- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2017 『厚真町 上幌内3遺跡』北埋調報335

国営土地改良事業勇払東部(二期)地区 厚幌導水管事業

- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2016 『厚真町 富里3遺跡』北埋調報326
- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2017 『厚真町 厚幌1遺跡・幌内6遺跡・幌内7遺跡』北埋調報336

(財)・(公財)北海道埋蔵文化財センター刊行物

- (財)北海道埋蔵文化財センター 1994 『遺跡が語る北海道の歴史』15周年記念誌
- (財)北海道埋蔵文化財センター 2004 『遺跡が語る北海道の歴史』25周年記念誌
- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2013 『調査年報25 平成24年度』
- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2014 『調査年報26 平成25年度』
- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2015 『調査年報27 平成26年度』
- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2016 『調査年報28 平成27年度』
- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2017 『調査年報29 平成28年度』
- (公財)北海道埋蔵文化財センター 2018 『調査年報30 平成29年度』

報告書抄録

ふりがな	あつまちょう かいほくかいせいせき かいほくかいせいせき							
書名	厚良町 上堀内4遺跡 上堀内5遺跡							
副書名	厚良町建設事業推進文化財調査報告書							
シリーズ名	（3）第3北海道推進文化財センター調査報告書（北境調査）							
シリーズ番号	第313集							
編著者名	愛場勉人・北光正幸・黒山さとし							
編集機関	公益財団法人 北海道推進文化財センター							
所在地	〒069-0632 北海道江別市西野幌05番地1 3011-204-2231							
発行年月日	西暦2015年3月20日							
JAPARC 所収遺跡名	JAPARC 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
かいほくかいせいせき 上堀内4 1号遺跡	せいのり 北海道 かいほくかいせいせき 厚良町 あつまちょう せいせき 301-112か	1381	J-13 -121	N-22号		20111010 ～ 20111030	平成26年度：900㎡ 平成27年度：907㎡ 平成28年度：200㎡ 全調査面積：1,257㎡	厚良町ダム建設 事業に伴う 事前調査
				42° 46' 48.2"	142° 00' 32.8"	20160312 ～ 20161028		
かいほくかいせいせき 上堀内5 1号遺跡	せいのり 北海道 かいほくかいせいせき 厚良町 あつまちょう せいせき 301-112か	1381	J-13 -123	L規格 Y-30号		20160312 ～ 20160909	平成25年度：200㎡ 平成27年度：1,612㎡ 平成28年度：1,530㎡ 全調査面積：11,942㎡	厚良町ダム建設 事業に伴う 事前調査
				42° 46' 46.9"	142° 01' 41.3"	20160312 ～ 20161028		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
かいほくかいせいせき 上堀内4 遺跡	集落跡	アイヌ文化圏 縄文時代中期～後期	土坑・竪穴中 掘り込居跡 土坑 Tピット	小刀・刀子・銅製品・鏃 土器・石器		縄文時代中期 内堀土器と並ぶ式 漆器 縄文時代後期 手輪式 住土器		
要約	<p>上堀内4遺跡は、石狩低地帯の南東部、厚良川の支流部に位置する。山間部を流れる厚良川の標準、標高11～12mの段丘に北東部の斜面に立地する。平成26(2014)・平成27(2015)年度は発掘前調査、平成28(2016)年度は総調査を実施した。本報は3年度分の報告である。</p> <p>遺跡の特色は、縄文時代中期後半～後期前半が主体で、利根部ではアイヌ文化圏に属した。アイヌ文化圏は、柱穴・杭穴と土坑・竪穴中掘り込みのつらら、小刀、刀子等の鉄製品が出土した。</p> <p>縄文時代は、掘り込居跡・土坑・Tピット・土器群中・ブレイク等も調査した。掘り込居跡は掘り込み遺物も少ない。Tピットは横溝と横溝内があり、直溝や直溝中、土器等は縄文時代中期後半、前期、中期、後期で、これ以外の遺物の多くは縄文時代中期後半～後期に属する。</p> <p>縄文時代の遺物は、土器は後期のもも多く、ついで中期、前期である。後期には中堀の内堀土器と並ぶ手輪式土器は厚良町内ではほぼ出土して居ない。材料石は、石輪、石磨・ナイフ、石錐、つまみ付きナイフ、スライヤーがあり、鎌石輪は、磨製石斧、たたく石、すり石、北海道式石輪、砥石、石臼・石臼等がある。</p>							
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
かいほくかいせいせき 上堀内5 遺跡	集落跡 狩猟の場	縄文時代中期～後期	掘り込居跡 土坑 小土坑 Tピット	土器・石器		多数のTピット		
要約	<p>上堀内5遺跡は、石狩低地帯の南東部、厚良川の支流部に位置する。山間部を流れる厚良川の標準、標高9～15mの段丘の段丘に立地する。遺跡の中心に数名の穴(イナイレ)が並ぶ。これの左岸を土地区、右岸を水堀区とした。平成23(2011)・26(2014)の両年度で概観し、平成28(2016)年度には、水地区の掘り込み遺物、遺土層内埋蔵物の下層付遺物に掘り込居跡(土坑・土器等、小土坑)等を調査し、調査区全域から100基をこえるTピットが見つかった。これらの時期は縄文時代と考えられ、横溝と横溝内または埋蔵品がある。この土層の間に横溝しているところ認められ、横溝や直溝内あり、切り合いがみられる。</p> <p>遺物は少なく、土器は中期～後期が多い。材料石は、石輪、石磨・ナイフ、つまみ付きナイフ、スライヤーがあり、鎌石輪は、磨製石斧、たたく石、すり石、砥石、石臼・石臼等がある。厚良川上流に分布する遺跡は、山岳を越える等集落を石化した縄文遺物や半が土器土器の遺物が多いが、本遺跡は比較的高位にあり、</p>							

(公財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第345集

厚真町
上幌内4遺跡 上幌内5遺跡

— 厚幌ダム建設事業埋蔵文化財発掘調査報告書 —

平成30(2018)年3月26日

編集・発行

公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター
〒069-0832 北海道江別市西野幌685番地1
TEL 011(386)3231 FAX 011(386)3238
[URL] <http://www.domaibun.or.jp/>
[E-mail] mail@domaibun.or.jp

印刷

株式会社 総北海
〒078-8272 北海道旭川市工業団地2条1丁目1-23
TEL 0166(36)5556 FAX 0166(36)5657
[URL] <http://www.sohokkai.co.jp>
[E-mail] info@sohokkai.co.jp